

令和 7 年度 施策・事務事業評価表

〔第七期帯広市総合計画〕

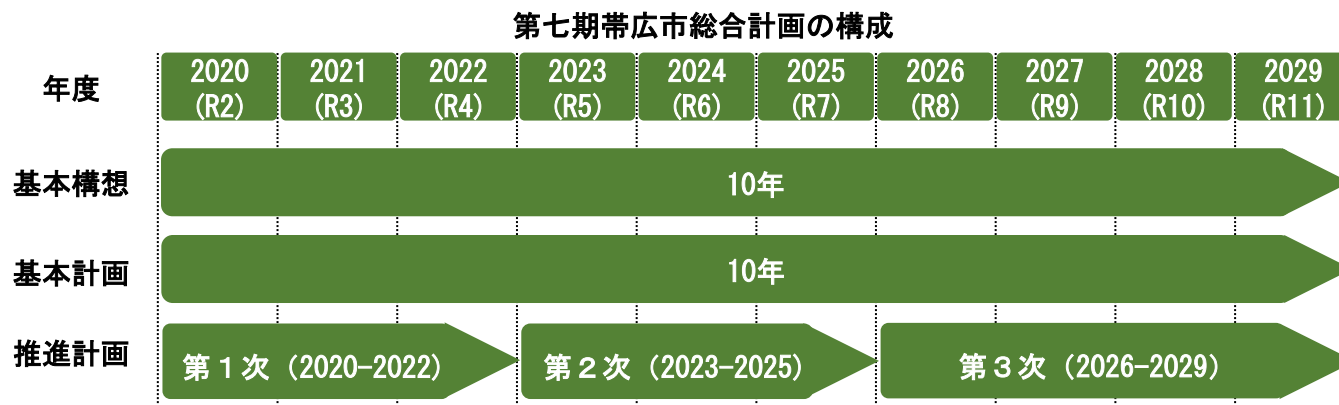
令和 8 年 9 月
帯 広 市

目 次

1. 第七期帯広市総合計画について	1	施策10 アウトドアの聖地にする	45
2. 総合計画推進の考え方について	1	施策11 つなげて広げるビジネスチャンス	49
（1）第七期総合計画のPDCAサイクル	1	施策12 未来を拓くこどもをともに育む	53
（2）施策・事務事業評価	1	施策13 いつまでも学ばって面白い	57
3. 第七期帯広市総合計画の体系図	2	施策14 潤いのある暮らしと地域をつくる	61
4. 評価年度	3	施策15 スポーツで楽しく、ハツラツ、健康に	65
5. 評価表の見方	3	施策16 地球のために今、行動する	69
（1）施策評価表	3	施策17 「まさか」に備え今、行動する	73
（2）事務事業評価表	6	施策18 とかちで守るみんなの安心	77
6. 施策評価結果の概要	7	施策19 みんなでつくる笑顔と安全	81
		施策20 未来につなぐ、おいしい水	85
		施策21 未来につなぐ、住みよいまち	89
		施策22 認め合い、つながり、暮らす	93
		施策23 未来に夢をつなぐ	97
■ 施策評価表		■ 事務事業評価表	
施策1 健康なからだところをつくる	9	施策1～施策23	101
施策2 笑顔でつなぐ、みんなの子育て	13		
施策3 たくさんの小さなおせっかいがある暮らし	17		
施策4 ずーっと生き活きと暮らす	21		
施策5 個性はみんなのたからもの	25		
施策6 医療を身近に安心な暮らしをつくる	29		
施策7 誰もが安心できる暮らしの支えになる	33		
施策8 世界に冠たる十勝農業を創る	37		
施策9 「とかちのかち」を創り続ける	41		

1. 第七期帯広市総合計画について

第七期帯広市総合計画は、市民と市が共有するビジョンとして将来のまちの姿やまちづくりの目標などを示す「基本構想」、基本構想の実現に向けた市の施策を示す「基本計画」、施策の目指す姿の実現に向け市が実施する事務事業を示す「推進計画」により構成しており、期間は「基本構想」10年、「基本計画」10年、「推進計画」3年（第3次のみ4年）としています。



2. 総合計画推進の考え方について

(1) 第七期総合計画のPDCAサイクル

第七期帯広市総合計画は、施策や事務事業の進捗状況等を評価検証し、改善等につなげていくPDCAサイクルのもと推進します。

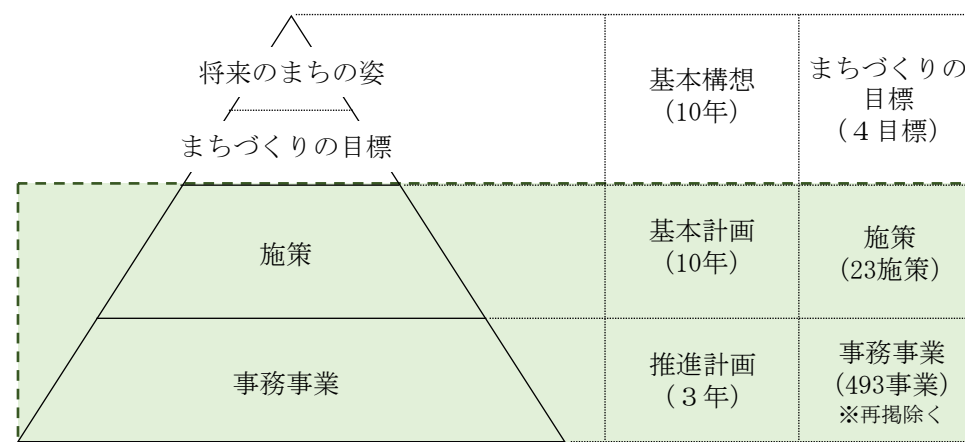
(2) 施策・事務事業評価

施策は、「事務事業の進捗状況」「市民と一緒に目指す取り組みの状況」「地域社会の状況」という3つの視点から、目指す姿の実現に向けた進捗状況の評価検証します。また、客観性を確保するため、それぞれの状況を点数化し合計点に応じて進捗状況の判定を行います。

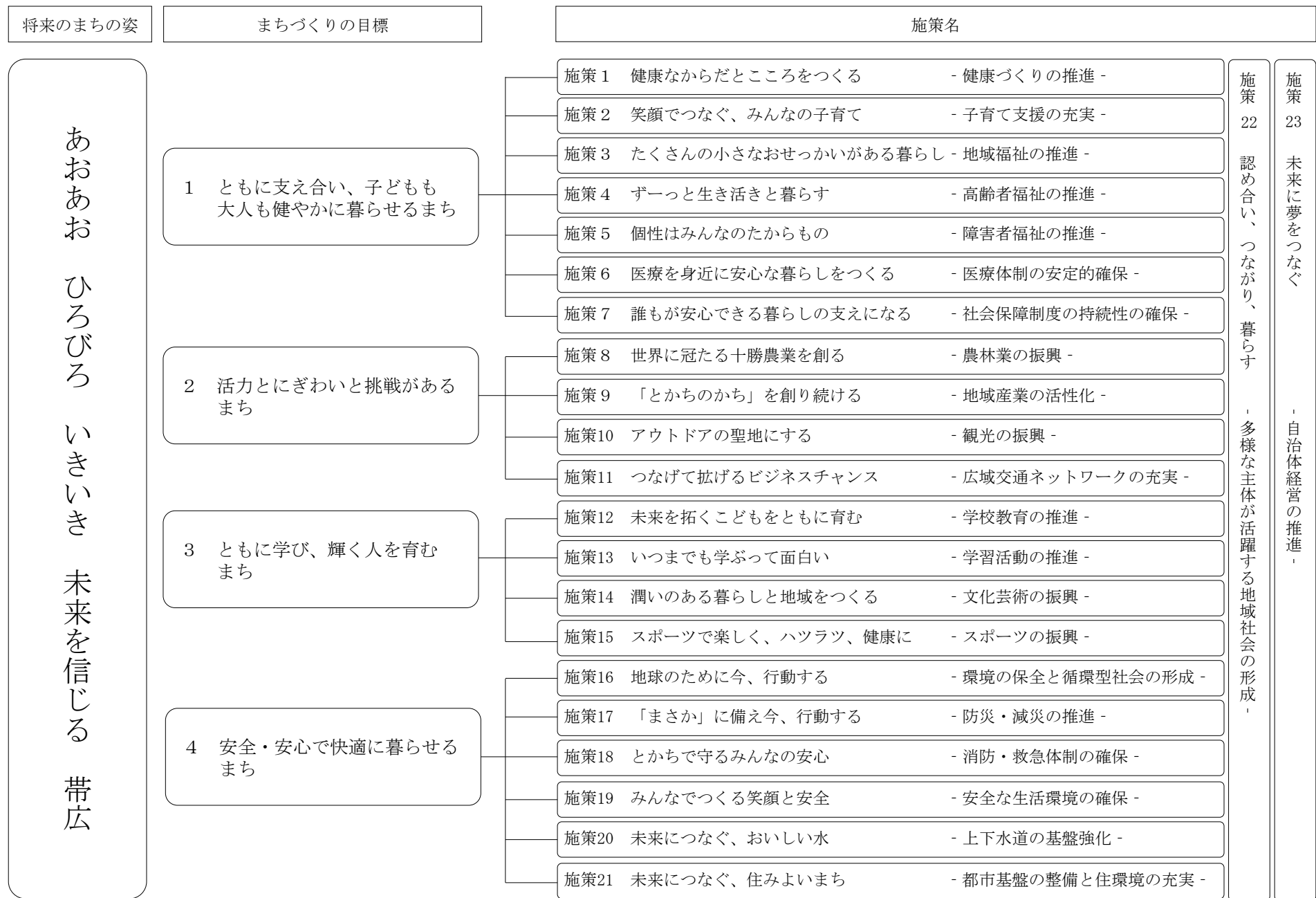
事務事業は、事業ごとに掲げる目標の達成に向け、毎年度取り組みを評価し、内容の妥当性や未達成の要因等を検証します。

施策・事務事業の評価結果は、予算編成や推進計画の改訂・次期推進計画の策定に活用するとともに、市民等へ公表します。

総合計画と施策・事務事業評価



3. 第七期帯広市総合計画の体系図



4. 評価年度

本評価表は、令和7年度の施策・事務事業に対する評価結果を取りまとめたものです。

5. 評価表の見方

(1) 施策評価表

施策評価表には、目指す姿、市が実施した事務事業の取り組みを示す「Ⅰ事務事業の進捗状況」、市民と市と一緒に目指す目指そう指標の実績と要因分析を示す「Ⅱ目指そう指標の進捗状況」、地域社会の状況を示す「Ⅲ関連データの状況」と、これらに基づく施策評価の結果を記載しています。

施策評価は、「Ⅰ事務事業の進捗状況」「Ⅱ目指そう指標の進捗状況」「Ⅲ関連データの状況」の進捗率等を点数化し、その合計点に応じて、「順調」「概ね順調」「さらなる進捗が必要」の3区分で判定します。

①「Ⅰ事務事業の進捗状況」

事務事業の主な取り組み内容を記載しています。

○進捗率の算出・点数化の方法

施策の事務事業数(再掲除く)に占める、目標を達成した事務事業数と予定していた事業を実施することができた事務事業数(目標設定をしていない事務事業)の割合で進捗率を算出し、これに応じて下表のとおり点数化を行います。

$A \geq 80\%$	$80\% > A \geq 60\%$	$60\% > A$
40点	30点	25点

例)

$$\left[\frac{3(\text{目標を達成できた事務事業数}) + 4(\text{事業を実施した事務事業数})}{10(\text{施策の全事務事業数})} \right] \times 100 = 70\% = 30\text{点}$$

施策評価表 (Ⅰ事務事業の進捗状況)



施策1 健康なからだところをつくる —健康づくりの推進—

目指す姿

誰もが自分の健康は自分でつくるという意識を持ち、健康管理に取り組み、心身ともに健やかに暮らしています。



Ⅰ事務事業の進捗状況

進捗率 70.0% : 40点 30点 25点

【事務事業の主な取り組み】

- 市民の主体的な健康づくりを進めるため、健康づくりに関するボランティアの育成及び活動の促進や歩数計測機能付きのアプリを活用した自主的な運動を促進。
- 働き盛り世代の健康づくりを促進するため、「スマートライフプロジェクト」への参画企業等の登録を促進。
- 健康に関する意識を高めるため、LINEによる健康体操動画を配信。
- 生活習慣病予防や重症化予防のため、各種がん検診の実施や検診費用の一部助成、健康相談・個別訪問や保健指導、健康教育などを実施。
- 自殺予防のため、ゲートキーパーの養成や多分野合同研修会の実施のほか、関係機関と連携した取り組みを推進。
- 感染症の発生や感染拡大の防止のため、予防接種の啓発・実施や感染症の発生状況及び予防に関する情報を発信。



企業と連携した健康づくりイベント

②「Ⅱ 目指そう指標の進捗状況」

目指そう指標の動向や結果に対する要因分析を記載しています。
 なお、進捗率の把握に用いる実績値は、評価年度において把握可能な最新年度のデータを使用します。

○進捗率の算出・点数化の方法

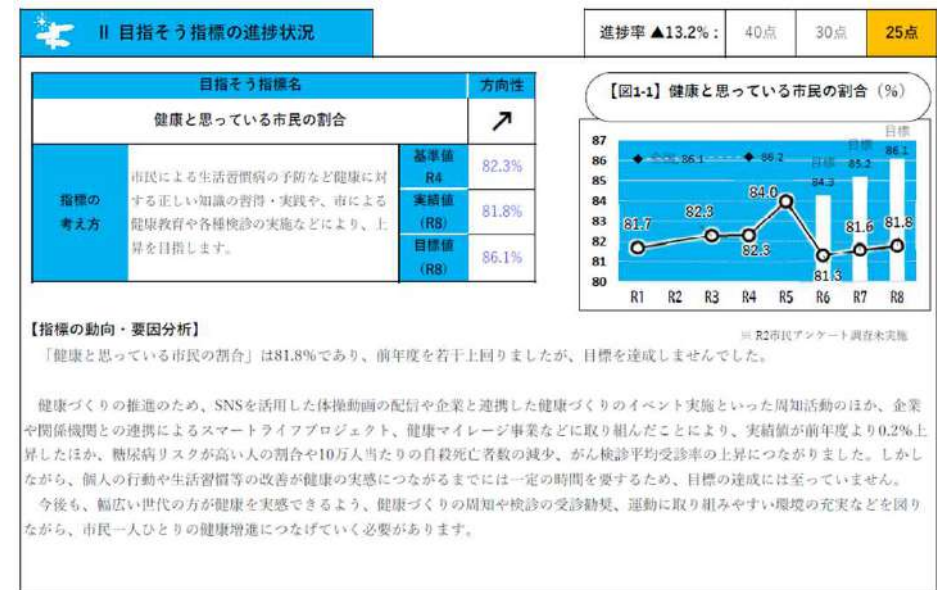
目標値に対する実績値の割合で進捗率を算出し、これに応じて評価年度毎に下表のとおり点数化を行います。

$A \geq 100\%$	$100\% > A \geq 90\%$	$90\% > A$
40点	30点	25点

例) $[81.8\% (\text{実績値}) - 82.3\% (\text{基準値})] /$

$[86.1\% (\text{目標値}) - 82.3\% (\text{基準値})] \times 100 = \blacktriangle 13.2\% = 25\text{点}$

施策評価表 （Ⅱ 目指そう指標の進捗状況）



※ 各指標で定めた基準年から4年後に到達すべき目標を設定し、評価年度の目標に対する達成状況やその要因等を記載しています。

※ 全国・全道等のデータは、要因分析を行う際の参考資料として掲載しています。なお、全国等の数値がなく比較ができない指標もあります。

③「Ⅲ関連データの状況」

施策に関する地域社会の状況を示すデータの推移を示しています。
また、下表のとおり、データ毎に推移に応じた得点を付しています。

得点	増加が望ましいデータ	基準以上が望ましいデータ
5	策定時より増加・前年より増加	—
3	策定時より増加	基準以上
2	前年より増加	基準未満だが前年より改善
0	いずれも該当なし	基準未満で前年以下

○得点率の算出・点数化の方法

全データの最高得点に占める、合計得点の割合で得点率を算出し、これに応じて下表のとおり点数化を行います。

$A \geq 80\%$	$80\% > A \geq 60\%$	$60\% > A$
20点	15点	10点

例) $[5(5点 \times 2つ) + (2点 \times 1つ)] / 15(データ数3つ \times 最高得点5点) \times 100 = 80.0\% = 20点$

④「Ⅳ施策評価」

①から③を踏まえ、施策の目指す姿の実現に向けて実施した主な取り組みや課題などを記載しています。

○施策評価の判定

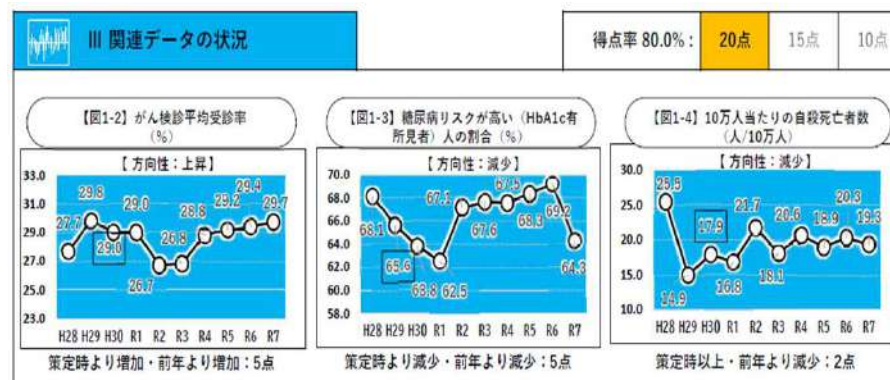
「Ⅰ事務事業の進捗状況」「Ⅱ目指そう指標の進捗状況」「Ⅲ関連データの状況」の点数の合計点に応じて下表のとおり判定します。

例) ①30点+②25点+③20点=75点

施策評価の判定結果は概ね順調に進んでいる

100点	95点	90点	85点	80点	75点	70点	65点	60点
順調に進んでいる			概ね順調に進んでいる			さらなる進捗が必要		

施策評価表 (Ⅲ関連データの状況)



※施策の推進に向けた市による事務事業や市民・企業等の様々な活動などによる地域社会の変化を把握するため、関連データの推移を示します。データの動向がグラフ棒上にある方向性に向かっていれば加算対象とします。

※□で囲んでいる箇所は計画策定時の数値です。

※ 統計によって、公表時期が異なるため、基準となる策定時の年度に違いがあります。

施策評価表 (Ⅳ施策評価)

Ⅳ 施策評価	概ね順調に進んでいる (Ⅰ+Ⅱ+Ⅲ= 75点 / 100点)
市民の主体的な健康づくりに向け、生活習慣病予防などに関するパネル展の開催、LINEによる健康体操動画を配信、少数計測機能付きアプリを活用した自主的な運動の促進、スマートライフプロジェクトへの企業・団体の登録・加入促進など様々な取り組みを進めましたが、「健康と想っている市民の割合【図1-1】」は、前年より若干上昇したものの、目標値に及びませんでした。 今後は、企業や団体とともに、より多くの市民の目に触れるような周知啓発に取り組むほか、医療機関との連携を強化し、市民の健康づくりを進めるための環境を充実していく必要があると考えます。 健康的な食生活や運動習慣に関する周知啓発、保健指導、受診勧奨等に継続して取り組んできたことが市民の生活習慣改善に結びつき、「糖尿病リスクが高い(HbA1c有 所見者)人の割合【図1-3】」が前年度より減少した一因になったと考えます。 今後も、有 所見者の推移を注視しながら、公開講座やパネル展など幅広い市民に対する普及啓発に取り組むほか、健診結果から対象となる方への講座や個別面談、医療機関との連携した保健指導の取り組みなどを通じ、生活習慣の改善や糖尿病の発症・重症化予防につなげていく必要があります。 また、ピンクリボン運動をはじめ、医療機関や市内のイベントにおいて、がんに対する正しい知識の周知啓発に積極的に取り組んだことで、「がん検診平均受診率【図1-2】」は上昇しています。今後も医療機関や企業との連携による周知啓発を行うほか、全国健康保険協会(協会けんぽ)との連携により、受診率向上に向けた取り組みを進めていきます。 生きることの包括的支援の推進に向けた取り組みとして、相談窓口の周知啓発のほか、相談機関同士の連携強化やゲートキーパー養成、若年層へ向けた「SOSの出し方教室」などの取り組みを継続しましたが、「10万人当たりの自殺死者数【図1-4】」は前年よりも減少したものの、計画策定時からみると増加しています。自殺は、社会・経済情勢や、生活環境の変化など、様々な要因が複雑に関係しているものと考えられることから、引き続き、関係機関等と連携し、自殺予防につなげていく必要があります。今後も、自殺対策計画に基づき、幅広い分野での取り組みを実施し生きることの包括的な支援として自殺対策に取り組めます。 施策全体としては、事務事業の進捗状況が30点、目指そう指標の進捗状況が25点、関連データの状況が20点となっており、目指す姿の実現に向け、「概ね順調に進んでいる」と評価します。	

（２）事務事業評価表

事務事業評価表には、事務事業の名称、目的、担当課のほか、当該年度の事業実施状況や決算額などを記載しています。

市に一定の裁量がある事務事業には、推進計画策定時から３年後に到達すべき目標を設定しています。評価検証欄には、評価年度の目標に対する達成状況のほか、取り組みの妥当性や未達成の要因等を記載しています。

事務事業評価表

事務事業評価表

施策	1	取組	1	番号	1	事務事業 健康づくり推進事業														
目的	健康意識の向上に関する取り組みや、生活習慣病予防に関する知識を普及する人材の育成などを通じ、市民の健康づくりを推進します。						担当課		健康推進課											
目標	スマートフォン用アプリを活用し、運動習慣の定着を促す健康マイレージ事業の参加者数について5,400人を目指します。																			
事業実施状況	・健康づくり推進サポーターの育成と活動の推進（会員数 食改26人、健康25人） ・健康マイレージの推進（参加者数延6,200人） ・スマートライフプロジェクトおびひろの推進（登録企業延104社） ・おびひろ健康まつりの実施（来場者数1,093人）						単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額							
							事業費		2,404		2,445		2,148							
							特定財源		200		200		200							
							一般財源		2,204		2,245		1,948							
							指標名		健康マイレージ事業参加者数				単位		人					
							基準値		R5		目標値 実績値		R6		目標値 実績値		R7		目標値 実績値	
							2,878				4,500 4,458				5,000 5,478				5,400 6,200	
評価検証	R7年度の健康マイレージ事業の参加者数は6,200人であり、目標を達成しました。																			
	広報紙やホームページ、イベント等で継続的に周知したことにより、登録者増に結びついたものと考えます。R8年度以降については、歩数計機能付きアプリSPOBYを運営していた委託事業者の事業継続が困難なため、健康マイレージ事業は、事業内容等を再検討し、事業の再開を目指す考えです。																			

- ※ 「目標」は推進計画最終年度（R7年度）の目標です。
なお、法律で義務付けされている事業、国等の財源の影響を受けやすい整備事業、施設の維持管理事業、内部管理事業には、目標を設定していません。
- ※ 目標を設定している事務事業のうち、定量的な指標の設定が難しい事業については、事業の実施状況などに基づき定性的な評価を行っています（指標名“―”としています）。
- ※ 事業実施状況には主に事業量（人数・回数等）を示しています。
- ※ 事業費には会計年度任用職員費用を含めているため、決算書等の合計額と一致しない場合があります。
- ※ 当該年度の目標値を達成できた場合や予定していた事務事業を実施することができた場合は、実績値欄をあみかけしています。

6. 施策評価結果の概要

まちづくりの 目標と施策番号		Ⅰ 事務事業の進捗状況 採点結果			Ⅱ 目指そう指標の進捗状況 採点結果			Ⅲ 関連データの状況 採点結果			Ⅳ 施策評価の判定	
1 ともに支え合い、 健やかに暮らせるまち	施策 1	40点	30点	25点	40点	30点	25点	20点	15点	10点	75点	概ね順調に進んでいる
	施策 2	40点	30点	25点	40点	30点	25点	20点	15点	10点	85点	概ね順調に進んでいる
	施策 3	40点	30点	25点	40点	30点	25点	20点	15点	10点	65点	さらなる進捗が必要
	施策 4	40点	30点	25点	40点	30点	25点	20点	15点	10点	90点	順調に進んでいる
	施策 5	40点	30点	25点	40点	30点	25点	20点	15点	10点	75点	概ね順調に進んでいる
	施策 6	40点	30点	25点	40点	30点	25点	20点	15点	10点	95点	順調に進んでいる
	施策 7	40点	30点	25点	40点	30点	25点	20点	15点	10点	85点	概ね順調に進んでいる
2 活力とにぎわいと 挑戦があるまち	施策 8	40点	30点	25点	40点	30点	25点	20点	15点	10点	85点	概ね順調に進んでいる
	施策 9	40点	30点	25点	40点	30点	25点	20点	15点	10点	65点	さらなる進捗が必要
	施策10	40点	30点	25点	40点	30点	25点	20点	15点	10点	85点	概ね順調に進んでいる
	施策11	40点	30点	25点	40点	30点	25点	20点	15点	10点	90点	順調に進んでいる
3 ともに学び、輝く人 を育むまち	施策12	40点	30点	25点	40点	30点	25点	20点	15点	10点	75点	概ね順調に進んでいる
	施策13	40点	30点	25点	40点	30点	25点	20点	15点	10点	90点	順調に進んでいる
	施策14	40点	30点	25点	40点	30点	25点	20点	15点	10点	65点	さらなる進捗が必要
	施策15	40点	30点	25点	40点	30点	25点	20点	15点	10点	80点	概ね順調に進んでいる

まちづくりの 目標と施策番号		Ⅰ 事務事業の進捗状況 採点結果			Ⅱ 目指そう指標の進捗状況 採点結果			Ⅲ 関連データの状況 採点結果			Ⅳ 施策評価の判定	
4 安全・安心で 快適に暮らせるまち	施策16	40点	30点	25点	40点	30点	25点	20点	15点	10点	75点	概ね順調に進んでいる
	施策17	40点	30点	25点	40点	30点	25点	20点	15点	10点	75点	概ね順調に進んでいる
	施策18	40点	30点	25点	40点	30点	25点	20点	15点	10点	75点	概ね順調に進んでいる
	施策19	40点	30点	25点	40点	30点	25点	20点	15点	10点	90点	順調に進んでいる
	施策20	40点	30点	25点	40点	30点	25点	20点	15点	10点	85点	概ね順調に進んでいる
	施策21	40点	30点	25点	40点	30点	25点	20点	15点	10点	80点	概ね順調に進んでいる
施策22		40点	30点	25点	40点	30点	25点	20点	15点	10点	80点	概ね順調に進んでいる
施策23		40点	30点	25点	40点	30点	25点	20点	15点	10点	80点	概ね順調に進んでいる

施策の進捗状況

	1 ともに支え合い、 子どもも大人も 健やかに暮らせるまち	2 活力とにぎわいと 挑戦があるまち	3 ともに学び、 輝く人を育むまち	4 安全・安心で 快適に暮らせるまち	合計
順調に進んでいる	2 施策	1 施策	1 施策	1 施策	5 施策
概ね順調に進んでいる	4 施策	2 施策	2 施策	5 施策	15 施策
さらなる進捗が必要	1 施策	1 施策	1 施策	0 施策	3 施策

※施策22及び施策23は、各まちづくりの目標に含めていないため、合計と合いません。



施策1 健康なからだところをつくる –健康づくりの推進–



目指す姿

誰もが自分の健康は自分でつくるという意識を持ち、健康管理に取り組み、心身ともに健やかに暮らしています。



Ⅰ 事務事業の進捗状況

進捗率 70.0% :

40点

30点

25点

【事務事業の主な取り組み】

- 市民の主体的な健康づくりを進めるため、健康づくりに関するボランティアの育成及び活動の促進や歩数計測機能付きのアプリを活用した自主的な運動を促進。
- 働き盛り世代の健康づくりを促進するため、「スマートライフプロジェクト」への参画企業等の登録を促進。
- 健康に関する意識を高めるため、LINEによる健康体操動画を配信。
- 生活習慣病予防や重症化予防のため、各種がん検診の実施や検診費用の一部助成、健康相談・個別訪問や保健指導、健康教育などを実施。
- 自殺予防のため、ゲートキーパーの養成や多分野合同研修会の実施のほか、関係機関と連携した取り組みを推進。
- 感染症の発生や感染拡大の防止のため、予防接種の啓発・実施や感染症の発生状況及び予防に関する情報を発信。



企業と連携した健康づくりイベント



Ⅱ 目指そう指標の進捗状況

進捗率 ▲13.2% :

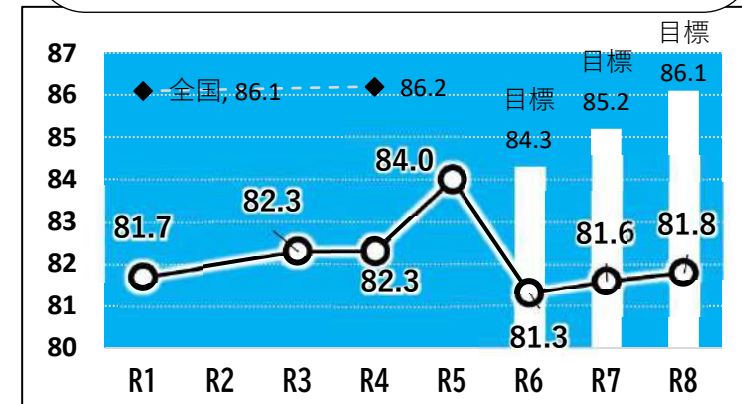
40点

30点

25点

目指そう指標名			方向性
健康と思っている市民の割合			↗
指標の考え方	市民による生活習慣病の予防など健康に対する正しい知識の習得・実践や、市による健康教育や各種検診の実施などにより、上昇を目指します。	基準値 R4	82.3%
		実績値 (R8)	81.8%
		目標値 (R8)	86.1%

【図1-1】健康と思っている市民の割合（％）



【指標の動向・要因分析】

「健康と思っている市民の割合」は81.8%であり、前年を若干上回りましたが、目標を達成しませんでした。

健康づくりの推進のため、SNSを活用した体操動画の配信や企業と連携した健康づくりのイベント実施といった周知活動のほか、企業や関係機関との連携によるスマートライフプロジェクト、健康マイレージ事業などに取り組んだことにより、実績値が前年より0.2%上昇したほか、糖尿病リスクが高い人の割合や10万人当たりの自殺死亡者数の減少、がん検診平均受診率の上昇につながりました。しかしながら、個人の行動や生活習慣等の改善が健康の実感につながるまでには一定の時間を要するため、目標の達成には至っていません。

今後も、幅広い世代の方が健康を実感できるよう、健康づくりの周知や検診の受診勧奨、運動に取り組みやすい環境の充実などを図りながら、市民一人ひとりの健康増進につなげていく必要があります。



Ⅲ 関連データの状況

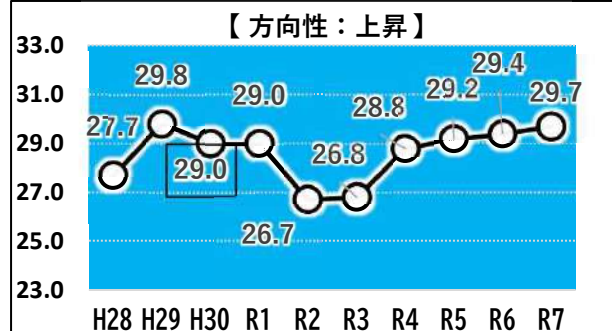
得点率 80.0% :

20点

15点

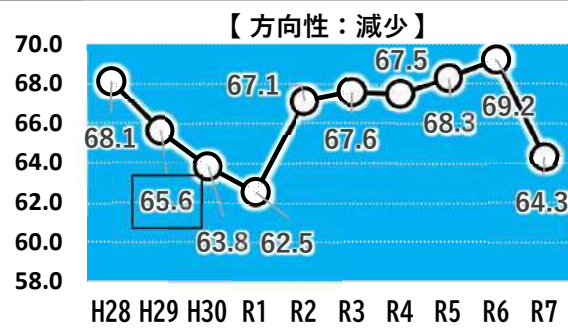
10点

【図1-2】 がん検診平均受診率
(%)



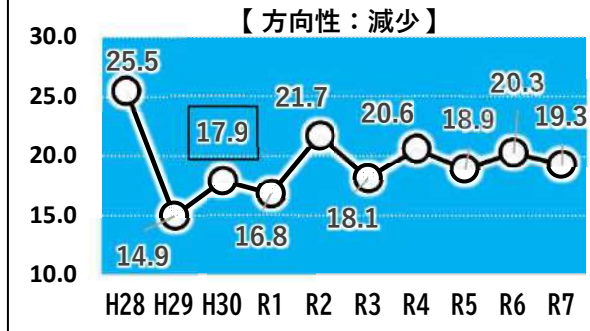
策定時より増加・前年より増加：5点

【図1-3】 糖尿病リスクが高い（HbA1c有
所見者）人の割合 (%)



策定時より減少・前年より減少：5点

【図1-4】 10万人当たりの自殺死亡者数
(人/10万人)



策定時以上・前年より減少：2点

※施策の推進に向けた市による事務事業や市民・企業等の様々な活動などによる地域社会の変化を把握するため、関連データの推移を示します。データの動向がグラフ枠上にある方向性に向かっていれば加点対象とします。

※□で囲んでいる箇所は計画策定時の数値です。



Ⅳ 施策評価

概ね順調に進んでいる

〔Ⅰ＋Ⅱ＋Ⅲ＝ 75点 /100点〕

市民の主体的な健康づくりに向け、生活習慣病予防などに関するパネル展の開催、LINEによる健康体操動画を配信、歩数計測機能付きアプリを活用した自主的な運動の促進、スマートライフプロジェクトへの企業・団体の登録・加入促進など様々な取り組みを進めましたが、「健康とと思っている市民の割合【図1-1】」は、前年より若干上昇したものの、目標値に及びませんでした。今後は、企業や団体とともに、より多くの市民の目に触れるような周知啓発に取り組むほか、医療機関との連携を強化し、市民の健康づくりを進めるための環境を充実していく必要があると考えます。

健康的な食生活や運動習慣に関する周知啓発、保健指導、受診勧奨等に継続して取り組んできたことが市民の生活習慣改善に結びつき、「糖尿病リスクが高い（HbA1c有所見者）人の割合【図1-3】」が前年より減少した一因になったと考えます。今後も、有所見者の推移を注視しながら、公開講座やパネル展など幅広い市民に対する普及啓発に取り組むほか、健診結果から対象となる方への講座や個別面接、医療機関との連携した保健指導の取り組みなどを通し、生活習慣の改善や糖尿病の発症・重症化予防につなげていく必要があります。

また、ピンクリボン運動をはじめ、医療機関や市内のイベントにおいて、がんに対する正しい知識の周知啓発に積極的に取り組んだことで、「がん検診平均受診率【図1-2】」は上昇しています。今後も、医療機関や企業との連携による周知啓発を行うほか、全国健康保険協会（協会けんぽ）との連携により、受診率向上に向けた取り組みを進めていきます。

生きることの包括的支援の推進に向けた取り組みとして、相談窓口の周知啓発のほか、相談機関同士の連携強化やゲートキーパー養成、若年層へ向けた「SOSの出し方教室」などの取り組みを継続しましたが、「10万人当たりの自殺死亡者数【図1-4】」は前年よりも減少したものの、計画策定時からみると増加しています。自殺は、社会・経済情勢や、生活環境の変化など、様々な要因が複雑に関係しているものと考えられることから、引き続き、関係機関等と連携し、自殺予防につなげていくことが必要です。今後も、自殺対策計画に基づき、幅広い分野での取り組みを実施し生きることの包括的な支援として自殺対策に取り組めます。

施策全体としては、事務事業の進捗状況が30点、目指そう指標の進捗状況が25点、関連データの状況が20点となっており、目指す姿の実現に向け、「概ね順調に進んでいる」と評価します。



施策2 笑顔でつなぐ、みんなの子育て – 子育て支援の充実 –



目指す姿

地域全体で子育てを支え、安心して子どもを産み育て、子どもたちが健やかに成長しています。



Ⅰ 事務事業の進捗状況

進捗率 85.0% :

40点

30点

25点

【事務事業の主な取り組み】

- 妊娠期から出産・子育てまで切れ目のない支援のため、子育て情報のタイムリーな通知や子どもの成長記録を管理できる「子育てアプリおびモ」の運用のほか、新たに設置したこども家庭センターなどにおける相談対応や様々なニーズに即した支援につなぐ伴走型の相談支援、経済的支援を一体的に実施。
- 地域で子育てを支えるため、ファミリーサポートセンター事業や地域子育て支援拠点事業、子育て応援事業所登録制度の周知などを実施。
- 妊娠や出産、育児に関する精神的・経済的不安の軽減を図るため、妊娠出産サポート事業を実施。
- 母子の健康増進と健康意識の向上を図るため、妊産婦・乳幼児健康診査、出産・育児に関する情報提供や助言などを実施。
- 発達の遅れや障害のある児童とその家庭を支援するため、発達支援センターやこども発達相談室の運営などを実施。
- 児童保育センターにおいて、保護者との連絡を効率化するため、保護者連絡ツール「楽メ」を導入。
- 保護者の利便性向上と保育士の負担軽減を図るため、一時保育において、電子申請による受付を開始。
- 子どもたちの様々な体験活動や地域ぐるみでの子育てを推進するため、帯広市青少年育成者連絡協議会への支援を実施。
- こどもや若者、子育て当事者のライフステージに応じた切れ目のない支援を進めるほか、こどもの意見を大切にする視点を追加するなど、第2期おびひろこども未来プランを改定（市町村こども計画へ位置付け）。



相談の様子
(こども家庭センターのイメージ)



Ⅱ 目指そう指標の進捗状況

進捗率 ▲47.1% :

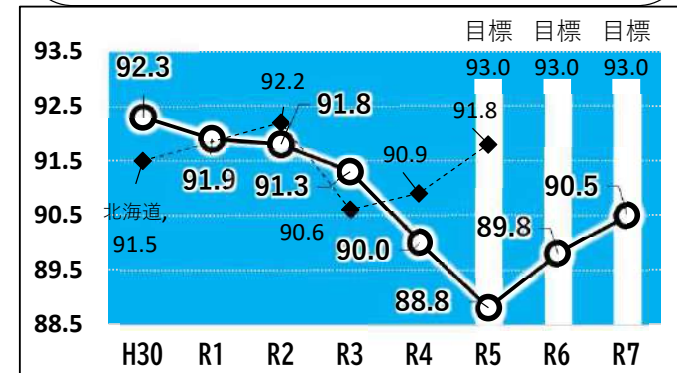
40点

30点

25点

目指そう指標名			方向性
この地域で子育てをしたいと思う親の割合			↗
指標の考え方	市民による子育てボランティア活動や、企業等による子育てしやすい職場環境づくり、市による総合的な子育て支援などにより、上昇を目指します。	基準値 (R3)	91.3%
		実績値 (R7)	90.5%
		目標値 (R7)	93.0%

【図1-1】この地域で子育てをしたいと思う親の割合（%）



【指標の動向・要因分析】

「この地域で子育てをしたいと思う親の割合」は90.5%であり、目標を達成しませんでした。

市では、令和7年度よりこども家庭センターや地域子育て相談機関「子育て相談る～む」を設置し、妊娠や出産、子育てに対する悩みなどへの相談対応の充実を図っているほか、企業における育児休業の推進や親同士の交流を促進する地域子育て支援センターの運営、会員相互による子育ての援助活動を行うファミリーサポートセンター事業の実施など、地域全体で子育てを支える取り組みを進めているものの、子育てをする中で孤立や不安を感じ、悩んでいる人がいるものと捉えています。

今後は、子育て世帯をとりまく環境の変化などを踏まえながら、相談先の周知や相談体制の充実などにより、子育て世帯への切れ目のない支援を通じて、子育てしやすい環境づくりに取り組む必要があります。



Ⅲ 関連データの状況

得点率 100.0% :

20点

15点

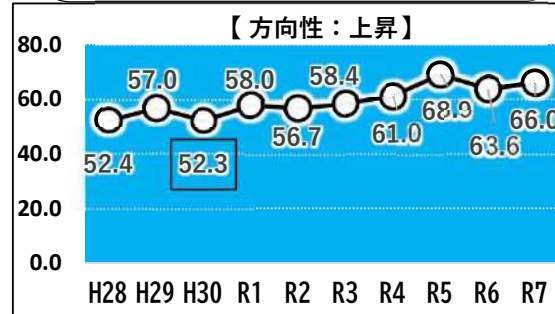
10点

【図1-2】 4月1日時点の保育所等の
待機児童数（人）



策定時より減少・前年より減少：5点

【図1-3】 育児休業制を規定している事業
所の割合（%）



策定時より増加・前年より増加：5点

※施策の推進に向けた市による事務事業や市民・企業等の様々な活動などによる地域社会の変化を把握するため、関連データの推移を示します。データの動向がグラフ枠上にある方向性に向かっていれば加点対象とします。

※□で囲んでいる箇所は計画策定時の数値です。



IV 施策評価

概ね順調に進んでいる

〔Ⅰ＋Ⅱ＋Ⅲ＝ 85点 /100点〕

市民や企業など地域全体で子育てを支える環境づくりに向け、妊娠や出産、子育てに対する悩みなどへの相談対応、伴走型の支援の充実、地域の子育てに関する情報の発信、地域で子育て家庭を支えるファミリーサポートセンター事業の実施などに取り組んでおり、同センターの会員数が増加するなど子育てを支える環境が充実してきているものの、「この地域で子育てをしたいと思う親の割合【図1-1】」は目標に達していません。今後は、妊娠期から出産・子育てに至るまでの様々な支援事業の認知度の向上のほか、支援体制や経済的支援の充実に取り組み、地域で子育てを支える環境づくりにつなげます。

幼児教育・保育サービスの安定的な提供を図るため、入所調整や認可外保育施設を活用した待機児童対策を実施したことなどにより、「4月1日時点の保育所等の待機児童数【図1-2】」は、前年に引き続き0人を達成しました。今後も、共働き世帯の増加を背景とした保育ニーズの高い状況が続くと見込んでいることから、継続して受入体制の確保などに努めていく必要があります。

子育てをしながら働き続けることができる環境づくりを促進するため、市ホームページや事業所雇用実態調査を通じて子育て応援事業所の登録制度や促進奨励金制度の周知などに取り組んできており、「育児休業制を規定している事業所の割合【図1-3】」は前年より増加しています。依然として事業規模の小さい事業所ほど導入されていない傾向にあることから、今後も、企業などへの周知啓発を行うなど、子育てしやすい環境づくりを進めます。

青少年の健全育成を図るため、子ども会や学校などにおける地域のリーダーを養成するための研修会を実施したほか、誰もが気軽に楽しめる運動機会の提供を行いました。今後も、関係団体と協力し、引き続き魅力ある体験活動機会の提供を進めます。

施策全体としては、事務事業の進捗状況が40点、目指そう指標の進捗状況が25点、関連データの状況が20点となっており、目指す姿の実現に向け、「概ね順調に進んでいる」と評価します。



施策3 たくさんの小さなおせっかいがある暮らし ―地域福祉の推進―



目指す姿

介護を必要とする高齢者や障害のある人など、日常生活において支援を必要とする人が、身近な人とのつながりや支え合いによって、社会から孤立せず、住み慣れた地域で安心して暮らしています。



I 事務事業の進捗状況

進捗率 66.7% :

40点

30点

25点

【事務事業の主な取り組み】

- 生活上様々な問題を抱えている地域住民への相談対応や関係機関等との連絡調整などを行うため、民生委員・児童委員の担い手の確保及び活動を支援。
- 住民相互の交流や親睦を図るため、地域交流サロンの活動を支援。
- 地域で支え合い活動等を行うボランティアの養成及び活動を支援。
- 判断能力が十分でない人に代わり契約や財産管理を行う成年後見制度の利用促進を図るため、成年後見支援センターの運営や市民後見人の養成を実施。
- 高齢者の健康保持や生活に関する相談など、日常生活を送る上で生じている課題を包括的に支援するため、地域包括支援センターを運営。
- 高齢者や障害のある人などへの地域の見守り体制の強化のため、民間事業所や医療機関など多様な団体等の連携による、きづきネットワーク事業を推進。
- 複合的な困りごとや世帯全体の困りごとなど分野をまたぐ課題に対応するため、「ひきこもり支援ステーションゆっくりん」での相談支援や居場所づくり事業の実施のほか、地域福祉にかかる関係団体等との連携による包括的な相談・調整を推進。



市民後見人養成研修の様子



Ⅱ 目指そう指標の進捗状況

進捗率 ▲8.5% :

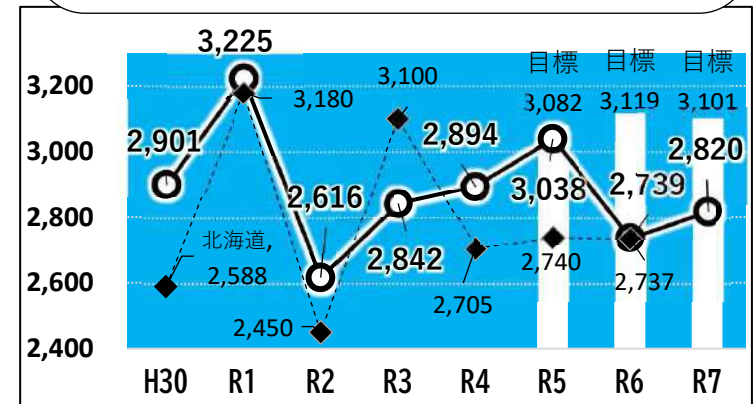
40点

30点

25点

目指そう指標名			方向性
10万人あたりのボランティア登録者数			↗
指標の 考え方	市民によるボランティア活動への参加や、市による福祉団体等への活動支援などにより、増加を目指します。	基準値 (R3)	2,842人
		実績値 (R7)	2,820人
		目標値 (R7)	3,101人

【図1-1】10万人あたりのボランティア登録者数（人）



【指標の動向・要因分析】

地域活動等を行うボランティアとして帯広市社会福祉協議会に登録している「10万人あたりのボランティア登録者数」は2,820人であり、目標を達成しませんでした。

社会福祉協議会によるボランティアセンターの運営や人材の育成・確保に向けたボランティア養成講座などを支援してきたほか、ホームページや広報紙などで様々なボランティア活動を紹介したことなどにより、登録者数は前年より増加したものの、会員の高齢化に伴う担い手不足などにより解散したボランティア団体が複数あったことが要因と考えます。

今後は、ボランティア養成講座の開催方法や実施回数などの見直しを検討するとともに、ボランティア活動に係る普及啓発、参加の呼びかけ強化等を通じ、登録者数の増加を図り、地域での支え合いの仕組みづくりを促進していく必要があります。



Ⅲ 関連データの状況

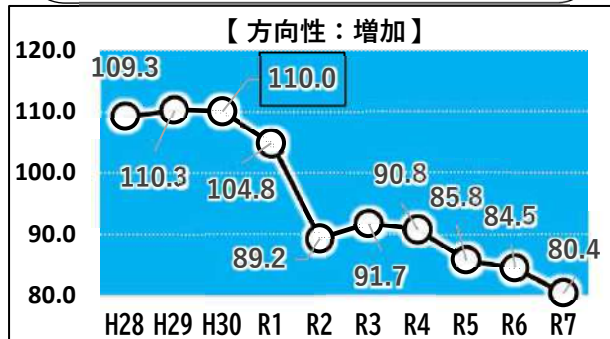
得点率 33.3% :

20点

15点

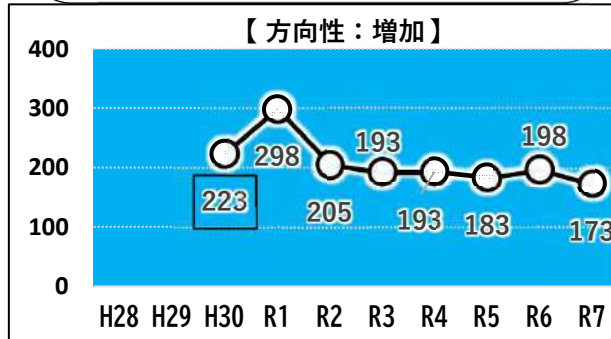
10点

【図1-2】 民生委員・児童委員 1人当たりの活動日数（日）



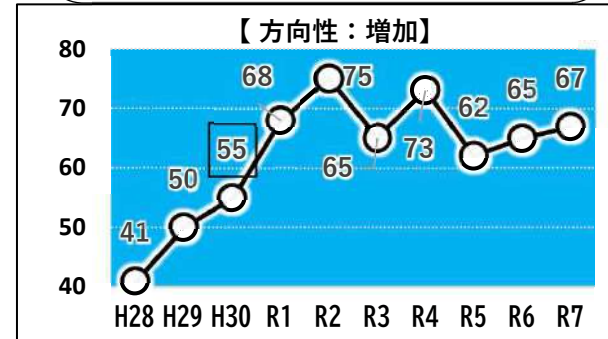
策定時以下・前年以下：0点

【図1-3】 地域包括支援センターへの近隣住民等からの相談件数（件）



策定時以下・前年以下：0点

【図1-4】 法人後見支援員の登録者数（人）



策定時より増加・前年より増加：5点

※施策の推進に向けた市による事務事業や市民・企業等の様々な活動などによる地域社会の変化を把握するため、関連データの推移を示します。データの動向がグラフ枠上にある方向性に向かっていれば加点対象とします。

※□で囲んでいる箇所は計画策定時の数値です。



IV 施策評価

さらなる進捗が必要

〔Ⅰ＋Ⅱ＋Ⅲ＝ 65点 /100点〕

市民相互の支え合いの意識を高め、様々な問題を抱えている人への相談対応や見守り体制の強化などを行うため、民生委員・児童委員による相談支援や多様な団体との連携による「きづきネットワーク事業」を推進してきたほか、高齢者が日常生活を送る上で生じている課題を包括的に支援する「地域包括支援センター」の運営に取り組みました。また、「ひきこもり支援ステーションゆっくりん」において、生きづらさや生活の中で困難を感じている方への相談支援や居場所づくりに取り組みました。

しかしながら、「10万人あたりのボランティア登録者数【図1-1】」は、前年より増加しているものの、目標値に達していないほか、「民生委員・児童委員1人当たりの活動日数【図1-2】」については、欠員が生じている影響などにより減少傾向にあります。また、「地域包括支援センターへの近隣住民等からの相談件数【図1-3】」は近年、横ばいで推移しています。

高齢化や核家族化の進行等を背景とした単身世帯の増加により、社会的に孤立し生活に様々な不安や悩みを抱えている人は、今後も、増加していくことが見込まれることから、引き続き、地域での見守り・支え合いの重要性の啓発や身近にある相談窓口の周知に取り組み、支援体制の強化を図る必要があります。

福祉団体などと連携した福祉活動の担い手の育成・確保のため、成年後見支援センターの運営や市民後見人の養成などを進めたことで、「法人後見支援員の登録者数【図1-4】」は前年より増加しています。今後も、権利擁護の推進を図っていくため、成年後見フォーラムを活用した市民周知や市民後見人養成講座の内容充実に取り組んでいきます。

施策全体としては、事務事業の進捗状況が30点、目指そう指標の進捗状況が25点、関連データの状況が10点となっており、目指す姿の実現に向け、「さらなる進捗が必要」と評価します。



施策4 ゴーっと生き活きと暮らす ― 高齢者福祉の推進 ―



目指す姿

高齢者が、仕事や地域活動などを通して社会と関わりながら、必要な福祉サービスを安心して受けられ、住み慣れた地域で自分らしく生き活きと暮らしています。



I 事務事業の進捗状況

進捗率 71.4% :

40点

30点

25点

【事務事業の主な取り組み】

- 高齢者及び介護をする家族の不安解消などのため、ひとり暮らし高齢者登録のほか、各種サービスによる生活支援を実施。
- 高齢者の権利擁護のため、被虐待高齢者の保護と養護者に対する支援を実施。
- 高齢者が安心して生活できる環境を整備するため、グループホーム等の地域密着型サービス事業所の整備支援を実施。
- 高齢者の社会参加の促進のため、高齢者バス無料乗車証を発行。
- 高齢者の社会活動や生きがいがづくりの促進のため、老人クラブへの支援や学習機会を提供。
- 地域の見守り体制の構築のため、認知症の人を早期から支援するチームオレンジの活動及び認知症高齢者等SOSネットワークの行方不明高齢者捜索模擬訓練を各地域包括支援センターで実施。
- 高齢者の健康保持・増進や生活の安定のため、地域包括支援センターによる相談支援や権利擁護を実施。
- 生きがいや役割を持ちながら地域で元気に過ごすことができるよう、趣味活動や簡単な運動などを通じた介護予防を実施。
- 在宅医療と介護の連携を推進するため、医療機関やケアマネジャーとの体制づくりを支援。
- ひとり暮らし高齢者などの生活上のちょっとした困りごとを地域の助け合いにより支えていくため、支え合いを日常生活の中で実践するちょっとした支え合いサポーターや、掃除や買い物などの生活援助に従事できる生活援助員を養成。
- 関係機関と連携し、企業とのマッチングによる就労機会を確保。



介護予防普及啓発



II 目指そう指標の進捗状況

進捗率 100.3% :

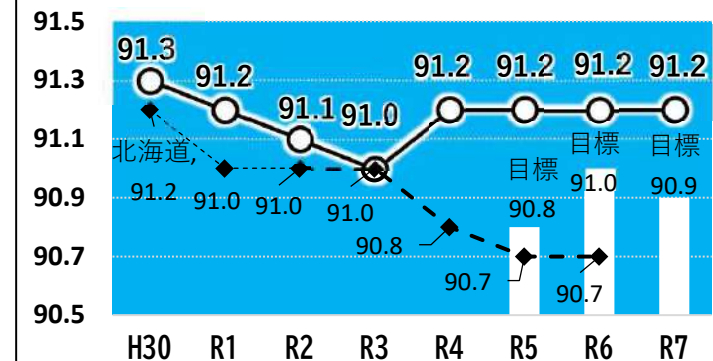
40点

30点

25点

目指そう指標名			方向性
要介護度が「要介護1」までの高齢者の割合			→
指標の考え方	高齢者による適度な運動やバランスのとれた食生活の実践などの健康増進の取り組みや、市による介護予防の取り組みの推進などにより、維持を目指します。	基準値 (R3)	91.0%
		実績値 (R7)	91.2%
		目標値 (R7)	90.9%

【図1-1】要介護度が「要介護1」までの高齢者の割合（％）



【指標の動向・要因分析】

「要介護度が「要介護1」までの高齢者の割合」は91.2%であり、目標を達成しました。

日常生活の自立に向けた介護サービスの提供や地域包括支援センター・介護事業所による介護予防の取り組みの実施により、介護予防教室への参加や自主的な軽運動の実践などが進み、介護の重度化の抑制につながっているものと考えます。

今後も、関係機関等と連携し、介護予防の普及啓発や活動支援、社会参加の促進などに取り組めます。



III 関連データの状況

得点率 80.0% :

20点

15点

10点

【図1-2】地域の支え合いを推進する協議体の実施回数（回）



策定時より増加・前年以下：3点

【図1-3】雇用保険の高年齢被保険者の年平均数（人）



策定時より増加・前年より増加：5点

※施策の推進に向けた市による事務事業や市民・企業等の様々な活動などによる地域社会の変化を把握するため、関連データの推移を示します。データの動向がグラフ枠上にある方向性に向かっていれば加対象とします。

※□で囲んでいる箇所は計画策定時の数値です。



IV 施策評価

順調に進んでいる

〔Ⅰ＋Ⅱ＋Ⅲ＝ 90点 /100点〕

高齢者の生活支援に向け、ひとり暮らし高齢者などへの生活支援や地域密着型サービス事業所等の整備支援、介護予防サービスの提供のほか、地域包括支援センターでの個別ケア会議の開催などに取り組み、地域での支援ネットワークの強化や生活支援が必要な人に対する適切なサービス提供につながっています。

ちょっとした支え合いサポーターを中心に生活支援の課題を地域住民で共有する等の協議を行い、具体的な活動を検討する協議体を設置しています。協議回数を集計した「地域の支え合いを推進する協議体の実施回数【図1-2】」は、新たな協議体の設置があったものの、協議の段階から具体的な活動へと発展したことにより、回数が減少した協議体も一定数いたことから、前年より減少しています。

高齢化の進行により、今後は高齢者等の生活支援ニーズの拡大が見込まれることから、引き続き、日常生活上の課題を地域の支え合いで解決する仕組みづくりを進めていく必要があります。

高齢者の社会参加の促進に向け、「高齢者おでかけサポートバス事業」による外出支援、老人クラブ活動等への支援、簡単な運動などを通じた介護予防事業、掃除や買い物などを手助けする生活援助員の養成などに取り組んだほか、関係機関と連携し、企業とのマッチングによる就労機会を確保することなどにより、「雇用保険の高年齢被保険者の年平均数【図1-3】」の増加につながっています。今後も、高齢者の地域活動への参加促進や就労促進に向け取り組みを進めていく必要があります。

施策全体としては、事務事業の進捗状況が30点、目指そう指標の進捗状況が40点、関連データの状況が20点となっており、目指す姿の実現に向け、「順調に進んでいる」と評価します。



施策5 個性はみんなのたからもの ―障害者福祉の推進―



目指す姿

障害に対する市民理解が深まり、障害のある人が地域社会の一員として、安心して暮らしています。



I 事務事業の進捗状況

進捗率 86.7% :

40点

30点

25点

【事務事業の主な取り組み】

- 障害や障害のある人への理解が深まるよう、市民活動プラザ六中での地域住民との交流や手話言語条例制定10周年記念事業の実施など、各種事業を通じた交流や普及啓発を促進。
- 権利擁護や虐待・差別防止のため、関係機関との連携による早期対応の取り組みと周知啓発を実施。
- 支援に携わる関係者間の情報共有や連携強化、人材の育成に係る検討を進めるため、帯広市地域自立支援協議会の開催及び研修等を実施。
- 緊急の事態等に必要なサービス提供体制の拡大など、地域生活支援拠点等の充実。
- 障害のある人やその家族が安心して暮らせるよう、相談支援や意思疎通を円滑化するためのコミュニケーション支援事業を実施。
- 地域における自立生活の促進のため、障害福祉サービスの提供や自立支援医療等を給付。
- 希望や特性に応じて働ける環境を整備し就労を促進するため、就労支援事業所への研修や企業に対する障害者雇用の啓発活動を実施。
- 障害のある人の自立や社会参加を促進するため、身体機能の回復・強化を図るトレーニングや日中活動の機会を提供する障害者生活支援センターを運営。



手話言語条例制定10周年記念事業の様子



Ⅱ 目指そう指標の進捗状況

進捗率 2.5% :

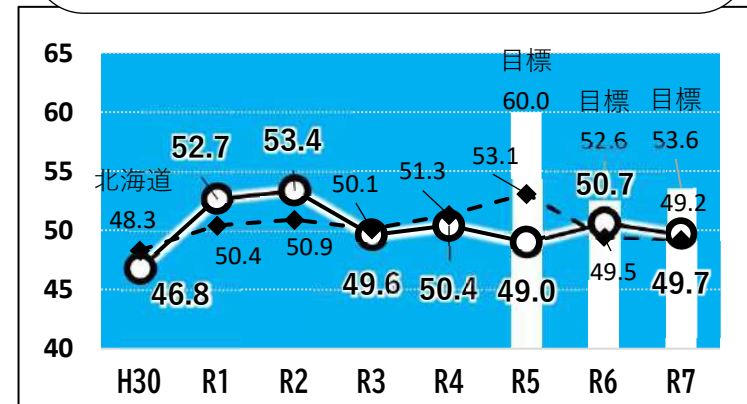
40点

30点

25点

目指そう指標名			方向性
障害者雇用率を達成した企業の割合			↗
指標の考え方	民間企業等による障害のある人が能力を発揮しやすい雇用・職場環境づくりなどの取り組みや、市による就労支援などにより、上昇を目指します。	基準値 (R3)	49.6%
		実績値 (R7)	49.7%
		目標値 (R7)	53.6%

【図1-1】障害者雇用率を達成した企業の割合（％）



【指標の動向・要因分析】

「障害者雇用率を達成した企業の割合」は49.7%で、前年を下回り、目標を達成しませんでした。

職場体験実習や就労移行・継続支援事業等を通じた相談対応・研修など、障害のある人の就労意欲向上や職場定着に向けた支援のほか、企業における障害者雇用の理解促進に向け、関係機関と連携し、障害者雇用事例集を活用した企業訪問などに取り組みました。

こうした取り組みにより、法定雇用率を達成した企業数は増加していますが、令和6年度に民間企業における障害者の法定雇用率が2.3%から2.5%に引き上げられるなど、新たに雇用義務の対象となった企業が増加したことから、法定雇用率を達成した企業の割合は伸び悩んでいる状況です。

企業における障害特性などを踏まえた業務の切り出しなどの配慮や、雇用後の職場定着に向けた支援のほか、就労支援事業所における一般就労を見据えた支援が不足していることが要因と考えます。

今後も、関係機関と連携しながら、障害者雇用率未達成企業への事例等の情報提供を行うほか、障害のある人の受入体制の充実に向けた環境づくりを進めるとともに、就労支援事業所の支援員のスキルアップを図り、障害のある人が能力を発揮しやすい雇用・職場環境づくりにつなげていく必要があります。



Ⅲ 関連データの状況

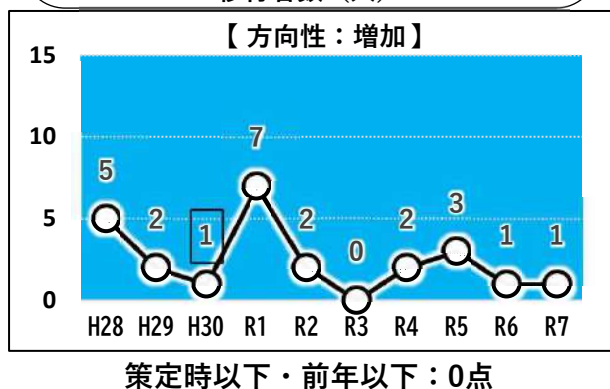
得点率 20.0% :

20点

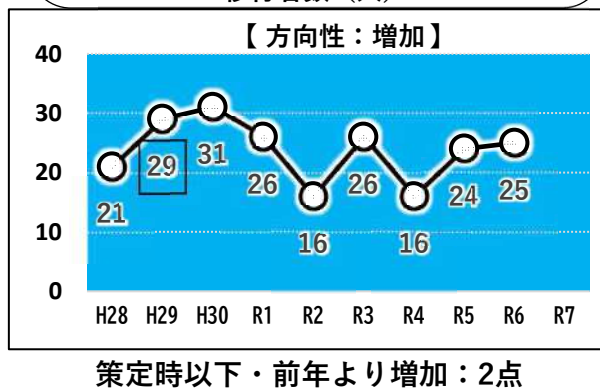
15点

10点

【図1-2】施設入所者の地域生活
移行者数（人）



【図1-3】福祉施設から一般就労への
移行者数（人）



※施策の推進に向けた市による事務事業や市民・企業等の様々な活動などによる地域社会の変化を把握するため、関連データの推移を示します。データの動向がグラフ枠上にある方向性に向かっていれば加点対象とします。

※□で囲んでいる箇所は計画策定時の数値です。



Ⅳ 施策評価

概ね順調に進んでいる

〔Ⅰ＋Ⅱ＋Ⅲ＝ 75点 /100点〕

障害の特性など、障害のある人の理解促進に向け、出前講座やおびひろ市民学における手話講座の開催、障害者週間記念事業の実施、ヘルプマークの配布などに取り組みました。また、令和6年度からは民間企業においても障害のある人への合理的配慮が義務化されたことから、SNS等を活用した情報発信や制度の周知に加え、帯広市地域自立支援協議会の権利擁護部会において、問題意識の共有や課題解決に向けた協議を行いました。令和7年度には手話言語条例制定10周年記念事業を実施し、体験を通じた障害への理解促進にも取り組みました。今後も、障害のある人が社会参加できる機会を創出するなど、誰もが地域社会の一員として共生するまちづくりを進めていきます。

障害のある人が安心して暮らせる地域社会の構築に向け、相談支援や生活介護・短期入所など障害福祉サービスを提供するとともに、圏域相談支援事業所を活用した相談機能の充実を図りました。近年では、グループホームや短期入所、日中活動系サービスの事業所など、障害特性に応じたサービスを提供できる事業所が増えており、施設入所だけでなく地域で暮らすための選択肢が徐々に広がってきていますが、「施設入所者の地域生活移行者数【図1-2】」は前年と同じ、1人となっています。今後も、地域移行をより進めていくため、支援ニーズの把握に努めながら、地域で暮らす障害のある人のさらなる支援体制の充実を図っていく必要があります。

障害のある人への就労支援については、企業に対する障害者雇用の啓発活動等に継続して取り組んできたことで、「福祉施設から一般就労への移行者数【図1-3】」は前年より増加しました。今後も、企業訪問やマッチングの成功事例の周知などを通じ、企業における障害者雇用や定着支援への理解促進、就労支援事業所支援員のスキルアップに向けた働きかけなどを進め、一般就労につなげていく必要があります。

施策全体としては、事務事業の進捗状況が40点、目指そう指標の進捗状況が25点、関連データの状況が10点となっており、目指す姿の実現に向け、「概ね順調に進んでいる」と評価します。



施策 6 医療を身近に安心な暮らしをつくる – 医療体制の安定的確保 –



目指す姿

十勝圏全体で連携し、安心して医療を受けることのできる医療体制が確保され、市民の健康が守られています。



I 事務事業の進捗状況

進捗率 100.0% :

40点

30点

25点

【事務事業の主な取り組み】

- 地域医療体制の安定化を図るため、看護師等の養成機関への支援により、医療に従事する人材を確保。
- 帯広市休日夜間急病センターの運営により、夜間、休日でも受診可能な医療体制を確保。
- 二次救急や三次救急に係る体制の構築のため、医療機関や関係機関と連携するとともに、帯広厚生病院をはじめとする関係医療機関へ十勝全体で運営費を支援。



帯広市休日夜間急病センター



Ⅱ 目指そう指標の進捗状況

進捗率 238.2% :

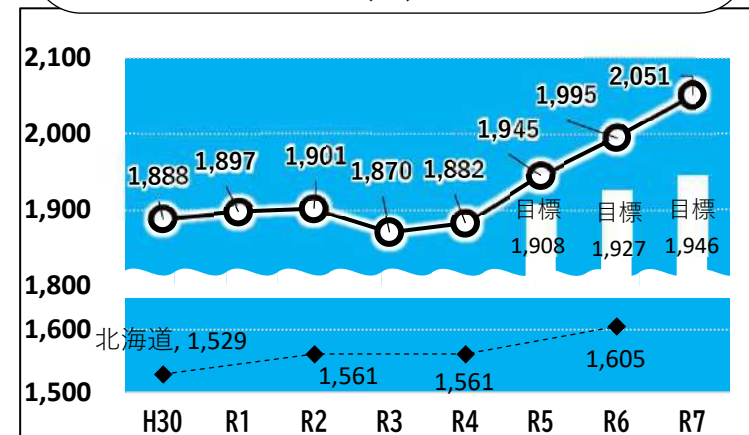
40点

30点

25点

目指そう指標名			方向性
10万人あたりの看護師就業者数			↗
指標の考え方	医療機関等による看護師等の雇用・職場環境づくりの取り組みや、市による看護師養成機関への支援などにより、増加を目指します。	基準値 (R3)	1,870人
		実績値 (R7)	2,051人
		目標値 (R7)	1,946人

【図1-1】10万人あたりの看護師就業者数
(人)



【指標の動向・要因分析】

「10万人あたりの看護師就業者数」は2,051人であり、目標値を達成しました。

市内看護学校による看護師養成のほか、看護学生に対する地域内の就労先に関する情報提供により、看護師等の市内定着率が増加したものと考えます。

今後も、高齢化の進行による医療需要の増加に伴い、看護師等の医療に従事する人材不足が見込まれることから、引き続き関係機関と連携しながら看護師の養成や管外へ進学した卒業生への働きかけなどを通し、看護師の確保に努めていく必要があります。



Ⅲ 関連データの状況

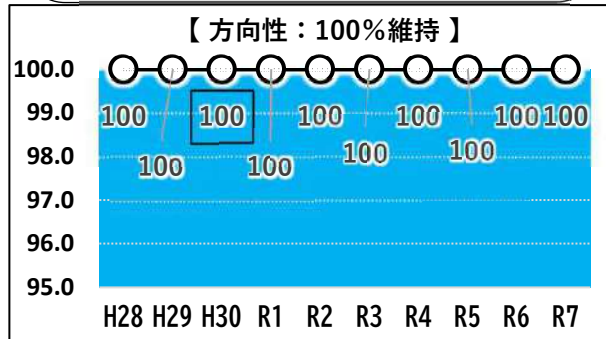
得点率 75.0% :

20点

15点

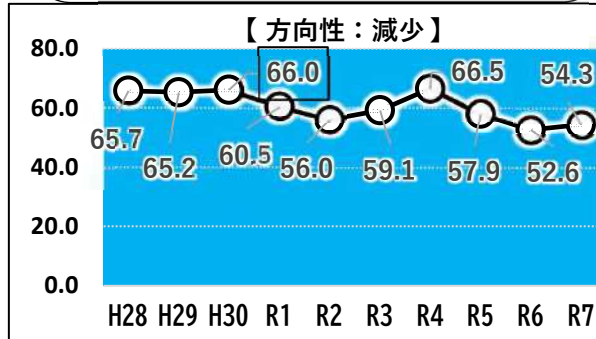
10点

【図1-2】 初期救急医療の対応可能日数の割合 (%)



基準以上：3点

【図1-3】 救命救急センターにおける一次救急患者の利用割合 (%)



策定時より減少・前年以上：3点

※施策の推進に向けた市による事務事業や市民・企業等の様々な活動などによる地域社会の変化を把握するため、関連データの推移を示します。データの動向がグラフ枠上にある方向性に向かっていれば加点対象とします。

※□で囲んでいる箇所は計画策定時の数値です。



IV 施策評価

順調に進んでいる

〔Ⅰ＋Ⅱ＋Ⅲ＝ 95点 /100点〕

看護師の確保に向け、市内看護学校による看護師養成や管内就労先の情報提供などに取り組み、看護師等の市内定着率が73.8%と前年より増加したほか、「10万人あたりの看護師就業者数【図1-1】」の増加にもつながったと考えます。

帯広市医師会看護専門学校においては、地域の特色や課題に対応できるよう、人材育成が進められており、こうした取り組みへの支援を通し、地元養成・地元就職の意識の醸成を図り、地域における看護師確保につなげていく必要があります。

十勝圏域全体の救急医療体制を確保するため、休日夜間急病センターの運営をはじめ、町村や関係機関と連携した在宅当番医制など夜間・休日の救急体制を整備し、「初期救急医療の対応可能日数の割合【図1-2】」は、100%を維持しています。また、広報紙やホームページにおける適切な救急医療の利用についての周知や、帯広市急病テレホンセンターによる救急医療情報の提供などにより、救急医療の適切な利用が図られたことで、「救命救急センターにおける一次救急患者の利用割合【図1-3】」は昨年度より増加しているものの、策定時より減少しています。今後も、医療機関や関係機関と連携しながら、救急医療体制を確保していく必要があります。

施策全体としては、事務事業の推進状況が40点、目指そう指標の進捗状況が40点、関連データの状況が15点となっており、目指す姿の実現に向け、「順調に進んでいる」と評価します。



施策 7 誰もが安心できる暮らしの支えになる－社会保障制度の持続性の確保－



目指す姿

国民健康保険や介護保険、生活保護などの社会保障制度の持続性が確保され、市民が安心して暮らしています。



I 事務事業の進捗状況

進捗率 95.2% :

40点

30点

25点

【事務事業の主な取り組み】

- 国民健康保険の医療費の適正化を図るため、医療費通知の実施やジェネリック医薬品の使用促進、重複・頻回受診者への指導を実施。
- 疾病の早期発見・重症化予防や生活習慣改善に関する市民の理解促進のため、ドック事業や特定健康診査・特定保健指導を実施。
- 介護保険制度の安定的な運営と介護サービス利用者へのサービス向上のため、要介護認定や介護報酬請求の適正化のほか、低所得者の利用料負担を軽減。
- 保護を必要とする人の早期把握や被保護者に対する制度の適切な運用、就労支援などを通じた自立支援を実施。
- 保護に至る前の生活困窮者対策として、自立相談支援や子供の学習支援、住居確保給付金の支給など、生活全般にわたる包括的な支援を実施。



「介護の日」パネル展の様子



Ⅱ 目指そう指標の進捗状況

進捗率 0.0% :

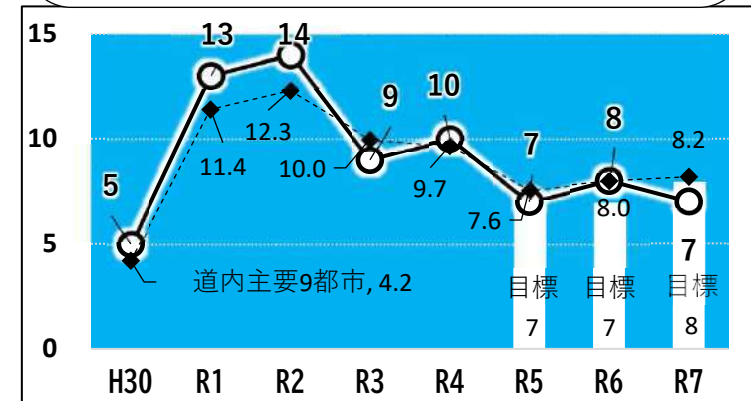
40点

30点

25点

目指そう指標名			方向性
介護保険運営の安定化に資する取組項目数			↗
指標の考え方	市民が介護保険制度に対する理解を深め、市によるケアプランの点検や介護人材の確保に関する取り組みなどにより、増加を目指します。	基準値 (R3)	7項目
		実績値 (R7)	7項目
		目標値 (R7)	8項目

【図1-1】介護保険運営の安定化に資する取組項目数（項目）



※道内主要9都市：札幌市、旭川市、函館市、苫小牧市、釧路市、江別市、北見市、小樽市、帯広市

【指標の動向・要因分析】

「介護保険運営の安定化に資する取組項目数」は7項目であり、目標を達成しませんでした。

市では介護保険制度の安定的な運営につなげるため、国が示す取組項目である、ケアプランの点検やケアマネジャーの給付適正化に資する研修会の実施、介護士定着支援研修会、介護の仕事の魅力を伝達するための研修会などを実施していますが、研修日程が受講予定者の希望日と合わないことなどにより、受講人数が減少したことから、未達成となったものです。

今後も、高齢者人口の増加が見込まれることから、これまでの介護サービス事業所への案内に加え、市ホームページの掲載や、研修日程等に関するアンケートの実施により受講者の増加を図るなど、引き続き、介護保険制度のより安定した運営に向け、介護給付の適正化や効果的な介護人材の確保に向けた取り組みを進めていきます。



Ⅲ 関連データの状況

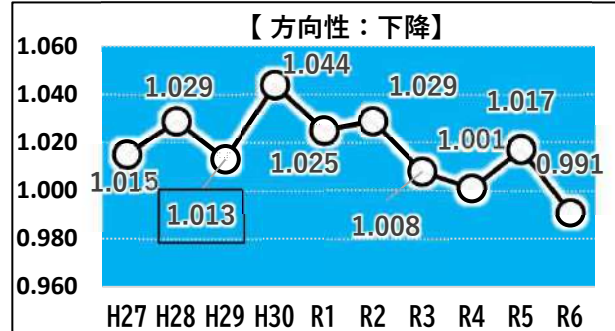
得点率 100.0% :

20点

15点

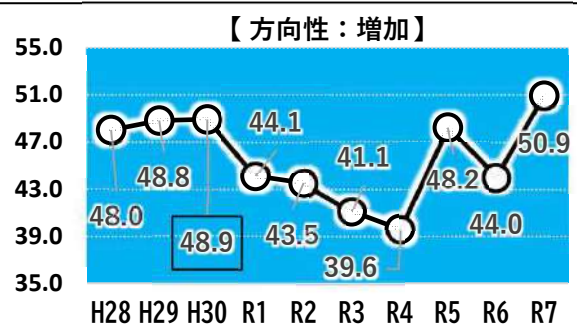
10点

【図1-2】医療費の地域差指数
(全国平均=1.000)



策定時より減少・前年より減少：5点

【図1-3】稼働可能な被保護者に対する就
労者の占める割合（％）



策定時より増加・前年より増加：5点

※施策の推進に向けた市による事務事業や市民・企業等の様々な活動などによる地域社会の変化を把握するため、関連データの推移を示します。データの動向がグラフ枠上にある方向性に向かっていれば加点対象とします。

※□で囲んでいる箇所は計画策定時の数値です。



IV 施策評価

概ね順調に進んでいる

〔Ⅰ＋Ⅱ＋Ⅲ＝ 85点 /100点〕

国民健康保険制度では、医療費通知の実施やジェネリック医薬品の使用促進、重複・頻回受診者への指導のほか、ドック事業や特定健康診査・特定保健指導などを行っています。一人当たりの医療費の全国との差を示す「医療費の地域差指数【図1-2】」は前年より改善し、計画策定時及び全国平均を下回る状況となりました。引き続き、国民健康保険制度のより安定した運営に向け、医療費の適正化や疾病の早期発見・重症化予防に向けた取り組みを進めていきます。

介護保険制度については、給付費の適正化に向けたケアプランの点検やケアマネジャーを対象とした研修会の実施のほか、「介護士定着支援研修会」の開催などによる介護人材確保・育成に取り組んできましたが、「介護保険運営の安定化に資する取組項目数【図1-1】」は目標を下回る状況となっております。今後は、研修会の受講者数増加に向けた取り組みなどにより取組項目数の達成を目指すとともに、介護保険制度のより安定した運営に向け、介護給付の適正化や効果的な介護人材の確保に向けた取り組みを進めていきます。

生活保護制度については、生活保護に至る前の相談支援に加え、自立支援プログラムの実施、ハローワークや委託先事業所と連携した就労支援など被保護者の自立を助長する取り組みを進めてきており、「稼働可能な被保護者に対する就労者の占める割合【図1-3】」は、前年や計画策定時より上回る状況となっています。今後も関係機関等と連携を強化し、被保護者個々の置かれている状況や能力に応じた就労につながるよう、適切に支援を行っていく必要があります。

施策全体としては、事務事業の進捗状況が40点、目指そう指標の進捗状況が25点、関連データの状況が20点となっており、目指す姿の実現に向け、「概ね順調に進んでいる」と評価します。



施策8 世界に冠たる十勝農業を創る ― 農林業の振興 ―



目指す姿

農業者や関係機関等による生産性や収益性向上に向けたチャレンジが続けられ、競争力の高い農業が展開されています。



Ⅰ 事務事業の進捗状況

進捗率 86.1% :

40点

30点

25点

【事務事業の主な取り組み】

- 農業経営の高度化・安定化の実現や優れた経営能力を持つ担い手の育成・確保を図るため、農業者向け研修会や農林業育成資金の貸付などを実施。
- 環境負荷を低減するため、クリーン農業技術の情報提供や環境保全に取り組む農業者への支援を実施。
- 経営規模の拡大や農業従事者の不足への対応、労働負担軽減等のため、ロボット技術や情報通信技術（ICT）などの先端的な技術の導入を支援。
- 安全・安心で良質な農畜産物の生産のため、国際水準GAPに関する資料の配布のほか、病害虫への抵抗性や環境適応の高い新品種などの導入を支援。
- 畜産経営の安定化や和牛生産の普及を図るため、とち帯広和牛生産改良組合の活動を支援したほか、全国和牛能力共進会の開催に向けたPR活動・支援を実施。
- 十勝農業の魅力向上や理解促進を図るため、ホームページでの情報発信のほか、食育推進サポーターによる食育講座や農業体験機会の提供などを実施。
- 農業生産体制の強化を図るため、かんがい排水施設の整備のほか、土層改良などの生産基盤整備や保全管理を実施。
- 農村地域の活性化を図るため、農業センターの維持管理のほか、農道や明渠の草刈り・補修等、地域における共同活動への支援を実施。
- 森林の多面的機能の維持増進を図るため、市有林の適切な維持・管理のほか、森林経営計画作成支援などによる私有林所有者の森林整備の促進や担い手の育成等を実施。
- ばんえい競馬を安定的に運営するため、生産者への奨励金の支給や競馬の公正確保、全国の公営競技ファンに向けた情報発信、勝馬投票券の発売日数や発売所の維持の取り組みのほか、ばん馬との触れ合い機会を通じたPR活動を実施。



かんがい排水施設の整備の様子



Ⅱ 目指そう指標の進捗状況

進捗率 96.6% :

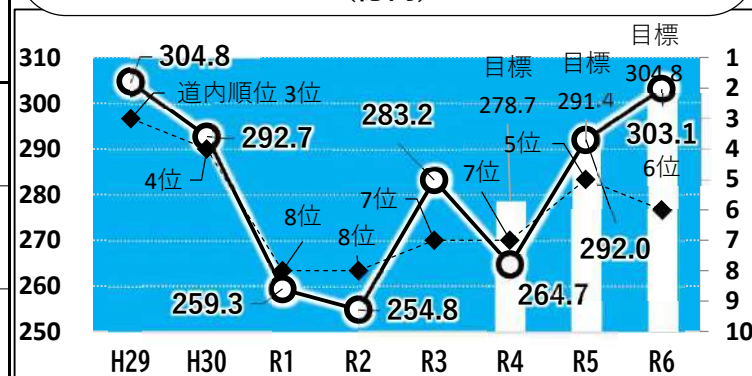
40点

30点

25点

目指そう指標名		方向性
農業産出額（農林水産省推計値）		↑
指標の考え方		基準値 (R2)
		実績値 (R6)
		目標値 (R6)
市と農業者・農業団体などが連携しながら、収益性向上や担い手育成の取り組みなどを進めることにより、増加を目指します。		254.8億円 303.1億円 304.8億円

【図1-1】農業産出額（農林水産省推計値）
（億円）



【指標の動向・要因分析】

「農業産出額（農林水産省推計値）」は303.1億円であり、前年から11.1億円増加したものの、目標を達成できませんでした。

畜産部門が18.5億円増加した一方で、耕種部門は7.4億円減少しました。豆類が6.6億円増、てん菜が4.8億円増となったものの、長いもが12.4億円減、小麦が3.0億円減となったことから、目標値には届きませんでした。国は、R6年産のやまのいも（長いも）について、北海道全体で春掘りに凍害が発生したこと等により、収量が前年産を下回ったとしており、本市の推計値の減少も、こうした全道的な傾向と同様の要因によるものと考えられます。

市では、生産基盤整備の促進、先端的な技術及び農業機械の導入支援、環境保全型農業の推進、農業団体との連携による黒毛和牛の生産振興、農業者向け研修会の開催などに取り組んできており、市が生産者団体等から聴取した数値をもとに推計した農業産出額（R5：354億円→R6：358億円）は、過去最高となりました。国の推計値とは算定方法が異なるため単純に比較することはできませんが、堅調に推移しているものと捉えています。

今後も、農業団体・農業者との連携のもと、先端的な技術のさらなる導入促進や長いもをはじめとした高収益作物の品質向上などを通し、効率的で収益性の高い農業振興や、農業の担い手育成・確保に取り組んでいく必要があります。

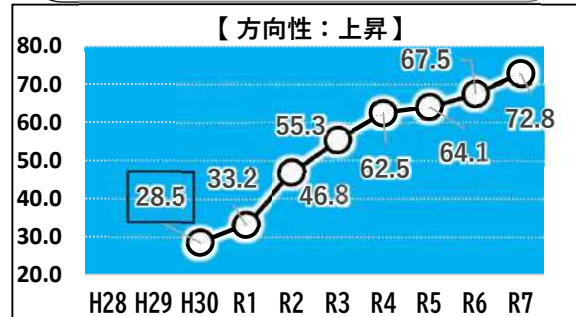


得点率 66.7% :

20点

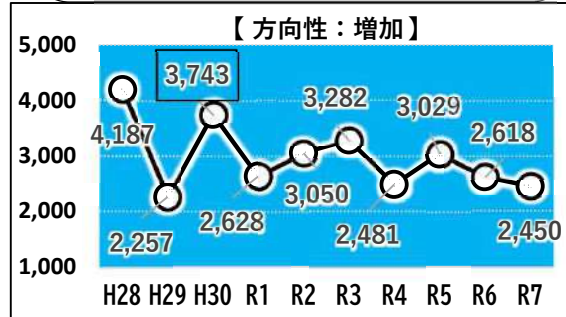
15点

10点

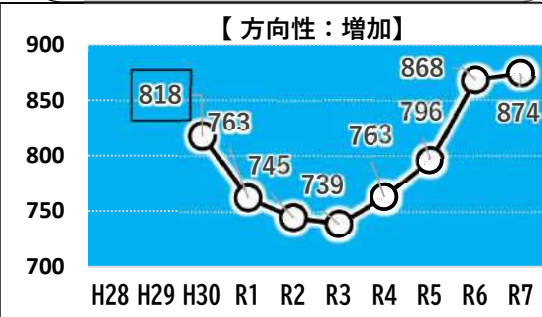
【図1-2】スマート農業普及率(※)
(%)

策定時より増加・前年より増加：5点

※スマート農業普及率＝
(GPS基地局利用農家数＋
搾乳ロボット等導入農家数)／全農家数

【図1-3】農畜産物輸出力
(t)

策定時以下・前年以下：0点

【図1-4】直近5年間の森林整備面積
(ha)

策定時より増加・前年より増加：5点

※施策の推進に向けた市による事務事業や市民・企業等の様々な活動などによる地域社会の変化を把握するため、関連データの推移を示します。データの動向がグラフ枠上にある方向性に向かっていれば加算対象とします。

※□で囲んでいる箇所は計画策定時の数値です。



IV 施策評価

概ね順調に進んでいる

〔Ⅰ＋Ⅱ＋Ⅲ＝ 85点 /100点〕

生産性や収益性の向上に向け、農業基盤整備や担い手の育成、資金貸付等を通じた先端的な技術の導入支援などに取り組んできており、「スマート農業普及率【図1-2】」の上昇につながったものと考えます。

一方、「農畜産物輸出量【図1-3】」は、輸出の大部分を占める長いものについて、国内外の需給状況の変化や流通経路の多様化に伴い、輸出向けの取扱量が減少したことなどにより、前年を下回っています。今後も、関係団体との協力のもと、主力品である長いもの品質向上や収量増加などの生産体制の強化を図り、販売価格の安定と輸出量の増加につなげていく必要があります。

農業への理解促進に向け、市管理施設における農業体験機会の提供や学校教育と連携した食育の推進などに取り組んできたことで、多くの市民が農業体験学習に参加し、イベント開催時に実施したアンケートでは、食育に関心を持っていると答えた市民の割合は前年から増加しました。今後も、学校や関係団体等と連携し、農業技術センター食育展示圃場や帯広の森サラダ館の学童農園を利用した農業体験学習、農産物直売所の支援などに取り組み、市民の農業への関心を高めていく必要があります。

森林の適正な管理・保全に向け、森林経営計画作成支援などによる私有林の整備促進のほか、造林や間伐など、市有林の適切な維持・管理に取り組んできたことで、森林所有者の負担軽減や作業員の雇用確保のほか、森林資源の有効活用が進みました。また、北海道からの補助金配分が前年比で増加したことなどにより、「直近5年間の森林整備面積【図1-4】」も増加しました。今後も、市有林の計画的な施業や私有林所有者に対する森林環境譲与税を活用した施業支援などを進め、整備の促進につなげていく必要があります。

ばんえい競馬の安定した運営に向け、生産者への支援やばんえい競馬の魅力の発信、勝馬投票券の発売額増加に向けた取り組みなどを進めてきたことにより、インターネット投票での売上を中心に発売額の増加につながっています。

施策全体としては、事務事業の進捗状況が40点、目指そう指標の進捗状況が30点、関連データの状況が15点となっており、目指す姿の実現に向け、「概ね順調に進んでいる」と評価します。



施策 9 「とちのかち」を創り続ける ― 地域産業の活性化 ―



目指す姿

地域資源や人材等を活かし、市場ニーズを捉えた商品やサービス等が創出・提供され、産業の活性化や雇用の拡大につながっています。



Ⅰ 事務事業の進捗状況

進捗率 77.8% :

40点

30点

25点

【事務事業の主な取り組み】

- 地場産品の付加価値向上を図るため、包括連携企業と地元企業の協業による商品開発支援のほか、農業団体・研究機関や域外事業者へのニーズ調査など、6次産業化の推進に向けた取り組みを実施。
- 地元企業の製品開発や販路拡大を促進するため、知的財産・技術に関する相談や資金面での支援から指導・助言に至るまでの総合的なものづくり支援、展示会等への出展支援を実施。
- 地元企業の経営基盤強化のため、経営相談や制度融資を実施。
- 商店街の活性化を図るため、商店街が主体となって取り組む提案事業への支援を実施。
- 企業立地を促進するため、企業訪問活動による情報収集や立地企業が行う設備投資への支援を実施。
- 地域の経済発展に貢献する人材を育成するため、帯広畜産大学などと連携し、フードバレーとちかち人材育成事業等を実施したほか、学び直しの環境づくりとして、とちかち熱中小学校の取り組みへの支援を実施。
- 新事業の創発を促すため、産学官連携による人材育成や事業構想づくり、事業化までの伴走型支援等、総合的に支援を実施。
- 勤労者が安心して働ける環境づくりのため、事業所雇用実態調査や労働相談のほか、子育て応援事業所への奨励金の給付、とちかち勤労者共済センターの運営支援を実施。
- 求職者の状況に応じた多様な就職機会の確保のため、域外人材と地元企業のマッチングや高齢者の就労支援、通年雇用化に向けた能力開発支援を実施。
- 輸出の促進やインバウンドを獲得するため、商談会の開催支援や空港の利用促進に向けたプロモーション活動を実施。



新たな事業構想を生み出す
「とちかち・イノベーション・プログラム」



II 目指そう指標の進捗状況

進捗率 ▲63.2% :

40点

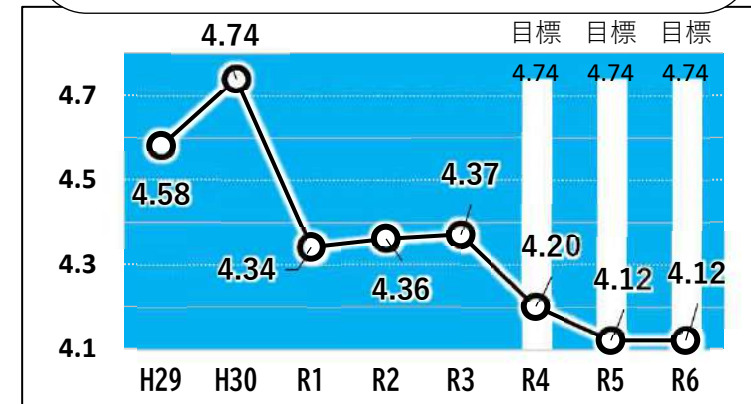
30点

25点

目指そう指標名			方向性
北海道内主要都市※に占める帯広市の法人市民税賦課金額の割合			↑
指標の考え方	市や関係団体等による経営基盤の強化や、事業者等による商品・サービスの開発・提供など地域の価値を高める取り組みにより、上昇を目指します。	基準値(R2)	4.36%
		実績値(R6)	4.12%
		目標値(R6)	4.74%

※2018年時点における人口10万人以上の都市

【図1-1】北海道内主要都市に占める帯広市の法人市民税賦課金額の割合（%）



【指標の動向・要因分析】

「北海道内主要都市に占める帯広市の法人市民税賦課金額の割合」は4.12%であり、目標を達成しませんでした。

前年と比べて、法人市民税賦課金額は増加したものの、他の道内主要都市においても同様の傾向にあり、結果として、道内主要都市に占める帯広市の割合は、変わらず横ばいで推移しました。

今後も、関係機関と連携しながら、地元企業の事業継続を支援するほか、設備投資に対する助成などを通じた企業立地や域外人材との協業などを通じた顧客ニーズの高い商品の開発、販路の拡大を支援し、地元企業の経営基盤の強化につなげていく必要があります。



Ⅲ 関連データの状況

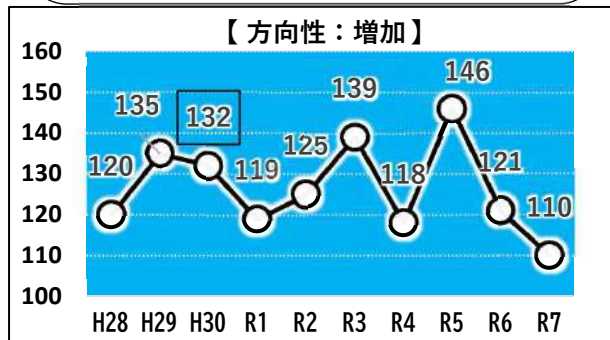
得点率 53.3% :

20点

15点

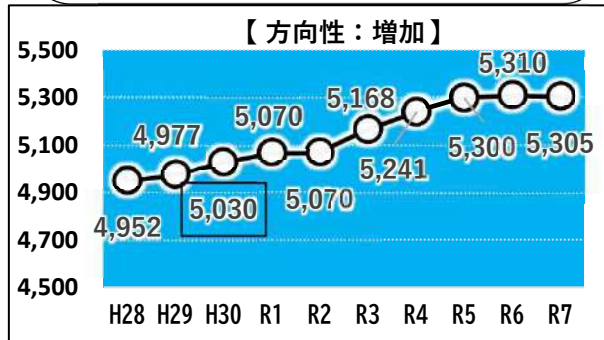
10点

【図1-2】創業・起業件数
(件)



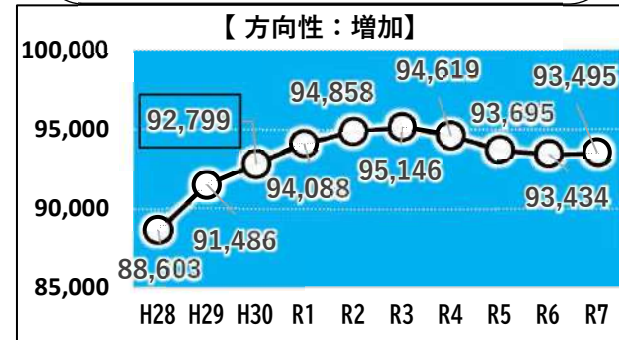
策定時以下・前年以下：0点

【図1-3】法人市民税賦課法人数
(件)



策定時より増加・前年以下：3点

【図1-4】雇用保険被保険者数
(人)



策定時より増加・前年より増加：5点

※施策の推進に向けた市による事務事業や市民・企業等の様々な活動などによる地域社会の変化を把握するため、関連データの推移を示します。データの動向がグラフ枠上にある方向性に向かっていれば加点対象とします。

※□で囲んでいる箇所は計画策定時の数値です。



IV 施策評価

さらなる進捗が必要

〔Ⅰ＋Ⅱ＋Ⅲ＝ 65点 /100点〕

地域の農林水産物の付加価値向上に向け、包括連携企業と連携した商品開発支援に取り組み、複数企業における新たな乳製品の開発を後押ししたほか、十勝産品を活用したスイーツなどについて開発から首都圏やE Cサイトでの販路拡大までの一連の取り組みを支援しました。今後も、生産者や企業、試験研究機関等と連携し、農林水産物の高付加価値化に向けた取り組みを推進していく必要があります。

「創業・起業件数【図1-2】」は、前年と比べて、減少しているものの、創業・起業の促進に向け、関係機関と連携し、総合的な事業創発支援などを進めてきたことで、新たな法人の設立や事業の創出につながっています。今後も、さらなる事業創発に向け、事業の周知を強化することにより、起業候補者の裾野拡大につなげていく必要があります。

「法人市民税賦課法人数【図1-3】」は、前年と比べて、ほぼ横ばいとなっておりますが、中小企業の経営基盤の強化に向け、経営に関する相談対応や制度融資などに取り組むことで、産業の活性化につなげ、法人市民税賦課金額が前年に比べて増加しました。今後も、関係機関と連携しながら、きめ細かな相談対応や各種制度の周知の強化などを通し、中小企業の経営基盤強化につなげていく必要があります。

生き生きと安心して働ける雇用環境の確保に向け、多様な人材と地元企業とのマッチングや通年雇用化の促進、働きやすい職場環境づくりを進めてきたことで、移住者・高齢者の地元企業への就職が着実に進んでいます。「雇用保険被保険者数【図1-4】」も、前年と比べて増加しており、今後も、雇用確保に向けた取り組みの周知を行い、雇用の定着を図っていきます。

施策全体としては、事務事業の進捗状況が30点、目指そう指標の進捗状況が25点、関連データの状況が10点となっており、目指す姿の実現に向け、「さらなる進捗が必要」と評価します。



施策10 アウトドアの聖地にする ―観光の振興―



目指す姿

食や農業、自然などの地域資源を活かした、この地域ならではのアクティビティやイベントなどを求め、国内外から多くの人が訪れ、滞在することで、にぎわいが生まれています。



I 事務事業の進捗状況

進捗率 41.7% :

40点

30点

25点

【事務事業の主な取り組み】

- 地域資源を活かした体験・滞在型観光を推進するため、教育旅行向けコンテンツの造成、ガイド育成事業の実施、関係団体との連携による地域固有の歴史と文化を活かした新たな観光コンテンツの開発などを実施。
- にぎわい創出や交流人口の拡大を図るため、三大まつり等各種イベントの開催支援を実施。
- 市内観光入込客数の拡大を図るため、地域の魅力を活かした観光客、大会・合宿・コンベンションの誘致活動を実施。
- 訪日外国人旅行者の都市間周遊を促すため、道内他地域と連携したFAMトリップ（※）等のプロモーションを実施。
- 観光客の利便性向上や受け入れ環境の充実を図るため、観光施設等の適切な管理運営や観光関連団体への支援などを実施。
- とちぎ帯広空港の利用促進を図るため、関係機関と連携した路線誘致活動等を実施。＜再掲：施策11＞
- 宿泊税の導入に向けた条例の制定



エアロK航空
清州ーとちぎ帯広定期便就航セレモニー

※Familiarization Tripの略。ターゲットとする国の旅行事業者やメディアなどを対象とした現地視察。



Ⅱ 目指そう指標の進捗状況

進捗率 150.0% :

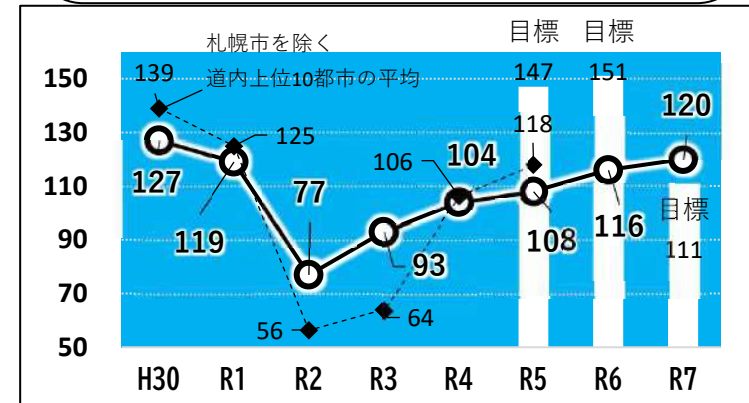
40点

30点

25点

目指そう指標名			方向性
宿泊客延べ数			↑
指標の考え方	市や関係団体等による魅力ある観光情報の発信や、観光コンテンツの開発・提供などにより、増加を目指します。	基準値 (R3)	93万人泊
		実績値 (R7)	120万人泊
		目標値 (R7)	111万人泊

【図1-1】宿泊客延べ数
(万人泊)



【指標の動向・要因分析】

「宿泊客延べ数」は120万人泊であり、目標を達成しました。

地域資源を活かした体験・滞在型観光を推進するため、関係団体と連携しながら地域固有の歴史と文化を活かした新たな観光コンテンツの開発などに取り組んだほか、訪日外国人旅行者の誘客促進に向け、韓国定期便の就航、観光関係団体と連携したプロモーション活動や道内他地域と連携した広域観光に取り組んできたことで、国内外からの宿泊客延べ数が着実に増加しており、訪日外国人宿泊客延べ数は、前年から3割増加し、着実に効果が現れてきていると考えます。

今後は、日本国内におけるインバウンド需要の動向を捉え、訪日外国人旅行者をさらに十勝へ誘客するため、新たに導入した宿泊税も活用しながら観光コンテンツの充実を図るほか、空港運営者など関係団体と連携し、国際定期便の定着に向けた取り組みや海外へのプロモーション活動、宿泊施設等の受け入れ環境の整備に取り組む必要があるものと考えます。



Ⅲ 関連データの状況

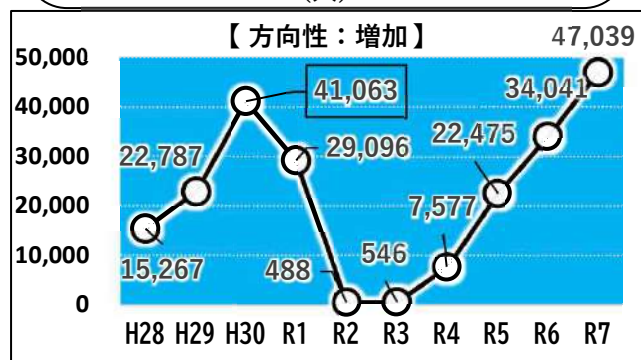
得点率 100.0% :

20点

15点

10点

【図1-2】 訪日外国人宿泊客延べ数
(人)



策定時より増加・前年より増加：5点

※施策の推進に向けた市による事務事業や市民・企業等の様々な活動などによる地域社会の変化を把握するため、関連データの推移を示します。データの動向がグラフ枠上にある方向性に向かっていれば加点対象とします。

※□で囲んでいる箇所は計画策定時の数値です。



IV 施策評価

概ね順調に進んでいる

〔Ⅰ＋Ⅱ＋Ⅲ＝ 85点 /100点〕

地域資源を活かした体験・滞在型観光を推進するため、教育旅行向けコンテンツの造成、ガイド育成事業の実施のほか、関係団体との連携による地域固有の歴史と文化を活かした新たな観光コンテンツの開発などに取り組んできました。

また、十勝における訪日外国人旅行者の誘客促進に向け、韓国定期便の就航、観光関係団体と連携したプロモーション活動や道内他地域と連携した広域観光に取り組んできたほか、観光情報発信拠点の運営、SNS等を活用した情報発信などを進めてきました。

「宿泊客延べ数【図1-1】」は、近年、増加傾向で推移し、とりわけ「訪日外国人宿泊客延べ数【図1-2】」については、前年から3割増となっており、着実に効果が現れてきています。

今後は、訪日外国人からの需要がさらに高まることを見込まれるため、関係機関と連携し、これまでに造成してきたツアーの販路拡大に向けてプロモーション活動に取り組むほか、新たに導入した宿泊税も活用しながら受入環境の充実や効果的な情報発信に取り組むことで、さらなる観光客の誘客につなげていく必要があると考えます。

施策全体としては、事務事業の進捗状況が25点、目指そう指標の進捗状況が40点、関連データの状況が20点となっており、目指す姿の実現に向け、「概ね順調に進んでいる」と評価します。



施策11 つなげて広げるビジネスチャンス ― 広域交通ネットワークの充実 ―



目指す姿

広域交通ネットワークの充実が図られ、人やモノなどが活発に行き交い、にぎわいと活力にあふれています。



I 事務事業の進捗状況

進捗率 85.7% :

40点

30点

25点

【事務事業の主な取り組み】

- とち帯広空港の利用促進を図るため、関係団体と連携したプロモーション活動等を実施。
- 空港機能の維持向上のため滑走路端安全区域整備工事や車両基地・電源局舎更新工事を実施。
- 北海道エアポート(株)の空港運営に対するモニタリングを実施。
- 広域的な交通ネットワークの形成を図るため、高規格道路帯広・広尾自動車道早期建設促進期成会等を通じた高規格道路の整備に関する要望活動を実施。
- 鉄道輸送の利便性の向上を図るため、北海道高速鉄道開発株式会社を通じたJR石勝線・根室本線の高速化等の促進のほか、十勝圏活性化推進期成会を通じた国や北海道に対する鉄道網の維持等に関する要望活動を実施。
- 十勝港の港湾機能の整備や利活用を促進するため、十勝圏活性化推進期成会を通じた国や北海道等に対する要望活動を実施。



航空会社・空港運営者等と連携した
プロモーション



Ⅱ 目指そう指標の進捗状況

進捗率 104.5% :

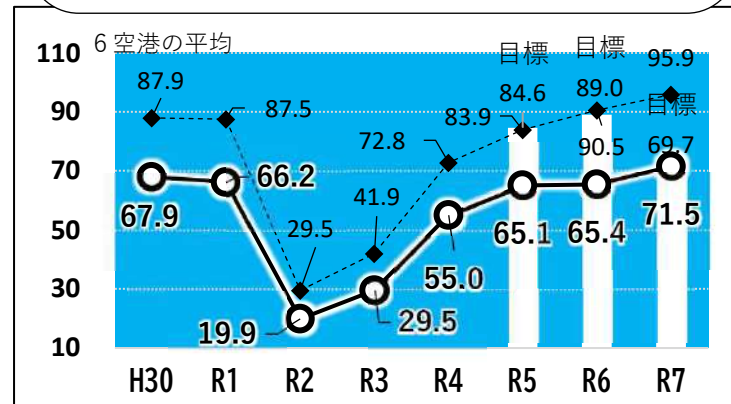
40点

30点

25点

目指そう指標名			方向性
空港旅客数			↑
指標の考え方	市や民間事業者等による空港利用促進に向けた取り組みなどにより、増加を目指します。	基準値 (R3)	29.5万人
		実績値 (R7)	71.5万人
		目標値 (R7)	69.7万人

【図1-1】 空港旅客数
(万人)



※ 6空港：稚内、釧路、函館、旭川、女満別、帯広

【指標の動向・要因分析】

「空港旅客数」は71.5万人であり、目標を達成しました。

とちち帯広空港の利用促進に向け、航空会社との情報交換のほか、関係団体と連携した国内外の航空会社へのプロモーション活動などに取り組んできたことで、とちち帯広空港初の国際定期便となるエアロK航空（韓国線）が就航したことなどが空港旅客数が増加した要因と推察されます。

今後も、空港運営者による路線誘致などと歩調を合わせ、航空需要の拡大に向けた取り組みを継続して進めていく必要があります。



Ⅲ 関連データの状況

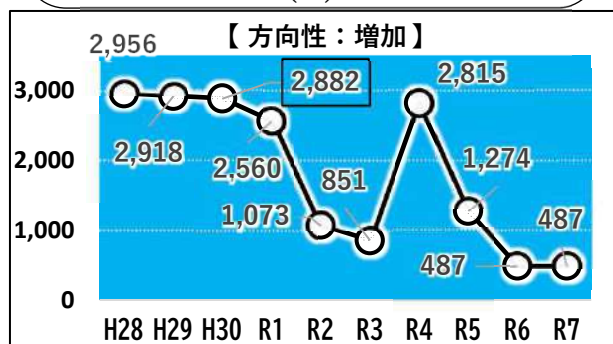
得点率 46.7% :

20点

15点

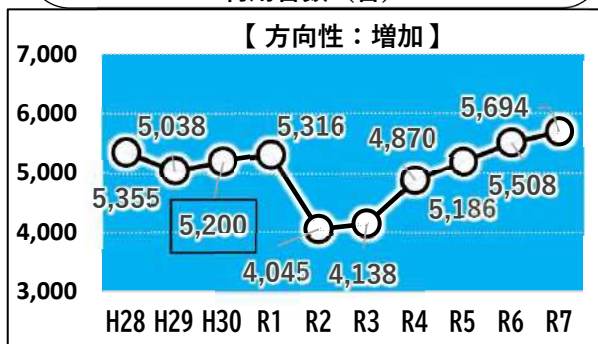
10点

【図1-2】 航空貨物取扱量
(t)



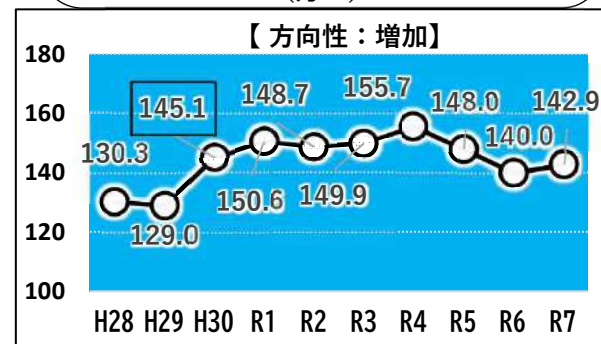
策定時以下・前年以下：0点

【図1-3】 道東自動車道の1日あたり
利用台数 (台)



策定時より増加・前年より増加：5点

【図1-4】 十勝港取扱貨物量
(万 t)



策定時以下・前年より増加：2点

※施策の推進に向けた市による事務事業や市民・企業等の様々な活動などによる地域社会の変化を把握するため、関連データの推移を示します。データの動向がグラフ枠上にある方向性に向かっていれば加点対象とします。

※□で囲んでいる箇所は計画策定時の数値です。



Ⅳ 施策評価

順調に進んでいる

〔Ⅰ＋Ⅱ＋Ⅲ＝ 90点 /100点〕

十勝圏と他都市を結ぶ交通ネットワークの充実に向け、国や北海道等に対して、高規格道路の整備促進や鉄道網の維持、十勝港の港湾機能の整備・利活用促進等に関する要望活動などに継続的に取り組んできたことなどにより、高規格道路網の整備が進み、「道東自動車道の1日あたり利用台数【図1-3】」の増加や、道東自動車道「追分町～夕張」の4車線化の事業許可などにもつながっています。また、十勝港では、石炭や化学肥料などの貨物量（輸入）の増加に伴い、「十勝港取扱貨物量【図1-4】」は増加しており、物流拠点としての需要が高まっています。今後も、さらなる交通網の充実や利用促進に向け、管内町村や関係機関と連携した要望活動等に取り組んでいく必要があります。

空港については、関係団体と連携した国内外の航空会社へのプロモーション活動など、空港の利用促進につながる取り組みを進めてきたことで、「空港旅客数【図1-1】」は、前年と比較して増加しています。一方、「航空貨物取扱量【図1-2】」は、機材の小型化による搭載量の制限（コンテナでの搭載が不可）が続いており、前年と同程度となっております。今後も、空港運営者との連携のもと、とちか帯広空港の利用促進に取り組んでいく必要があります。

施策全体としては、事務事業の進捗状況が40点、目指そう指標の進捗状況が40点、関連データの状況が10点となっており、目指す姿の実現に向け、「順調に進んでいる」と評価します。



施策12 未来を拓く子どもとともに育む ―学校教育の推進―



目指す姿

学校・家庭・地域が連携し、子どもの学びや育ちを支援することにより、地域への誇り・愛着を持ち、新たな時代を切り拓く力を身に付けた子どもたちが育っています。



！事務事業の進捗状況

進捗率 94.6% :

40点

30点

25点

【事務事業の主な取り組み】

- ふるさと教育を拡充するため、全小・中学校及び義務教育学校での「おびひろ市民学」の実施や地域の特徴・特性・歴史などをまとめた社会科副読本「おびひろ」を発刊。
- 南商業高校において、就職や進学など生徒が希望する進路の実現を支援するため、進路説明会のほか、ビジネスマナーや各資格試験の講習、面接指導など人材育成を推進。
- 教員の指導力向上を図るため、長期休業中における「夏季・冬季教職員研修講座」やベテラン教職員のスキルアップを目的とした「エキスパート研修」、初任段階教員を対象とした研修会等を実施。
- 学校・家庭・地域が連携し、社会総がかりでの教育を実現するため、コミュニティ・スクールに関する研修会や学校支援地域本部事業、放課後子ども広場事業を実施。
- 「帯広市学校施設長寿命化計画」を推進するため、学校施設の個別改修を実施。
- プログラミング教育の推進のため、学習アプリを活用した授業を実施。
- 不登校の児童生徒に多様な学びの機会を提供するため、メタバース空間を活用したオンライン学習プラットフォームの「ひろびろチョイス」の運用や実体験活動を行うクラブチョイスなどを実施。
- 生徒のメンタルヘルスの悪化や小さなSOSの早期発見と支援につなぐため、心の健康観察アプリを全中学校及び義務教育学校で運用。
- 地域との協働による社会に開かれた教育課程の実現や未来を生きる子どもの資質・能力を育成する人づくり、地域づくりを推進するため、おびひろスクールコラボを実施。
- 小・中学校9年間を見通した学びや育ちを支えるため、「エリア公開研究会」の開催や小学校への乗り入れ授業、学力や体力の向上、生徒指導上の課題などを交流する「エリア会議」等を実施。



クラブチョイスでのe-スポーツ体験の様子

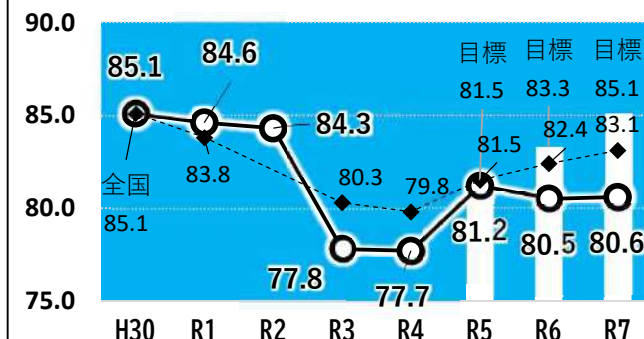


II 目指そう指標の進捗状況

小学6年	進捗率 38.4% :	20点	15点	12.5点
中学3年	進捗率 ▲89.5% :	20点	15点	12.5点

目指そう指標名			方向性	
将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合			↑	
指標の考え方	学校・家庭・地域が連携し、子どもたちに社会の一員としての意識を醸成するとともに、主体的な学びや、自ら問題を発見し、解決できる力の育成などを進めることにより、上昇を目指します。		小学6年	中学3年
		基準値 (R3)	77.8%	70.0%
		実績値 (R7)	80.6%	64.9%
		目標値 (R7)	85.1%	75.7%

【図1-1】 将来の夢や目標を持っている児童（小学6年生）の割合（%）



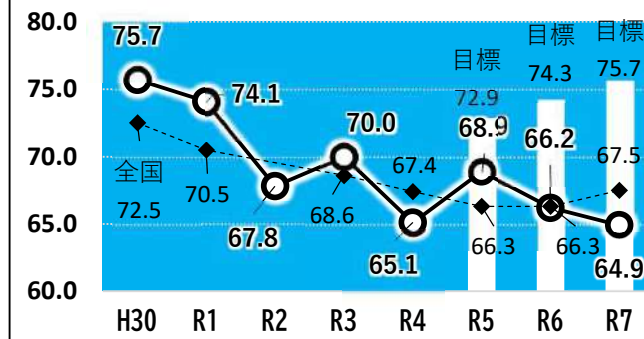
【指標の動向・要因分析】

「将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合」は、小学6年生が80.6%、中学3年生は64.9%であり、いずれも目標を達成しませんでした。

自然体験学習やキャリア研修、職場体験学習などを通じて、地域の自然や文化、産業への理解を深める取り組みを実施してきましたが、職業の多様化などを背景に将来の夢や目標の具体化につながっていないことが要因と考えられます。

今後も、地域住民や企業との連携によるおびひろスクールラボを促進するなど、引き続き児童生徒の主体的な学び、行動する力の育成を進めながら、児童生徒が自分の将来について考える機会の増加につなげていく必要があります。

【図1-2】 将来の夢や目標を持っている生徒（中学3年生）の割合（%）





Ⅲ 関連データの状況

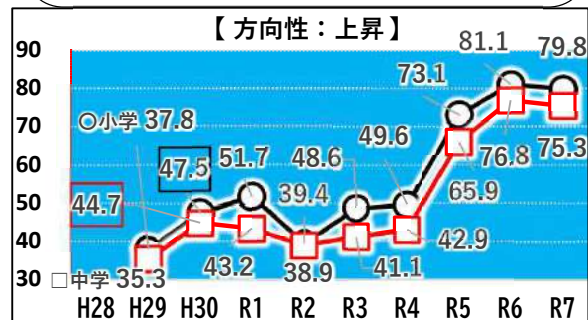
得点率 56.0% :

20点

15点

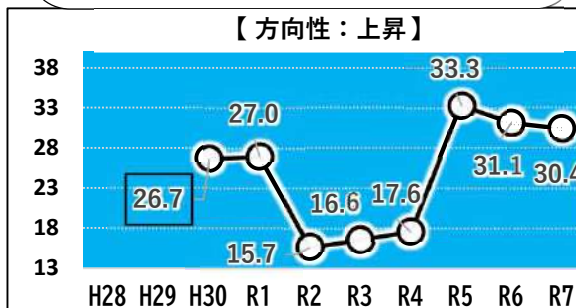
10点

【図1-3】地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがある子どもの割合（％）



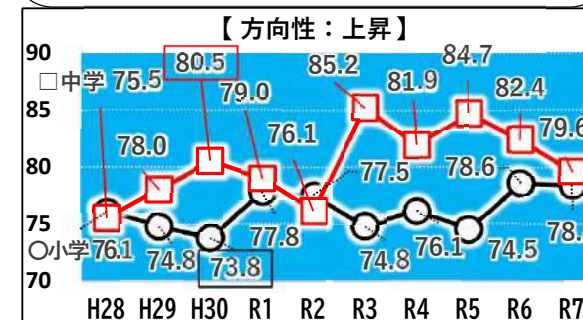
小学生(○)：策定時より増加・前年以下：1.5点
中学生(□)：策定時より増加・前年以下：1.5点

【図1-4】地域貢献活動に主体的に取り組んでいる生徒の割合（南商業高等学校）（％）



策定時より増加・前年以下：3点

【図1-5】授業において、課題の解決に向けて自ら考え取り組んでいると思う子どもの割合（％）



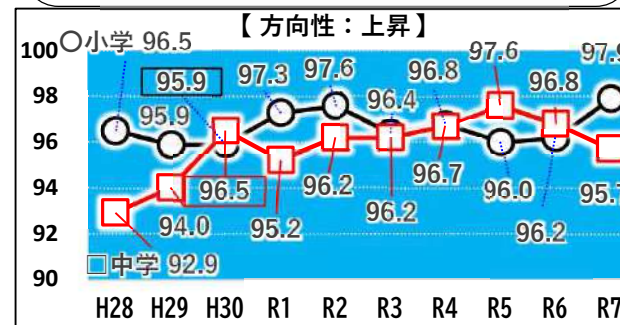
小学生(○)：策定時より増加・前年以下：1.5点
中学生(□)：策定時以下・前年以下：0点

【図1-6】小・中学校9年間を見通した授業を行っている学校の割合（％）



小学生(○)：策定時より増加・前年以下：1.5点
中学生(□)：策定時より増加・前年より増加：2.5点

【図1-7】「いじめは絶対に許されない」と考える児童生徒の割合（％）



小学生(○)：策定時より増加・前年より増加：2.5点
中学生(□)：策定時以下・前年以下：0点

※施策の推進に向けた市による事務事業や市民・企業等の様々な活動などによる地域社会の変化を把握するため、関連データの推移を示します。データの動向がグラフ枠上にある方向性に向かっていれば加対象とします。

※□で囲んでいる箇所は計画策定時の数値です。



Ⅳ 施策評価

概ね順調に進んでいる

〔Ⅰ＋Ⅱ＋Ⅲ＝ 75点 /100点〕

前向きに自己の将来について考える児童生徒の増加に向けて、キャリア教育や職場体験学習などの取り組みを進めてきましたが、「将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合【図1-1、1-2】」は小学校で微増し、中学校は減少しました。今後は、おびひろスクールラボの促進やキャリア教育のさらなる充実を図り、地域住民や企業との連携を通じて、児童生徒が自分の将来について考える機会を増やしていく必要があります。

地域社会の一員としての自覚を持ち、地域の課題解決に主体的に取り組む人材の育成に向け、全小・中学校及び義務教育学校における「おびひろ市民学」の実施や小学校社会科副読本「おびひろ」を通じた地域への理解促進など、外部人材と連携・協働しながら、ふるさと教育の推進や問題解決力の育成に取り組んできたことで、「地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがある子どもの割合【図1-3】」は、前年より減少したものの小・中学校ともに計画策定時より大きく増加しています。一方で、「授業において、課題の解決に向けて自ら考え取り組んでいると思う子どもの割合【図1-5】」は、小・中学校ともに前年より減少し、中学校では計画策定時より減少しています。今後は、各学校における授業内容の改善や地域と連携した教育活動を展開し、児童生徒の主体的な学びの実現に向けた取り組みを進めていく必要があります。

南商業高等学校においては、専門的な知識・技術を身に付け、地域で活躍する人材の育成に向け、外部講師を活用したビジネスマナー講座などの専門教育のほか、学校開放講座や地元飲食業者との商品開発、平原まつりの盆踊り参加、地域ボランティア活動を実施してきたことで、「地域貢献活動に主体的に取り組んでいる生徒の割合【図1-4】」は、計画策定時を上回っており、引き続き、取り組みを進めていく必要があります。

学校・家庭・地域の連携による教育の推進に向け、中学校区を単位とするエリア・ファミリー構想のもと、幼保小中の連携やコミュニティ・スクールの運営、小学校高学年における一部教科担任制などに取り組んできたことで、「小・中学校9年間を見通した授業を行っている学校の割合【図1-6】」は、小・中学校ともに策定時より増加しており、小学校から中学校への円滑な接続に向けた取り組みが進められています。今後も、小・中学校の交流活動のさらなる充実を図り、子どもたちの9年間の学びや育ちを、地域全体で支える仕組みづくりに取り組んでいく必要があります。

子どもたちが安心して充実した学校生活を送ることができるよう、校内教育支援センターの設置や心の健康観察アプリの活用などの組織的な支援をはじめ、児童会・生徒会によるいじめの未然防止の取り組みや相談員による指導、道徳科の授業を通じた啓発を行ったことにより、「いじめは絶対に許されないと考える児童生徒の割合【図1-7】」は、高い水準を維持しています。今後も、道徳科の授業改善のほか、個別面談を通し、児童生徒一人ひとりの心に寄り添いながらきめ細かな指導を行っていく必要があります。

施策全体としては、事務事業の進捗状況が40点、目指そう指標の進捗状況が25点、関連データの状況が10点となっており、目指す姿の実現に向け、「概ね順調に進んでいる」と評価します。



施策13 いつまでも学んで面白い — 学習活動の推進 —



目指す姿

誰もが生涯にわたり、それぞれの目的やライフステージに応じた学びを続けています。



I 事務事業の進捗状況

進捗率 90.0% :

40点

30点

25点

【事務事業の主な取り組み】

- 誰もが生涯にわたり学習を続けることができるよう、市民大学講座や博物館の講座・企画展示、動物園の飼育体験など多様な学習機会を提供。
- 学習への意欲や関心を高めるため、生涯学習情報誌の発行、ホームページやSNSを活用した学習情報を発信。
- 学習を通じて得られた知識等をまちづくりに活かしてもらうため、図書館ボランティアによる子ども向けのおはなし会の実施など、各社会教育施設でのボランティア活動を支援したほか、生涯学習推進委員会などの社会教育関係団体が立案・企画する地域での講座開催を支援。
- 帯広畜産大学の整備・拡充のため、情報収集や国等への要望活動を実施。
- 若者の地元定着や地域課題の解決促進のため、帯広畜産大学と連携し、学生自らが考える地域課題の解決に向けた取り組みなどを支援。



動物園で行われた
1日飼育係の様子



Ⅱ 目指そう指標の進捗状況

進捗率 285.0% :

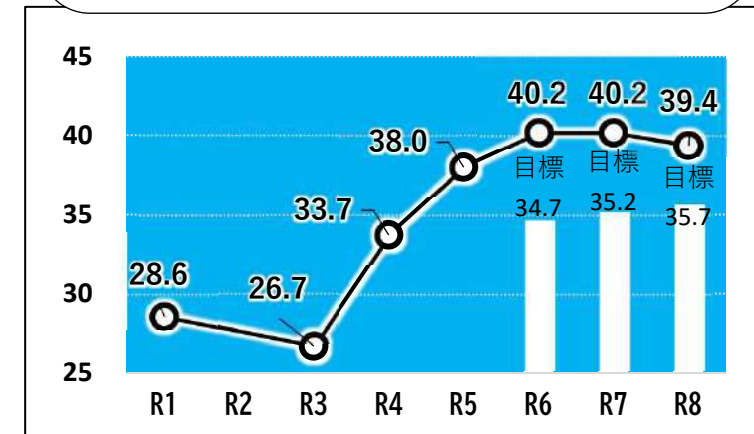
40点

30点

25点

目指そう指標名			方向性
直近1年間に生涯学習を行った市民の割合			↗
指標の考え方	市民による主体的な学習活動や、市による学習機会の提供などにより、上昇を目指します。	基準値 (R4)	33.7%
		実績値 (R8)	39.4%
		目標値 (R8)	35.7%

【図1-1】直近1年間に生涯学習を行った市民の割合 (%)



※ R2市民アンケート調査未実施

【指標の動向・要因分析】

「直近1年間に生涯学習を行った市民の割合」は39.4%であり、目標を達成しました。

市の各社会教育施設において、講座の開催や生涯学習に関する情報提供、新しい分野の講座の企画、学生やボランティア団体主体の学習支援活動の実施など、多様な学習機会の提供に取り組んできたほか、オンラインによる講座の開催や各種講座の開催時間の見直し、電子図書館サービスの提供、図書館利用者カード更新の電子申請開始など、利用環境の充実に取り組んできたことが目標達成の要因と考えます。

市民まちづくりアンケートでは、「生涯学習を行わなかった理由」として、「きっかけがないから」、「忙しくて時間がないから」との回答が多くあったことから、今後も、講座の開催内容や開催時間帯を工夫し、効果的な周知を行うなど、市民が参加しやすい学習機会の提供に取り組んでいく必要があります。



Ⅲ 関連データの状況

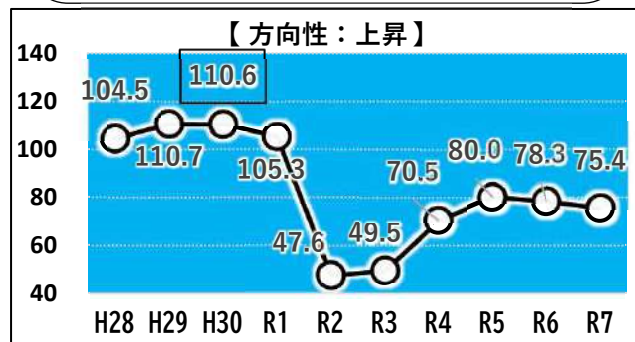
得点率 0.0% :

20点

15点

10点

【図1-2】社会教育施設の利用者数
(万人)



策定時以下・前年以下：0点

※施策の推進に向けた市による事務事業や市民・企業等の様々な活動などによる地域社会の変化を把握するため、関連データの推移を示します。データの動向がグラフ枠上にある方向性に向かっていれば加点対象とします。

※□で囲んでいる箇所は計画策定時の数値です。



IV 施策評価

順調に進んでいる

〔Ⅰ＋Ⅱ＋Ⅲ＝ 90点 /100点〕

市民の主体的な学習活動の推進に向け、各社会教育施設において講座や企画展示、体験活動などの多様な学習機会を提供してきたことや生涯学習に関する情報発信などを通じ、学習への意欲や関心の向上を図ってきたことで、利用者の増加につながった施設があった一方、複数の施設において利用者が減少しており、「社会教育施設の利用者数【図1-2】」は前年と比べて減少しました。今後も、市民ニーズを踏まえた学習機会の提供のほか、各施設の取り組みやイベント、活用方法などについて情報発信していくことが必要と考えます。

学習や仕事等を通じて得られた知識・技能をまちづくりに活かしてもらうため、生涯学習推進委員会等への活動支援や学習活動指導者の登録・紹介、ボランティアへの活動支援を行ったほか、大学と連携し、地域課題の解決に取り組む学生への活動支援を進めるなど、市民が活躍できる場の提供を行いました。今後も、市民が自主的に学ぶことができる環境づくりを進めていく必要があります。

施策全体としては、事務事業の進捗状況が40点、目指そう指標の進捗状況が40点、関連データの状況が10点となっており、目指す姿の実現に向け、「順調に進んでいる」と評価します。



施策14 潤いのある暮らしと地域をつくる ―文化芸術の振興―



目指す姿

創作活動や鑑賞の機会があり、豊かな感性や想像力が育まれ、文化芸術活動を通じた人のつながりが生まれています。



Ⅰ 事務事業の進捗状況

進捗率 72.7% :

40点

30点

25点

【事務事業の主な取り組み】

- 文化芸術活動を支える人材や団体を育成するため、文化団体や指導者についての情報発信、優秀な文化活動を行う個人・団体への顕彰を実施。
- 市民主体の文化芸術活動を促進するため、十勝・帯広在住、出身の新進音楽家による演奏会や市民芸術祭の開催、市民文藝・とかちジュニア文芸の発刊などを通じた発表機会を提供。
- 市民の文化芸術への関心を高めるとともに子どもたちの感性や創造力を育むため、親と子のわくわく音楽会など、文化芸術にふれる機会を提供。
- ふるさとの歴史、伝統、文化に対する理解促進や誇りと愛着を育むため、市史資料の収集・調査、文化財の保護・保存、調査研究を行い、重要文化財の普及事業などを実施。
- アイヌ文化の保存、伝承、発展を図り、アイヌ民族の歴史・文化への理解を促進するため、調査・研究活動のほか、伝承活動への支援や普及啓発を実施。



新人演奏会の様子



Ⅱ 目指そう指標の進捗状況

進捗率 35.9% :

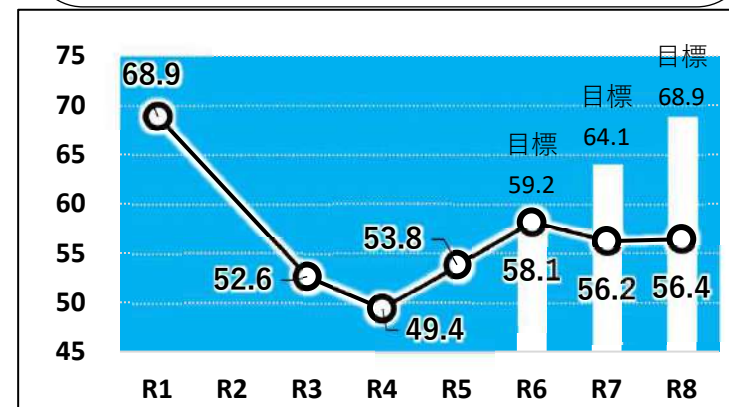
40点

30点

25点

目指そう指標名			方向性
直近1年間に文化芸術活動を行った市民の割合			↗
指標の考え方	市民による主体的な文化芸術活動や、市による鑑賞機会や発表の場の提供など文化に触れるきっかけづくりにより、上昇を目指します。	基準値 (R4)	49.4%
		実績値 (R8)	56.4%
		目標値 (R8)	68.9%

【図1-1】直近1年間に文化芸術活動を行った市民の割合（%）



※ R2市民アンケート調査未実施

【指標の動向・要因分析】

「直近1年間に文化芸術活動を行った（直接鑑賞を含む）市民の割合」は56.4%であり、基準値を上回っていますが、目標は達成できませんでした。

市では、市民芸術祭の実施や子ども向けの鑑賞事業などを通じ、文化芸術の鑑賞・発表の機会の提供や活動団体の支援などに取り組んでいますが、市民まちづくりアンケートでは、「文化芸術を直接鑑賞しなかった理由」として、「テレビ、インターネット等により鑑賞できるから」の回答が前年と同様に多くなっており、自宅での芸術鑑賞の定着が進んでいることが推察されます。また、「忙しくて時間がないから」「関心がないから」の回答が合わせて47.8%となっており、文化芸術に触れるきっかけや環境が少ないことも影響しているものと考えます。

今後は、文化芸術活動を行う市民の裾野の拡大に向けて、引き続き文化団体、企業など地域の多様な主体と連携しながら、直接市民が鑑賞・発表できる機会の提供を進めていくほか、社会教育施設と連携したイベントの情報発信などに取り組んでいく必要があります。



Ⅲ 関連データの状況

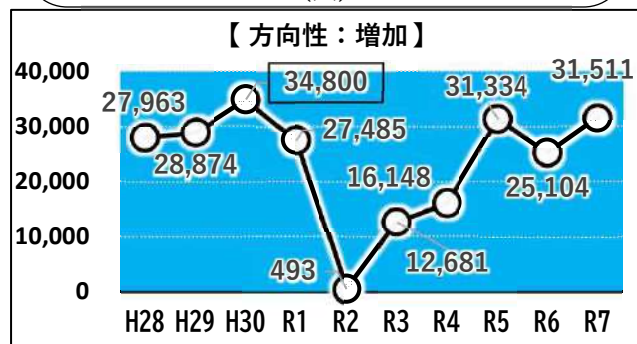
得点率 40.0% :

20点

15点

10点

【図1-2】鑑賞事業の入場者数
(人)



策定時以下・前年より増加：2点

※施策の推進に向けた市による事務事業や市民・企業等の様々な活動などによる地域社会の変化を把握するため、関連データの推移を示します。データの動向がグラフ枠上にある方向性に向かっていれば加点対象とします。

※□で囲んでいる箇所は計画策定時の数値です。



IV 施策評価

さらなる進捗が必要

〔Ⅰ＋Ⅱ＋Ⅲ＝ 65点 /100点〕

市民の主体的な文化芸術活動の推進に向け、鑑賞・発表機会の提供や活動団体への支援などに取り組み、「鑑賞事業の入場者数【図1-2】」は増加しましたが、計画策定時の数値は下回りました。また、「直近1年間に文化芸術活動を行った（直接鑑賞を含む）市民の割合【図1-1】」は基準値を上回り、前年と比べて増加したものの、目標達成には至りませんでした。

いずれも、鑑賞方法が多様化していることを背景に、直接鑑賞から映像媒体での鑑賞へ手法が変化していると推察されます。また、市民文化ホールの提携駐車場が以前より遠くて利用しにくいなどの声もあり、現在の提携駐車場を不便に感じている利用者が一定数いることも影響していると考えます。加えて、講座等の参加者数が前年と比べ減少しており、周知が行き届かなかった可能性が考えられます。

今後も、個人・団体、企業など、地域の多様な主体と連携しながら、文化芸術活動を行う市民の裾野の拡大に向けた取り組みや、SNSなど様々な手段を活用した情報発信の強化など、文化芸術活動に親しみやすい環境づくりを行っていくとともに、市民文化ホール提携駐車場に係る周知なども引き続き進めていく必要があります。

ふるさとの歴史、伝統、文化の理解促進に向け、アイヌ民族文化情報センターにおける普及啓発活動を進めてきたことで、入場者数は目標を達成しました。今後も、市民が主体的に学べるようアイヌの民具や資料等を活用した学習機会の提供や講座などの普及事業に取り組んでいく必要があります。

施策全体としては、事務事業の進捗状況が30点、目指そう指標の進捗状況が25点、関連データの状況が10点となっており、目指す姿の実現に向け、「さらなる進捗が必要」と評価します。



施策15 スポーツで楽しく、ハツラツ、健康に — スポーツの振興 —



目指す姿

誰もが年齢や目的などに応じ、生涯にわたってスポーツに親しみ、スポーツが市民の健康づくりや心身の育成、にぎわいづくりにつながっています。



Ⅰ 事務事業の進捗状況

進捗率 87.5% :

40点

30点

25点

【事務事業の主な取り組み】

- 市民が気軽にスポーツに親しむ機会を提供するため、スポーツフェスティバルの開催のほか、小中学校の体育館等の地域への開放などを実施。
- 市民の健康・体力づくり等のスポーツ機会の提供やスポーツを通じた多様な交流を促進するため、フットバレーとかちマラソン大会を開催。
- スポーツ施設利用者の安全性の確保や施設の機能維持を図るため、施設の適切な管理運営や改修工事等を実施。
- 地域に根差したスポーツであるスケートの裾野拡大等を図るため、ほっとドリームプロジェクト（スケート教室、指導者講習など）を実施。
- 地域におけるスポーツ活動の活性化を図るため、スポーツ少年団や帯広市スポーツ協会の活動を支援。
- スポーツを通じたまちのにぎわいづくりを進めるため、関係団体等と連携し、全国・全道大会のほか、プロスポーツや合宿の誘致活動を実施。



ほっとドリームプロジェクトの様子
(スケートキングダム小中学生交流会)



Ⅱ 目指そう指標の進捗状況

進捗率 95.1% :

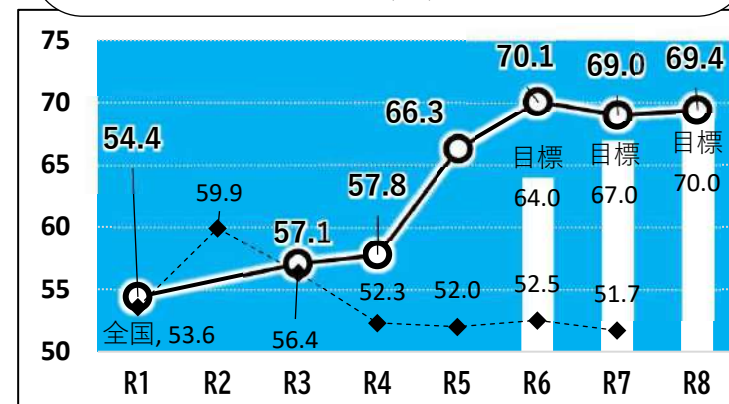
40点

30点

25点

目指そう指標名			方向性
週1日以上運動・スポーツをする市民の割合			↗
指標の考え方	市民による主体的な運動・スポーツの実践や、市による運動・スポーツの機会の提供などにより、上昇を目指します。	基準値 (R4)	57.8%
		実績値 (R8)	69.4%
		目標値 (R8)	70.0%

【図1-1】 週1日以上運動・スポーツをする市民の割合 (%)



※ R2市民アンケート調査未実施

【指標の動向・要因分析】

「週1日以上運動・スポーツをする市民の割合」は69.4%であり、基準値を上回っていますが、目標は達成しませんでした。

市では、スポーツフェスティバル等のイベントの開催や総合型地域スポーツクラブの支援を実施しているほか、スポーツ施設の指定管理者においても健康志向のニーズを捉えたスポーツ教室の開催など、気軽にスポーツに取り組むことができる環境づくりを進めてきており、日常生活の中に運動・スポーツを取り入れた市民が一定数いたものと考えられます。

一方で、市民まちづくりアンケートでは「運動・スポーツを行わなかった理由」として、「忙しくて時間がないから」が39.0%、「面倒くさいから」が28.9%と多くの回答があったことから、スポーツフェスティバルのほか、フットバレーとかちマラソンの開催などを通し、より多くの市民が日常生活の中で気軽にスポーツに取り組めるきっかけづくりを進めていく必要があります。



Ⅲ 関連データの状況

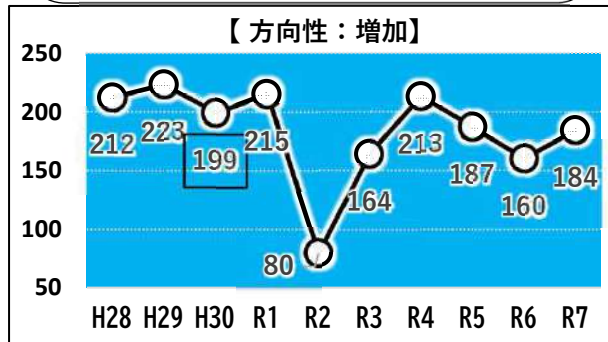
得点率 50.0% :

20点

15点

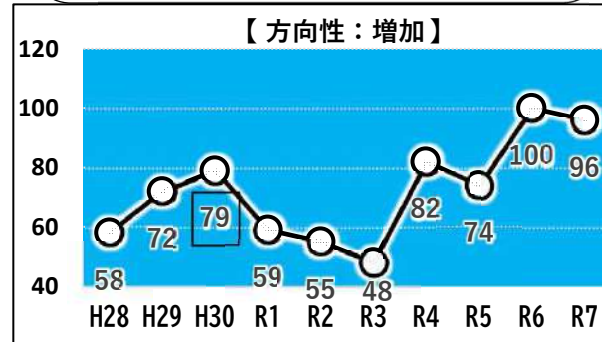
10点

【図1-2】 全国・全道大会等出場者数
(人)



策定時以下・前年より増加：2点

【図1-3】 帯広市内で開催されるスポーツ
国際・全国・全道大会数 (回)



策定時より増加・前年以下：3点

※施策の推進に向けた市による事務事業や市民・企業等の様々な活動などによる地域社会の変化を把握するため、関連データの推移を示します。データの動向がグラフ枠上にある方向性に向かっていれば加点対象とします。

※□で囲んでいる箇所は計画策定時の数値です。



IV 施策評価

概ね順調に進んでいる

〔Ⅰ＋Ⅱ＋Ⅲ＝ 80点 /100点〕

市民がスポーツに親しむことができる環境づくりに向け、スポーツ施設による活動の場を提供してきたほか、各種スポーツ教室や大会の開催等に取り組んできたことで、「週1日以上運動・スポーツをする市民の割合【図1-1】」は前年より増加しました。今後も、スポーツフェスティバルやフードバレーとかちマラソンの開催、スポーツ推進委員による地域活動などを通じ、市民が生涯にわたって運動・スポーツに親しむためのきっかけづくりを進めていきます。

競技スポーツの振興に向けては、前年と比較し「全国・全道大会等出場者数【図1-2】」は増加し、「帯広市内で開催されるスポーツ国際・全国・全道大会数【図1-3】」は減少しました。今後も、選手が競技に打ち込める環境づくりを進めていくほか、大会需要の状況などを踏まえ、市のスポーツ施設の環境や大会運営能力などをPRしながら、大会等の効果的な誘致に取り組んでいく必要があります。

施策全体としては、事務事業の進捗状況が40点、目指そう指標の進捗状況が30点、関連データの状況が10点となっており、目指す姿の実現に向け、「概ね順調に進んでいる」と評価します。



施策16 地球のために今、行動する —環境の保全と循環型社会の形成—



目指す姿

環境保全の意識が高まり、誰もが環境に配慮した行動をし、豊かな自然環境や生活環境が守られています。



I 事務事業の進捗状況

進捗率 70.8% :

40点

30点

25点

【事務事業の主な取り組み】

- エネルギーの有効活用を図るため、一般住宅への再エネ・新エネ機器の導入費補助の実施や公共施設や家庭の省エネ化の促進、家庭からの廃食用油の回収とB5燃料の利用促進などを実施。
- 市民の環境保全に対する意識の向上を図るため、とまち・市民「環境交流会」の開催や環境にやさしい活動実践校への支援、出前環境教室、環境学習会、ゼロカーボン啓発チラシの全戸配布などを実施。
- 市民のごみの適正排出推進のため、広報紙やSNSによる情報発信、啓発チラシの配布、ごみ懇談会等の学習機会の提供、清掃指導員による巡回パトロール、ごみ排出が困難な世帯への戸別収集（サポート収集）などを実施。
- ごみの再資源化や減量化を図るため、資源回収団体に対する資源集団回収奨励金及び十勝資源リサイクル事業協同組合に対する資源回収事業協力金の交付、使用済小型家電の回収などを実施。
- 生活環境を保全するため、大気や河川水質、自動車騒音などの測定調査を実施したほか、公害パトロールなどを実施。
- 自然環境を保全するため、特定外来生物であるアライグマの防除対策などを実施。



「環境交流会」の開催



Ⅱ 目指そう指標の進捗状況

進捗率 40.0% :

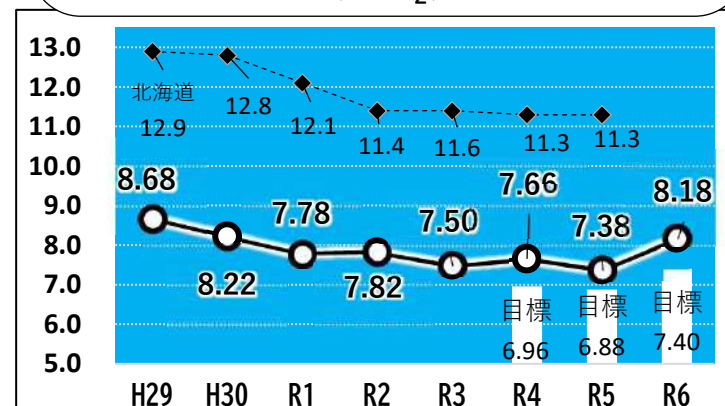
40点

30点

25点

目指そう指標名			方向性
1人あたりの温室効果ガス排出量			↓
指標の考え方	市民、企業、市による省エネルギーの推進やエネルギー資源の利活用、3R（リデュース・リユース・リサイクル）の推進などにより、減少を目指します。	基準値 (R2)	8.70t-CO ₂
		実績値 (R6)	8.18t-CO ₂
		目標値 (R6)	7.40t-CO ₂

【図1-1】1人あたりの温室効果ガス排出量
(t-CO₂)



【指標の動向・要因分析】

「1人あたりの温室効果ガス排出量」は8.18t-CO₂であり、基準値は下回りましたが、目標を達成しませんでした。

省エネなどに関する情報発信や再エネ・省エネ機器の導入支援などを通じた省エネ意識の醸成を図ってきたことなどにより、全体に占める割合の高い家庭部門や業務その他部門（事務所やホテル等）での排出量が減少したものの、産業部門（製造業等）での排出量が増加したことが要因と考えます。

今後も、温室効果ガスの排出割合が高い家庭部門の排出量の抑制に向け、市民の省エネ意識等の醸成を図るとともに、事業所等に対しては省エネ診断の活用の周知などに取り組み、温室効果ガス排出量の削減につなげていく必要があります。

なお、ゼロカーボン推進計画の策定に伴い、令和6年度より排出量の算定方法及び範囲を変更し、基準値、実績値及び目標値については、新しい算定方法で積算した数値としています。



Ⅲ 関連データの状況

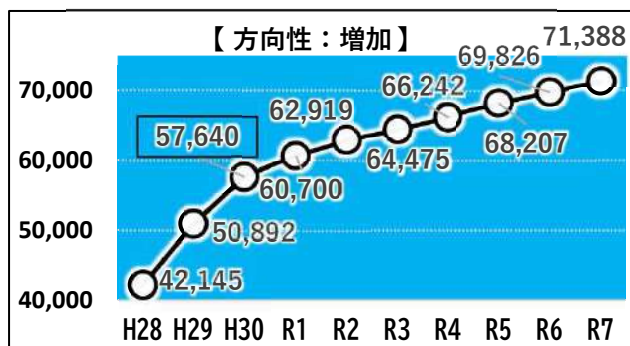
得点率 100.0% :

20点

15点

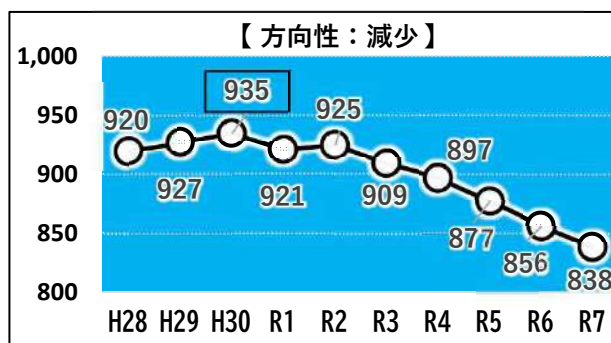
10点

【図1-2】再生可能エネルギー等の導入による
CO₂排出削減量 (t-CO₂)



策定時より増加・前年より増加：5点

【図1-3】1人1日あたりのごみ排出量 (g)



策定時より減少・前年より減少：5点

※施策の推進に向けた市による事務事業や市民・企業等の様々な活動などによる地域社会の変化を把握するため、関連データの推移を示します。データの動向がグラフ枠上にある方向性に向かっていれば加点対象とします。

※□で囲んでいる箇所は計画策定時の数値です。



IV 施策評価

概ね順調に進んでいる

〔Ⅰ＋Ⅱ＋Ⅲ＝ 75点 /100点〕

再エネ・新エネ機器の導入支援により一般住宅への導入が進み、「再生可能エネルギー等の導入によるCO₂排出削減量【図1-2】」の増加につながっています。一方で、「1人あたりの温室効果ガス排出量【図1-1】」は算定方法の変更に伴う増加に加え、産業部門（製造業等）での排出量が増加したことにより、前年より増加しています。引き続き、再エネ・新エネ機器の導入支援に取り組むほか、家庭や事業所等での温室効果ガス排出量削減に向け、省エネ意識の向上などに取り組む必要があります。

「1人1日あたりのごみ排出量【図1-3】」は、前年と比べて減少しました。事業系ごみの排出量が減少傾向にあるほか、容器・包装等の軽量化や紙媒体のデジタル化などの企業側のリデュースの取り組みが進み、家庭系資源ごみの排出量が減少したことなどが主な要因と考えられます。引き続き、3Rの推進やごみの排出抑制及び分別に対する意識の向上に向け、広報紙やごみ懇談会等を活用し、市民への啓発を行っていく必要があります。

自然環境や生活環境の保全については、大気や河川水質、騒音などの測定調査や公害パトロールの実施、自然環境保全地区の監視や清掃ボランティアへの支援などを行っており、環境基準の達成状況などから良好な環境が維持されています。今後も、豊かな自然環境と良好な生活環境の維持に向け、取り組みを進めていく必要があります。

施策全体としては、事務事業の進捗状況が30点、目指そう指標の進捗状況が25点、関連データの状況が20点となっており、目指す姿の実現に向け、「概ね順調に進んでいる」と評価します。



施策17 「まさか」に備え今、行動する ―防災・減災の推進―



目指す姿

市民一人ひとりが、高い防災意識のもと、自ら備え地域で支え合う体制が整えられ、自助・共助・公助により、災害に対する対応力が高まっています。



I 事務事業の進捗状況

進捗率 66.7% :

40点

30点

25点

【事務事業の主な取り組み】

- 災害時の体制強化のため、市職員を対象とした防災訓練等を実施。
- 避難行動要支援者に対する支援体制を整備するため、「おびひろ避難支援プラン」に基づく、個別計画の策定を推進。
- 自助・共助による防災力向上のため、町内会などに対する研修会の実施や助成などによる自主防災組織の結成、育成などを支援。
- 公助としての避難体制の強化のため、備蓄基準に基づく、備蓄品の更新・整備を実施。
- 指定避難所の機能強化を図るため、非常用発電機の整備を実施。
- 災害時の情報伝達手段を確保するため、地域防災無線の更新整備を実施。
- 建築物の耐震化を促進するため、無料耐震簡易診断や相談体制の整備などを実施。
- 洪水の被害防止や河川の適切な管理のため、河川のパトロールや河川敷地の草刈りを実施。



地域防災無線の統制局



Ⅱ 目指そう指標の進捗状況

進捗率 36.7% :

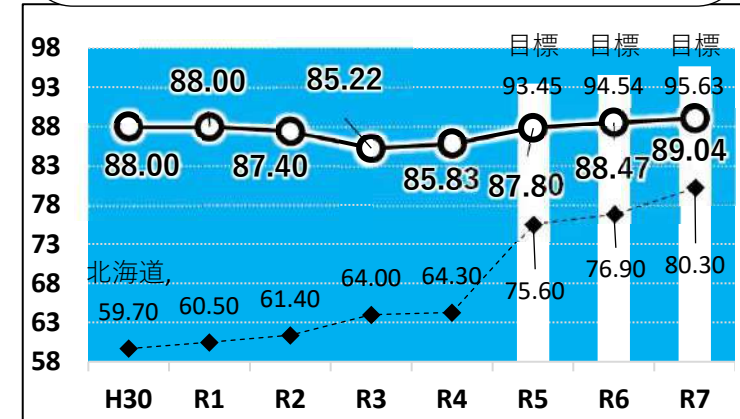
40点

30点

25点

目指そう指標名			方向性
自主防災組織活動カバー率			↗
指標の考え方	市民が防災に対する関心や、地域で支え合う共助の意識を高め、市による防災意識の啓発や自主防災組織の設立支援などにより、上昇を目指します。	基準値(R3)	85.22%
		実績値(R7)	89.04%
		目標値(R7)	95.63%

【図1-1】自主防災組織活動カバー率(%)



【指標の動向・要因分析】

「自主防災組織活動カバー率」は89.04%であり、基準値を上回っていますが、目標を達成しませんでした。

地域住民が支え合う共助の意識向上に向け、防災出前講座やセミナーの開催、地域の防災人材の育成などに取り組んできていますが、地域活動の主体である町内会の担い手不足などを背景に、自主防災組織の増加につながらなかったことが要因であると考えます。

今後も、自主防災活動を実施していない町内会等に対し、防災出前講座の開催を働きかけるほか、自主防災活動の実施に向けた相談対応などに取り組み、共助による地域の防災力の向上につなげていく必要があります。



Ⅲ 関連データの状況

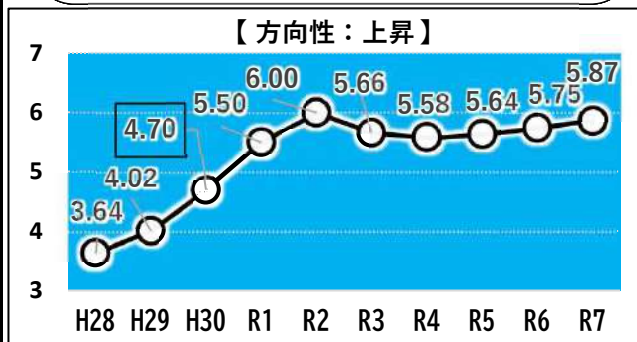
得点率 100.0% :

20点

15点

10点

【図1-2】 応急危険度判定士の人口1万人あたりの登録者数の割合（％）



策定時より増加・前年より増加：5点

※施策の推進に向けた市による事務事業や市民・企業等の様々な活動などによる地域社会の変化を把握するため、関連データの推移を示します。データの動向がグラフ枠上にある方向性に向かっていれば加点対象とします。

※□で囲んでいる箇所は計画策定時の数値です。



IV 施策評価

概ね順調に進んでいる

〔Ⅰ＋Ⅱ＋Ⅲ＝ 75点 /100点〕

市民一人ひとりの防災意識の向上を図るため、平時から災害に備える重要性などについて、出前講座や広報紙、ホームページなどで啓発を行いました。災害時は市民自ら適切に行動することが必要であり、今後も、情報発信や防災訓練等の実施はもとより、家庭での備蓄を促しながら、自助の重要性についての理解促進を図っていく必要があります。

災害時における地域での支えあいの促進に向け、避難行動要支援者の把握や避難に関する個別計画の策定、自主防災組織の育成などを進めています。地域活動の主体である町内会の担い手不足などを背景に、自主防災組織の増加につながっていないことから、「自主防災組織活動カバー率【図1-1】」は横ばいで推移しています。今後は、防災対策の必要性について意識啓発を図るため、自主防災活動を実施していない町内会等に対し、防災出前講座の開催を働きかけるほか、自主防災活動の実施に向けた相談対応などに取り組み、共助による防災力向上につなげていく必要があります。

二次災害の防止等につながる建物の危険度を判定する「応急危険度判定士の人口1万人あたりの登録者数の割合【図1-2】」は前年と比べて増加しています。応急危険度判定士は、建築士の資格保有が前提条件であることから、今後も、建築・建設業界の協力を得ながら北海道と連携し、判定士の養成・登録を進め、地域の防災力の向上につなげていく必要があります。

また、緊急情報一斉伝達システムの運用や指定避難所への非常用発電設備の整備、備蓄資機材の適切な維持・管理により、災害時の様々な事態に迅速かつ的確に対応するための体制の充実を図りました。今後も、関係機関と連携しながら公助の強化を図る必要があります。

施策全体としては、事務事業の進捗状況が30点、目指そう指標の進捗状況が25点、関連データの状況が20点となっており、目指す姿の実現に向け、「概ね順調に進んでいる」と評価します。



施策18 とかで守るみんなの安心 ― 消防・救急体制の確保 ―



目指す姿

管内町村や関係機関等との連携により、安心して暮らせる消防・救急体制が維持・確保されています。



Ⅰ 事務事業の進捗状況

進捗率 100.0% :

40点

30点

25点

【事務事業の主な取り組み】

- 効率的な消防体制の維持・確保を図るため、原因調査車や高規格救急自動車の更新のほか、緊急消防援助隊の体制強化、指令システム及びデジタル無線機器の部分更新、消防隊員の教育・育成強化などを実施(実施主体：とかち広域消防事務組合)。
- 消防水利の確保のため、消火栓の更新、移設、修繕等を実施。
- 消防体制の維持のため、消防庁舎や消防団詰所、消防団に係る消防車両・装備の維持管理を実施。
- 地域防災力の強化のため、消防団員確保に向けた普及啓発をはじめ、消防団員に対する教育訓練・研修機会の充実や消防自動車運転資格取得への支援を進めたほか、消防団詰所の老朽化への対応として、大正第2分団詰所と愛国農業センターとの複合化による更新を実施。
- 消防力の充実のため、消防団に係る消防機器の更新を実施。



消防団大規模災害想定訓練の様子



Ⅱ 目指そう指標の進捗状況

進捗率 23.1% :

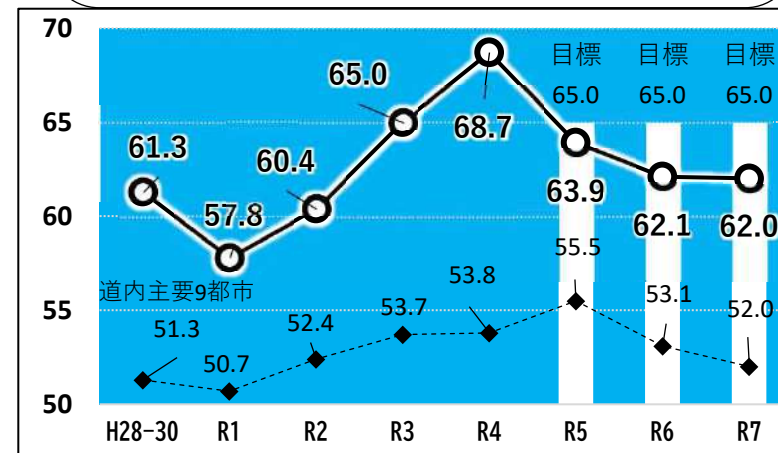
40点

30点

25点

目指そう指標名			方向性
応急手当実施率			↗
指標の考え方	市による救命・救急講習の実施や、市民の心肺蘇生やAEDを用いた応急手当の習熟により、上昇を目指します。	基準値 (R1-3平均)	61.1%
		実績値 (R7)	62.0%
		目標値 (R7)	65.0%

【図1-1】 応急手当実施率 (%)



※道内主要9都市：札幌市、旭川市、函館市、苫小牧市、釧路市、江別市、北見市、小樽市、帯広市

【指標の動向・要因分析】

「応急手当実施率」は62.0%であり、基準値を上回っていますが、目標を達成しませんでした。

バイスタンダー（けが人や急病人が発生した場合、その場に居合わせた人）が迅速に応急手当を実施できるよう、救命・救急講習の開催やおびろ救命アシスト事業の推進などを通し、応急手当ができる市民を継続的に養成してきました。また、ホームページ、SNS、市の広報紙等の媒体を通じたPR活動を行ったことで、応急手当実施率は道内主要9都市の平均を上回る高い水準を維持したものの、本市の実施率は前年横ばいにとどまり、目標値の達成には至りませんでした。

現場に近づくことが難しい交通事故など、発生場所の状況により安全確保を優先する必要がある事案が複数あったことが要因の一つと考えますが、不特定多数の人が出入りする場所において、バイスタンダーの心理的な抵抗により実施に至らなかった事案が一定数あったことから、引き続き救命・救急講習等を通じて、応急手当実施の重要性、早期実施の必要性などを含め、知識・手技の普及に努めていきます。



Ⅲ 関連データの状況

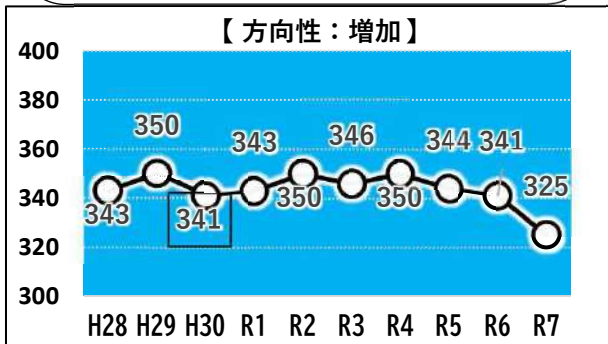
得点率 50.0% :

20点

15点

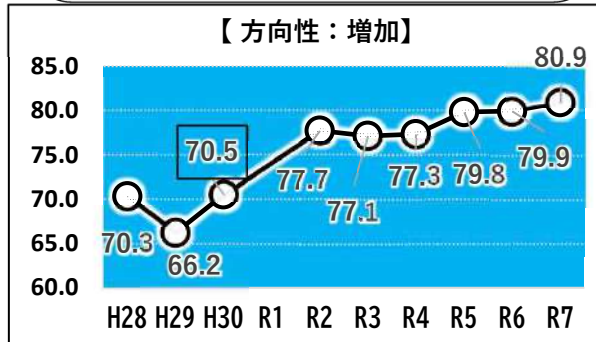
10点

【図1-2】消防団員数
(人)



策定時以下・前年以下：0点

【図1-3】住宅用火災警報器設置率
(%)



策定時より増加・前年より増加：5点

※ R1は新型コロナウイルス感染症拡大の影響で調査未実施

※施策の推進に向けた市による事務事業や市民・企業等の様々な活動などによる地域社会の変化を把握するため、関連データの推移を示します。データの動向がグラフ枠上にある方向性に向かっていれば加点対象とします。

※□で囲んでいる箇所は計画策定時の数値です。



IV 施策評価

概ね順調に進んでいる

〔Ⅰ＋Ⅱ＋Ⅲ＝ 75点 /100点〕

消防・救急体制の維持・確保に向け、高規格救急自動車などの更新や緊急消防援助隊の体制強化、消防職員の教育・育成強化などを進めてきたほか、応急手当の普及啓発として、普通救命講習の定期開催をはじめ、要望に応じた出前講習の開催、救命アシスト事業の推進、リーフレットの配布、SNSや広報紙を通じた応急手当のPR活動に取り組んだことにより、応急手当ができる市民は増加しています。しかしながら、現場に近づくことが難しい交通事故などの発生場所の影響のほか、不特定多数の人が出入りする場所において、バイスタンダーの心理的な抵抗により応急手当を行うことが出来なかったことなどがあり、「応急手当実施率【図1-1】」は前年横ばいにとどまり目標値に達しませんでした。応急手当ができる市民を養成することは、応急手当実施率の向上につながることから、今後も、救命・救急講習やイベントなど様々な機会を通じ、応急手当の重要性について理解促進を図っていくほか、口頭指導を担う指令センターとの連携を強化していきます。

消防団員の確保に向け、消防職員及び団員による勧誘、ホームページや広報紙でのPR等を実施してきたほか、消防団活動に関心を示す企業に対し説明の機会を設けるなどして、消防団協力事業所表示制度の周知を図ってきたことにより、消防団協力事業所数は前年より増加し、地域防災力の向上につながっています。一方、団員の高齢化や担い手不足などにより、「消防団員数【図1-2】」は前年よりも減少していますが、大学、専門学校等と連携を図り、若年世代・学生の入団促進に取り組んだ結果、初めて2名の大学生が入団しました。消防団員数の減少は、組織体制への影響が懸念されることから、今後も企業や大学、専門学校等と連携を図り、若年世代・学生の入団促進に向け、SNS等を活用した情報発信の強化や対面による消防団の魅力・やりがいのPRなどを通じて、消防団活動への理解促進を深めていく必要があります。

また、「住宅用火災警報器設置率【図1-3】」は増加していますが、さらなる設置率上昇を目指して、各種イベントにて街頭啓発による普及啓発及び機器の定期的な点検などの維持管理の周知に取り組むほか、広報媒体を通じて火災予防意識の向上を図っていく必要があります。

施策全体としては、事務事業の進捗状況が40点、目指そう指標の進捗状況が25点、関連データの状況が10点となっており、目指す姿の実現に向け、「概ね順調に進んでいる」と評価します。



施策19 みんなでつくる笑顔と安全 — 安全な生活環境の確保 —



目指す姿

交通安全や防犯、消費生活に対する意識が高まり、地域で支え合い、被害が生じにくい安全な生活環境が確保されています。



Ⅰ 事務事業の進捗状況

進捗率 72.7% :

40点

30点

25点

【事務事業の主な取り組み】

- 交通ルールの遵守や交通マナーの向上のため、高齢者や子どもなどを対象にした各種交通安全教室等の開催や関係機関や団体との連携による地域ぐるみの交通安全運動を展開。
- 安全な交通環境を確保するため、幹線道路や生活道路における歩道の整備や区画線、視線誘導標を設置。
- 防犯意識の向上のため、市公式SNSを活用した情報提供や、回転灯を装備した公用車等による防犯パトロール等を実施。
- 消費者が自らの利益の擁護のため自主的かつ合理的に行動することができるよう、消費生活に関する正しい知識の普及のほか、消費者被害の未然防止を図るための各種講座や講演会を開催。
- 市民の安全で合理的な消費を支援するため、ホームページ等による消費生活に関する情報を提供。
- 夜間における交通安全、防犯等を図るため、町内会等の防犯灯管理への支援を実施。



交通安全教室の様子



Ⅱ 目指そう指標の進捗状況

進捗率 270.0% :

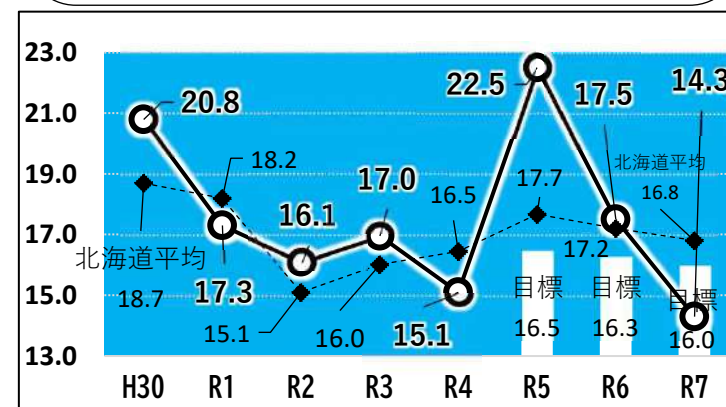
40点

30点

25点

目指そう指標名			方向性
1万人あたりの交通事故発生件数			↓
指標の考え方	市民による交通ルール・マナーの遵守や、市による意識啓発などにより、減少を目指します。	基準値 (R3)	17.0件
		実績値 (R7)	14.3件
		目標値 (R7)	16件

【図1-1】1万人あたりの交通事故発生件数 (件)



【指標の動向・要因分析】

「1万人あたりの交通事故発生件数」は14.3件であり、目標値を達成しました。

高齢者や子どもなどの交通弱者に対する交通安全教室や各種啓発活動により市民の交通ルール遵守意識の向上を図ったほか、道路の環境整備などを進めてきたことにより、目標達成に至ったものと考えます。

今後も、関係機関や団体等と連携しながら、交通安全意識の向上や交通事故の防止に向けた啓発のほか、安全な環境づくりを進めていきます。



Ⅲ 関連データの状況

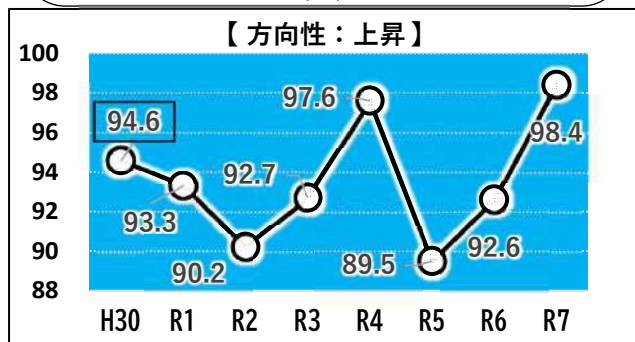
得点率 100.0% :

20点

15点

10点

【図1-2】消費生活相談のあっせん解決率
(%)



策定時より増加・前年より増加：5点

※施策の推進に向けた市による事務事業や市民・企業等の様々な活動などによる地域社会の変化を把握するため、関連データの推移を示します。データの動向がグラフ枠上にある方向性に向かっていれば加点対象とします。

※□で囲んでいる箇所は計画策定時の数値です。



Ⅳ 施策評価

順調に進んでいる

〔Ⅰ＋Ⅱ＋Ⅲ＝ 90点 /100点〕

交通事故や交通違反の防止に向け、交通安全教室の開催などを通し、市民の交通安全意識の向上を図ってきたほか、注意喚起看板の設置や歩道の整備などに取り組んだことにより、「1万人あたりの交通事故発生件数【図1-1】」は、前年より減少し、目標を達成しました。一方、犯罪の発生抑制に向け、防犯パトロールや街頭啓発の実施のほか、防犯関係団体の活動や町内会による防犯灯の維持管理に係る支援を継続して行っていますが、刑法犯の認知件数は近年増加傾向にあります。今後も、交通安全・防犯意識の向上のほか、交通事故・犯罪の防止に向けた啓発や、環境づくりを進めていく必要があります。

消費生活に関するトラブル防止・救済に向け、消費生活相談員が研修受講を通じ対応力向上などに取り組んだことにより、「消費生活相談のあっせん解決率【図1-2】」は前年を上回り、高い水準を維持しています。一方で、インターネット販売やSNSを通じたトラブルなど、相談内容が複雑化していることから、今後も、消費生活相談員の対応力向上を図り、質の高い相談対応に努めるほか、学生や高齢者など対象の特徴に応じた消費者教育・啓発や情報提供に取り組んでいく必要があります。

施策全体としては、事務事業の進捗状況が30点、目指そう指標の進捗状況が40点、関連データの状況が20点となっており、目指す姿の実現に向け、「順調に進んでいる」と評価します。



施策20 未来につなぐ、おいしい水 – 上下水道の基盤強化 –



目指す姿

いつでも安全で安心して利用できる強靱な上下水道が確保されています。



Ⅰ 事務事業の進捗状況

進捗率 100.0% :

40点

30点

25点

【事務事業の主な取り組み】

- 水道水の安定供給を図るため、配水管整備や浄水場の機器設備更新、配水池への緊急遮断弁の設置を実施。
- 快適な生活環境づくりのため、雨水管や污水管、個別排水処理施設を整備。
- 下水道サービスの安定供給と広域化による効率的な事業運営を図るため、終末処理場設備改修や污水处理施設統合に向けた取り組みを実施。
- 災害時の体制を維持するため、災害対策備蓄資器材の整備や災害訓練を実施。
- 上下水道に関する理解促進のため、PR動画の公開や「水を見る週間」などのイベントを通したPR、マンホールカードの制作・配布を実施。
- 利用者サービス向上のため、メーター更新時に掘削を要しないメーターボックスへ更新。
- 安全な水道水供給のため、河川表流水調査や水源水質調査、水質基準検査などを実施。
- 環境負荷を軽減するため、下水汚泥の耕地還元等を実施。
- 下水道の利用促進のため、下水道への接続の普及啓発を実施。
- 利用者サービスの向上やコスト削減のため、帯広市上下水道お客様センターにおいて、各種手続き、相談をワンストップで受付け。
- 物価高騰の影響を受けている市民や事業者を幅広く支援するため、水道料金の基本料金免除を実施。
- 地震等の災害時に防災拠点や避難所などの重要施設の排水機能を確保するため、地質調査及び液状化診断を実施。



オビヒロホコテンでの
給水車の展示・給水体験



Ⅱ 目指そう指標の進捗状況

進捗率 80.0% :

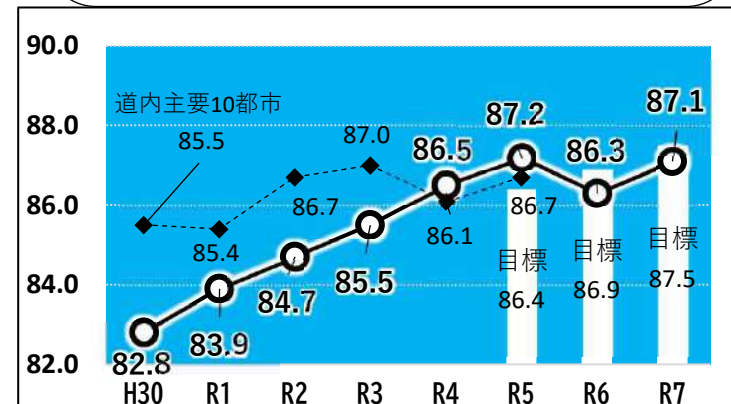
40点

30点

25点

目指そう指標名			方向性
水道管路の耐震適合率			↗
指標の考え方	上下水道の事業内容等への市民の理解を得ながら、市による強度や耐震性に優れた水道管への更新を進めることにより、上昇を目指します。	基準値 (R3)	85.5%
		実績値 (R7)	87.1%
		目標値 (R7)	87.5%

【図1-1】水道管路の耐震適合率 (%)



※市内主要10都市：札幌市、旭川市、函館市、苫小牧市、釧路市、江別市、北見市、小樽市、室蘭市、帯広市

【指標の動向・要因分析】

「水道管路の耐震適合率」は87.1%であり、昨年度から0.8ポイント上昇したものの、目標を達成しませんでした。

水道管路の耐震化を着実に進めてきたものの、令和7年1月に新たに策定した「帯広市上下水道耐震化計画」において、重要施設に設定する避難所や医療機関等を追加したことで、高い耐震基準が求められる重要給水施設管路が増加し、これまで耐震適合管となっていた管路の一部が耐震基準を満たさなくなったことが要因です。

今後も、災害に強く持続可能な上下水道施設の構築に向け、計画に基づき整備を進めていきます。



III 関連データの状況

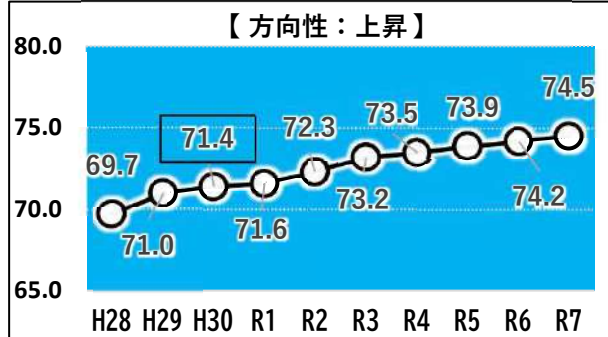
得点率 100.0% :

20点

15点

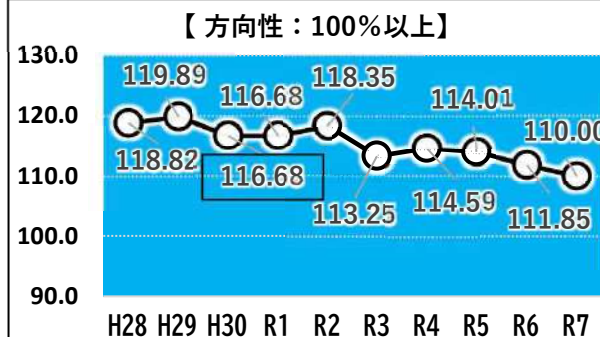
10点

【図1-2】雨水整備率
(%)



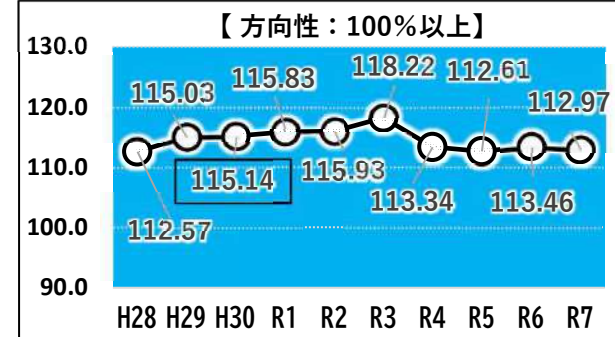
策定時より増加・前年より増加：5点

【図1-3】経常収支比率（水道事業会計）
(%)



基準以上：3点

【図1-4】経常収支比率（下水道事業会計）
(%)



基準以上：3点

※施策の推進に向けた市による事務事業や市民・企業等の様々な活動などによる地域社会の変化を把握するため、関連データの推移を示します。データの動向がグラフ枠上にある方向性に向かっていれば加点対象とします。

※□で囲んでいる箇所は計画策定時の数値です。



IV 施策評価

概ね順調に進んでいる

〔Ⅰ＋Ⅱ＋Ⅲ＝ 85点 /100点〕

上下水道の基盤強化に向け、計画的な施設の長寿命化や耐震化を進めているほか、浸水対策などを着実に進めており、「雨水整備率【図1-2】」が上昇しています。一方、令和7年1月に策定した「帯広市上下水道耐震化計画」において、重要施設に設定する避難所や医療機関等を追加したことにより、これまで耐震適合管となっていた管路の一部が耐震基準を満たさなくなったことから、「水道管路の耐震適合率【図1-1】」は目標値を下回りました。今後も、水道水の安定供給のため、計画に基づき着実に整備を進めていく必要があります。

上下水道施設の老朽化が進む中、中長期的な視点に立った計画的・効率的な維持管理や更新事業を実施しているとともに、水道料金・下水道使用料等によって維持管理等に必要な費用が賄われ、「経常収支比率【図1-3】【図1-4】」が100%以上となっているなど、健全な経営を維持しています。今後は、人口減少の進行に伴う収入の減少、施設の老朽化や資材・人件費の高騰等に伴うコストの増加などが見込まれていることから、上下水道の経営状況や事業内容の周知などを通じ、上下水道事業への理解を促進するとともに、中長期的な視点を持ち、より健全かつ安定的な経営を進めていく必要があります。

施策全体としては、事務事業の進捗状況が40点、目指そう指標の進捗状況が25点、関連データの状況が20点となっており、目指す姿の実現に向け、「概ね順調に進んでいる」と評価します。



施策21 未来につなぐ、住みよいまち ―都市基盤の整備と住環境の充実―



目指す姿

都市機能の配置やインフラ施設等の管理が適切に行われ、コンパクトで誰もが住みやすいまちが形成されています。



I 事務事業の進捗状況

進捗率 89.3% :

40点

30点

25点

【事務事業の主な取り組み】

●市内の主要な交通網を形成するため、都市計画マスタープランに基づき、未整備となっている都市計画道路の整備を実施。

●緑地の保全や緑化を推進するため、みどりの基本計画に基づき、公園緑地の整備や維持管理のほか、緑化協議、慶事記念樹の贈呈、桜並木の整備等を実施。

●居住の安定に特に配慮が必要な高齢者及び子育て世帯に対し、良好な住環境を提供するため、地域優良賃貸住宅等への家賃補助を実施。

●中心市街地の活性化のため、イルミネーションプロジェクトやホコテンなどのまちなか活性化に向けたイベントなどに対する支援のほか、新規事業展開の支援を実施。

●地域公共交通の維持確保のため、公共交通の利用促進活動や小学生等への交通環境学習などを実施したほか、バス運行維持に対する支援を実施。

●地域住民の生活環境の保全を図るため、空き家等の利活用や適正な管理に向けて、情報発信や相談対応のほか、空き家の改修や特定空き家の解体に係る補助を実施。



解体につながった特定空き家



Ⅱ 目指そう指標の進捗状況

進捗率 88.7% :

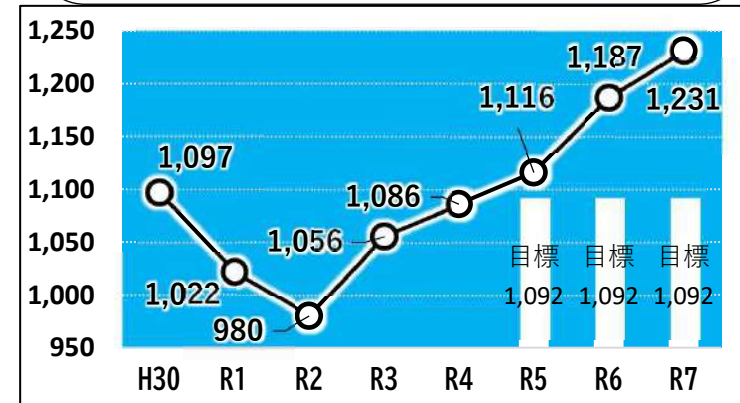
40点

30点

25点

目指そう指標名			方向性
空き家数			↓
指標の考え方	所有者による空き家等の適切な管理・活用や、市による意識啓発などにより、減少を目指します。	基準値(R3)	1,056箇所
		実績値(R7)	1,231箇所
		目標値(R7)	1,092箇所

【図1-1】空き家数
(箇所)



【指標の動向・要因分析】

「空き家数」は1,231箇所であり、目標を達成しませんでした。

市では、空き家に関する情報発信や相談対応、除却・改修補助などに取り組みましたが、空き家の利活用は増加した一方で、除却の件数は減少しており、前年に比べ空き家数が増加しています。除却の件数が減少した要因としては人件費や廃棄物処理費の高騰、アスベスト調査の義務化により、除却や改修工事に係る金銭的負担が大きくなったことが影響していると考えます。

今後も、所有者へ適切な管理等を求めていくとともに、関係団体と連携し、市の補助制度など、空き家に関する情報の周知や相談対応に取り組み、空き家の除却や利活用などにつなげていく必要があります。



Ⅲ 関連データの状況

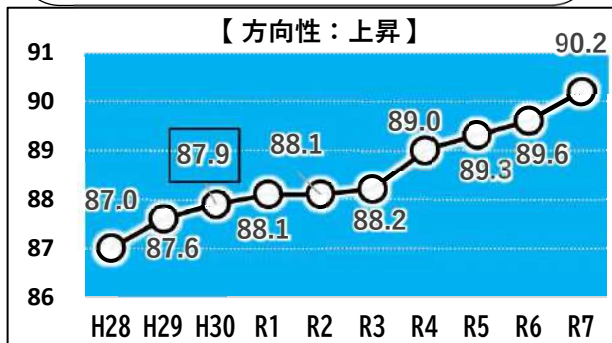
得点率 68.0% :

20点

15点

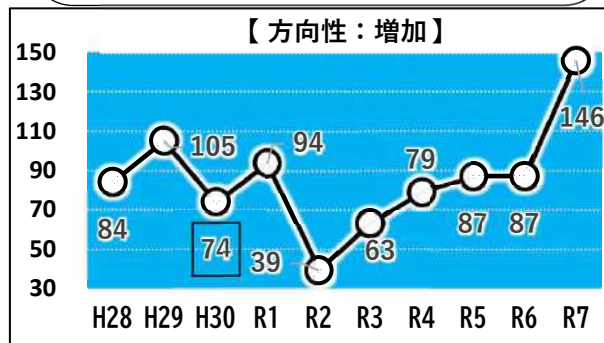
10点

【図1-2】都市計画道路の整備率
(%)



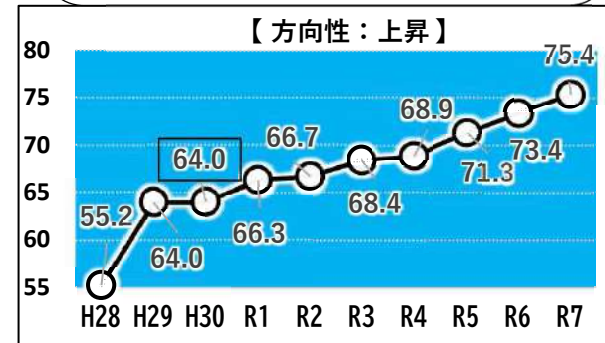
策定時より増加・前年より増加：5点

【図1-3】公園行為許可件数
(件)



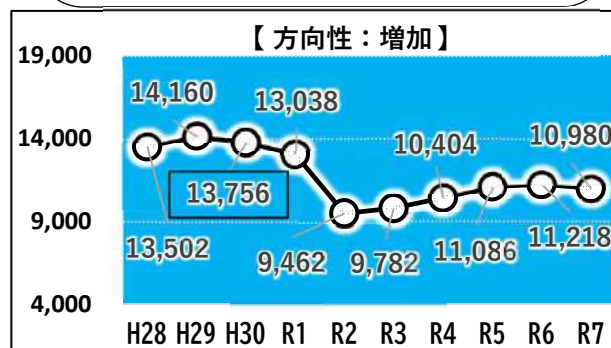
策定時より増加・前年より増加：5点

【図1-4】高齢者及び身障者に対応した市営住宅等の割合 (%)



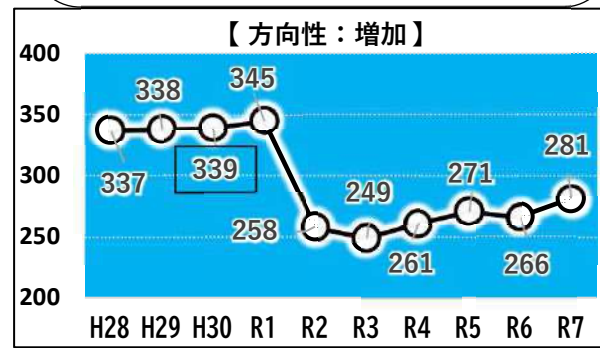
策定時より増加・前年より増加：5点

【図1-5】中心市街地の平日昼間9～17時の歩行者通行量 (人)



策定時以下・前年以下：0点

【図1-6】市内運行路線における路線バス年間利用者数 (万人)



策定時以下・前年より増加：2点

※施策の推進に向けた市による事務事業や市民・企業等の様々な活動などによる地域社会の変化を把握するため、関連データの推移を示します。データの動向がグラフ枠上にある方向性に向かっていれば加点対象とします。

※□で囲んでいる箇所は計画策定時の数値です。



IV 施策評価

概ね順調に進んでいる

〔Ⅰ＋Ⅱ＋Ⅲ＝ 80点 /100点〕

中心市街地の活性化に向けては、店舗の改装費等を支援する「元気な中心市街地づくり促進事業」により、まちなかの新たな拠点づくりを進めたほか、中心市街地における多様な主体によるイベントの実施を支援する「まちなか催事支援事業」を創設し、来街の目的や機会の創出に取り組んできました。また、藤丸百貨店閉館後の動きとして、仮設商業施設「藤丸パーク」がオープンするなど、中心市街地の再生に向けた動きが見られていますが、「中心市街地の歩行者通行量【図1-5】」は前年より減少しています。今後も、関係団体や事業者等と連携し、中心市街地の魅力向上とにぎわいの創出に向けた取り組みを促進していく必要があります。

緑ヶ丘公園エリアビジョンに基づき、児童遊園芝生物販利用試行実施やプレイヤー募集により多様な主体の活動を呼び込んだことや、南公園がとまちプラザと一体的な管理運営になり、南公園の利活用方法について積極的な情報発信ができたことなどにより、「公園行為許可件数【図1-3】」は前年より大幅に増加しています。今後も、公園緑地の整備や適正な維持管理に取り組むとともに、緑ヶ丘公園エリアビジョンに基づく取り組みやキッチンカーの行為許可が電子申請可能となったことの周知などにより、みどりの利活用を図り、更なる公園の魅力向上につなげていきます。

人口構成の変化に対応した住まいを提供するため、高齢者世帯や子育て世帯向けの公的賃貸住宅を提供したほか、ユニバーサルデザインを取り入れた市営住宅の建て替えを進めたことにより、「高齢者及び身障者に対応した市営住宅等の割合【図1-4】」は前年より増加しています。また、除却費等の上昇などにより、除却件数が減少しており、「空き家数【図1-1】」は前年より増加しています。今後も、関係団体と連携し、市の補助制度など空き家に関する情報の周知や相談対応に取り組む、空き家の除却や利活用などにつなげていく必要があります。

道路の整備・維持管理については、計画的な道路整備により、「都市計画道路の整備率【図1-2】」が上昇したほか、橋梁の定期的な点検・修繕、街路樹の維持管理に取り組みました。除雪については、令和7年2月の大雪除雪に関する検証を行い、第二次帯広市総合除雪基本計画に大雪除雪に関する内容を加え一部改訂しました。また、降雪量や時間帯などの状況を踏まえ、道路区分ごとに対応するなど、効率的・効果的な除雪を実施するとともに、除雪体制の維持や情報発信、オンライン会議による他機関との連携などにも取り組みました。今後も、関係機関や事業者と連携しながら、持続可能な除雪体制の維持に努めていきます。

地域公共交通の確保に向けては、バス路線維持に対する支援や農村地区における交通手段の確保、公共交通の利用促進などの取り組みを進めており、「市内運行路線における路線バス年間利用者数【図1-6】」は前年より増加しています。今後も、交通事業者をはじめとする関係機関と連携し、利用者のニーズに即した公共交通サービスの利便性向上及び利用促進に向けた取り組みを進め、持続可能な公共交通サービスを確保していきます。

施策全体としては、事務事業の進捗状況が40点、目指そう指標の進捗状況が25点、関連データの状況が15点となっており、目指す姿の実現に向け、「概ね順調に進んでいる」と評価します。



施策22 認め合い、つながり、暮らす —多様な主体が活躍する地域社会の形成—



目指す姿

誰もが互いに尊重し合い、つながりながら、住みよいまちをつくるために主体的に行動し活躍しています。



Ⅰ 事務事業の進捗状況

進捗率 72.7% :

40点

30点

25点

【事務事業の主な取り組み】

- 市民団体等のまちづくり活動を支援するため、市民提案型協働のまちづくり支援事業を実施したほか、町内会への支援として、交付金の交付や加入啓発、持続可能な町内会活動の推進に向けた取組方針に基づき、町内会の負担軽減や活動支援を実施。
- 市民相互の交流促進のため、コミュニティ施設を維持管理。
- 国際姉妹・友好都市、国内姉妹都市との交流活動を支援するため、高校生をはじめとする相互交流事業を実施。
- 移住促進を図るため、移住希望者に対する相談支援やホームページ等を活用した情報提供を実施。
- 男女がともに仕事と家庭生活を両立できる環境づくりや女性への暴力の根絶を図るため、男女共同参画に関する講座の実施や啓発パンフレットを配布。
- アイヌ民族の歴史・文化に関する理解促進のため、生活文化展や講演会の開催のほか、アイヌ民族文化情報センター（リウカ）、アイヌ文化とのふれあいゾーン（緑ヶ丘公園）を活用した周知啓発を実施。
- アイヌ子弟の教育環境の充実を図るため、教育扶助を支給。
- 平和意識の啓発のため、平和カレンダー作成やパネル展を実施したほか、戦後80年事業としておびひろ平原まつり会場等で平和コンサートや企画展などを開催。



市民提案型協働のまちづくり支援事業
団体の活動の様子



Ⅱ 目指そう指標の進捗状況

進捗率 250.0% :

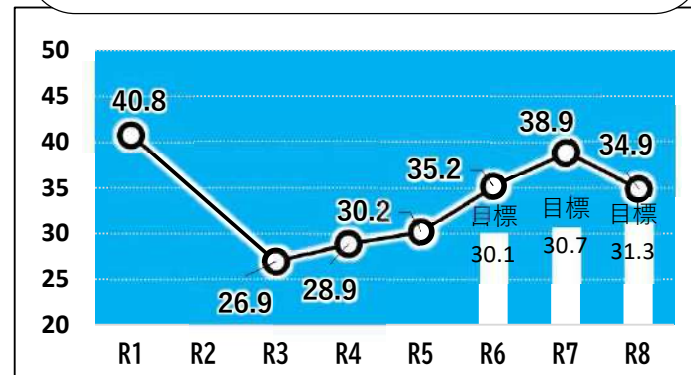
40点

30点

25点

目指そう指標名			方向性
直近1年間で地域社会活動に参加した市民の割合			↗
指標の考え方	市民による主体的なボランティア活動・地域行事等への参加や、市による多様な活動への支援などにより、上昇を目指します。	基準値 (R4)	28.9%
		実績値 (R8)	34.9%
		目標値 (R8)	31.3%

【図1-1】直近1年間で地域社会活動に参加した市民の割合(%)



※ R2市民アンケート調査未実施

【指標の動向・要因分析】

「直近1年間で地域社会活動に参加した市民の割合」は34.9%となり、目標を達成しました。

市では市民主体のまちづくり活動の紹介や相談窓口の設置などによる地域社会活動の促進に取り組んできており、町内会活動などに参加する人の割合は前年より減少しているものの、企業や団体など、多様な主体によるまちづくりへの参加が進んだことなどにより、目標値を上回っているものと考えられます。

今後も、町内会や市民団体、民間企業、NPOなど、まちづくりに参加する多様な主体への活動支援などを通し、市民の地域社会活動への主体的な参加を促進していく必要があります。



Ⅲ 関連データの状況

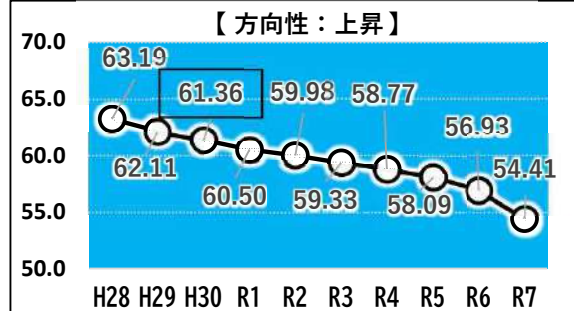
得点率 20.0% :

20点

15点

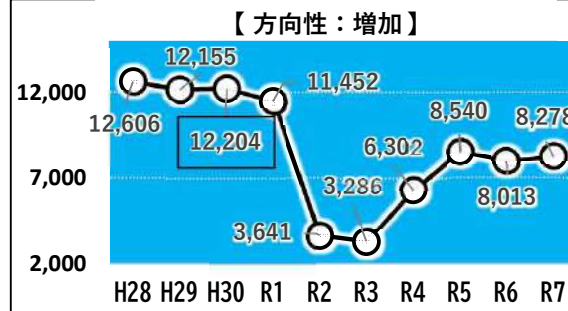
10点

【図1-2】町内会加入率
(%)



策定時以下・前年以下：0点

【図1-3】国際理解推進事業・国際交流事業参加者数（人）



策定時以下・前年より増加：2点

※施策の推進に向けた市による事務事業や市民・企業等の様々な活動などによる地域社会の変化を把握するため、関連データの推移を示します。データの動向がグラフ枠上にある方向性に向かっていれば加点対象とします。

※□で囲んでいる箇所は計画策定時の数値です。



IV 施策評価

概ね順調に進んでいる

〔Ⅰ＋Ⅱ＋Ⅲ＝ 80点 /100点〕

コミュニティ活動の活性化に向け、市民提案型協働のまちづくり支援事業やこども学校応援地域交付金事業、市民団体等の活動情報の発信など市民団体やNPO等によるまちづくり活動への支援等により、新たに社会貢献活動を実施する団体・企業が見られており、まちづくりに参加する主体は広がりつつあります。「直近1年間で地域社会活動に参加した市民の割合【図1-1】」は、目標値を3.6ポイント上回っている一方で、「地域社会活動を行わなかった」と回答した人の理由として、「関心が無い」と回答した人の割合が増加しています。今後も、市民団体やNPO等のまちづくりに参加する多様な主体の活動への支援に加え、地域社会活動の意義や必要性を周知して市民の関心を喚起し、参加につなげていく必要があります。

また、町内会活動などにおいては、前年より活動に参加する人の割合が減少しており、「町内会加入率【図1-2】」も依然として減少傾向にあるため、今後も、町内会の負担軽減を図り、持続可能な町内会活動の支援に取り組んでいく必要があります。

姉妹都市をはじめとした他地域との交流に向け、各種国際交流イベントの実施や国際交流ボランティアの育成のほか、在住外国人に向けた生活に必要な情報の提供などの取り組みを行いました。イベントでの国際交流ボランティアに関する周知や関係機関と連携したボランティア向け講座の開催などにより、国際交流ボランティア登録者は増加し、「国際理解推進事業・国際交流事業参加者数【図1-3】」は、前年より増加しました。今後も、周知方法やイベント内容の見直しを適宜行い、各国の多様な文化への理解促進を図りながら、市民主体の交流を促進していく必要があります。

性別による役割分担意識の解消に向け、男女共同参画講座やセミナーを実施し、互いを尊重する意識の浸透に取り組みしました。また、デートDV予防にかかる講座や女性に対する暴力の根絶などの意識向上を図る取り組みを進めていますが、障害者、高齢者、子どもなどへの虐待等も依然として存在しています。今後も、多様性を認め合いながら、誰もが活躍できる環境づくりに向けた取り組みを進めていく必要があります。

アイヌの人たちの誇りが尊重される社会の実現に向け、アイヌ民族の歴史・文化に触れることのできる生活文化展等のイベントや講演会の開催などに取り組みしました。イベントへの参加者数やリウカの利用者数は前年と比べて減少していることから、今後も、アイヌ民族の歴史・文化へのさらなる理解促進に向けて、より多くの方へ情報発信できるよう、様々な手法を検討し、取り組みを進めていく必要があります。

施策全体としては、事務事業の進捗状況が30点、目指そう指標の進捗状況が40点、関連データの状況が10点となっており、目指す姿の実現に向け、「概ね順調に進んでいる」と評価します。



施策23 未来に夢をつなぐ ―自治体経営の推進―

目指す姿

市民ニーズや行政を取り巻く環境の変化を的確に捉えた、市民に信頼される持続可能な自治体経営が行われています。

 I 事務事業の進捗状況	進捗率 94.1% :	40点	30点	25点
【事務事業の主な取り組み】 ●市民に行政情報を分かりやすく伝えるため、各種行政サービスの利用方法や周知・啓発等にかかる動画をSNSで発信したほか、広報紙やホームページなど、様々な媒体を活用した情報発信を推進。 ●効果的・効率的な行政運営を行うため、保育所の民間移管に向けた準備、RPA(※1)、AI-OCR(※2)、グループウェア(※3)、ローコード開発ツール(※4)等のICTを活用した事務改善、DX推進員制度(※5)の運用開始、生成AIサービスの本格導入と機能拡充など、行財政改革の取り組みを推進。 ●まちづくりに関する取り組みの状況を市民と共有するため、第七期総合計画の進捗状況を取りまとめて公表。 ●公共施設等のマネジメントの推進に向け、長寿化や施設総量の適正化などを図るため、南町中学校の増築や農業センターと消防団詰所の複合化などを実施。 ●自主財源の確保・拡大を図るため、ふるさと納税に係る返礼品の充実や未利用地・低利用地の売払いや貸付けのほか、「新たな自主財源確保対策検討会議」を開催し、新たな取り組みの検討などを実施。 ●市民の日常生活における様々な問題の解決支援のため、市民相談員による一般相談や弁護士による無料法律相談を実施。 ●職員の意欲や能力の向上を促すため、職員に対して各種研修等を実施したほか、eラーニングによる自己啓発機会を運用。 ●住民票等の交付に係る市民の利便性向上を図るため、マイナンバーカードを活用したオンライン申請および電子決済システムを提供。 ●引っ越しやマイナンバーカード等の手続きに係る市民の待ち時間解消のため、オンライン窓口予約システムを導入。 ※1 RPA：定型的業務を自動化する技術 ※2 AI-OCR：AI（人工知能）を搭載した文字認識技術 ※3 グループウェア：情報共有やコミュニケーションを円滑にし、業務効率化を促進するソフトウェア ※4 ローコード開発ツール：高度な専門知識を必要とせずアプリや簡易的なシステムを開発するツール ※5 DX推進員制度：業務の見直しやデジタル技術の活用等を進める職員を育成するプロジェクト	 農業センターと消防団詰所の複合化			



II 目指そう指標の進捗状況

進捗率 ▲48.0% :

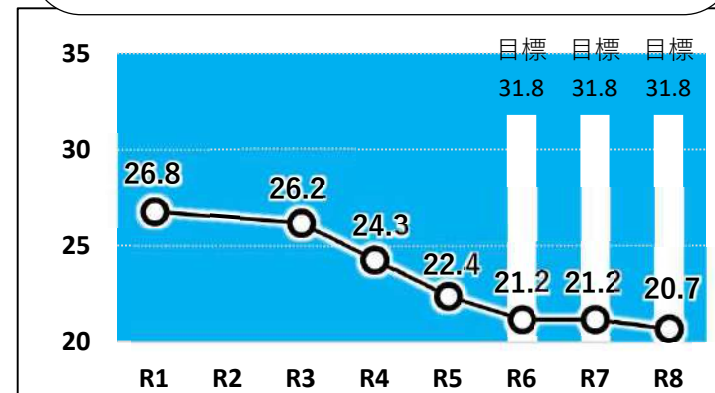
40点

30点

25点

目指そう指標名			方向性
まちづくりのために、有効に税金が使われていると思う市民の割合			↑
指標の考え方	わかりやすい情報発信に努めながら、効果的・効率的な自治体経営を進め、市民の理解や共感を得ることにより、上昇を目指します。	基準値 (R4)	24.3%
		実績値 (R8)	20.7%
		目標値 (R8)	31.8%

【図1-1】まちづくりのために、有効に税金が使われていると思う市民の割合（％）



※ R2市民アンケート調査未実施

【指標の動向・要因分析】

「まちづくりのために、有効に税金が使われていると思う市民の割合」は20.7%であり、目標を達成しませんでした。

市では、市長への手紙や市民トーク、パブリックコメントなどを通じて市民の意見や要望を把握に努めるとともに、保育所の民間移管や学校における用務業務等の民間委託、デジタル技術を活用した事務改善、ふるさと納税を通じた自主財源の確保、マイナンバーカードを活用したオンライン申請および電子決済システムの運用など、事業の見直し等を図りながら、効果的・効率的な行財政運営に向けた取り組みを進めてきており、その状況を広報紙やSNS、市長記者会見などを通じて発信してきましたが、目標値との乖離が生じています。

「有効に税金が使われていない」と回答した理由として、「どのように税金が使われているか分からない・分かりにくい」を選択した割合は74.7%、「自分の身近な所に、税金があまり使われていないと感じるから」を選択した割合は54.7%と、いずれも高い割合となっています。

今後も、「有効に税金が使われていると思う市民の割合」の上昇に向けて、市民の声を踏まえながら事業の見直し等を図り、取り組み状況を多様な媒体を通じて分かりやすく発信することで、まちづくりに対する市民理解を深め、納得感を高めていく必要があります。



Ⅲ 関連データの状況

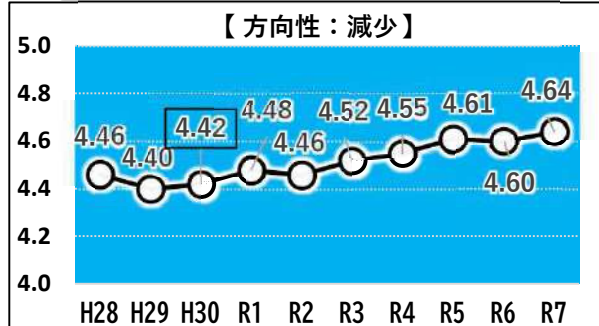
得点率 68.0% :

20点

15点

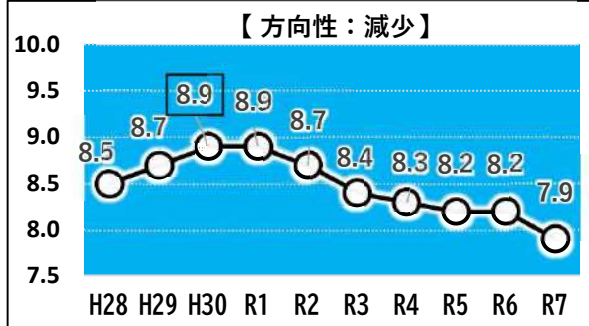
10点

【図1-2】市が管理する市民一人あたりの施設延床面積 (㎡)



策定時以上・前年以上：0点

【図1-3】実質公債費比率 (%)



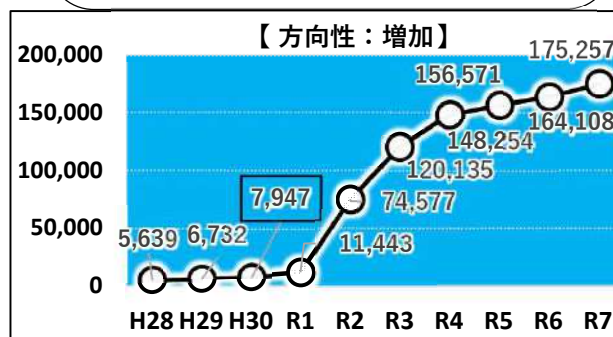
策定時より減少・前年より減少：5点

【図1-4】将来負担比率 (%)



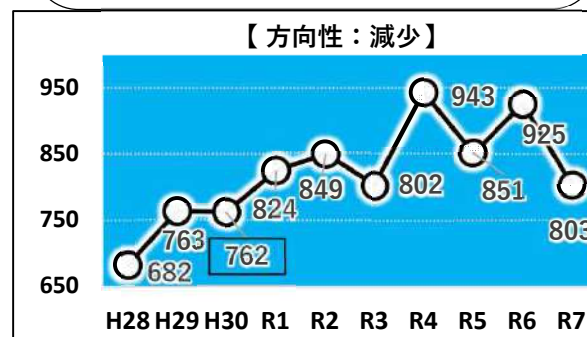
策定時より減少・前年より減少：5点

【図1-5】SNS等登録者数 (件)



策定時より増加・前年より増加：5点

【図1-6】月間の時間外勤務が45時間を超えた職員の数 (人)



策定時以上・前年より減少：2点

※施策の推進に向けた市による事務事業や市民・企業等の様々な活動などによる地域社会の変化を把握するため、関連データの推移を示します。データの動向がグラフ枠上にある方向性に向かっていれば加点对象とします。

※□で囲んでいる箇所は計画策定時の数値です。



IV 施策評価

概ね順調に進んでいる

〔Ⅰ＋Ⅱ＋Ⅲ＝ 80点 / 100点〕

まちづくりの考え方や取り組みに対する市民理解の促進に向け、広報紙や市長記者会見のほか、ホームページの新着情報、動画などをSNSを通じて積極的に発信してきたことにより、「SNS等登録者数【図1-5】」は増加しています。一方で、まちづくりアンケートでは、「まちづくりのために、有効に税金が使われていない」と回答した人の7割以上が、その理由として「どのように税金が使われているか分からない・分かりにくい」を選択しています。今後も、市による直接配布に移行した広報紙をはじめ、SNSなど多様な媒体を活用し、情報発信の内容や表現を工夫することにより、市の取り組み内容や成果などを分かりやすく伝えとともに、市民の要望や意見などを把握しながら、事業の見直し等に努めていく必要があります。

効果的・効率的な自治体経営を進めるため、計画的な市債発行など中長期を見据えた財政運営に努めてきたことにより、「実質公債費比率【図1-3】」、「将来負担比率【図1-4】」ともに減少しています。また、生成AIの活用のほか、RPAやAI-OCR等のICTを活用した作業時間の縮減など、業務の効率化に向けた取り組みを進めてきたことにより「月間の時間外勤務が45時間を超えた職員の数【図1-6】」は前年と比べ122人減少していますが、依然として高い水準で推移していることから、今後も組織全体で事業の見直しや、デジタル技術の活用による業務の効率化に取り組んでいく必要があります。

適正な業務執行の確保に向けては、定期監査や決算審査を実施しているほか、建設工事等の入札については、公正性と透明性が高い一般競争入札を行っています。

公共施設マネジメントについては、計画に基づき、農業センターと消防団詰所の複合化等を進めてまいりましたが、大空地区の公営住宅の建て替え等により、「市民一人あたりの施設延床面積【図1-2】」は前年と比べて増加しています。今後、財政面での制約がより強まると見込まれることから、各施設の老朽化の進行状況や利用に対するニーズの変化などを捉え、市民の理解と協力を得ながら、公共施設マネジメントの更なる推進を図っていく必要があります。

職員の育成については、受講ニーズや時代の変化等を踏まえた各種研修等の実施のほか、eラーニングによる自己啓発機会の提供などを行っています。他自治体との連携においては、廃棄物処理や水道、消防業務などの共同実施のほか、産業振興や広域観光、救急医療体制等の確保など、定住自立圏形成協定に基づく取り組みを推進しており、事務の効率化や圏域の生活機能の確保、魅力向上などが図られています。今後も、他自治体などと連携・協力することで、効率的な運営や地域の活性化につなげていく必要があります。

施策全体としては、事務事業の進捗状況が40点、目指そう指標の進捗状況が25点、関連データの状況が15点となっており、目指す姿の実現に向け、「概ね順調に進んでいる」と評価します。

事務事業評価表

施策	1	取組	1	番号	1	事務事業	健康づくり推進事業						
目的	健康意識の向上に関する取り組みや、生活習慣病予防に関する知識を普及する人材の育成などを通し、市民の健康づくりを推進します。						担当課	健康推進課					
目標	スマートフォン用アプリを活用し、運動習慣の定着を促す健康マイレージ事業の参加者数について5,400人を目指します。												
事業実施状況	・健康づくり推進サポーターの育成と活動の推進（会員数 食改26人、健康25人） ・健康マイレージの推進（参加者数延6,200人） ・スマートライフプロジェクトおびひろの推進（登録企業延104社） ・おびひろ健康まつりの実施（来場者数1,093人）						単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額			
							事業費	2,404	2,445	2,148			
							特定財源	200	200	200			
							一般財源	2,204	2,245	1,948			
							指標名	健康マイレージ事業参加者数			単位	人	
							基準値	R5	目標値	R6	目標値	R7	目標値
									実績値		実績値		実績値
							2,878	4,500	5,000	5,400			
	4,458	5,478	6,200										
評価検証	R7年度の健康マイレージ事業の参加者数は6,200人であり、目標を達成しました。 広報紙やホームページ、イベント等で継続的に周知したことにより、登録者増に結びついたものと考えます。												
	R8年度以降については、歩数計機能付きアプリSPOBYを運営していた委託事業者の事業継続が困難なため、健康マイレージ事業は、事業内容等を再検討し、事業の再開を目指す考えです。												

施策 1 取組 1 番号 2 事務事業 保健衛生普及啓発事業															
目的		保健衛生に関する情報提供や関係団体との連携などにより、市民の健康づくりを推進します。						担当課		健康推進課					
目標		保健衛生に関する情報提供体制を維持します。													
事業実施状況		・献血の普及啓発 ・臓器等提供の普及啓発 ・骨髄バンクドナー助成の実施 ・健康づくりガイドの作成 ・地元食材の活用促進の啓発 ・公衆浴場の利用促進				単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
						事業費		18,476		19,376		19,349			
						特定財源		0		0		0			
						一般財源		18,476		19,376		19,349			
						指標名				-		単位			
						基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
						-			-	-	-	-			
評価検証		R7年度は、健康づくりガイドの作成・配布のほか、各事業について広報紙やホームページ等により、情報提供・普及啓発を実施し、保健衛生に関する情報提供を進めてきており、目標を達成しました。													

施策	1	取組	2	番号	1	事務事業	疾病対策事業					
目的	各種検診や保健指導、受診勧奨の実施により、疾病の予防や早期発見・早期治療と重症化予防を推進します。						担当課	健康推進課				
目標	大腸がんの検診における精密検査の受診率について69.3%を目指します。											
事業実施状況	・がん対策の実施（受診者延27,967人） ・市民健康診査等の実施（受診者275人） ・肝炎ウイルス検診の実施（受診者563人） ・骨粗しょう症検診の実施（受診者154人） ・結核検診の実施（受診者142人） ・各種健診の受診勧奨・事後指導 ・糖尿病対策の実施					単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額			
						事業費	145,227	144,073	148,019			
						特定財源	3,023	3,115	4,131			
						一般財源	142,204	140,958	143,888			
						指標名	大腸がん検診の精密検査受診率		単位	%		
						基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値
						66.9		69.3 68.6	69.3 72.3	69.3 68.6		
							R7年度の大腸がん検診の要精密検査の受診率（R5年度の確定値）は68.6%であり、目標を達成しませんでした。 自覚症状が無いことを理由に精密検査を受診しない方がいることから、受診の必要性についての周知啓発だけでなく、精密検査の判定を受けた方への個別の受診勧奨についても継続していく必要があると考えます。					

事務事業評価表

施策 1 取組 2 番号 2 事務事業 健康教育事業																
目的	健康教育の実施により、生活習慣病の予防やこころの健康づくりの普及・啓発を図ります。						担当課	健康推進課								
目標	健康講座の受講者数について毎年４％の増加を目指します。															
事業実施状況	・ 出前健康講座の実施 ・ 健康情報の発信					単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額					
						事業費		3,580		4,138		4,272				
						特定財源		514		503		0				
						一般財源		3,066		3,635		4,272				
						指標名		健康講座受講者数						単位	人	
						基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値	
						857			927 2,358			964 2,323			1,003 2,690	
評価検証	R7年度の出前健康講座の受講者数は2,690人であり、目標を達成しました。 イベントや各種訪問などの機会に健康講座をPRしたことが増加の要因と考えます。															

施策	1	取組	2	番号	3	事務事業	健康相談・訪問支援事業												
目的	健康相談や訪問による保健指導などにより、市民の健康づくりを促進します。						担当課	健康推進課											
目標	市民の健康に関する不安に対して電話や面談により対応する健康相談・訪問の件数について884件を目指します。																		
事業実施状況	・健康相談の実施 ・保健指導・受診勧奨の実施 ・保健福祉サービスに関する情報提供					単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額								
						事業費		1,667		3,704		4,110							
						特定財源		386		378		3							
						一般財源		1,281		3,326		4,107							
						指標名		健康相談・訪問件数				単位		件					
						基準値		R5		目標値 実績値		R6		目標値 実績値		R7		目標値 実績値	
						749				884 1,418		884 774		884 642					
評価検証	R7年度の健康相談・訪問の件数は642件であり、目標を達成しませんでした。 栄養指導を行った件数の減少が要因と捉えています。 今後も引き続き、市民が必要ときに相談することができるよう、体制を整えるとともに広報おびひろや健康づくりガイド、ホームページ等により広く周知啓発を図っていく考えです。																		

施策	1	取組	2	番号	4	事務事業	自殺対策事業			
目的	自殺対策に関わる人材の育成や地域での支え合いの強化、こころの健康づくりの普及啓発などを通し自殺予防を図ります。						担当課	健康推進課		
目標	自殺の危険を示すサインに気づき、適切な対応を図ることができるゲートキーパーの累積養成者数について1,864人を目指します。									
事業実施状況	・帯広市生きたるを支える連携会議の開催 ・ゲートキーパーの養成（4回147名） ・多分野合同研修会の実施（3回89名） ・こころの健康づくりの普及啓発（こころの体温計、パネル展等） ・帯広市生きたるを支える推進計画の推進					単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額	
						事業費	513	548	536	
						特定財源	240	332	327	
						一般財源	273	216	209	
						指標名	ゲートキーパー養成講座の累積養成者数		単位	人
						基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値
	1,505	1,675 1,816	1,767 1,950	1,864 2,097						
評価検証	R7年度のゲートキーパーの累積養成者数は2,097人（R7養成者数147人）であり、目標を達成しました。 従来の養成講座に加え、職員向けeラーニングによる講座を実施したことで、養成者数の増加や職員の理解増進につながったものと考えます。									

事務事業評価表

施策	1	取組	2	番号	5	事務事業	感染症予防事業					
目的	予防接種や日常の感染予防対策の実施により、感染症の発生及びまん延を予防します。						担当課	健康推進課				
目標	子どもの麻しん・風しん混合ワクチン（2期）の接種率について95.0%を目指します。											
事業実施状況	・予防接種の周知啓発 ・定期接種の実施（接種者延20,521人） ・インフルエンザ予防接種費用助成の実施（中学3年生・高校3年生接種者延722人、高齢者接種者延23,101人） ・新型インフルエンザ対策行動計画の推進 ・感染症発生状況の把握、情報発信 ・エキノコックス症血清検査の実施（受診者延103人） ・積極的勧奨の差控えにより接種機会を逃した方へのHPVワクチン予防接種の実施（接種者延307人） ・新型コロナウイルスワクチンの接種の実施（接種者延2,709人） ・带状疱疹ワクチンの接種の実施（接種者延4,596人）						単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額		
							事業費	736,373	486,390	413,251		
							特定財源	477,999	50,596	14,914		
							一般財源	258,374	435,794	398,337		
							指標名	麻しん・風しん混合ワクチン接種の接種率			単位	%
							基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7
	91.3	95.0 91.5	95.0 88.3		95.0 91.5							
評価検証	R7年度の麻しん・風しん混合ワクチン（2期）の接種率は91.5%であり、目標を達成しませんでした。対象者の保護者に対して、5月と12月に個別通知を送付したほか、7月に保育所等を通じてチラシを配布する等の啓発・勧奨を行いました。接種の意義や必要性が十分に伝わらず、実際の接種行動に結びつかなかったことが要因であると考えます。											
	今後は、従来の周知・勧奨に加え、他市の取り組みを調査・参考に、接種の意義や必要性について啓発し、接種率の向上につなげていく必要があります。											

施策 1 取組 2 番号 6 事務事業 健康増進計画（けんこう帯広21）推進事業													
目的		健康増進計画を推進し、健康増進に関する施策を総合的に進めます。							担当課		健康推進課		
目標		-											
事業実施状況		・「けんこう帯広21」の推進				単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
						事業費		70		0		0	
						特定財源		0		0		0	
						一般財源		70		0		0	
						指標名 -				単位			
		基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値		
		-		-		-		-		-			
評価検証		-											

施策 1 取組 2 番号 7 事務事業 保健福祉センター等管理運営事業													
目的	保健福祉センター等の管理運営を通して、健康づくりや子育て支援など、各種福祉サービスを提供します。					担当課	健康推進課						
目標	-												
事業実施状況	・保健福祉センターの管理運営（利用者延26,973人） ・大正健康増進センターの管理運営（利用者延599人） ・川西健康増進センターの管理運営（利用者延1,997人）					単位：千円		R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額			
						事業費		46,373	88,983	67,227			
						特定財源		1,329	40,872	7,029			
						一般財源		45,044	48,111	60,198			
						指標名		-			単位		
						基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値
						-			-		-		-
評価検証	-												

事務事業評価表

施策	1	取組	2	番号	8	事務事業	保健・介護一体的実施推進事業						
目的	高齢者の保健事業と介護予防事業を一体的に実施することにより、心身の多様な課題に対し、きめ細やかな支援を行うことで、健康寿命の延伸を目指します。						担当課		健康推進課				
目標	-												
事業実施状況	・企画調整担当保健師の配置 ・医療関係団体等との連絡調整 ・地域の健康課題の分析・対象者把握 ・高齢者に対する個別支援の実施（延16人） ・通いの場等への積極的な関与（15団体、404人）						単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額			
							事業費	421	429	414			
							特定財源	6,801	5,774	5,727			
							一般財源	△6,380	△5,345	△5,313			
							指標名	-			単位		
							基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値
							-		-		-		-
評価検証	-												

事務事業評価表

施策	2	取組	1	番号	1	事務事業	のびのび子育て応援事業			
目的	地域担当保育士による乳児家庭訪問や保育所を活用した取り組み等により、家庭での子育てを支援します。					担当課	こども課			
目標	高校生や短大生などを対象とした、子どもの人権に対する理解促進を図る出前講座の参加者数について600人を目指します。									
事業実施状況	・こんには赤ちゃん訪問事業の実施（317回） ・あそびの広場事業の実施（130回、534組、1,166人） ・保育所地域支援事業の実施（91回、87組、197人） （保育と給食体験、親子で保育参加、小中高校生保育体験受け入れほか） ・「子どもの権利条約」に係る出前講座の実施（24回、941人）					単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額	
	事業費						2,705	2,709	2,573	
	特定財源						2,339	1,957	1,838	
	一般財源						366	752	735	
	指標名					出前講座の参加者数			単位	人
評価検証						基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値
						474		600 840	600 1,014	600 941

事務事業評価表

施策	2	取組	1	番号	4	事務事業	歯科保健事業			
目的	幼児期の継続的な歯科健診等を通して、口腔の健康管理のための正しい知識の普及を図ります。					担当課	健康推進課			
目標	乳幼児の虫歯保有率の低下を目指します。									
事業実施状況	・集団歯科健診の実施 ・歯科医療機関での歯科健診、フッ化物塗布の実施					単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額	
	事業費						10,614	9,852	9,322	
	特定財源						0	1,010	1,022	
	一般財源						10,614	8,842	8,300	
	指標名					-			単位	
評価検証						基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値
						-		-	-	-

R7年度は前年と比べ、1歳6か月児から6歳児における虫歯保有率が平均1.0ポイント減少しており、目標を達成しました。
一方で、3歳児健診以降は直接歯科健診の勧奨を行う機会がなく、また、虫歯保有率は年齢が上がるにつれて上昇傾向にあることから、引き続き子育てアプリ等を活用しながら、啓発を進めます。

施策	2	取組	1	番号	2	事務事業	食育推進事業(保育所)			
目的	保育所での行事等を通して、児童の食に対する関心を高めるとともに、食と健康についての意識啓発を図ります。					担当課	こども課			
目標	食を通じた健康づくりを促進する食育講座（市主催）の1所あたりの平均参加人数について19人を目指します。									
事業実施状況	・行事での祝事食の提供（3回） ・ふるさと給食の提供（4回） ・保護者、児童向け食育講座の実施（11回、128人）					単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額	
	事業費						721	773	711	
	特定財源						0	0	0	
	一般財源						721	773	711	
	指標名					1所あたりの食育講座参加人数			単位	人
評価検証						基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値
						11		19 15	19 16	19 14

R7年度の1所あたりの食育講座参加人数は18人であり、前年より増加しましたが、目標を達成しませんでした。
保護者懇談会等だけでなく、親子で遊べる保育所の広場開放日にも実施したことで、参加人数の増加につながったと考えます。
今後は、広場開放日以外にも、講座を開催できる機会を増やすことで、参加経験のある児童や保護者を増し、食と健康についての意識啓発を図っていく必要があると考えます。

施策	2	取組	1	番号	5	事務事業	食育推進事業（一般家庭）			
目的	料理教室などを通して、食と健康についての意識啓発や乳幼児期の栄養指導を行い、親子の健康の保持増進を図ります。					担当課	健康推進課			
目標	食と健康に関する理解を促進します。									
事業実施状況	・親子料理教室の開催(参加者延31人) ・パパと子の料理教室の開催（参加者延16人） ・育児教室（離乳食についての講話）の開催（参加者延175組） ・乳幼児栄養相談の実施					単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額	
	事業費						842	557	548	
	特定財源						14	15	14	
	一般財源						828	542	534	
	指標名					-			単位	
評価検証						基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値
						-		-	-	-

R7年度の親子料理教室、パパと子の料理教室は、概ね定員の参加者数となり、目標を達成しました。
土曜開催による参加しやすさの向上やWEB予約など申し込み方法の選択肢の拡大が要因と考えます。
今後も、各事業を継続実施し、食と健康について正しい知識の普及を進めていく必要があると考えます。

施策	2	取組	1	番号	3	事務事業	子育て支援事業			
目的	こども家庭センターにおいて、子育て相談など多様な子育て支援事業を実施します。					担当課	子育て支援課			
目標	地域で子育てを支援するファミリーサポートセンター事業によるサポート件数について1,563件を目指します。									
事業実施状況	・絵本との出会い事業の実施（配布対象827人） ・ファミリーサポートセンター事業の実施（会員数835人、活動件数2,356件）、ひとり親世帯への利用料助成（利用人数35人、利用回数173件） ・子育て応援事業所登録事業の実施（登録事業所数296事業所） ・妊婦のための支援給付、出産子育て応援交付金の給付（1,781件） ・利用者支援事業（基本型）の実施（転入者対応12件） ・伴走型相談支援の実施					単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額	
	事業費						106,066	104,275	104,488	
	特定財源						99,738	97,626	111,918	
	一般財源						6,328	6,649	△7,430	
	指標名					ファミリーサポートセンター事業の利用件数			単位	件
評価検証						基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値
						1,510		1,533 2,167	1,548 1,802	1,563 2,356

R7年度のファミリーサポートセンター事業の利用件数は2,356件であり、目標を達成しました。
広報紙での事業周知により、利用会員が増加したことや、継続的な実施により事業の有効性が既存会員に浸透したことが要因と考えます。
一方、利用会員、提供会員数がともに高い水準にあるものの、実働できる提供会員数の少なさが課題となっているため、今後も、チラシやメディア等を活用した事業の周知や提供会員向けの講習会を継続し新たな提供会員の確保に努めていく必要があると考えます。

施策	2	取組	1	番号	6	事務事業	地域子育て支援センター事業			
目的	地域子育て支援センターにおいて、育児相談や地域と親子の交流の場の提供を行い、地域での子育てを支援します。					担当課	子育て支援課			
目標	地域子育て支援センターが実施する子育てに関する講座等への参加組数の増加を目指します。									
事業実施状況	・地域子育て支援センターの運営（施設数6箇所、利用件数26,850件） ・伴走型相談支援の実施（後期妊婦面談：58人） ・地域子育て相談機関の運営【R7.10月～】（相談件数：58件） ・地域子育て支援センター事業（子育て講座参加組数4,726組）					単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額	
	事業費						41,957	43,285	46,335	
	特定財源						39,345	40,119	42,490	
	一般財源						2,612	3,166	3,845	
	指標名					子育て支援センター支援事業参加組数			単位	組
評価検証						基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値
						2,061		3,000 3,988	3,000 4,512	3,000 4,726

R7年度の子育て支援センター支援事業の参加組数は4,726組であり、目標を達成しました。
乳幼児健診（4か月健診）の受診者に対し、地域子育て支援センター担当者から、直接、講座の周知を行ったことが要因と考えます。
10月には、新たな地域子育て相談機関（子育て相談る～む）を設置しており、今後も、妊産婦や子ども、その家庭の身近な相談機関として、地域の子育てを支援していきます。

事務事業評価表

施策	2	取組	1	番号	7	事務事業	子ども発達支援事業						
目的	発達相談や早期療育の機会の提供により、発達の遅れや障害のある児童と家庭への支援を行います。						担当課	子育て支援課					
目標	子どもの発達に関する相談体制を維持します。												
事業実施状況	・発達支援センターの運営（延相談人数65人） ・子ども発達相談室の運営（発達相談相談件数909件、2・3・4歳児相談相談件数237件） ・ことばの相談事業の運営（延相談人数228人） ・肢体不自由児機能訓練事業の実施（参加組数親子89組） ・子ども支援部会の開催（開催回数5回） ・医療的ケア児童支援検討部会の開催（開催回数7回） ・難聴児の補聴器購入への支援（助成件数7件）						単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額			
							事業費	17,123	18,412	19,591			
							特定財源	548	537	678			
							一般財源	16,575	17,875	18,913			
							指標名	発達に心配のある子や障害児に関する相談件数			単位	件	
							基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値
							513		513		513		513
評価検証	R7年度の子ども発達相談室の相談件数は909件となり、目標を達成しました。 こどもの発達に関する相談窓口として、幼稚園や保育所、学校と連携しながら相談業務を行ってきたことで、保護者や関係機関への認知度が高まり、相談件数が増加していると考えます。 今後も、子どもの健やかな成長に向けて、発達に心配のある子や障害児についての相談体制や支援を継続していく必要があると考えます。							738	772	909			

施策	2	取組	1	番号	8	事務事業	母子保健サービス提供事業					
目的	妊娠・出産・育児に関する相談や支援を進め、精神的・経済的不安の軽減を図ります。						担当課		健康推進課			
目標	子育てに関する相談体制を維持します。											
事業実施状況	・母性相談の実施（相談者延1,815人） ・訪問指導の実施（実施数延2,272人） ・不妊治療費の支援（生殖補助申請数延1件、先進不妊申請数延154件） ・不育症治療費の支援（申請数延1件） ・妊娠中、産後早期の妊産婦への支援（産後ケア利用数延297件、産前産後サポート事業参加者延448人） ・母子健康手帳アプリの運用（総登録数4,345件） ・利用者支援事業の実施（実施数926件）（母子保健機能）						単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額		
							事業費	16,878	18,660	20,098		
							特定財源	15,709	14,418	7,804		
							一般財源	1,169	4,242	12,294		
	指標名						妊娠、出産及び育児に関する相談件数		単位	件		
	基準値						R5	目標値	R6	目標値	R7	目標値
								実績値		実績値		実績値
1,912							1,912		1,912		1,912	
							1,628		1,879		1,815	
評価検証	R7年度の母性相談室での相談件数は1,815件であり、目標を達成しませんでした。											
	訪問指導、産後ケア事業や教室事業による相談など、相談手法の増加や相談対象となる母子の減少が要因と考えます。 今後も、母性相談室に限らず子育てに関する相談体制を維持していく必要があると考えます。											

施策	2	取組	1	番号	9	事務事業	妊婦・乳幼児健康診査等事業													
目的	妊婦・乳幼児の健康診査等を通し、異常の早期発見や出産・育児に関する情報の提供・助言などを行い、母子の健康の保持増進を図ります。						担当課		健康推進課											
目標	乳幼児健康診査の受診体制を維持します。																			
事業実施状況	・妊婦健康診査の実施（受診者延10,099人） ・乳幼児健康診査の実施（受診者3,395人） ・両親教室の開催（参加者延216組） ・育児教室の開催（参加者延175組） ・すこやか親子教室の開催（参加者延463組） ・新生児聴覚検査費助成（受診者696人） ・妊婦歯科健康診査の実施（受診者399人） ・産婦健康診査の実施（受診者延1,451人）						単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額							
							事業費		105,691		107,680		109,175							
							特定財源		1,579		2,097		2,124							
							一般財源		104,112		105,583		107,051							
							指標名		-				単位							
							基準値		R5		目標値 実績値		R6		目標値 実績値		R7		目標値 実績値	
							-				-		-		-		-		-	
評価検証	R7年度は、妊婦・乳幼児健康診査等を継続して、受診体制を維持し、目標を達成しました。																			
	出産・育児の情報提供や母子の健康状態を把握しながら相談対応を行ったほか、新たに産婦健康診査を開始するなど健康の保持増進を図る取り組みを進めてきたことが効果的であったと考えます。																			

事務事業評価表

施策	2	取組	1	番号	10	事務事業 児童虐待予防・防止対策推進事業						
目的	虐待や育児に関する相談活動を行うとともに、関係機関との連携を進め、児童虐待の未然防止、早期発見、早期対応を図ります。					担当課	子育て支援課					
目標	児童虐待等に関する相談体制を維持します。											
事業実施状況	・家庭児童相談室の運営(相談件数235件) ・帯広市要保護児童対策地域協議会の開催 ・代表者会議1回 ・実務者会議1回 ・ケース会議30回 ・こども家庭センターの運営 ・子育て世帯訪問支援事業の実施					単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額			
						事業費	6,014	7,817	8,725			
						特定財源	4,647	8,181	15,114			
						一般財源	1,367	△364	△6,389			
						指標名	-			単位		
						基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値
						-		-	-	-	-	
評価検証	R7年度も要保護児童対策地域協議会の「個別ケース検討会議」において決定した支援方針に基づき、関係機関と連携して児童虐待の未然防止や早期発見、早期対応に取り組み、相談体制を維持しており、目標を達成しました。											

施策	2	取組	1	番号	11	事務事業	児童手当支給事業					
目的	児童手当の支給により、子育て家庭の経済的負担の軽減を図ります。						担当課		こども課			
目標	-											
事業実施状況	・児童手当の支給(219,378件)						単位：千円		R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額	
							事業費		2,022,634	2,253,176	2,812,321	
							特定財源		1,710,577	1,972,846	2,542,915	
							一般財源		312,057	280,330	269,406	
	指標名						-			単位		
										基準値		R5
	-						-		-	-	-	-
							-		-	-	-	-
評価検証	-											
	-											

施策	2	取組	1	番号	12	事務事業	児童扶養手当支給事業			
目的	児童扶養手当の支給により、父子・母子家庭等の経済的負担の軽減を図ります。						担当課	こども課		
目標	-									
事業実施状況	・児童扶養手当の支給（1,789人）						単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額
							事業費	847,523	857,034	875,235
							特定財源	281,494	283,354	292,186
							一般財源	566,029	573,680	583,049
							指標名	-		
	基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値			
	-	-	-	-	-	-				
評価検証	-						-	-	-	-

事務事業評価表

施策 2	取組 1	番号 13	事務事業 子ども医療費給付事業			
目的	子ども医療費の給付により、子育て家庭の経済的負担の軽減を図ります。				担当課	こども課
目標	-					
事業実施状況	・子ども医療費の給付（218,430件）	単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額	
		事業費	304,322	414,746	416,669	
		特定財源	110,276	101,477	92,893	
		一般財源	194,046	313,269	323,776	
		指標名	-			単位
		基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値
評価検証	-	-	-	-	-	-

施策 2	取組 1	番号 14	事務事業 ひとり親家庭等医療費給付事業			
目的	ひとり親家庭等への医療費の給付により、経済的負担の軽減を図ります。				担当課	こども課
目標	-					
事業実施状況	・ひとり親家庭等医療費の給付（48,729件）	単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額	
		事業費	135,600	131,349	126,107	
		特定財源	32,483	34,356	32,438	
		一般財源	103,117	96,993	93,669	
		指標名	-			単位
		基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値
評価検証	-	-	-	-	-	-

施策 2	取組 1	番号 15	事務事業 未熟児養育医療給付事業			
目的	入院を必要とする未熟児に対して、養育に必要な医療の給付を行い、乳児の健康の保持および健やかな育成を図ります。				担当課	こども課
目標	-					
事業実施状況	・未熟児養育医療の給付（29人）	単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額	
		事業費	11,021	8,758	11,193	
		特定財源	15,984	9,873	8,058	
		一般財源	△4,963	△1,115	3,135	
		指標名	-			単位
		基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値
評価検証	-	-	-	-	-	-

事務事業評価表

施策 2	取組 1	番号 16	事務事業 助産施設入所費援助事業			
目的	経済的理由により、入院助産を受けられない妊産婦への分娩費用を援助し、経済的負担の軽減を図ります。				担当課	こども課
目標	-					
事業実施状況	・助産施設入所費の援助（20人）	単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額	
		事業費	7,711	5,672	11,447	
		特定財源	8,937	6,408	8,949	
		一般財源	△1,226	△736	2,498	
		指標名	-			単位
		基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値
評価検証	-	-	-	-	-	-

施策 2	取組 1	番号 17	事務事業 ひとり親家庭等日常生活支援事業			
目的	一時的な生活援助や保育サービスが必要とするひとり親家庭等に家庭生活支援員を派遣し、日常生活を支援します。				担当課	こども課
目標	-					
事業実施状況	・家庭生活支援員による家事、育児の支援（7件）	単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額	
		事業費	358	358	427	
		特定財源	187	188	240	
		一般財源	171	170	187	
		指標名	-			単位
		基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値
評価検証	-	-	-	-	-	-

施策 2	取組 1	番号 18	事務事業 子育て短期支援事業			
目的	家庭における養育が一時的に困難となった児童を、児童養護施設において受け入れます。				担当課	子育て支援課
目標	-					
事業実施状況	・児童養護施設における一時的養育の実施（31人278日）	単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額	
		事業費	257	897	1,620	
		特定財源	152	646	1,111	
		一般財源	105	251	509	
		指標名	-			単位
		基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値
評価検証	-	-	-	-	-	-

事務事業評価表

施策	2	取組	1	番号	19	事務事業	介護給付・地域生活支援事業				
目的	心身障害児ヘデイサービスの提供などにより、心身機能の維持向上や家庭の負担軽減を図ります。						担当課	子育て支援課			
目標	-										
事業実施状況	・ 自立支援給付の実施(受給児童数46人) ・ 地域生活支援事業の提供(受給児童数323人) ・ 障害児通所給付の実施(受給児童数1,519人) ・ 相談支援給付の実施(受給児童数435人)						単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額	
							事業費	1,249,999	1,346,203	1,425,838	
							特定財源	794,736	859,921	912,963	
							一般財源	455,263	486,282	512,875	
	指標名	-						単位			
	基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値				
	-	-	-	-	-	-	-				
評価検証	-										

施策	2	取組	1	番号	20	事務事業	特別児童扶養手当事業													
目的	20歳未満の身体又は精神に障害のある児童を養育する父母又は養育者に対する特別児童扶養手当の支給に関する事務を行います。						担当課		子育て支援課											
目標	-																			
事業実施状況	・特別児童扶養手当の支給事務(受給資格者数595人)						単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額							
							事業費		132		149		176							
							特定財源		1,041		1,169		1,206							
							一般財源		△909		△1,020		△1,030							
							指標名		-				単位							
							基準値		R5		目標値 実績値		R6		目標値 実績値		R7		目標値 実績値	
							-				-		-		-		-		-	
評価検証	-																			

施策	2	取組	2	番号	1	事務事業	保育士等資質向上事業						
目的	研修会の開催などにより、保育士等の資質向上を図ります。						担当課	こども課					
目標	保育士研修会や保育士向けゼミ講習会、保育実践交流会の参加者数について1,264人を目指します。												
事業実施状況	・保育士等研修会の開催（8回、1,018人） ・私立保育所で構成する研修団体への支援 ・保育士の研修会参加に係る支援						単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額			
							事業費	537	701	568			
							特定財源	50	50	48			
							一般財源	487	651	520			
							指標名	保育士等の資質向上にむけた研修会の参加者数				単位	人
							基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値
	789	1,264 1,060	1,264 1,079	1,264 1,018									
評価検証	R7年度の研修会の参加者数は1,018人であり、目標を達成しませんでした。 保育の質の向上に、よりつながると考えられる会員限定の小規模研修会の開催の増加に取り組みましたが、目標数の達成には至りませんでした。 今後も、保育の質の向上に向けて、市内の公・私含めた保育関係者の合同研修や意見交換会などの受講機会を増やしていくほか、参加しやすい方法を検討していく必要があると考えます。												

事務事業評価表

施策	2	取組	2	番号	2	事務事業	病後児保育事業						
目的	多様な保育ニーズに対応するため、病気の回復期にある児童の受け入れを行います。						担当課	こども課					
目標	病気の回復期にある児童の受入体制を維持します。												
事業実施状況	・病後児保育の実施（延べ利用数239人）						単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額			
							事業費	12,146	11,216	11,485			
							特定財源	7,311	7,476	7,814			
							一般財源	4,835	3,740	3,671			
							指標名	-			単位		
							基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値
							-	-	-	-	-	-	
評価検証	R7年度は、手足口病やリンゴ病、インフルエンザなどの感染症が流行しましたが、利用者のニーズに対応した病後児保育の受入れを行っており、目標を達成しました。												

施策	2	取組	2	番号	3	事務事業	公立保育所管理運営事業						
目的	公立保育所の管理運営により、安定した保育サービスを提供します。						担当課	こども課					
目標	-												
事業実施状況	・公立保育所の管理運営（7所） ・乳児保育（5所）、延長保育（7所）、一時保育（2所）、休日保育（1所）、特別支援保育（7所）の実施 ・保育料、副食費の賦課・徴収 ・収納率向上対策の推進 ・保育ICTシステムの運用						単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額			
							事業費	833,015	961,264	1,001,252			
							特定財源	494,546	538,876	553,679			
							一般財源	338,469	422,388	447,573			
							指標名	-			単位		
							基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値
							-		-		-		-
評価検証	-												

施策	2	取組	2	番号	4	事務事業	私立保育所運営事業				
目的	社会福祉法人等に保育業務を委託し、保育需要を踏まえた保育サービスを提供します。					担当課	こども課				
目標	-										
事業実施状況	・私立保育所への保育業務委託（22所） ・乳児保育（21所）、延長保育（22所）、一時保育（1所）、特別支援保育（22所）の実施					単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額		
						事業費	2,769,899	3,094,925	3,247,690		
						特定財源	2,009,021	2,290,267	2,393,432		
						一般財源	760,878	804,658	854,258		
	指標名	-					単位				
	基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値				
	-		-	-	-	-	-				
						-	-	-			
評価検証	-										

事務事業評価表

施策 2 取組 2 番号 5 事務事業 地域型保育事業運営事業												
目的		小規模保育事業などの地域型保育事業を実施することにより、保育需要を踏まえた保育サービスを提供します。					担当課		こども課			
目標		-										
事業実施状況	・地域型保育事業給付の実施（小規模保育事業所4所・事業所内保育所1所） ・道が実施する物価高騰対策支援事業の対象外になった保育施設への支援				単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
					事業費		210,626		234,653		247,236	
					特定財源		136,832		138,822		144,571	
					一般財源		73,794		95,831		102,665	
	指標名		-						単位			
	基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値		
	-			-			-			-		
評価検証	-											

施策	2	取組	2	番号	6	事務事業	認定こども園等施設給付事業													
目的	施設給付の実施により、認定こども園等が行う教育・保育サービスの提供を支援します。						担当課		こども課											
目標	-																			
事業実施状況	・認定こども園や施設型給付を受ける幼稚園への施設給付の実施						単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額							
							事業費		1,296,341		1,500,993		1,527,168							
							特定財源		938,660		1,076,632		1,101,938							
							一般財源		357,681		424,361		425,230							
							指標名						-		単位					
							基準値		R5		目標値 実績値		R6		目標値 実績値		R7		目標値 実績値	
							-				-		-		-		-			
											-		-		-		-			
評価検証	-																			

施策 2 取組 2 番号 7 事務事業 児童保育センター管理運営事業												
目的	児童保育センターの管理運営により、就学児童の安心な居場所の確保や健全育成を図ります。						担当課	こども課				
目標	-											
事業実施状況	・児童保育センターの管理運営				単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
					事業費		801,825		821,221		899,647	
					特定財源		456,980		505,107		539,830	
					一般財源		344,845		316,114		359,817	
	指標名		-						単位			
	基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値		
	-			-			-			-		
評価検証	-											

事務事業評価表

施策 2 取組 2 番号 8 事務事業 幼稚園教育環境整備支援事業																			
目的		幼稚園の特色ある教育等の支援を通して、児童の教育環境の整備を促進します。					担当課		こども課										
目標		-																	
事業実施状況	・幼稚園の教育環境整備への支援 (教員研修、スケートリンク造成、特別支援教育ほか)					単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額							
						事業費		13,213		14,670		15,134							
						特定財源		0		0		0							
						一般財源		13,213		14,670		15,134							
						指標名		-				単位							
						基準値		R5		目標値 実績値		R6		目標値 実績値		R7		目標値 実績値	
						-				-		-		-		-			
										-		-		-		-			
評価検証		-																	

施策 2 取組 2 番号 9 事務事業 公立保育所整備事業													
目的		公立保育所の施設整備を実施し、保育環境を整備します。						担当課		こども課			
目標		-											
事業実施状況	-	単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額					
		事業費		0		27,808		0					
		特定財源		0		27,808		0					
		一般財源		0		0		0					
		指標名		-						単位			
		基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値				
		-			-		-		-				
評価検証	-												

施策 2 取組 2 番号 10 事務事業 私立保育所整備事業														
目的		私立保育所の施設整備を支援し、保育環境を整備します。						担当課		こども課				
目標		-												
事業実施状況		・私立保育所建設費、施設整備費償還への支援（7施設）		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額				
				事業費		60,332		235,995		63,865				
				特定財源		0		179,488		0				
				一般財源		60,332		56,507		63,865				
				指標名		-						単位		
				基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値	
				-			-			-			-	
							-			-			-	
評価検証		-												

事務事業評価表

施策 2 取組 2 番号 11 事務事業 認定こども園整備事業										
目的	私立認定こども園の施設整備を支援し、保育環境を整備します。					担当課	こども課			
目標	-									
事業実施状況	-	単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額		
		事業費		0		0		0		
		特定財源		0		0		0		
		一般財源		0		0		0		
		指標名		-					単位	
		基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値	
		-		-		-		-		
				-		-		-		
評価検証	-									

施策 2 取組 2 番号 12 事務事業 児童保育センター整備事業											
目的		児童保育センターの施設整備を実施し、就学児童の保育環境を整備します。					担当課		こども課		
目標		-									
事業実施状況	-	単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
		事業費		4,087		36,847		1,442			
		特定財源		0		29,572		0			
		一般財源		4,087		7,275		1,442			
		指標名		-				単位			
		基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
		-		-		-		-			
				-		-		-			
				-		-		-			
				-		-		-			
評価検証		-									

施策 2 取組 2 番号 13 事務事業 子育てのための施設等利用給付事業									
目的		認可外保育施設等の利用料の給付により、子育て家庭の経済的負担の軽減を図ります。					担当課	こども課	
目標		-							
事業実施状況	・認可外保育施設等の利用者負担の支援 (認可外保育施設、幼稚園、預かり事業ほか)	単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
		事業費		126,969		81,181		89,576	
		特定財源		102,561		61,229		66,589	
		一般財源		24,408		19,952		22,987	
		指標名		-				単位	
		基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値
		-		-	-	-	-	-	
評価検証	-	-							

事務事業評価表

施策 2 取組 3 番号 1 事務事業 待機児童対策事業										
目的	認可保育所（地域型保育事業含む）に入所できない児童を、認可外保育施設で受け入れることにより、待機児童対策を進めます。					担当課	こども課			
目標	認可外保育施設における保育受入体制を確保します。									
事業実施状況	・待機児童対策事業の実施（利用人数23人）	単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額		
		事業費		4,945		4,339		5,958		
		特定財源		0		0		0		
		一般財源		4,945		4,339		5,958		
		指標名		-				単位		
		基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値	
		-		-		-		-		
評価検証	R7年度は、待機児童対策事業により、認可保育所に入所できない児童23人に対し、認可外保育施設等を利用する際の認可保育所保育料との差額を支援するなど、待機児童削減に向けて取り組んだことで、保育受入体制を確保できており、目標を達成しました。									

施策 2 取組 3 番号 2 事務事業 ひとり親家庭等就業・自立支援事業										
目的	母子・父子自立支援員等による相談や母子家庭等就業・自立支援センター事業による就労支援を行い、ひとり親家庭等の自立を促進します。					担当課	こども課			
目標	ひとり親家庭等に対する相談体制や就業・自立支援センターによる就労支援体制を維持します。									
事業実施状況	・母子・父子自立支援員及び就業支援専門員の配置 ・母子家庭等就業・自立支援センター事業の実施	単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額		
		事業費		7,865		7,494		9,601		
		特定財源		2,480		2,729		2,880		
		一般財源		5,385		4,765		6,721		
		指標名		-				単位		
		基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値	
		-		-		-		-		
		-		-		-				
評価検証	R7年度は、母子・父子自立支援員等による相談対応やハローワーク等との連携による就労支援に取り組むことで、ひとり親家庭等の自立に向けた支援体制を確保してきており、目標を達成しました。									

施策 2 取組 3 番号 3 事務事業 ひとり親家庭等自立支援事業										
目的	就職のための教育訓練、職業訓練への支援により、ひとり親家庭の自立を促進します。					担当課	こども課			
目標	-									
事業実施状況	・自立支援教育訓練給付金の支給(5件) ・高等職業訓練促進給付金等の支給(10件) ・高等学校卒業程度認定試験合格支援費の支給(0件)	単位：千円		R5年度決算額	R6年度決算額		R7年度決算額			
		事業費		15,543	13,637		11,867			
		特定財源		12,686	11,791		11,248			
		一般財源		2,857	1,846		619			
		指標名		-				単位		
		基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値	
		-		-	-	-	-	-		
				-	-	-	-	-		
評価検証	-									

事務事業評価表

施策	2	取組	3	番号	再	事務事業	労働環境整備促進事業<再掲9-4-2>1
目的	労働相談の実施や子どもを生み育てやすい職場環境づくりなど、勤労者が安心して働くことができる環境整備を促進します。					担当課	商業労働課
目標	-						
事業実施状況	・子育て応援事業所促進事業の実施（81件）		単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額	
			事業費	-	-	-	
			特定財源	-	-	-	
			一般財源	-	-	-	
			指標名	-		単位	
			基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値
			-		-	-	-
評価検証	-						

施策	2	取組	3	番号	再	事務事業	女性活躍推進事業<再掲22-3-1>1
目的	ライフステージに応じたワーク・ライフ・バランスの普及、浸透や、女性の政策過程への参画などにより、男女がともに暮らしやすい環境づくりを進めます。					担当課	市民活動課
目標	-						
事業実施状況	・各種審議会等への女性の登用促進（35.6%） ・女性活躍に関する講座の開催（1回35人） ・ワークライフバランスに関する講座の開催（2回53人） ・ワークライフバランス啓発資料等の作成・配布（2,018枚）		単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額	
			事業費	-	-	-	
			特定財源	-	-	-	
			一般財源	-	-	-	
			指標名	-		単位	
			基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値
			-		-	-	-
評価検証	-						

施策	2	取組	4	番号	1	事務事業	子ども・若者支援地域協議会事業
目的	円滑な社会生活を送る上で不安や困難を抱える子ども・若者を支援します。					担当課	地域福祉課
目標	不安や困難を抱える子どもや若者等の心の不安や悩み、困り事に関する相談体制を維持します。						
事業実施状況	・子ども・若者支援地域協議会の開催（代表者会議2回、実務者会議2回） ・ヤングテレホン相談の実施（103件）		単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額	
			事業費	3,209	3,204	2,287	
			特定財源	0	0	0	
			一般財源	3,209	3,204	2,287	
			指標名	ヤングテレホン相談件数		単位	件
			基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値
			158		158	158	158
					324	207	103
評価検証	R7年度のヤングテレホン相談件数は103件となり、目標を達成しませんでした。 子ども・若者に関する相談体制を維持し、学校等へ相談窓口の周知カードの配布などに取り組みましたが、ひきこもり支援ステーションの開設による相談先の選択肢が増えたことや趣旨にそぐわない頻回利用者へ適切な利用を促したことが要因と考えます。 今後も、相談体制を維持し、事業の周知を図ることで、不安や悩み、困り事を抱える子ども・若者の相談につなげます。						

事務事業評価表

施策	2	取組	4	番号	2	事務事業	青少年センター事業
目的	街頭巡回活動などを通じて、青少年非行の防止と社会環境の改善を推進します。					担当課	学校地域連携課
目標	子どもたちが登下校時などに身に迫った危険や犯罪に巻き込まれそうになった場合に逃げ込み先となる「子ども110番の家」登録件数について1,009箇所を維持します。						
事業実施状況	・子ども110番の家の設置（961箇所） ・街頭巡回指導の実施 ・非行防止啓発事業の実施 ・社会環境改善活動の実施 ・ネット非行防止対策事業 ・十勝地区広域補導連絡協議会への支援		単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額	
			事業費	11,468	14,304	13,161	
			特定財源	0	0	0	
			一般財源	11,468	14,304	13,161	
			指標名	子ども110番の家登録件数		単位	箇所
			基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値
			1,009		1,009	1,009	1,009
					981	969	961
評価検証	R7年度の「子ども110番の家」の登録は961か所にとどまり、目標を達成しませんでした。 登録者の高齢化に加え、店舗の閉業等により登録先が減少していることが主な要因と考えられます。 今後は、新規登録の増加に向け、青少年センター職員が巡回パトロール時に団体・各家庭を訪問し、新規登録を直接働きかけるとともに、青少年センターだより等を通じて、幅広く協力と呼び掛けていく必要があります。						

施策	2	取組	4	番号	3	事務事業	青少年健全育成事業
目的	家庭、地域、学校、関係機関等との連携により、青少年健全育成活動を推進します。					担当課	学校地域連携課
目標	ジュニアリーダー養成事業や、子どもたちの豊かな人間性、社会性を養う体験活動の参加者数を維持します。						
事業実施状況	・帯広市青少年問題協議会の開催 ・帯広市青少年育成者連絡協議会への支援 ・北海道地域子ども会育成研究協議会へ帯広市青少年育成者連絡協議会理事の派遣（11人）		単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額	
			事業費	12,004	14,868	14,323	
			特定財源	0	0	0	
			一般財源	12,004	14,868	14,323	
			指標名	-		単位	
			基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値
			-		-	-	-
					-	-	-
評価検証	R7年度の体験活動の参加者数は、前年よりも減少し目標を達成しませんでした。 わくわくこどもまつりの参加者数は例年並みでしたが、シン・スポーツ体験会は会場の都合により、例年開催している11月から9月へ開催時期の変更もあり参加者数が減少したことが要因と考えます。 今後は、開催日程の見直しや周知方法の検討を行っていく必要があると考えます。						

施策	2	取組	4	番号	再	事務事業	体験活動機会提供事業（学校地域連携課）<再掲12-1-2>
目的	体験機会の提供などにより、青少年の社会性を育みます。					担当課	学校地域連携課
目標	-						
事業実施状況	・中学生からのメッセージ事業の実施（発表者15人、来場者108人） ・冬季活動機会提供事業の実施（15チーム、参加者83人） ・おびひろキッズタウンの開催（参加者253人）		単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額	
			事業費	-	-	-	
			特定財源	-	-	-	
			一般財源	-	-	-	
			指標名	-		単位	
			基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値
			-		-	-	-
					-	-	-
評価検証	-						

事務事業評価表

施策 2 取組 4 番号 再 事務事業 青少年活動支援事業（学校地域連携課）<再掲12-1-3>													
目的	青少年育成団体などと連携し、体験活動や宿泊研修を通して、積極的に地域や学校での活動に取り組む青少年のリーダー養成を進めます。					担当課	学校地域連携課						
目標	-												
事業実施状況	・ジュニアリーダー“あるふあ”の会に対する育成支援・自主活動促進（会員数22人） ・ジュニアリーダー養成講座（「あすかの会」（参加者20人）、地域子ども会リーダー宿泊研修会（参加者160人））の実施					単位：千円		R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額			
						事業費		-	-	-			
						特定財源		-	-	-			
						一般財源		-	-	-			
						指標名		-		単位			
						基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値
						-		-		-		-	
評価検証	-												

施策 2 取組 0 番号 1 事務事業 おびひろ子ども未来プラン推進事業																		
目的		審議会等の運営を通して、おびひろ子ども未来プランを推進し、子どもに関する施策を総合的に進めます。				担当課		子ども課										
目標		-																
事業実施状況	・おびひろ子ども未来プランの推進 ・健康生活支援審議会児童育成部会の開催 ・子ども未来基金の管理				単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額							
					事業費		64,327		45,514		52,732							
					特定財源		63,955		45,354		52,341							
					一般財源		372		160		391							
					指標名		-				単位							
					基準値		R5		目標値 実績値		R6		目標値 実績値		R7		目標値 実績値	
					-				-				-					
評価検証	-																	

事務事業評価表

施策	3	取組	1	番号	1	事務事業	成年後見制度利用支援事業													
目的	本人に代わり契約や財産管理を行う成年後見制度の利用支援により、高齢者等の権利擁護を図ります。						担当課	地域福祉課												
目標	成年後見支援センターにおける法人後見支援員の登録者数について81人を目指します。																			
事業実施状況	・成年後見制度の利用支援（報酬助成75件） ・市民後見制度の啓発（市民後見フォーラム開催1回） ・市民後見人養成講座の開催（受講者9人（うち8人支援員登録）、R7末支援員登録者67人） ・成年後見支援センターの運営						単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額							
							事業費		25,886		28,633		40,794							
							特定財源		7,874		9,320		12,987							
							一般財源		18,012		19,313		27,807							
							指標名		市民後見人養成人数				単位		人					
							基準値		R5		目標値 実績値		R6		目標値 実績値		R7		目標値 実績値	
							65				70 62				75 65				81 67	
評価検証	R7年度の法人後見支援員の登録者は67人であり、目標を達成しませんでした。毎年、新規登録者が一定数いるものの、仕事による多忙や加齢による体調不良などの理由により、登録抹消者が生じていることが要因と考えます。今後も、法人後見支援員の登録者を増やすため、成年後見フォーラム等を通じ、制度に対する市民の理解を醸成するほか、養成講座の内容を充実させていく必要があると考えます。																			

施策	3	取組	1	番号	2	事務事業	地域福祉推進事業						
目的	市民や関係団体等との連携により、高齢者や障害者等とともに支え合う地域福祉の環境づくりを進めます。						担当課	地域福祉課					
目標	地域において高齢者や障がいのある人等を支える環境づくりを進めるため、ボランティア養成講座の参加者数の増加を目指します。												
事業実施状況	・地域交流サロンの活動促進 ・戦没者追悼式の実施 ・福祉基金の管理 ・社会福祉法人の指導監査（3件） ・グリーンプラザの管理運営 ・帯広市社会福祉協議会への支援 ・無料低額診療の対象者に対する院外保険薬局の調剤処方費用を支援682件） ・地域密着型サービス運営委員会の開催（3回） ・介護、障害サービス事業所等の指定・指導監査（運営指導 介護：46件 障害：22件） ・ボランティア養成講座の実施（2回28人）						単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額			
							事業費	130,717	120,651	157,282			
							特定財源	2,286	16,261	41,516			
							一般財源	128,431	104,390	115,766			
							指標名	-		単位			
							基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値
							-		-		-		-
									-		-		-
評価検証	R7年度の社会福祉協議会によるボランティア養成講座の参加者数は、前年と比べ18人増加し、目標を達成しました。 情報発信や傾聴といった、日々の活動に役立つ講座内容としたため、多くの方の関心を引いたほか、コミュニティセンターや福祉センターに講座の実施を案内するチラシを設置するなど広報活動に力を入れたことが要因の一つだと考えます。												

施策 3 取組 2 番号 1 事務事業 民生委員・児童委員活動推進事業																			
目的	民生委員・児童委員の配置や支援により、地域における相談活動を推進します。						担当課		地域福祉課										
目標	民生委員・児童委員による相談・支援体制を維持します。																		
事業実施状況	・民生委員・児童委員の配置（相談件数7,713件） ・民生委員・児童委員への活動支援					単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額							
						事業費		27,424		27,738		31,288							
						特定財源		23,279		23,279		23,270							
						一般財源		4,145		4,459		8,018							
						指標名		民生委員・児童委員の相談・支援件数				単位		件					
						基準値		R5		目標値 実績値		R6		目標値 実績値		R7		目標値 実績値	
						10,977				11,290 7,062				11,290 7,373				11,290 7,713	
評価検証	R7年度の民生委員・児童委員の相談件数は7,713件であり、目標を達成しませんでした。 民生委員の担い手不足の影響などにより、活動件数が減少しているものと考えます。 地域の見守りのネットワークの充実を図っていく上で、民生委員が果たす役割は大きいことから、今後も、民生委員の担い手の確保に努めるとともに、市民への周知を行い、身近な相談相手としての民生委員の認知度向上を図ります。																		

事務事業評価表

施策	3	取組	2	番号	2	事務事業	地域福祉包括支援事業					
目的	地域福祉にかかる関係団体等との連携等により、複合的な課題を抱える人や世帯に対し、包括的な支援を進めます。						担当課	地域福祉課				
目標	複合的な課題を抱える人や世帯に対して包括的な支援を行う体制づくりを進めます。											
事業実施状況	・きづきネットワーク事業の推進 ・包括的支援体制づくりの推進 ・ひきこもり支援事業の実施（相談受付件数56件）					単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額			
						事業費		0	8,933	8,986		
						特定財源		0	4,466	4,466		
						一般財源		0	4,467	4,520		
						指標名	-			単位		
						基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値
						-		-		-		-
評価検証	R7年度は、「ひきこもり支援ステーションゆつくりん」による相談支援等や就労継続支援事業所における就労体験を実施したことにより、複合的な課題を抱える人や世帯への包括的な支援体制づくりが進み、目標を達成しました。											

施策 3 取組 2 番号 再 事務事業 地域包括支援センター運営事業<再掲4-1-1>																			
目的		高齢者の健康の保持や生活の安定のために必要な支援を行うなど、保健医療の向上及び福祉の増進を包括的に支援します。					担当課		介護高齢福祉課										
目標		-																	
事業実施状況	・総合相談支援の実施（11,555件） ・権利擁護の支援 ・包括的・継続的ケアマネジメントの支援 ・介護予防ケアマネジメントの実施 ・地域ケア会議の開催（37回335人） ・ひとり暮らし高齢者等の支援 ・家族介護者リフレッシュ事業の実施（8回93人）					単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額							
						事業費		-		-		-							
						特定財源		-		-		-							
						一般財源		-		-		-							
						指標名		-				単位							
						基準値		R5		目標値 実績値		R6		目標値 実績値		R7		目標値 実績値	
						-				-		-		-		-		-	
		-																	
評価検証																			

施策	3	取組	2	番号	再	事務事業	生活困窮者自立促進支援事業<再掲7-3-2>									
目的	生活困窮者の状態に応じた相談支援等を実施し、困窮状態からの早期自立を促進します。						担当課		生活支援第1課・第2課							
目標	-															
事業実施状況	・生活困窮者の自立相談支援（新規相談数362件（実人数）） ・生活困窮者の就労準備支援（4人（実人数）） ・生活困窮者の家計改善支援（9人（実人数）） ・住居確保給付金の支給（新規申請決定件数4世帯、給付額288,000円） ・生活困窮世帯（被保護世帯含む）の子どもの学習支援（小学生＜参加者11人（実人数）＞、中学生（高校生含む）＜参加者19人（実人数）＞）						単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
							事業費		-		-		-			
							特定財源		-		-		-			
							一般財源		-		-		-			
							指標名		-				単位			
							基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
							-			-		-		-		
評価検証	-															

事務事業評価表

施策 3 取組 0 番号 1 事務事業 地域福祉計画推進事業										
目的		健康生活支援審議会の運営を通して、地域福祉計画に基づき、保健・福祉・医療に関する施策を総合的に推進します。				担当課		地域福祉課		
目標		-								
事業実施状況	・ 健康生活支援審議会の開催（2回） ・ 地域福祉計画の推進		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
			事業費		1,299		1,026		744	
			特定財源		0		0		0	
			一般財源		1,299		1,026		744	
			指標名		-				単位	
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
	-			-		-		-		
評価検証	-									

施策 3 取組 0 番号 2 事務事業 物価高騰対策に伴う給付事業									
目的		給付金の支給により、物価高騰の影響を受けている世帯への支援を行います。				担当課	地域福祉課、こども課		
目標		-							
事業実施状況	・物価高対応子育て応援手当（世帯12,765世帯、児童18,329人） ・定額減税補足給付金（15,891人）の支給 ・暖房代支援給付金（5,180世帯）の支給 ・帯広市地域子ども・子育て支援事業継続支援金（学童60クラブ、その他40か所）				単位：千円		R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額
					事業費		3,172,114	2,607,948	456,753
					特定財源		3,144,379	2,522,245	451,333
					一般財源		27,735	85,703	5,420
	指標名		-			単位			
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値	
	-			-		-		-	
評価検証	-								

事務事業評価表

施策 4 取組 1 番号 1 事務事業 地域包括支援センター運営事業													
目的	高齢者の健康の保持や生活の安定のために必要な支援を行うなど、保健医療の向上及び福祉の増進を包括的に支援します。					担当課	介護高齢福祉課						
目標	高齢者等の生活に関わる課題等の解決に向けて話し合う地域ケア会議への参加者数について460人を目指します。												
事業実施状況	・総合相談支援の実施（11,555件） ・権利擁護の支援 ・包括的・継続的ケアマネジメントの支援 ・介護予防ケアマネジメントの実施 ・地域ケア会議の開催（37回335人） ・ひとり暮らし高齢者等の支援 ・家族介護者リフレッシュ事業の実施（8回93人）					単位：千円		R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額			
						事業費		164,899	170,178	170,434			
						特定財源		133,156	137,419	137,625			
						一般財源		31,743	32,759	32,809			
						指標名	地域ケア会議参加者数			単位	人		
						基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値
						445			460 530		460 388		460 335
評価検証	R7年度の地域ケア会議参加者数は335人であり、目標を達成しませんでした。 関係者間で行われる小規模なカンファレンス等により、情報共有や課題解決への対応が行われることも多く、地域ケア会議の開催が必要とされる事例が比較的に少なかったことから、開催回数及び参加者数ともに減少したことが要因と考えます。 今後も、地域ケア会議やカンファレンスなどを通じ、ケアマネジャーや医療専門職などを始めとする多職種、様々な関係機関との包括的な連携強化による取り組みを進め、複合的な困難を抱える高齢者の支援を行うとともに、地域課題の発見や解決につなげていきます。												

施策	4	取組	1	番号	2	事務事業	認知症高齢者見守り事業									
目的	認知症に関する理解を促進し、認知症の人やその家族を地域で支える環境づくりを進めます。						担当課		介護高齢福祉課							
目標	認知症の人やその家族に対して手助けをする認知症サポーターの養成を図る講座の受講者数について3,134人を目指します。															
事業実施状況	・認知症サポーター養成講座の開催（61回、2,949人） ・認知症高齢者等SOSネットワークの運用 ・認知症地域支援推進員の配置 ・認知症初期集中支援推進事業 ・認知症カフェの開催 ・認知症ケアパス（認知症ガイドブック）の作成 ・チームオレンジ活動の促進						単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額						
							事業費	24,544	24,847	26,333						
							特定財源	19,518	20,064	21,264						
							一般財源	5,026	4,783	5,069						
							指標名	認知症サポーター養成講座受講者数				単位	人			
							基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値			
							2,141		3,134 3,194	3,134 2,852	3,134 2,949					
							R7年度の認知症サポーター養成講座受講者数は2,949人であり、目標を達成しませんでした。小中学生向けに帯広市民学での講座を実施したほか、あらゆる世代に対して講座を実施しましたが、認知症について学んだことのある高齢者が増えたことにより、町内会・老人会での実施が減少したことが要因と考えます。今後は、働き世代を対象とした企業向けの講座に関する周知活動を進め、幅広い世代に対して参加しやすい環境をつくる必要があると考えます。									
							評価検証									

施策 4 取組 1 番号 3 事務事業 介護予防日常生活支援総合事業												
目的	社会参加を促す介護予防事業や、訪問型及び通所型サービスなどの多様なサービスを提供し、介護予防及び重症化の防止を図ります。					担当課	地域福祉課、介護高齢福祉課					
目標	市内すべての日常生活圏域で、生活支援を行うボランティア団体が活動している状態を目指し、二次推進計画においては、各圏域の生活支援ニーズの把握及び生活支援を行うボランティア活動に向けた地域住民主体の協議を促進します。											
事業実施状況	・一般介護予防事業 （介護予防普及啓発事業、地域介護予防活動支援事業、地域リハビリテーション活動支援事業ほか） ・生活支援コーディネーターの配置（9人） ・生活支援サービスに関わる協議体の設置 ・介護予防・生活支援サービスの提供					単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額			
						事業費	566,065	588,397	668,816			
						特定財源	489,049	512,665	583,040			
						一般財源	77,016	75,732	85,776			
						指標名	-		単位			
						基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値
						-		-	-	-	-	
評価検証	R7年度は、市内8圏域で地域住民主体の協議体による地域課題の協議が20回行われたほか、地域課題の解決に向けた団体が創設され、課題解決につながる活動が盛んに行われており、目標を達成しました。 今後も、地域支え合い推進員を中心に、地域住民を主体とする協議の場を設け、住民同士が支え合う地域づくりや地域課題解決に向けた取り組みを進めます。											

事務事業評価表

施策	4	取組	1	番号	4	事務事業	高齢者在宅生活支援事業						
目的	高齢者やその家族の相談に応じ、必要なサービスを提供するなど在宅高齢者の生活を支援します。						担当課	介護高齢福祉課					
目標	在宅高齢者の生活を支援するため、民間サービスも含めた様々なサービスを活用できる体制づくりを進めます。												
事業実施状況	・高齢者等の相談支援（相談件数1,289件） ・ひとり暮らし高齢者登録による生活支援の実施（1,459人） ・理美容・クリーニングサービスの実施（延利用件数 理美容358件、クリーニング104件） ・緊急通報システム事業の実施（延利用件数385件） ・家族介護用品の支給（850件） ・宅配事業者等による訪問活動の実施（22,395件） ・配食サービスの実施（53,503件）						単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額			
							事業費	48,749	46,081	46,843			
							特定財源	16,778	15,187	14,375			
							一般財源	31,971	30,894	32,468			
							指標名	-			単位		
							基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値
							-		-		-		-
評価検証	R7年度は、在宅高齢者が必要なサービスを利用できるよう、公的サービスの周知をホームページ等で行ったほか、民間サービスの活用に向けて情報収集に努めるなど、サービス提供体制の維持・確保に向けて進捗しており、目標を達成しました。												

施策 4 取組 1 番号 5 事務事業 高齢者虐待防止事業									
目的	地域包括支援センターや関係機関との連携により、高齢者虐待の未然防止、早期発見、早期対応を図ります。					担当課	介護高齢福祉課		
目標	高齢者等に対する虐待防止への理解を促進する研修会の参加者数の増加を目指します。								
事業実施状況	・高齢者虐待防止ネットワーク会議の開催（1回） ・高齢者虐待防止研修会の開催（1回、143人） ・被虐待高齢者の保護、支援（通報件数21件、認定件数7件）	単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額		
		事業費	99		112		204		
		特定財源	80		90		165		
		一般財源	19		22		39		
		指標名	-				単位		
		基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値	
		-		-		-		-	
評価検証	R7年度の高齢者虐待防止研修会の参加者は143人であり、前年より減少し、目標を達成しませんでした。 R7年12月に行われた民生委員の一斉改選により、民生委員の人数が減少したことや、介護保険事業所数の減少により、R6年度より周知先が減少したため、参加人数が減少したものと考えます。 今後も、対面とオンラインの併用により開催し、研修内容を充実させるほか、効果的な周知を進めていくことで参加者数の増加を図ります。								

施策		4	取組	1	番号	6	事務事業 在宅医療・介護連携推進事業			
目的	在宅医療と介護の連携を推進し、高齢者が住み慣れた地域で暮らすための支援体制づくりを進めます。						担当課	介護高齢福祉課		
目標	医療と介護の関係者が連携できる体制づくりを進めます。									
事業実施状況	・在宅医療・介護ネットワーク会議の開催（2回） ・多職種連携研修会の開催（1回） ・医療と介護の連携体制構築 ・在宅医療に関する地域住民への普及啓発						単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額
							事業費	601,278	573	546
							特定財源	485,532	462	441
							一般財源	115,746	111	105
							指標名	-		
	基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値			
	-		-		-		-			
評価検証	R7年度は、在宅医療・介護ネットワーク会議における協議や研修会の開催のほか、連携に係るアンケート調査の対象を医療機関にも拡大して実施するなど、多職種連携の体制づくりに取り組んできており、目標を達成しました。									

事務事業評価表

施策 4 取組 1 番号 7 事務事業 生活支援ハウス運営事業												
目的	生活支援ハウスの運営支援を通して、介護支援、居住、交流などの機能を総合的に提供し、高齢者の自立した生活を支援します。					担当課	介護高齢福祉課					
目標	-											
事業実施状況	・生活支援ハウスへの運営支援 (定員40名、月平均入居者31名)					単位：千円		R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額		
						事業費		44,280	47,139	46,908		
						特定財源		8,596	8,618	10,707		
						一般財源		35,684	38,521	36,201		
						指標名			-	単位		
						基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7
	-		-		-		-		-			
評価検証	-											

施策 4 取組 1 番号 8 事務事業 地域介護・福祉空間整備事業														
目的		地域密着型の小規模介護施設の整備などを支援し、日常生活圏域内で高齢者が安心して生活できる環境整備を進めます。				担当課		介護高齢福祉課						
目標		-												
事業実施状況	・認知症高齢者グループホームの冷房設備（壁掛けエアコン）設置への支援（3施設へ支援） ・共生型地域福祉拠点の整備への支援（1施設へ支援）				単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
					事業費		21,730		23,880		6,134			
					特定財源		19,640		23,880		5,277			
					一般財源		2,090		0		857			
	指標名				-				単位					
	基準値		R5		目標値 実績値		R6		目標値 実績値		R7		目標値 実績値	
	-				-		-		-		-		-	
評価検証	-													

施策 4 取組 1 番号 9 事務事業 老人福祉施設等整備補助事業												
目的	民間事業者との連携により、各種老人福祉施設の整備を促進し、在宅生活が困難な高齢者を支援します。							担当課	介護高齢福祉課			
目標	-											
事業実施状況	・特別養護老人ホーム等建設費償還への支援 (5施設へ支援)				単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
					事業費		45,468		42,675		41,965	
					特定財源		0		0		0	
					一般財源		45,468		42,675		41,965	
	指標名				-		単位					
	基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値		
	-			-			-			-		
評価検証	-											

事務事業評価表

施策 4 取組 1 番号 10 事務事業 老人保護措置事業													
目的	養護老人ホームへの入所措置により、在宅での生活が困難な高齢者の生活の安定を図ります。					担当課	介護高齢福祉課						
目標	-												
事業実施状況	・養護老人ホームへの入所措置 (月平均入居者167名)					単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額		
						事業費		313,074		310,350		318,852	
						特定財源		88,178		87,131		87,877	
						一般財源		224,896		223,219		230,975	
	指標名					-					単位		
	基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値			
	-			-			-			-			
評価検証	-												

施策	4	取組	2	番号	1	事務事業 高齢者おでかけサポートバス事業				
目的	バスの無料乗車証の交付により、高齢者の外出・移動を支援し、社会参加の促進や健康の維持増進などを図ります。					担当課	介護高齢福祉課			
目標	高齢者の社会参加を促進するバス無料乗車証の交付率について63.2%を目指します。									
事業実施状況	・高齢者バス無料乗車証の交付（交付率60.4%） ・高齢者の社会参加などを促進する「いきいき元気事業」の実施（「まちなか」利用者数14,235人）					単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額	
						事業費	174,577	173,112	171,248	
						特定財源	787	845	832	
						一般財源	173,790	172,267	170,416	
	指標名					バス無料乗車証の交付率		単位	%	
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
	62.9			63.0 59.6		63.1 60.1		63.2 60.4		
評価検証	R7年度バス無料乗車証の交付率は60.4%であり、目標を達成しませんでした。									
	R6年度より増加したものの、R7年度おでかけサポートバス市民アンケートにおいて、無料乗車証を持っている人の9割以上が主な外出手段としてバス以外を挙げていることから、目標に届かなかったものと考えます。 一方で、今後は無料乗車証でバスを利用したいと答えた人は約5割いることから、今後も、制度の周知啓発を行うことで、交付率の向上に努めます。									

施策 4 取組 2 番号 2 事務事業 老人クラブ等活動支援事業														
目的	老人クラブへの支援などにより、高齢者の知識・経験を活かした社会活動や生きがいづくりを促進します。					担当課	市民活動課							
目標	高齢者の生きがい創出などにつながる老人クラブの活動の継続を目指します。													
事業実施状況	・老人クラブの育成、指導 ・老人クラブ等への支援（補助100団体、3,535人、バスの利用57件、975人）					単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額		
						事業費		32,402		33,482		34,199		
						特定財源		3,975		3,989		0		
						一般財源		28,427		29,493		34,199		
	指標名										単位			
	基準値					R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値	
	-						-			-			-	
						-			-			-		
評価検証	R7年度は、老人クラブ連合会等の役員、会員が無理なく楽しく活動を続けられるよう、活動補助金の交付などを通して、老人クラブへの支援に取り組んだことで、老人クラブ活動が継続されており、目標を達成しました。													

事務事業評価表

施策 4 取組 2 番号 3 事務事業 敬老祝金支給事業												
目的 敬老祝金の贈呈を通して、高齢者の生きがいづくりや市民の敬老意識の向上につなげます。				担当課				介護高齢福祉課				
目標 -												
事業実施状況	・敬老祝金の贈呈 (88歳999人、100歳52人)				単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
					事業費		31,545		31,650		30,854	
					特定財源		0		0		0	
					一般財源		31,545		31,650		30,854	
	指標名		-						単位			
	基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値		
	-			-			-			-		
評価検証	-											

施策 4 取組 2 番号 再 事務事業 雇用拡大・機会確保促進事業<再掲9-4-1>														
目的		高齢者、移住者、女性等を含む多様な人材と企業のマッチング事業等の実施により、就業機会の確保を図ります。				担当課		商業労働課						
目標		-												
事業実施状況	・季節労働者の通年雇用化促進 ・UIJ ターン、人材マッチングの促進 ・高齢者の就業機会の拡大 ・シルバー人材センターへの運営支援				単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
					事業費		-		-		-			
					特定財源		-		-		-			
					一般財源		-		-		-			
					指標名				-		単位			
	基準値		R5		目標値 実績値		R6		目標値 実績値		R7		目標値 実績値	
	-				-		-		-		-		-	
評価検証	-													

施策 4 取組 2 番号 再 事務事業 学習機会提供事業（生涯学習文化課）<再掲13-1-1>1															
目的		学習情報のほか、生涯にわたって学ぶ様々な機会を提供します。						担当課		生涯学習文化課					
目標		-													
事業実施状況	・市民大学講座の実施（49講座1,613人） ・高齢者学級の実施（1年生58人、2年生42人） ・プラザエンジョイスchoolの実施（第Ⅰ期555人、第Ⅱ期548人、第Ⅲ期559人、第Ⅳ期552人）				単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額				
					事業費		-		-		-				
					特定財源		-		-		-				
					一般財源		-		-		-				
					指標名			-			単位				
					基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値	
					-		-		-		-		-		
評価検証	-														
	-														

事務事業評価表

施策 4 取組 0 番号 1 事務事業 高齢者保健福祉計画推進事業														
目的		高齢者保健福祉計画を推進し、高齢者福祉に関する施策を総合的に進めます。					担当課		介護高齢福祉課					
目標		-												
事業実施状況	・第九期高齢者保健福祉計画の推進 ・健康生活支援審議会高齢者支援部会の開催（10月、2月）				単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
					事業費		0		0		0			
					特定財源		0		0		0			
					一般財源		0		0		0			
					指標名			-			単位			
					基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
					-			-		-		-		
			-		-		-							
評価検証	-													

事務事業評価表

施策	5	取組	1	番号	1	事務事業	障害者理解促進事業						
目的	障害者団体、ノーマライゼーションに関する地域住民活動への支援や地域住民の交流を通して、障害や障害のある人に対する理解を促進します。						担当課	障害福祉課					
目標	地域住民との交流を通じ、障害や障害のある人に対する理解を促進する市民活動プラザ六中の利用者数の増加を目指します。												
事業実施状況	- 福祉のひろばへの支援 - 帯広心身障害者（児）育成会への支援 - 北海道難病連十勝支部への支援 - ノーマライゼーション推進活動への支援（3地区への補助） - 障害者週間記念事業の実施 - 手話言語条例の施行に伴う周知・啓発等の実施 - 市民活動プラザ六中での地域支え合い体制づくり事業の実施（利用者数58,052人）						単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額			
							事業費	16,770	18,552	22,891			
							特定財源	0	0	5,005			
							一般財源	16,770	18,552	17,886			
							指標名	-				単位	
							基準値	R5	目標値	R6	目標値	R7	目標値
									実績値		実績値		実績値
							-	-	-	-	-		
評価検証	R7年度は、六中七夕、六中祭、六中ドネーションなど多くの市民が参加するイベントを実施したことにより、市民活動プラザ六中の利用者数は前年より8,362名増加しており、目標を達成しました。加えて、手話言語条例10周年記念事業の実施により、障害や障害のある人に対する理解促進の機会創出を図ったことも、地域全体における理解促進や施設利用の拡大に寄与しているものと考えます。												

施策	5	取組	1	番号	2	事務事業	障害者虐待防止事業							
目的	虐待に関する相談活動を行うとともに、関係機関との連携により、障害者虐待の未然防止、早期発見、早期対応を図ります。						担当課	障害福祉課						
目標	関係機関と障害者虐待事例等の共有や虐待に関する相談体制を維持します。													
事業実施状況	・ 障害者虐待防止センターの運営（通報件数32件） ・ 虐待防止に関する啓発活動の実施						単位：千円		R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額			
							事業費		15	7	23			
							特定財源		21	30	4			
							一般財源		△6	△23	19			
							指標名		-		単位			
							基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値
							-		-	-	-	-	-	
評価検証	R7年度は、関係機関との連携のもと、障害者虐待に関する相談対応を24時間体制で実施するとともに、事業所向けの虐待防止研修を行うなど、未然防止や早期発見・早期対応に向けた取り組みを進めたほか、地域自立支援協議会権利擁護部会を活用し、関係機関に向け現状の共有と事例紹介などを行いました。 これらの取り組みにより、虐待に関する相談体制の維持・充実を図ってきており、目標を達成しました。													

施策	5	取組	2	番号	1	事務事業	地域生活支援拠点等整備推進事業						
目的	地域での相談体制の充実などにより、障害のある人の日常生活を支援します。						担当課	障害福祉課					
目標	障害のある人の自立した生活に向けた相談体制を維持します。												
事業実施状況	・各種相談員の配置（相談員 11人：相談対応 17,633件） ・基幹相談支援センターの運営（1か所：相談支援696件） ・一般相談支援事業（圏域相談支援含む）の実施（5か所：相談対応 8,238件） ・帯広市地域自立支援協議会の開催（定例会 11回、各会議・専門部会 44回、全体会 1回）						単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額			
							事業費	66,793	64,912	67,220			
							特定財源	195,918	186,996	170,459			
							一般財源	△129,125	△122,084	△103,239			
							指標名	圏域相談支援事業所における相談件数		単位	件		
							基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値
							4,869		5,248 9,539		5,248 8,455		5,248 8,238
評価検証	R7年度の一般相談支援事業所における相談件数は8,238件であり、目標を達成しました。 圏域相談支援体制については、パンフレット配布による周知などにより、日常生活等に関する相談先としての利用が図られています。 これらの取組により、地域における相談支援体制は維持されており、障害のある人の自立した生活に向けた支援につながっていると考えます。												

R7年度の一般相談支援事業所における相談件数は8,238件であり、目標を達成しました。圏域相談支援体制については、パンフレット配布による周知などにより、日常生活等に関する相談先としての利用が図られています。これらの取組により、地域における相談支援体制は維持されており、障害のある人の自立した生活に向けた支援につながっていると考えます。

事務事業評価表

施策	5	取組	2	番号	2	事務事業	障害者コミュニケーション支援事業						
目的	手話・要約筆記通訳者や支援者などの派遣により、障害のある人の自立や日常生活を支援します。						担当課	障害福祉課、介護高齢福祉課					
目標	聴覚障害者の社会参加を後押しする手話通訳者の派遣件数について714件を目指します。												
事業実施状況	・聴覚障害者等への手話・要約筆記通訳者などの派遣（手話 488件、要約筆記 31件） ・手話・要約筆記奉仕員養成講座等の実施（受講者数 手話 47名、要約筆記 8名） ・遠隔手話通訳サービスの実施（登録者41名、遠隔手話サービス 4件、問合せ相談 232件） ・入院中の筋萎縮性側索硬化症（ALS）患者への支援者の派遣						単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額			
							事業費	11,391	12,101	12,400			
							特定財源	805	932	775			
							一般財源	10,586	11,169	11,625			
							指標名	手話通訳者派遣件数		単位	件		
							基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値
							568		714		714		714
									738		637		488
評価検証	要約筆記通訳者の派遣件数は例年通りの実績でしたが、手話通訳者の派遣は昨年より150件程度の減少となり、目標を達成しませんでした。 手話通訳者の派遣内容のうち「生命・健康・医療・保健に関すること」が減少しており、ろう者の医療機関等の受診などが減ったことが要因と考えられます。派遣数は、年によって変動があるため、支援のニーズに応じた適切な支援体制の確保を継続していく必要があります。												

要約筆記通訳者の派遣件数は例年通りの実績でしたが、手話通訳者の派遣は昨年より150件程度の減少となり、目標を達成しませんでした。手話通訳の派遣内容のうち「生命・健康・医療・保健に関すること」が減少しており、ろう者の医療機関等の受診などが減ったことが要因と考えられます。派遣数は、年によって変動があるため、支援のニーズに応じた適切な支援体制の確保を継続していく必要があります。

施策	5	取組	2	番号	3	事務事業 障害者日常生活支援事業										
目的	クリーニング・理美容サービスの各種在宅サービスの提供や日常生活用具の給付などにより、日常生活の支援や経済的負担の軽減を図ります。						担当課		障害福祉課							
目標	障害のある人の日常生活を支援する各種サービスの利用率の向上を目指します。															
事業実施状況	・日常生活用具の給付・貸付（支払件数1,023件） ・クリーニング・理美容サービス等の提供（理美容クリーニング対象者92人、緊急通報システム対象者17人）						単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
							事業費		58,582		58,634		59,922			
							特定財源		987		1,042		1,110			
							一般財源		57,595		57,592		58,812			
							指標名		-				単位			
							基準値		R5		目標値 実績値		R6		目標値 実績値	
				-				-				-				
評価検証	R7年度は、障害のある人の日常生活を支援する様々なサービスを提供してきていますが、特にクリーニング・理美容サービスについては、個々のニーズに差があることから、利用率が3割程度と低水準で推移し、目標を達成しませんでした。 今後は、委託事業者との協議等を通じ、ニーズを踏まえた適切なサービス提供のあり方について、検討を進める必要があります。															

R7年度は、障害のある人の日常生活を支援する様々なサービスを提供してきていますが、特にクリーニング・理美容サービスについては、個々のニーズに差があることから、利用率が3割程度と低水準で推移し、目標を達成しませんでした。今後は、委託事業者との協議等を通じ、ニーズを踏まえた適切なサービス提供のあり方について、検討を進める必要があります。

施策	5	取組	2	番号	4	事務事業	障害者施設整備補助事業							
目的	民間事業者との連携により、各種障害者施設の整備を促進し、障害者が安心して生活できる環境整備を進めます。						担当課		障害福祉課					
目標	-													
事業実施状況	・ 障害者施設建設費償還への支援						単位：千円		R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額			
							事業費		6,216	6,152	6,089			
							特定財源		0	0	0			
							一般財源		6,216	6,152	6,089			
							指標名		-			単位		
							基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値
							-		-	-	-	-	-	
									-	-	-	-	-	
評価検証	-													

事務事業評価表

施策 5 取組 2 番号 5 事務事業 障害者自立支援給付事業										
目的		介護給付費や障害者自立支援訓練等給付費の支給などにより、障害のある人の日常生活や自立した生活を支援します。				担当課		障害福祉課		
目標		-								
事業実施状況	・ 障害者介護給付費の支給 ・ 自立支援訓練等給付費の支給 ・ 相談支援給付費等の支給	単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額		
		事業費		5,156,017		5,663,345		5,967,862		
		特定財源		3,879,997		4,245,183		4,470,869		
		一般財源		1,276,020		1,418,162		1,496,993		
		指標名		-				単位		
		基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値	
		-		-		-		-		
-		-		-		-				
評価検証	-									

施策	5	取組	2	番号	6	事務事業	障害者医療給付事業				
目的	障害者医療給付費の支給により、障害の除去・軽減を支援するとともに、経済的負担の軽減を図ります。						担当課		障害福祉課		
目標	-										
事業実施状況	・ 障害者医療給付費の支給						単位：千円		R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額
							事業費		674,302	677,182	652,875
							特定財源		454,514	455,046	433,450
							一般財源		219,788	222,136	219,425
	指標名		-					単位			
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値			
	-			-		-		-			
評価検証	-										

施策 5												取組 2		番号 7		事務事業 障害者補装具給付事業									
目的		障害者補装具給付費の支給により、身体機能の補完を支援するとともに、経済的負担の軽減を図ります。										担当課		障害福祉課											
目標		-																							
事業実施状況		・ 障害者補装具給付費の支給										単位：千円		R5年度決算額			R6年度決算額			R7年度決算額					
												事業費		68,872			76,840			69,482					
												特定財源		51,449			56,200			65,883					
												一般財源		17,423			20,640			3,599					
		指標名		-									単位												
		基準値		R5		目標値 実績値		R6		目標値 実績値		R7		目標値 実績値											
		-		-		-		-		-		-													
評価検証		-																							

事務事業評価表

施策 5 取組 2 番号 8 事務事業 特別障害者手当等支給事業									
目的	特別な介護を必要とする最重度の障害者に手当を支給し、経済的負担の軽減を図ります。					担当課	障害福祉課		
目標	-								
事業実施状況	・ 特別障害者手当等の支給		単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額		R7年度決算額		
			事業費	43,263	44,859		47,345		
			特定財源	32,402	33,644		35,510		
			一般財源	10,861	11,215		11,835		
	指標名		-				単位		
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値	
	-			-		-		-	
評価検証	-								

施策 5 取組 2 番号 9 事務事業 障害者福祉サービス管理運営事業									
目的		障害者自立支援審査会の開催などにより、障害支援区分の判定を行い、公平・公正な障害者施策の推進を図ります。				担当課	障害福祉課		
目標		-							
事業実施状況	・ 障害認定調査の実施(436回) ・ 障害者自立支援審査会の開催(38回)		単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額		R7年度決算額		
			事業費	28,229	29,208		29,683		
			特定財源	0	0		0		
			一般財源	28,229	29,208		29,683		
	指標名	-					単位		
	基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
	-		-	-	-	-			
評価検証	-								

施策 5 取組 2 番号 10 事務事業 地域生活支援給付事業									
目的	日中一時支援などの提供により、障害のある人の地域における自立した生活を支援します。					担当課	障害福祉課		
目標	-								
事業実施状況	・地域生活支援事業（移動支援、日中一時支援、訪問入浴）の実施			単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額		
				事業費	97,879	87,990	83,102		
				特定財源	0	0	0		
				一般財源	97,879	87,990	83,102		
				指標名	-				単位
	基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
	-		-	-	-	-			
評価検証	-								

事務事業評価表

施策 5 取組 3 番号 1 事務事業 障害者就労促進事業																		
目的		障害のある人の一般就労や、就労後の職場定着の支援などにより、 障害のある人の自立や就労を促進します。				担当課		障害福祉課										
目標		企業に一般就労している障害者数について984人を目指します。																
事業実施状況	・ 障害者施設からの物品優先調達 ・ 障害者就労・相談支援事業 ・ 障害者の職場体験実習の実施（13課22名） ・ 障害者雇用に係る成功事例の周知				単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額							
					事業費		5,118		5,127		2,718							
					特定財源		2,500		2,500		0							
					一般財源		2,618		2,627		2,718							
					指標名 企業に一般就労している障害者数				単位		人							
					基準値		R5		目標値 実績値		R6		目標値 実績値		R7		目標値 実績値	
					828				877				929				984	
								936				937				1,000		
評価検証		R7年度の企業に一般就労している障害者数は1,000人であり、目標を達成しました。 就労を希望する障害者向けの研修や、市役所の職場体験実習の実施などを通じ、障害者の就労意欲の喚起に努めたほか、雇用事例集の発信などにより企業における障害者雇用への理解促進に取り組んだことが効果的であったと考えます。																

施策 5 取組 3 番号 2 事務事業 障害者社会参加促進事業										
目的		地域活動支援センターの運営や障害のある人の各種活動への支援などにより、障害のある人の自立や社会参加を促進します。					担当課		障害福祉課	
目標		障害のある人の社会参加等を促進する障害者生活支援センターの利用者数について、2,596人を目指します。								
事業実施状況	・社会活動、余暇活動への支援（ろうあ者スポーツ大会への参加支援、福祉団体バスの運行など） ・地域活動支援センターへの運営支援 ・障害者生活支援センターの運営 ・重度障害者等タクシー料金、通所施設等交通費の助成 ・医療的ケア支援事業の実施		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
			事業費		130,188		132,845		130,291	
			特定財源		5,142		6,455		7,044	
			一般財源		125,046		126,390		123,247	
			指標名 障害者生活支援センターの利用者数						単位	人
			基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値
			1,686			2,596	2,596	2,596		2,818
評価検証	R7年度の障害者生活支援センターにおける利用延べ人数は2,818人となり、目標を達成しました。創作活動やトレーニング事業を通じ、障害のある人の通いの場として、社会参加の機会の確保につながっています。今後も、利用者が安心して活動できる環境づくりを行いながら、広報紙やSNS等により事業周知を強化し、利用者数の増加を図ります。									

施策 5 取組 0 番号 1 事務事業 障害者計画推進事業														
目的		障害者計画を推進し、障害者福祉に関する施策を総合的に進めま す。					担当課		障害福祉課					
目標		-												
事業実施状況	・帯広市障害者共生まちづくりプラン（障害者計画、障害福祉計画）の策定				単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
					事業費		747		516		0			
					特定財源		0		0		0			
					一般財源		747		516		0			
					指標名		-				単位			
					基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
					-			-		-		-		
評価検証	-						-				-			

事務事業評価表

施策 6 取組 1 番号 1 事務事業 看護師等人材確保事業									
目的		看護師等の養成機関への支援等により、医療に従事する人材の確保を図ります。				担当課		健康推進課	
目標		看護師等の管内定着率について63.3%を目指します。							
事業実施状況	・看護師等養成機関等への運営支援 ・帯広高等看護学院の運営支援		単位：千円		R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額		
			事業費		77,017	72,221	76,553		
			特定財源		0	0	0		
			一般財源		77,017	72,221	76,553		
	指標名		看護師等の管内定着率					単位	%
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値	
評価検証	R7年度の看護師等の管内定着率は73.8%と目標を達成しました。 養成機関への運営支援や情報共有が効果的であったと考えます。		61.4		63.3 65.2	63.3 72.2	63.3 73.8		

施策 6 取組 2 番号 1 事務事業 救急医療対策事業													
目的	医療機関や関係機関との連携により、救急医療体制を維持し、夜間、休日等でも安心して医療を受けられる環境づくりを進めます。					担当課	健康推進課						
目標	夜間・休日でも受診可能な医療体制を維持します。												
事業実施状況	・ 休日夜間急病センターの運営 ・ 二次救急医療体制の維持 ・ 在宅当番医制の維持 ・ 休日歯科診療体制の維持 ・ 帯広市急病テレホンセンターによる救急医療情報の提供 ・ 公共施設へのAEDの設置 ・ 道東ドクターヘリ運航調整委員会との連携					単位：千円		R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額			
						事業費		169,512	246,891	292,040			
						特定財源		2,520	33,186	36,807			
						一般財源		166,992	213,705	255,233			
						指標名		-		単位			
						基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値
						-			-		-		-
評価検証	R7年度は、医療機関や関係機関との連携により、夜間・休日などでも受診可能な救急医療体制を維持し目標を達成しました。												

施策 6 取組 2 番号 2 事務事業 地域医療体制整備支援事業									
目的	医療機関や関係機関と連携し、地域医療体制を整備します。					担当課	健康推進課		
目標	救命救急センター、小児救急医療、周産期医療、小児医療などの体制を維持します。								
事業実施状況	・ 健康生活支援審議会地域医療推進部会の開催 ・ 地域医療の確保に関する要望活動 ・ 帯広厚生病院への運営支援 ・ 心身障害者歯科治療事業の支援 ・ 訪問看護ステーションへの運営支援					単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額
						事業費	212,240	212,240	212,336
						特定財源	0	0	0
						一般財源	212,240	212,240	212,336
	指標名		-		単位				
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値	
	-		-	-	-	-	-		
評価検証	R7年度は、医療機関や関係機関との連携により、地域医療体制の確保や救命救急センター、小児救急医療、周産期医療、小児医療などの体制を維持し目標を達成しました。								

事務事業評価表

施策	7	取組	1	番号	1	事務事業	国民健康保険制度運営事業					
目的	北海道の運営方針を踏まえ、事務の標準化・広域化をすすめるとともに、医療費の適正化などにより、国民健康保険の安定的な運営を図ります。						担当課	国保課、収納課				
目標	-											
事業実施状況	・国民健康保険運営協議会の運営 ・国民健康保険事業費納付金の支出 ・レセプト点検の実施 ・医療費通知の実施 ・ジェネリック医薬品の使用促進 ・重複・多受診者への指導 ・個別家庭訪問の実施 ・保険者努力支援制度への対応 ・国民健康保険料の独自減免 ・保険料過誤納付金の還付 ・マイナ保険証対応（年次更新、制度周知など）					単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額			
						事業費	4,871,088	4,918,454	4,708,648			
						特定財源	3,399,617	3,395,430	3,226,252			
						一般財源	1,471,471	1,523,024	1,482,396			
						指標名	-	単位				
						基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値
						-	-	-	-	-	-	
評価検証	-											

施策	7	取組	1	番号	2	事務事業	国民健康保険料賦課・徴収事業							
目的	保険料の適正な賦課・徴収や収納率向上対策などにより、国民健康保険の健全な運営を図ります。						担当課		国保課、収納課					
目標	-													
事業実施状況	・保険料の賦課、徴収事務 ・収納率向上対策の推進 ・保険料の納付相談の実施						単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
							事業費		66,589		78,619		88,902	
							特定財源		20,123		20,954		26,134	
							一般財源		46,466		57,665		62,768	
	指標名		-						単位					
	基準値		R5		目標値 実績値		R6		目標値 実績値		R7		目標値 実績値	
	-				-				-				-	
評価検証	-													

施策	7	取組	1	番号	3	事務事業	療養給付費等支給事業			
目的	被保険者の医療費に関する保険者負担分、出産育児一時金及び葬祭費の支給を行います。						担当課	国保課		
目標	-									
事業実施状況	・療養給付費の支給 ・療養費の支給 ・高額療養費の支給 ・出産育児一時金の支給 ・葬祭費の支給						単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額
							事業費	10,779,435	10,199,737	10,058,596
							特定財源	10,777,357	10,198,547	10,057,952
							一般財源	2,078	1,190	644
	指標名	-						単位		
	基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値			
	-	-	-	-	-	-				
評価検証	-									

事務事業評価表

施策	7	取組	1	番号	4	事務事業	検診事業				
目的	被保険者を対象とした各種検診を実施し、疾病の早期発見・早期治療により、健康維持や疾病の重症化予防を図ります。						担当課	国保課			
目標	-										
事業実施状況	・各種がん検診の実施（受診者数 7,603人） ・人間ドックの実施（受診者数 442人） ・脳ドックの実施（受診者数 633人） ・歯科ドックの実施（受診者数 368人）					単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額		
						事業費	31,884	30,850	30,501		
						特定財源	31,884	30,850	30,501		
						一般財源	0	0	0		
	指標名					-	単位				
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値			
	-			-		-		-			
評価検証	-						-				
							-				

施策	7	取組	1	番号	5	事務事業	特定健康診査及び特定保健指導事業					
目的	被保険者を対象とした健康診査・保健指導を実施し、健康の維持・増進により、生活習慣病の予防を図ります。						担当課	健康推進課、国保課				
目標	-											
事業実施状況	・特定健康診査の実施（受診者数 7,235人） ・特定保健指導の実施（終了者数 227人） ・国保データベースを活用した特定保健指導の推進 ・特定健康診査未受診者、特定保健指導未利用者対策事業の実施					単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額			
						事業費	93,244	94,653	92,291			
						特定財源	61,435	68,498	65,836			
						一般財源	31,809	26,155	26,455			
						指標名	-			単位		
						基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値
						-	-	-	-	-	-	
評価検証	-											

施策	7	取組	1	番号	6	事務事業	後期高齢者医療制度運営事業					
目的	後期高齢者医療制度に関する事務を適切に執行し、制度の安定的な運営を図ります。						担当課	国保課、収納課				
目標	-											
事業実施状況	・後期高齢者医療制度の運営に関する市町村事務 ・保険料過誤納付金の還付					単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額			
						事業費	7,671	13,635	11,230			
						特定財源	1,607	5,780	1,989			
						一般財源	6,064	7,855	9,241			
						指標名	-			単位		
						基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値
						-	-	-	-	-	-	
評価検証	-											

事務事業評価表

施策	7	取組	1	番号	7	事務事業	後期高齢者医療保険料徴収事業
目的	後期高齢者医療保険料の徴収や制度周知などを進め、制度の安定的な運営を図ります。					担当課	国保課、収納課
目標	-						
事業実施状況	- 後期高齢者医療制度の周知 - 後期高齢者医療保険料の徴収					単位：千円 事業費 21,985 特定財源 0 一般財源 21,985 R5年度決算額 21,985 R6年度決算額 24,408 R7年度決算額 31,500 6,398 25,102	指標名 - 単位 基準値 R5 目標値実績値 R6 目標値実績値 R7 目標値実績値 - - - -
評価検証	-						

施策	7	取組	1	番号	8	事務事業	後期高齢者医療広域連合市町村負担金納付事業
目的	後期高齢者医療制度の運営主体である北海道後期高齢者医療広域連合の運営に必要な経費を負担します。					担当課	国保課、収納課
目標	-						
事業実施状況	- 市町村負担金（事務費等）の納付 - 市町村負担金（療養給付費）の納付 - 市町村負担金（保険料等）の納付					単位：千円 事業費 4,362,333 特定財源 2,070,771 一般財源 2,291,562 R5年度決算額 4,362,333 R6年度決算額 4,807,790 R7年度決算額 5,177,122 2,506,268 2,670,854	指標名 - 単位 基準値 R5 目標値実績値 R6 目標値実績値 R7 目標値実績値 - - - -
評価検証	-						

施策	7	取組	1	番号	9	事務事業	後期高齢者健康診査事業
目的	被保険者を対象とした各種健診を実施し、疾病の早期発見・早期治療により、健康維持や疾病の重症化予防を図ります。					担当課	国保課
目標	-						
事業実施状況	- 健康診査の実施（受診者数 5,392人） - 人間ドックの実施（受診者数 48人） - 脳ドックの実施（受診者数 200人） - 歯科ドックの実施（受診者数 322人）					単位：千円 事業費 51,489 特定財源 51,489 一般財源 0 R5年度決算額 51,489 R6年度決算額 54,844 R7年度決算額 55,787 12,443 43,344	指標名 - 単位 基準値 R5 目標値実績値 R6 目標値実績値 R7 目標値実績値 - - - -
評価検証	-						

事務事業評価表

施策	7	取組	2	番号	1	事務事業	介護給付等費用適正化事業
目的	要介護認定や介護報酬請求の適正化などを進め、介護保険制度の安定的な運営を図ります。					担当課	介護高齢福祉課
目標	介護保険サービスの適切な利用につなげるため、ケアプランの点検について一定以上の点検割合を維持します。						
事業実施状況	給付費の適正化					単位：千円 事業費 8,188 特定財源 6,611 一般財源 1,577 R5年度決算額 8,188 R6年度決算額 7,175 R7年度決算額 4,972 4,015 957	指標名 ケアプランの点検割合 単位 % 基準値 R5 目標値実績値 R6 目標値実績値 R7 目標値実績値 50.0 50.0 50.0 50.0 61.5 50.3 50.0
評価検証	R7年度の居宅介護支援事業所に勤務するケアマネジャー総数に対するケアプランの点検件数割合は50.0%であり、目標を達成しました。職員や北海道介護支援専門員協会による日常的なケアプラン点検を実施したことが効果的であったと考えます。今後も引き続き、給付適正化研修会を開催し、介護支援専門員の資質向上に努めていきます。						

施策	7	取組	2	番号	2	事務事業	介護保険制度運営事業
目的	介護認定審査会の運営や賦課・徴収などの事務を行い、介護保険制度の適切な運営を図ります。					担当課	介護高齢福祉課、収納課
目標	-						
事業実施状況	- 介護認定審査会の運営 - 介護保険制度の周知 - 介護保険被保険者の資格管理 - 介護人材のスキルアップ及び定着支援 - 介護保険料の賦課、徴収					単位：千円 事業費 185,335 特定財源 4,241 一般財源 181,094 R5年度決算額 185,335 R6年度決算額 186,813 R7年度決算額 189,843 2,693 187,150	指標名 - 単位 基準値 R5 目標値実績値 R6 目標値実績値 R7 目標値実績値 - - - -
評価検証	-						

施策	7	取組	2	番号	3	事務事業	介護保険制度運営安定化事業
目的	介護保険制度の財政安定化に係る貸付制度や基金の積立等を行い、制度の安定的な運営を図ります。					担当課	介護高齢福祉課、収納課
目標	-						
事業実施状況	- 介護給付費準備基金の管理 - 保険料過誤納付金の還付					単位：千円 事業費 528,363 特定財源 528,363 一般財源 0 R5年度決算額 528,363 R6年度決算額 456,731 R7年度決算額 620,011 620,011 0	指標名 - 単位 基準値 R5 目標値実績値 R6 目標値実績値 R7 目標値実績値 - - - -
評価検証	-						

事務事業評価表

施策 7 取組 2 番号 4 事務事業 介護保険利用者負担軽減対策事業									
目的	低所得の介護保険利用者が介護サービスを利用する際の負担軽減を図ります。					担当課	介護高齢福祉課		
目標	-								
事業実施状況	・低所得者に対する介護保険利用者負担軽減	単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額		
		事業費	60,395		57,826		53,903		
		特定財源	20,626		19,118		18,818		
		一般財源	39,769		38,708		35,085		
		指標名	-					単位	
		基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値	
		-		-		-		-	
評価検証	-								

施策	7	取組	2	番号	5	事務事業	介護保険料減免制度事業									
目的	災害などにより一時的に保険料の納付が困難となった低所得の被保険者に対し、保険料の負担軽減を図ります。						担当課	介護高齢福祉課								
目標	-															
事業実施状況	・介護保険料の法定減免（0件） ・介護保険料の独自減免（212件）						単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額				
							事業費	0		0		0				
							特定財源	0		0		0				
							一般財源	0		0		0				
							指標名	-						単位		
							基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値			
							-		-		-		-			
評価検証	-															

施策	7	取組	2	番号	6	事務事業	介護保険給付事業															
目的	要介護者が利用した介護サービスに要する保険者負担分の支出を行い、制度の適正な運用を図ります。						担当課	介護高齢福祉課														
目標	-																					
事業実施状況	・介護サービス給付費の支給						単位：千円		R5年度決算額				R6年度決算額				R7年度決算額					
							事業費		14,771,623				15,083,088				15,251,511					
							特定財源		12,678,345				12,970,813				13,126,125					
							一般財源		2,093,278				2,112,275				2,125,386					
							指標名		-										単位			
							基準値		R5		目標値 実績値		R6		目標値 実績値		R7		目標値 実績値			
							-				-		-		-		-		-			
評価検証	-																					

事務事業評価表

施策	7	取組	2	番号	7	事務事業	介護保険事業計画推進事業							
目的	介護保険事業計画を推進し、介護保険サービスの確保と制度の持続的な運営を図ります。						担当課	介護高齢福祉課						
目標	-													
事業実施状況	・第九期介護保険事業計画の推進						単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
							事業費		2,394		0		5,450	
							特定財源		0		0		0	
							一般財源		2,394		0		5,450	
							指標名		-					
	基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値				
	-			-			-			-				
評価検証	-													

施策	7	取組	3	番号	1	事務事業 早期把握・自立支援事業										
目的	民生委員等と連携を図り、要保護者の早期把握に努めるとともに、公共職業安定所等と連携した就労支援を実施し、被保護者の自立を促進します。					担当課	生活支援第1課・第2課									
目標	自立支援プログラムを利用した被保護者の就労率について50.0%を目指します。															
事業実施状況	・要保護者・被保護者との面談相談の実施 （新規相談1,044件、申請421件） ・被保護者への就労支援（就労自立促進事業 ＜参加者13人、就労者5人＞、被保護者 就労支援事業＜参加者65人、就労者32人 ＞、被保護者就労準備支援事業＜参加者6 人、就労者5人＞参加者計84名、就労者42 名、就労率50.0%） ・各種自立支援プログラムの実施					単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額				
						事業費		11,684		9,970		10,448				
						特定財源		11,481		6,402		4,485				
						一般財源		203		3,568		5,963				
						指標名		自立支援プログラム利用者の就労率				単位		%		
						基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値	
						39.6			50.0 40.9			50.0 54.8			50.0 50.0	
評価検証	R7年度の自立支援プログラム利用者の就労率は50.0%となり目標を達成しました。 ハローワークや委託先事業所と連携し、就労に向けた支援を効果的に実施できたことが要因と考えま す。 今後も、関係機関と連携し、被保護者個々の置かれている状況や能力に応じた就労に繋がるよう、適切な 支援を実施していきます。															

施策	7	取組	3	番号	2	事務事業	生活困窮者自立促進支援事業								
目的	生活困窮者の状態に応じた相談支援等を実施し、困窮状態からの早期自立を促進します。						担当課	生活支援第1課・第2課							
目標	生活困窮者の生活や就労に関する相談体制を維持します。														
事業実施状況	・生活困窮者の自立相談支援（新規相談数362件（実人数）） ・生活困窮者の就労準備支援（4人（実人数）） ・生活困窮者の家計改善支援（9人（実人数）） ・住居確保給付金の支給（新規申請決定件数4世帯、給付額288,000円） ・生活困窮世帯（被保護世帯含む）の子どもの学習支援（小学生＜参加者11人（実人数）＞、中学生（高校生含む）＜参加者19人（実人数）＞）						単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額					
							事業費	29,308	31,376	32,739					
							特定財源	20,777	21,523	8,554					
							一般財源	8,531	9,853	24,185					
							指標名	人口10万人あたりの自立相談件数					単位	件	
							基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値	
							20			20 14		20 15		20 19	
評価検証	R7年度における人口10万人あたりの自立相談件数は19件/月となり目標を達成しませんでした。相談件数はコロナ禍時に比べ減少しているものの、物価高騰等の影響により、困窮者からの相談件数は依然高水準にあります。支援が必要な人が相談機関の存在を知らない、あるいはアクセスできないといった状況が起こらないように、パンフレットの配布等により自立相談支援センターの認知度向上を図るなど、相談支援体制の構築に努めていきます。														

事務事業評価表

施策 7 取組 3 番号 3 事務事業 生活保護事業													
目的	被保護者の生活実態を把握し、的確な助言・指導を行います。					担当課	生活支援第1課・第2課						
目標	-												
事業実施状況	・被保護者の家庭訪問の実施(被保護者 3,697世帯/月平均、ケースワーカー43名、家庭訪問11,171件) ・被保護者への助言、指導 ・被保護者に対する健康管理支援（健康診査等受診勧奨 2,009名）					単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
						事業費		79,753		79,752		73,720	
						特定財源		21,898		25,646		2,637	
						一般財源		57,855		54,106		71,083	
						指標名		-		単位			
						基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値
						-		-		-		-	
								-		-		-	
評価検証	-												

施策 7 取組 3 番号 4 事務事業 生活保護等支給事業											
目的		生活に困窮する被保護者等に対し、保護費等による支援により、生活の安定を図ります。						担当課		生活支援第1課・第2課	
目標		-									
事業実施状況	・保護費の支給 ・中国残留邦人等への支援給付費等の支援		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額		
			事業費		7,613,859		7,685,314		7,554,147		
			特定財源		6,043,216		6,006,900		5,785,074		
			一般財源		1,570,643		1,678,414		1,769,073		
			指標名		-						単位
	基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値	
	-			-			-			-	
評価検証	-				-		-		-		

施策 7 取組 0 番号 1 事務事業 国民年金事業											
目的		市民が適正に年金を受給できるよう、制度周知や各種受付事務などを進めます。					担当課		戸籍住民課		
目標		-									
事業実施状況	・ 広報紙やパンフレットによる制度周知 ・ 被保険者の各種受付事務の実施		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額		
			事業費		9,423		12,122		12,398		
			特定財源		40,426		43,713		43,170		
			一般財源		△31,003		△31,591		△30,772		
			指標名		-						単位
	基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値	
	-		-		-		-		-		
	-		-		-		-		-		
評価検証	-										

事務事業評価表

施策	8	取組	1	番号	1	事務事業	制度融資事業（農政課）					
目的	長期・低利等の資金の貸付により、農業経営の高度化・安定化を図ります。						担当課		農政課			
目標	農業者の経営の高度化・安定化を図る農林業育成資金の新規貸付件数について99件を目指します。											
事業実施状況	・農林業育成資金の貸付（新規貸付52件） ・農地保有合理化事業資金の貸付（新規貸付0件）						単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額		
							事業費	2,265,012	2,408,318	2,486,627		
							特定財源	2,260,491	2,403,511	2,481,664		
							一般財源	4,521	4,807	4,963		
							指標名	制度資金利用件数		単位	件	
							基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7
						80		99 26		99 24		99 52
評価検証	R7年度の新規貸付件数は52件であり、目標を達成しませんでした。 エネルギー価格や肥料を含む生産資材価格の高騰、農業機械の値上がり、夏の干ばつによる生育不安などによって、農業者が農業機械等の導入を控えたことが要因であると考えます。 今後も、農協を通じ、農業者に貸付制度を効果的に周知していくことが必要であると考えます。											

施策	8	取組	1	番号	2	事務事業	農業経営体育成・強化事業												
目的	経営研修や新規就農者の支援などを進め、優れた経営能力と生産技術を持った担い手の育成・確保を図ります。						担当課		農政課										
目標	担い手の育成・確保を図る研修会（市主催又は共催）への参加者数について208人を目指します。																		
事業実施状況	・担い手の強化、育成支援 参加者数計 165人 （十勝地域農業者合同研修会151人（会場17人、オンライン134人）、農業者向け一般研修会8人、アグリカレッジ6人（新規就農者コース）） ・農業振興基金の管理						単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額						
							事業費		45,616		51,242		56,413						
							特定財源		44,336		49,641		55,094						
							一般財源		1,280		1,601		1,319						
							指標名 各種研修への参加者数				単位		人						
							基準値		R5		目標値 実績値		R6		目標値 実績値		R7		目標値 実績値
						162				176 68				191 149				208 165	
評価検証	R7年度の各種研修への参加者数は165人であり、目標を達成しませんでした。 十勝地域農業者合同研修会講師と協議し、研修会の開催回数を1回に縮小したことが要因であると考えます。 今後は、開催回数の増加や農業者が参加しやすい開催手法の工夫、農業者が関心を持つ分野を題材にした研修会の開催を継続していくことが必要であると考えます。																		

施策	8	取組	1	番号	3	事務事業 クリーン農業推進事業					
目的	生産者・関係団体との連携によるグリーン農業技術の普及などによ り、安全で良質な農産物の生産を進めます。						担当課		農政課		
目標	持続的な生産活動を推進するとともに環境負荷の低減を図る環境保全型農業の実践者数について66人を 目指します。										
事業 実施 状況	・クリーン農業技術等の普及促進 ・環境保全型農業直接支援対策事業の実施 (実践者数69人、実施面積87,026a)						単位：千円		R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額
							事業費		41,608	44,942	43,660
							特定財源		30,744	33,942	33,004
							一般財源		10,864	11,000	10,656
	指標名		環境保全型農業実践者数			単位	人				
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値			
	60			62 65		64 70		66 69			
評価 検証	R7年度の環境保全型農業実践者数は69人であり、目標を達成しました。 事業周知により取組面積が拡大したほか、肥料価格高騰を背景とした化学肥料低減への意識の高まりな どにより、本事業を活用する農業者が増加したことが要因と考えます。 今後も引き続き、事業周知や有機栽培導入検討試験結果などの情報提供を継続し、環境保全型農業への 理解醸成を図っていきます。										

事務事業評価表

施策	8	取組	1	番号	4	事務事業	営農技術向上対策事業						
目的	営農技術情報の提供や試験研究などを進め、生産性の向上や環境負荷の低減を図ります。						担当課		農政課				
目標	地域農業における生産性の向上や環境負荷の低減などに関する営農技術の試験研究数について17件を目指します。												
事業実施状況	・営農技術試験、調査、情報提供（営農技術試験研究数27件、営農技術情報の提供11回） ・土壌、堆肥分析などへの支援（検査点数2,351点） ・新技術の導入や研究などへの支援（実施主体3団体） ・環境にやさしい栽培技術と省力化に資する先端技術等を取り入れたグリーンな栽培体系への転換に向けた取り組みを支援（1団体）						単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額			
							事業費	37,323	182,432	17,964			
							特定財源	21,432	84,884	1,920			
							一般財源	15,891	97,548	16,044			
	指標名 営農技術試験研究数								単位	件			
	基準値		R5	目標値	R6	目標値	R7	目標値					
				実績値		実績値		実績値					
14			17		17		17						
			20		17		27						
評価検証	R7年度の営農技術試験研究数は27件であり、目標を達成しました。 農業団体や農業者等との協議を通じて、試験研究課題や技術普及の現場ニーズを把握したことに加え、近年の気候変動を踏まえた薬剤などの新たな資材に対する現場の関心が高まり、その効果検証の取り組みが増加したことが要因であると考えます。												

施策	8	取組	1	番号	5	事務事業	多面的機能支払推進事業											
目的	農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を図るための地域の共同活動に係る支援を行い、地域資源の適切な保全管理を推進します。						担当課		農村振興課									
目標	水源の涵養や自然環境の保全など農業・農村が有する多面的機能の維持・発揮に取り組む農事組合数について23団体を目指します。																	
事業実施状況	・農業・農村の有する多面的機能の維持、発揮を図るための地域の共同活動（水路の泥上げ、草刈、農道の補修など）に係る支援24団体（16,884.62ha）						単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額					
							事業費		218,952		232,277		245,997					
							特定財源		164,359		174,359		184,652					
							一般財源		54,593		57,918		61,345					
	指標名						農業・農村が有する多面的機能の維持・発揮に取り組む農事組合数				単位		団体					
	基準値						R5		目標値 実績値		R6		目標値 実績値		R7		目標値 実績値	
	21								21 22				22 23				23 24	
評価検証	R7年度の多面的機能の維持・発揮に取り組む農事組合数は24団体であり、目標を達成しました。																	
	事業説明会などの開催を通じて、地域活動の重要性を周知してきたことなどが効果的であったと考えます。																	

施策	8	取組	1	番号	6	事務事業	有害鳥獣駆除事業				
目的	有害鳥獣の駆除により、農林業被害を防止します。						担当課	農村振興課			
目標	鳥獣害による農業被害額を1,993万円にまで抑制します。										
事業実施状況	・有害鳥獣の駆除 ・帯広市鳥獣被害対策実施隊による被害対策の実施(337回)						単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額	
							事業費	6,111	6,210	9,973	
							特定財源	1,085	1,059	1,327	
							一般財源	5,026	5,151	8,646	
	指標名						鳥獣害による農業被害額		単位	万円	
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値			
3,088			1,993 1,101		1,993 1,507		1,993 1,329				
評価検証	R7年度の鳥獣被害による農業被害額は1,329万円であり、目標を達成しました。										
	帯広市鳥獣被害対策実施隊や駆除員による被害調査を通じて捕獲活動などを効果的に行ったことが、農業被害額の減少につながったものと考えます。 今後も、鳥獣被害を防止していくため、当面は現在の駆除体制を維持していくことが必要と考えます。										

事務事業評価表

施策 8 取組 1 番号 7 事務事業 家畜衛生対策事業														
目的	防疫体制の充実や予防接種など家畜衛生対策を進め、畜産経営の安定化を図ります。					担当課		農政課						
目標	予防接種の実施などにより家畜伝染病の発生防止を目指します。													
事業実施状況	・ 予防接種への支援（ワクチン接種延べ頭数12,281頭） ・ 家畜伝染病発生予防の啓発、推進 ・ 情報収集や危機管理体制の整備 ・ 防疫資材の備蓄				単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
					事業費		1,545		1,881		1,763			
					特定財源		1		5		305			
					一般財源		1,544		1,876		1,458			
					指標名		-				単位			
	基準値		R5		目標値 実績値		R6		目標値 実績値		R7		目標値 実績値	
	-				-		-		-		-		-	
評価検証	R7年度は、自衛防疫組員に予防接種の支援を行ったほか、伝染病発生予防の啓発活動などに取り組んだことにより、家畜伝染病の発生が防止されており、目標を達成しました。													

施策 8 取組 1 番号 8 事務事業 生乳生産安定対策事業																
目的		乳質改善や牛群の資質向上などを進め、酪農経営の安定化と安全・安心な生乳の生産を促進します。				担当課		農政課								
目標		生乳の安定的な出荷を維持します。														
事業実施状況	・生乳検査、乳質改善への支援（生乳検査14,481検体） ・牛群の改良、飼養管理改善への支援（乳牛検定延べ頭数44,494頭） ・酪農ヘルパー派遣事業への支援（酪農ヘルパー利用延べ回数1,927回）		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額							
			事業費		2,568		2,568		2,568							
			特定財源		1,000		1,000		1,000							
			一般財源		1,568		1,568		1,568							
			指標名		-				単位							
			基準値		R5		目標値 実績値		R6		目標値 実績値		R7		目標値 実績値	
			-		-		-		-		-		-		-	
評価検証	R7年度は、乳質改善や牛群の資質向上などの支援を実施したことにより、生乳の安定的な出荷が維持されており、目標を達成しました。															

施策	8	取組	1	番号	9	事務事業	農業技術センター管理運営事業							
目的	農業者及び農業生産活動の支援拠点である農業技術センターを管理運営し、農業振興施策を総合的に展開します。						担当課		農政課					
目標	-													
事業実施状況	・農業技術センターの維持管理 ・農業行政に関する事務 ・農業・農村基本計画の推進						単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
							事業費		10,460		15,787		15,258	
							特定財源		13		3,676		2,202	
							一般財源		10,447		12,111		13,056	
							指標名		-					
	基準値		R5		目標値 実績値		R6		目標値 実績値		R7		目標値 実績値	
	-				-				-				-	
評価検証	-													
							-		-		-		-	

事務事業評価表

施策 8 取組 1 番号 10 事務事業 八千代公共育成牧場管理運営事業									
目的	八千代公共育成牧場の管理運営や利用促進を通して、畜産経営の安定化を図ります。					担当課	農政課		
目標	-								
事業実施状況	・八千代公共育成牧場の管理運営（入牧延べ頭数（牛）137,521頭、同（馬）5,259頭、舎飼延べ頭数163,291頭） ・八千代公共育成牧場の利用促進 ・自給飼料基盤強化対策の実施（牧場草地更新18.89ha、老朽・劣化草地及び機械の計画的な更新）				単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額	
					事業費	238,420	224,551	237,159	
					特定財源	136,802	133,678	138,379	
					一般財源	101,618	90,873	98,780	
	指標名	-					単位		
	基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
	-		-		-		-		
評価検証	-								

施策	8	取組	1	番号	11	事務事業	畜産研修センター管理運営事業					
目的	畜産研修センターの管理運営により、畜産や農業に関する研修機会を提供し、農業理解の促進を図ります。						担当課		農政課			
目標	-											
事業実施状況	・畜産研修センターの管理運営（利用者数1,434人） ・研修機会の提供				単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
					事業費		25,236		25,222		27,127	
					特定財源		652		669		1,852	
					一般財源		24,584		24,553		25,275	
	指標名		-						単位			
	基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値		
	-			-			-			-		
評価検証	-											

施策 8 取組 1 番号 12 事務事業 畜産振興事業												
目的		飼養管理技術の普及や畜産関連情報の収集・提供などを通じ、畜産の振興を図ります。						担当課		農政課		
目標		-										
事業実施状況	・飼養管理技術の普及促進 ・畜産関連情報の収集、提供		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
			事業費		39,359		1,126		1,159			
			特定財源		38,364		0		0			
			一般財源		995		1,126		1,159			
			指標名		-						単位	
	基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値		
	-		-		-		-		-			
評価検証	-											

事務事業評価表

施策	8	取組	1	番号	13	事務事業	農業生産体制強化事業						
目的	農業用機械や施設整備の支援などを進め、生産性の向上を図ります。						担当課		農政課				
目標	-												
事業実施状況	・労働力不足や病害虫の発生等の環境変化への対応に対する支援（ソフト事業：4生産団体、ハード事業：15生産団体） ・安定供給体制構築のための営農技術の導入等に対する支援（ソフト事業：6生産団体、ハード事業：2生産団体、ソフト及びハード事業：2生産団体） ・生産基盤の強化等のための農業機械導入に対する支援（ハード事業：1団体） ・全国和牛能力共進会北海道大会の審査会場となるアグリアリーナの照明LED化等の整備を支援（1団体） ・収益性向上のための施設整備に対する支援（ハード事業：1生産団体）						単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額			
							事業費	516,723	523,808	655,031			
							特定財源	516,723	523,808	655,031			
							一般財源	0	0	0			
							指標名	-			単位		
							基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値
							-	-	-	-	-	-	
評価検証	-						-	-	-	-	-		
							-	-	-	-	-		

施策	8	取組	1	番号	14	事務事業	農業経営基盤強化資金利子補給事業							
目的	農業者の借入資金に対する金利負担を軽減し、経営改善の促進、担い手の育成・確保を図ります。						担当課		農政課					
目標	-													
事業実施状況	・農業経営基盤強化資金利子補給（新規案件数0件）						単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額				
							事業費	1,497	1,168	855				
							特定財源	749	584	428				
							一般財源	748	584	427				
							指標名	-				単位		
							基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値	
							-	-	-	-	-			
評価検証	-						-	-	-	-				
							-	-	-	-				

施策	8	取組	1	番号	15	事務事業	農業基盤施設維持補修事業							
目的	農業用排水施設、畑地かんがい施設の適切な維持管理を促進し、生産性の維持を図ります。						担当課		農村振興課					
目標	-													
事業実施状況	・明渠の維持管理への支援 ・明渠周辺の環境保全への支援 ・畑地かんがい施設の維持管理への支援 ・農道改良工事						単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
							事業費		13,572		36,248		112,044	
							特定財源		8,540		26,108		100,654	
							一般財源		5,032		10,140		11,390	
							指標名		-					
	基準値		R5		目標値 実績値		R6		目標値 実績値		R7		目標値 実績値	
	-						-		-		-		-	
	-						-		-		-		-	
評価検証	-													

事務事業評価表

施策	8	取組	1	番号	16	事務事業	道営水利施設等保全高度化事業				
目的	農業用排水施設の整備や土層改良などの生産基盤整備を総合的に進め、生産性・収益性の向上を図ります。						担当課	農村振興課			
目標	-										
事業実施状況	・明渠・畑地かんがい・暗渠排水、土層改良などの整備（大正南2地区、川西中央2-1地区、川西中央2-2地区、大正中島2地区、帯広かわにし1地区、帯広かわにし2地区） ・整備費の償還						単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額	
							事業費	260,198	236,239	307,458	
							特定財源	187,476	176,173	247,957	
							一般財源	72,722	60,066	59,501	
	指標名						-	単位			
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値			
	-			-		-		-			
評価検証	-										

施策	8	取組	1	番号	17	事務事業	国営土地改良事業								
目的	農業用水の確保など農業生産基盤の整備を促進し、生産性・収益性の向上を図ります。						担当課	農村振興課							
目標	-														
事業実施状況	・国営かんがい排水事業による農業生産基盤整備費の償還						単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額					
							事業費	14,673	3,732	3,732					
							特定財源	0	0	0					
							一般財源	14,673	3,732	3,732					
							指標名	-					単位		
							基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
							-	-	-	-	-				
評価検証	-						-	-	-	-					
							-	-	-	-					

施策	8	取組	1	番号	18	事務事業	土地改良促進事業				
目的	土地改良事業を円滑に推進するため、事業実施に伴う事務を行います。						担当課	農村振興課			
目標	-										
事業実施状況	・ 土地改良事業に関する事務						単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額	
							事業費	9,162	6,709	8,491	
							特定財源	4,383	5,484	4,893	
							一般財源	4,779	1,225	3,598	
	指標名	-						単位			
	基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値				
	-	-		-		-					
	-		-		-						
評価検証	-										

事務事業評価表

施策	8	取組	1	番号	19	事務事業	農業委員会運営事業						
目的	農業生産力の向上や農業経営の合理化を図るため、農地に関する権利移動や転用、利用集積などの業務を行います。						担当課	農業委員会事務局					
目標	-												
事業実施状況	・農地法に基づく法令業務 ・農業経営基盤強化促進法に基づく農地の利用集積等に関する業務 ・農地中間管理事業の推進に関する法律に基づく農地の集積・集約化等に関する業務 ・農業者年金業務 ・法人化その他の農業経営の合理化に関する業務 ・農業に関する調査及び情報提供 ・農業後継者結婚対策業務 ・農地等証明発行						単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額			
							事業費	21,503	22,269	23,245			
							特定財源	16,412	16,341	16,849			
							一般財源	5,091	5,928	6,396			
							指標名	-		単位			
							基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値
							-	-	-	-	-		
評価検証	-												

施策	8	取組	2	番号	1	事務事業 フードバレーとから食・農活性化事業						
目的	地域の農畜産物などの情報発信を通じ、十勝農業の魅力向上を図ります。						担当課	農政課				
目標	十勝の農畜産物など地域資源の情報を掲載したホームページ「十勝の食卓」のアクセス数を維持します。											
事業実施状況	・地域資源に係る情報の収集・発信（「地域資源」の紹介ページの追加・更新80件、地域の食材を使用した「おいしいレシピ」の追加・更新23件、十勝の食卓ホームページアクセス数54,414回）						単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額		
							事業費	264	264	264		
							特定財源	0	0	0		
							一般財源	264	264	264		
							指標名	-			単位	
							基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7
		-	-	-	-	-	-					
評価検証	R7年度は、「地域の資源」の紹介ページや「とから農業ストーリー」の追加・更新をするなど、内容の充実に取り組んだほか、各種イベントにおいて、「十勝の食卓」ホームページの周知を実施しましたが、既存閲覧者の定着や新規閲覧者の増加に十分に結びつかず、目標を達成できませんでした。今後は、「十勝の食卓」ホームページの内容を充実させるとともに、周知方法の工夫を行いながらイベント等の機会を通じたPR活動を行い、地域農畜産物等の情報発信を進め、アクセス数の維持につなげていく必要があると考えます。											

施策	8	取組	2	番号	2	事務事業	農畜産物安全安心推進事業					
目的	食の安全・安心に向けた取り組みなどにより、農業の競争力強化を促進します。						担当課		農政課			
目標	持続可能な農業生産や輸出拡大につながる取組を行う農家数の増加を目指す。											
事業実施状況	・農畜産物の安全安心に係る普及啓発（圃場立ち入り禁止チラシ等の配布10か所） ・環境負荷低減のクロスコンプライアンスチェックシートの提出（提出農家数81人） ・国際水準GAPに関する資料配付（配付農家数81人）						単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額		
							事業費	433	433	433		
							特定財源	289	289	289		
							一般財源	144	144	144		
							指標名	-			単位	
							基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7
							-	-	-	-		
評価検証	R7年度は、クロスコンプライアンスチェックシートに基づく環境負荷低減の取組や国際水準GAPに関する資料配付を実施したことにより、持続可能な農業生産等を目的とした取組を実施する農家数が増加しており、目標を達成しました。											

事務事業評価表

施策	8	取組	2	番号	3	事務事業 黒毛和牛生産振興事業						
目的	繁殖・素牛育成技術の普及など肉用牛の生産振興により、畜産経営の安定化や地域ブランド「十勝和牛素牛」の普及を図ります。					担当課	農政課					
目標	繁殖雌牛の飼養頭数の増加を目指す。											
事業実施状況	・黒毛和牛の繁殖、育成技術の普及促進（生産技術巡回指導8回、黒毛和種繁殖雌牛飼養頭数853頭） ・黒毛和牛の受精卵移植の促進（和牛受精卵移植113頭（R8.3.31現在、八千代牧場）） ・とから帯広和牛生産改良組合への支援 ・全国和牛能力共進会の開催に向けたPR支援					単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額			
						事業費	215	523	3,082			
						特定財源	0	280	2,859			
						一般財源	215	243	223			
						指標名	-				単位	
						基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値
						-	-	-	-	-	-	
評価検証	R7年度は、和牛素牛生産の指導巡回やとから帯広和牛生産改良組合による研修会などを実施しましたが、経営コストの膨張を背景に黒毛和牛繁殖雌牛飼養頭数が減少しており、目標を達成しませんでした。 今後も引き続き、巡回指導や改良組合の研修会等を実施するほか、R9年の全国和牛能力共進会の開催に向けた和牛生産振興に努めていく必要があると考えます。											

施策	8	取組	2	番号	4	事務事業	畜産物加工研修センター管理運営事業						
目的	畜産物加工研修センターの管理運営により、畜産物の付加価値の向上、農業理解の促進を図ります。						担当課	農政課					
目標	-												
事業実施状況	・畜産物加工研修センターの管理運営 ・加工研修機会の提供（研修参加人数（乳加工、肉加工）762人） ・畜産物の加工技術、製品の研究開発（研究開発・視察・自主事業等参加人数77人）						単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額			
							事業費	12,158	12,360	12,695			
							特定財源	389	205	0			
							一般財源	11,769	12,155	12,695			
							指標名	-			単位		
							基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値
							-	-	-	-	-	-	
評価検証	-												

施策	8	取組	2	番号	再	事務事業	フードバレーとから推進事業<再掲9-2-3>1						
目的	十勝管内の自治体や関係機関と連携し、地域の農林水産物の付加価値向上や情報発信などに取り組み、「フードバレーとから」を推進します。						担当課	経済企画課					
目標	-												
事業実施状況	・十勝産農畜産物、加工品の販路拡大						単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額			
							事業費	-	-	-			
							特定財源	-	-	-			
							一般財源	-	-	-			
							指標名	-			単位		
							基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値
							-	-	-	-	-	-	
評価検証	-												

事務事業評価表

施策	8	取組	3	番号	1	事務事業	食育推進事業（農業分野）						
目的	各種イベントの開催などを通して、地産地消の促進や市民の食や健康への意識の向上を図ります。						担当課	農政課					
目標	食育に関心を持つ市民の割合の増加を目指します。												
事業実施状況	・食や農業に関するイベントの開催・支援（食育推進イベント（ブース出展）4件、食育推進サポーター活用26件） ・消費者と生産者との相互交流の促進 ・地場農畜産物の消費拡大 ・食育推進計画の推進						単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額			
							事業費	3,685	3,989	4,940			
							特定財源	0	3,630	4,580			
							一般財源	3,685	359	360			
							指標名	-		単位			
							基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値
							-	-	-	-	-		
評価検証	R7年度は、「食育推進サポーター」による市内小学校への食育出前授業等を実施したほか、各種イベントへの食育推進PRブースを出展するなどの取り組みを実施し、食育に関心を持つ市民の割合が増加し、目標を達成しました。												

施策	8	取組	3	番号	2	事務事業	帯広の森市民農園管理運営事業													
目的	帯広の森市民農園の管理運営により、農業に対する理解促進や都市と農村の交流促進を図ります。						担当課		農政課											
目標	-																			
事業実施状況	・帯広の森市民農園の管理運営（都市農村交流センター利用者数15,063人） ・市民農園（146区画）、学童農園（市内25団体）の運営						単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額							
							事業費		20,488		23,524		25,960							
							特定財源		1,322		3,548		4,386							
							一般財源		19,166		19,976		21,574							
							指標名		-				単位							
							基準値		R5		目標値 実績値		R6		目標値 実績値		R7		目標値 実績値	
							-				-				-					
評価検証	-																			

施策	8	取組	3	番号	3	事務事業	とち大平原交流センター管理運営事業							
目的	とち大平原交流センターの管理運営により、農業・農村の歴史や魅力を発信し、農業・農村の理解促進、農業・農村文化の継承を図ります。						担当課		農政課					
目標	-													
事業実施状況	・とち大平原交流センターの管理運営 (利用者数13,768人) ・とち農機具歴史館の管理運営						単位：千円		R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額			
							事業費		12,493	13,102	13,937			
							特定財源		0	200	217			
							一般財源		12,493	12,902	13,720			
							指標名		-			単位		
							基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値
							-		-		-		-	
評価検証	-													

事務事業評価表

施策	8	取組	3	番号	4	事務事業	農村活性化促進事業						
目的	農村におけるコミュニティの維持・確保、景観形成などの取り組みを通じて、農村の活性化を図ります。						担当課	農村振興課					
目標	-												
事業実施状況	・農業センターの維持管理（12施設） ・農業センターの改築等（上帯広農業センターと川西第2分団詰所の複合化、愛国農業センターと大正第2分団詰所の複合化） ・耕地防風林の整備への支援（9戸） ・以平農業センター体育館の解体実施設計						単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額			
							事業費	40,161	373,888	372,230			
							特定財源	20,139	355,166	349,059			
							一般財源	20,022	18,722	23,171			
							指標名	-			単位		
							基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値
							-	-	-	-	-	-	
評価検証	-												

施策 8 取組 3 番号 再 事務事業 多面的機能支払推進事業<再掲8-1-5>												
目的		農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を図るための地域の共同活動に係る支援を行い、地域資源の適切な保全管理を推進します。					担当課		農村振興課			
目標		-										
事業実施状況	・農業・農村の有する多面的機能の維持、発揮を図るための地域の共同活動（水路の泥上げ、草刈、農道の補修など）に係る支援24団体（16,884.62ha）					単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額			
						事業費	-	-	-	-		
						特定財源	-	-	-	-		
						一般財源	-	-	-	-		
						指標名	-				単位	
						基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値
						-	-	-	-	-		
評価検証	-											

施策 8 取組 3 番号 再 事務事業 配水管整備事業<再掲20-1-1>1											
目的		配水管の計画的な更新による耐震性の向上などを進め、水道水の安定供給を図ります。					担当課		水道課		
目標		-									
事業実施状況	・配水管の整備 L=520.5m ・老朽管の更新 L=6,541.3m ・配水管等の耐震化 L=2,020.7m		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額		
			事業費		-		-		-		
			特定財源		-		-		-		
			一般財源		-		-		-		
	指標名		-						単位		
	基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値	
	-		-		-		-		-		
評価検証	-										

事務事業評価表

施策 8 取組 3 番号 再 事務事業 農村下水道施設整備事業<再掲20-1-10>												
目的		農村下水道の整備により、農村部における快適な生活環境づくりを進めます。					担当課		下水道課			
目標		-										
事業実施状況	・ 個別排水処理施設の整備			単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額		
				事業費		-		-		-		
				特定財源		-		-		-		
				一般財源		-		-		-		
	指標名		-						単位			
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値				
		-		-		-		-				
評価検証	-											

施策 8 取組 3 番号 再 事務事業 量水器整備事業<再掲20-2-2>												
目的	水道メーターや止水栓の更新などにより、漏水の防止など、利用者サービスの向上を図ります。					担当課		水道課				
目標	-											
事業実施状況	・水道メーターの更新 ・止水栓の更新 ・作業時間の短縮が可能な「掘削しないメーターボックス」への更新				単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
					事業費		-		-		-	
					特定財源		-		-		-	
					一般財源		-		-		-	
	指標名		-						単位			
	基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値		
	-			-			-			-		
評価検証	-											

施策 8 取組 3 番号 再 事務事業 水道施設維持管理事業<再掲20-2-7>												
目的		適切な水道施設の維持管理などにより、水道事業を安定的に運営します。				担当課		水道課				
目標		-										
事業実施状況	・ 配水管、水道施設、量水器の維持管理		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
			事業費		-		-		-			
			特定財源		-		-		-			
			一般財源		-		-		-			
			指標名		-				単位			
			基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
			-			-		-		-		
評価検証	-											

事務事業評価表

施策 8 取組 3 番号 再 事務事業 下水道施設維持管理事業<再掲20-2-8>												
目的		適切な下水道施設の維持管理などにより、下水道事業を安定的に運営します。					担当課		下水道課			
目標		-										
事業実施状況	・下水道管の維持管理 ・個別排水処理施設、農業集落排水施設の維持管理				単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
					事業費		-		-		-	
					特定財源		-		-		-	
					一般財源		-		-		-	
	指標名				-				単位			
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値				
	-			-		-		-				
評価検証	-											

施策 8 取組 3 番号 再 事務事業 下水道普及促進事業<再掲20-2-12>												
目的		下水道の利用を促進し、生活環境の保全、公衆衛生の向上を図ります。					担当課		下水道課			
目標		-										
事業実施状況	・下水道への接続の普及啓発 ・排水設備改造資金の貸付				単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
					事業費		-		-		-	
					特定財源		-		-		-	
					一般財源		-		-		-	
	指標名				-				単位		-	
	基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値		
	-			-			-			-		
評価検証	-											

施策 8 取組 3 番号 再 事務事業 あいのりタクシー・バス運行事業<再掲21-6-1>												
目的		農村地区において乗合方式のタクシー・バスを運行し、地域住民の交通手段を確保します。						担当課		都市政策課		
目標		-										
事業実施状況	・大正地区乗合タクシーの運行 ・川西地区乗合バスの運行				単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
					事業費		-		-		-	
					特定財源		-		-		-	
					一般財源		-		-		-	
	指標名		-						単位			
	基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値		
	-		-		-		-		-			
評価検証	-											

事務事業評価表

施策 8 取組 4 番号 1 事務事業 森林整備促進事業									
目的	私有林等の森林整備を支援し、森林の適切な管理を促進します。					担当課		農村振興課	
目標	森林経営計画の作成面積割合について64.9%を目指します。								
事業実施状況	・私有林の現況調査、施業提案 ・私有林整備への支援 ・林業関係人材育成・担い手確保 ・地域材を使用した木製品製作、施設への設置を通した木育活動の実施 ・高性能林業機械の導入支援 ・帯広市森林環境振興基金の管理			単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額		
				事業費	74,974	75,575	80,700		
				特定財源	34,008	26,265	30,169		
				一般財源	40,966	49,310	50,531		
				指標名			森林経営計画作成面積割合		
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値	
	64.5			64.9 67.0		64.9 67.0		64.9 67.1	
評価検証	R7年度の森林経営計画作成面積割合は67.1%であり、目標を達成しました。R2年度から実施している施業提案等により、計画作成面積が増加したことが要因と考えます。								

施策 8 取組 4 番号 2 事務事業 林業振興事業									
目的	民有林の造成や担い手の育成・確保等の支援を通じ、林業を振興します。					担当課		農村振興課	
目標	林業事業者が雇用している現場作業員及び作業日数（森林作業員の延べ人日）の増加を目指します。								
事業実施状況	・民有林の造林などへの支援 ・森林認証の継続 ・林地台帳の運用 ・森林作業員の就労の安定化（35人）	単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
		事業費		10,490		5,602		6,455	
		特定財源		6,364		1,771		2,308	
		一般財源		4,126		3,831		4,147	
		指標名		-				単位	
		基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値
		-			-		-		-
評価検証	R7年度は、民有林における施業への補助により、森林所有者の施業意欲の向上が図られたことや、森林作業員就労条件整備事業の実施などを行ったことで事業量が増加したことにより、現場作業員の作業日数の増加につながり、目標を達成しました。								

施策 8 取組 4 番号 3 事務事業 林道等整備事業												
目的		林道・作業道を整備し、森林を適切に管理します。					担当課		農村振興課			
目標		-										
事業実施状況	・林業専用道の開設 ・林道施設の長寿命化	単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額				
		事業費		550		19,789		30,591				
		特定財源		550		19,789		27,456				
		一般財源		0		0		3,135				
		指標名		-					単位			
		基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値	
		-			-			-			-	
評価検証	-											

事務事業評価表

施策 8 取組 4 番号 4 事務事業 市有林造成事業									
目的	水源かん養や環境保全など、森林が持つ公益的機能を積極的に発揮させるため、造林や間伐などの森林整備を進め、市有林を適切に管理します。					担当課	農村振興課		
目標	-								
事業実施状況	・森林施業計画に基づく造成事業の実施 (新植、下刈、間伐など) ・市有林風倒木の復旧植栽				単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額	
					事業費	52,739	54,714	50,372	
					特定財源	49,194	51,276	41,999	
					一般財源	3,545	3,438	8,373	
	指標名				-		単位		
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値	
	-			-		-		-	
評価検証	-								

施策 8 取組 4 番号 5 事務事業 市有林収穫事業									
目的	間伐や皆伐の適切な実施により、市有林の維持・管理を進めるとともに、森林資源の活用を図ります。					担当課	農村振興課		
目標	-								
事業実施状況	・森林施業計画に基づく収穫事業の実施 (間伐材等の売り払い)				単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額	
					事業費	6,902	7,900	10,234	
					特定財源	25,953	22,963	12,997	
					一般財源	△19,051	△15,063	△2,763	
	指標名		-			単位			
	基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
	-		-	-	-	-			
評価検証	-								

施策 8 取組 4 番号 6 事務事業 市有林・林道等管理事業									
目的	林業関係情報の収集・提供や市有林・林道の適切な管理などに取り組み、森林・林業行政施策を総合的に推進します。					担当課	農村振興課		
目標	-								
事業実施状況	・市有林の適正管理 ・市有林野管理経営審議会の開催 ・林道の管理 ・林業行政に関する事務 ・森林が持つ機能等の理解の促進					単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額
						事業費	5,020	5,085	5,256
						特定財源	43	43	43
						一般財源	4,977	5,042	5,213
						指標名	-		
	基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
	-		-		-		-		
			-		-		-		
評価検証	-								

事務事業評価表

施策	8	取組	5	番号	1	事務事業	ばん系馬生産振興事業				
目的	ばん馬生産者の生産意欲を高め、ばん馬の生産を振興します。						担当課	ばんえい振興課			
目標	ばん馬生産者の生産意欲を高め、ばんえい競馬の安定開催に必要なばんえい競馬2歳馬出走頭数240頭の確保を目指します。										
事業実施状況	・生産者への生産奨励金支給						単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額	
							事業費	68,632	67,799	242	
							特定財源	66,438	64,891	0	
							一般財源	2,194	2,908	242	
	指標名						ばんえい競馬2歳馬出走頭数		単位	頭	
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値			
240			240	240		240					
			266	268		315					
評価検証	R7年度の2歳馬出走頭数（合格頭数）は315頭であり、目標を達成しました。 安定的な競馬開催の運営に努めたほか、生産者や競馬関係者への報償金（生産奨励金等）の支給が効果的であったものと考えます。										

施策	8	取組	5	番号	2	事務事業	馬文化承継事業					
目的	ばん馬とふれあう機会の提供などにより、人と馬との文化を継承します。						担当課	ばんえい振興課				
目標	馬耕技術伝承プロジェクト（開拓期における馬耕技術の実演や生産者、騎手など馬に関わる職業の紹介など）を通じて、人と馬との文化承継を目指します。											
事業実施状況	・馬とふれあう機会の提供（7件） ・馬耕技術伝承プロジェクトの実施への支援 ・草競馬等における生産者への表彰への支援						単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額		
							事業費	13,927	9,922	433		
							特定財源	13,927	4,238	0		
							一般財源	0	5,684	433		
	指標名 馬文化承継事業参加者数						単位		人			
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値				
77			120	120		120						
			190	128		93						
評価検証	R7年度の馬文化承継事業参加者は93人であり、目標値を達成しませんでした。 馬耕勉強会等を開催しましたが、前年から開催時期を変更したことが、参加者数の減少の要因であると考えます。 今後も、開催時期や周知方法等について開催団体との連携により見直しを行い、参加者の増加を図っていく必要があると考えます。											

施策	8	取組	5	番号	3	事務事業	競馬開催事業													
目的	世界で唯一の地域資源であるばんえい競馬を開催します。						担当課	ばんえい振興課												
目標	売上増加やコスト削減を通じ、ばんえい競馬の安定運営を目指します。																			
事業実施状況	・ばんえい競馬の開催（開催日数149日、発売額578億2265万8700円） ・ばんえい競馬振興基金の管理 ・ばんえい競馬施設等整備基金の管理						単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額							
							事業費		57,033,580		59,294,267		9,980							
							特定財源		56,999,336		59,294,267		0							
							一般財源		34,244		0		9,980							
	指標名						-						単位							
	基準値						R5		目標値 実績値		R6		目標値 実績値		R7		目標値 実績値			
	-								-				-				-			
評価検証	R7年度は馬インフルエンザ感染症発生や降雪の影響による開催中止があり、前年よりも総発売額が減少する結果となりましたが、他の公営競技とのコラボイベントの実施など、発売促進の取り組みにより一日当たり発売額が前年を上回っており、目標を達成しました。 今後も、防疫対策など感染症の再発防止を図りながら安定的な運営を継続していきます。																			

事務事業評価表

施策 9 取組 1 番号 1 事務事業 市場開拓・販路拡大事業											
目的 関係機関等と連携した地場産品の付加価値向上などの取り組みを通じ、市場開拓・販路拡大を促進します。		担当課		経済企画課							
目標 関係機関と連携した相談体制の維持やセミナー等の支援を継続します。											
事業実施状況	・国内・海外販路拡大に向けた支援 ・関係機関との連携による地域内外へのかちブランドのPR促進 ・地場産品ブランド化の総合的な支援 ・国の持続化補助金を活用した販路拡大等への支援			単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
				事業費		17,929		955		1,103	
				特定財源		15,402		455		591	
				一般財源		2,527		500		512	
				指標名		-				単位	
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値			
	-			-	-	-	-	-			
評価検証	R7年度は、関係機関との連携により、国内外への販路拡大に向けた商談会の開催支援や道産ワインのアジア展開支援を目的とした海外での販路拡大事業を実施し、目標を達成しました。										

施策 9 取組 1 番号 2 事務事業 知的財産保護・活用促進事業										
目的	特許や実用新案の登録など、地域の知的財産活動を支援し、地元企業の製品開発等を促進します。					担当課	経済企画課			
目標	地元企業の製品開発の促進や知的財産の活用に関する発明相談件数について31件を目指します。									
事業実施状況	・弁理士等による発明相談会、知的財産研修会の開催支援（相談件数 15件）					単位：千円		R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額
						事業費		5	28	68
						特定財源		0	0	0
						一般財源		5	28	68
						指標名		発明相談件数		
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
	27			31 23		31 24		31 15		
評価検証	R7年度の発明相談件数は15件であり、目標を達成しませんでした。 地元事業者における知的財産や特許等活用の有意性に対する認識が低いことが要因と考えます。 今後は、新たな受講者の獲得を図るため、ニーズに即した新規コースの開設に加え、より効果的な周知活動を行っていく必要があると考えます。									

施策 9 取組 1 番号 3 事務事業 経営相談事業											
目的	中小企業に対する経営相談などにより、経営改善を促進し、経営基盤の強化を図ります。				担当課	商業労働課					
目標	中小企業の経営に係る相談体制を維持します。										
事業実施状況	・経営相談の実施（3,135件） ・中小企業相談所による経営、講習会などの実施（54件） ・経済動向の把握と情報提供 ・北海道中小企業総合支援センターとの連携				単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額			
					事業費	16,530	17,978	17,489			
					特定財源	0	0	0			
					一般財源	16,530	17,978	17,489			
					指標名	経営相談件数			単位	件	
					基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値
					1,252		1,329 1,289	1,329 1,551	1,329 3,135		
評価検証	R7年度の経営相談実施件数率は3,135件であり、目標を達成しました。 市の窓口相談件数は前年比8件増加の77件、商工会議所窓口相談件数が前年比1,576件増加の3,058件でした。 昨今の物価高や関税による影響から、一般的な経営相談や機械導入の補助金相談、賃上げ機運の高まりによる経営者からの労働相談が増加したこと等、複数の要因が重なり、相談件数が大幅に増加しており、今後も、相談体制を維持していく必要があります。										

事務事業評価表

施策 9 取組 1 番号 4 事務事業 商店街活性化事業										
目的	商店街のにぎわい創出や環境整備などを支援し、商店街の活性化を図ります。					担当課	商業労働課			
目標	商店街空き店舗率について現状の水準を維持します。									
事業実施状況	・商店街が新たに取り組む事業等への支援（6件） ・演出、催事事業への支援（10件） ・商店街ロードヒーティング設備維持への支援（7件）	単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
		事業費	15,061		14,234		14,376			
		特定財源	0		0		0			
		一般財源	15,061		14,234		14,376			
		指標名	商店街空き店舗率					単位	%	
		基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
		10.1		10.1 11.6		10.1 11.6		10.1 10.2		
評価検証	R7年度の商店街空き店舗率は10.2%であり、目標を達成しませんでした。 商店街への各種支援に取り組み、昨年度と比較して空き店舗率は1.4ポイント減少したものの、低調な状況が続いています。 今後も引き続き、商店街の取り組みの支援により商店街の活性化を促し、空き店舗の解消につなげることが重要と考えます。									

施策 9 取組 1 番号 5 事務事業 制度融資事業（商業労働課）												
目的	長期・低利な資金の貸付や信用保証料の補給により、中小企業の経営基盤の強化を図ります。					担当課	商業労働課					
目標	市内融資に占める市の制度融資の割合について現状の水準を維持します。											
事業実施状況	・制度融資のあっせん（あっせん件数106件） ・信用保証料の補給（補給件数95件）				単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
					事業費		4,919,636		4,921,960		4,919,540	
					特定財源		4,904,929		4,901,650		4,900,799	
					一般財源		14,707		20,310		18,741	
	指標名		制度融資実行割合						単位		%	
	基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値		
				15.3			25.0			25.0		
評価検証					10.7		12.9				8.4	
	R7年度の制度融資実行割合は8.4%であり、目標を達成しませんでした。 昨今の物価高などにより資金需要が増加していますが、市中金利の上昇に伴い、金融機関が金利の低い本制度融資の利用に消極的であることが要因であると考えられます。 今後も、事業者が円滑で有利な資金調達が可能となる制度融資を活用できるよう、金融機関と連携しながら、情報提供に取り組んでいく必要があると考えます。											

施策 9 取組 1 番号 6 事務事業 人材育成事業												
目的	関係機関の連携により多様な研修機会を提供し、総合的な人材育成を進めます。					担当課	経済企画課					
目標	地域の経済発展に貢献する人材を育成するフードバレーとかち人材育成事業の修了者数の増加を目指します。											
事業実施状況	・フードバレーとかち人材育成事業の実施 (修了者数20名)					単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額			
						事業費	4,817	4,734	5,157			
						特定財源	0	0	0			
						一般財源	4,817	4,734	5,157			
						指標名	-			単位		
						基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値
						-		-	-	-	-	
評価検証	R7年度は、研修コースで「ドローン活用コース」を新設したこと等により、修了者数20名（前年修了者数：18名）で昨年度より増加し、目標を達成しました。 また、短期の特別講習を含めた受講者数でも302名（前年修了者数：236名）と増加しています。 今後も、常に地域のニーズに沿った事業を実施していく必要があると考えます。											

事務事業評価表

施策 9 取組 1 番号 7 事務事業 産業支援機能提供事業									
目的	新製品の研究開発や産学官連携の支援、相談体制の充実などを通じ、地場工業の活性化を図ります。					担当課	経済企画課		
目標	新製品の開発等に向けた技術相談件数の増加を目指します。								
事業実施状況	・とちか財団への支援（とちか財団による技術指導相談件数956件） ・十勝産業振興センター建設費償還への支援（設備機器利用件数32件） ・商工観光振興基金の管理 ・製品開発、販路開拓等への支援 ・関係機関に配置されたコーディネーター等との連携による支援相談体制の充実 ・北海道中小企業総合支援センター等との連携 ・起業希望者向けのコーディネーターの配置				単位：千円		R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額
					事業費		176,947	176,071	183,404
					特定財源		0	255	2,869
					一般財源		176,947	175,816	180,535
	指標名		-		単位				
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値	
	-			-		-		-	
	-			-		-		-	
評価検証	R7年度は、関係機関とともに、企業等の技術的課題の解決や新製品開発等の相談に対応し、必要に応じて生産現場等へ赴き、指導及び助言を実施するなど連携を強化してきたことにより、相談件数は増加しており、目標を達成しました。								

施策	9	取組	1	番号	8	事務事業	産業振興ビジョン推進事業							
目的	中小企業者等と連携しながら、帯広市産業振興ビジョンを推進し、 中小企業の活性化を図ります。						担当課		経済企画課					
目標	-													
事業実施状況	・ 帯広市産業振興会議の開催 ・ 産業振興ビジョンの推進						単位：千円		R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額			
							事業費		38	40	31			
							特定財源		0	0	0			
							一般財源		38	40	31			
							指標名		-			単位		
							基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値
							-		-	-	-	-	-	
評価検証	-													

施策 9 取組 1 番号 9 事務事業 企業支援事業															
目的	地元企業との意見交換や事業成果の確認・指導等を通じ、企業の経営力強化を図ります。					担当課	経済企画課								
目標	-														
事業実施状況	・地元企業との意見交換や事業成果の確認、指導等				単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額				
					事業費		290		294		281				
					特定財源		0		0		0				
					一般財源		290		294		281				
					指標名		-				単位				
					基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値	
					-			-			-			-	
評価検証	-														
					-		-		-		-				

事務事業評価表

施策 9 取組 1 番号 10 事務事業 職業能力開発・向上推進事業												
目的		関係機関の連携により、職業能力開発を促進し、高度な技能を有する人材の育成・確保を図ります。				担当課		商業労働課				
目標		-										
事業実施状況	・職業能力開発事業への支援 ・職業能力開発センターへの運営支援		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
			事業費		33,645		33,591		34,501			
			特定財源		0		0		0			
			一般財源		33,645		33,591		34,501			
			指標名		-				単位			
			基準値		R5		目標値 実績値		R6		目標値 実績値	
			R7		目標値 実績値							
		-		-		-		-				
評価検証		-										

施策 9 取組 1 番号 11 事務事業 商業活性化事業													
目的	商業・商店街の活性化のための情報収集・提供や中小企業団体の組織強化支援などを通じ、商業の振興を図ります。					担当課	商業労働課						
目標	-												
事業実施状況	・商業・商店街の活性化に関する情報収集・提供 ・大規模小売店舗立地法に関する事務 ・商業行政に関する事務 ・中小企業団体の組織強化への支援					単位：千円		R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額			
						事業費		4,624	4,436	4,569			
						特定財源		19	41	13			
						一般財源		4,605	4,395	4,556			
						指標名		-			単位		
						基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値
						-			-		-		-
評価検証	-												
						-			-		-		

施策 9 取組 1 番号 12 事務事業 組織設立認可等関連事業												
目的		中小企業協同組合などの設立認可等に関する事務を進めます。						担当課		商業労働課		
目標		-										
事業実施状況	・ 組合設立認可等に関する事務		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
			事業費		0		0		0			
			特定財源		0		0		0			
			一般財源		0		0		0			
			指標名		-						単位	
	基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値		
	-			-			-			-		
				-			-			-		
評価検証	-											

事務事業評価表

施策	9	取組	2	番号	1	事務事業 十勝・イノベーション・エコシステム推進事業				
目的	産学官金が連携した支援体制により、持続的な事業創出を促進します。					担当課	経済企画課			
目標	産学官金の連携による支援を通じた事業化件数の増加を目指します。									
事業実施状況	・域内外の異分野人材との触発等による事業創発の促進（十勝ドリームマップ会議） ・起業候補者の発掘から事業構想の創発、事業計画の磨き上げ、事業化までを一貫してサポートする支援システムの構築（とちイノベーションプログラム、LANDの管理、運営等）					単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額	
						事業費	33,809	34,156	28,099	
						特定財源	33,145	33,245	27,245	
						一般財源	664	911	854	
						指標名	-		単位	
		基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
		-		-		-		-		
評価検証	R7年度は、とちイノベーション・プログラム（TIP）-6において、プログラム内容の動画配信や希望者への託児サービスを継続したほか、金融機関の取引先への周知や、事務局のネットワークを通じた参加者募集などを行ったことにより、新規参加者が全体の8割を超えるなど、参加者の裾野は着実に広がってきています。また、TIPの卒業生を対象に伴走支援を行うTIP-Dの取り組みを始め、5者に対し専門家によるメンタリングを実施しました。									
	支援を通じた事業化件数は2件増加（延べ29件）しており、目標を達成しました。									

施策	9	取組	2	番号	2	事務事業	産学官連携促進事業							
目的	産学官連携を促進し、大学等の研究成果を活用した新たな事業の創出を図ります。						担当課	経済企画課						
目標	産学官連携による新商品開発件数の増加を目指します。													
事業実施状況	・新商品の開発支援 ・商談会への出展支援						単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額				
							事業費	1,594	1,585	84,790				
							特定財源	0	0	52,553				
							一般財源	1,594	1,585	32,237				
							指標名	-				単位		
							基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値	
		-	-	-	-	-								
評価検証	R7年度は、食品技術分野における課題解決、また、新製品の実用化に向けた研究開発などに取り組んだことで、新商品開発件数が増加し、目標を達成しました。													

施策	9	取組	2	番号	3	事務事業 フードバレーとから推進事業							
目的	十勝管内の自治体や関係機関と連携し、地域の農林水産物の付加価値向上や情報発信などに取り組み、「フードバレーとから」を推進します。						担当課	経済企画課					
目標	事業者間の連携促進等による6次産業化件数の増加を目指します。												
事業実施状況	・十勝の企業や食・農林漁業に関する情報発信、試験研究機関と生産者や企業等との連携促進 ・「フードバレーとから」の取り組みへの住民参加の促進 ・生産・加工・流通業者の連携機会の提供など、コーディネート機能の発揮 ・域内外企業等との連携促進 ・バイオマス産業都市構想の推進 ・十勝産農畜産物、加工品の販路拡大 ・フードバレーを通じた交流の推進 ・十勝の食の高付加価値化の推進 ・社会人の学び直しを支える環境づくりの推進						単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額			
							事業費	15,281	12,511	12,833			
							特定財源	7,500	9,950	9,828			
							一般財源	7,781	2,561	3,005			
							指標名	-	単位				
							基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値
							-		-		-		-
評価検証	R7年度は、包括連携企業であるJALUXの立ち上げブランドである「トカチカラ」より新たな常温商品のスイーツが販売されたほか、総合スーパーや管内農協による商品開発数が増加し、十勝産食材の魅力向上につながっているものと考えます。 また、明治との取り組みでは、明治のヨーグルトに組み合わせる十勝産果汁を提案していくなど、6次産業化の取り組みが進み、目標を達成しました。												

事務事業評価表

施策	9	取組	3	番号	1	事務事業	企業立地促進事業				
目的	企業の設備投資に対する支援などにより、企業立地を促進します。						担当課	経済企画課			
目標	立地企業件数について5件を目指します。										
事業実施状況	・企業訪問活動による情報収集 ・企業立地促進条例に基づく立地企業の設備投資への支援 ・企業立地セミナーへの出展等による企業誘致の推進					単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額		
						事業費	120,871	99,711	73,316		
						特定財源	0	0	0		
						一般財源	120,871	99,711	73,316		
	指標名		立地企業件数			単位	件				
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値			
	4		5		5		5				
			5		5		6				
評価検証	R7年度の立地企業件数は6件であり、目標を達成しました。 企業訪問の際に制度説明を行うことで、制度の周知が図られ、設備投資の促進につながったものと考えられます。 今後も引き続き、企業立地セミナーへの出展や企業訪問などを通じて情報収集に努め、企業立地、設備投資の促進につなげていくことが必要と考えます。										

施策	9	取組	4	番号	1	事務事業 雇用拡大・機会確保促進事業				
目的	高齢者、移住者、女性等を含む多様な人材と企業のマッチング事業等の実施により、就業機会の確保を図ります。					担当課	商業労働課			
目標	UIJターン情報の提供登録者について331人を目指します。									
事業実施状況	・季節労働者の通年雇用化促進 ・UIJ ターン、人材マッチングの促進 ・高齢者の就業機会の拡大 ・シルバー人材センターへの運営支援 ・奨学金返済支援制度の促進					単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額	
						事業費	34,903	27,768	34,757	
						特定財源	3,211	1,360	1,360	
						一般財源	31,692	26,408	33,397	
	指標名		UIJターン情報提供先の登録数			単位	人			
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
	196			241 207		286 208		331 467		
評価検証	R7年度のUIJターン情報の提供登録者は467人であり、目標値を達成しました。									
	首都圏等で実施した相談会やイベントにおいて積極的に周知を行ったことや、道内大学等への周知、SNSを活用した発信の強化、管内他自治体への周知協力依頼を行ったことなどが登録者を伸ばした要因と考えられます。 今後も、積極的な周知に取り組むほか、UIJターン希望者の登録に繋がる取り組みを継続して進めていく必要があると考えます。									

施策	9	取組	4	番号	2	事務事業	労働環境整備促進事業						
目的	労働相談の実施や子どもを生み育てやすい職場環境づくりなど、勤労者が安心して働くことができる環境整備を促進します。						担当課	商業労働課					
目標	とちか勤労共済センター会員数について9,000人を目指します。												
事業実施状況	・労働相談の実施（8件） ・子育て応援事業所促進事業の実施（81件） ・とちか勤労者共済センターへの運営支援（8,058人） ・事業所雇用実態調査の実施						単位：千円		R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額		
							事業費		11,703	12,747	17,025		
							特定財源		0	0	0		
							一般財源		11,703	12,747	17,025		
							指標名		とちか勤労共済センター会員数			単位	人
							基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7
							8,371	8,622 9,340	9,000 9,444	9,000 8,058			
評価検証	R7年度のとちか勤労者共済センター会員数は8,058人であり、目標を達成しませんでした。前年と比較し登録企業数は増加したものの、従業員数が多い企業が退会したことが要因と考えられます。今後も、十勝管内市町村における広報や商工会を通じたパンフレットの送付などにより、福利厚生事業の未実施企業への登録促進に取り組んでいく必要があると考えます。												

事務事業評価表

施策 9 取組 4 番号 再 事務事業 子育て支援事業<再掲2-1-3>1										
目的		子育て世代包括支援センターにおいて、子育て相談など多様な子育てで支援事業を実施します。					担当課		子育て支援課	
目標		-								
事業実施状況	・ファミリーサポートセンター事業の実施（会員数835人、活動件数2,356件）、ひとり親世帯への利用料助成（利用人数35人、利用回数173件） ・子育て応援事業所登録事業の実施（登録事業所数296事業所） ・妊婦のための支援給付、出産子育て応援交付金の給付（1,781件）		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
			事業費		-		-		-	
			特定財源		-		-		-	
			一般財源		-		-		-	
			指標名		-		-		単位	
			基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値
			-		-		-		-	
			-		-		-		-	
評価検証	-									

施策	9	取組	4	番号	再	事務事業	障害者就労促進事業<再掲5-3-1>										
目的	障害のある人の一般就労や、就労後の職場定着の支援などにより、障害のある人の自立や就労を促進します。						担当課		障害福祉課								
目標	-																
事業実施状況	・ 障害者施設からの物品優先調達 ・ 障害者就労・相談支援事業 ・ 障害者の職場体験実習の実施（13課22名） ・ 障害者雇用に係る成功事例の周知						単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額				
							事業費		-		-		-				
							特定財源		-		-		-				
							一般財源		-		-		-				
							指標名		-						単位		
							基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値	
							-			-			-			-	
評価検証	-																

施策 9 取組 4 番号 再 事務事業 移住推進事業<再掲22-2-1>										
目的		移住に関する相談活動や情報提供などにより、移住等を促進しま					担当課		観光交流課	
目標		-								
事業実施状況	・ 移住に関する情報収集、提供 ・ 移住に関する相談の実施（延べ229人） ・ ちょっと暮らしサポート事業の実施（4件26日間） ・ 移住支援金の支給 ・ 首都圏での移住相談フェア等への出展		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
			事業費		-		-		-	
			特定財源		-		-		-	
			一般財源		-		-		-	
			指標名		-		-		単位	
			基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値
			-		-		-		-	
評価検証	-									

事務事業評価表

施策 9 取組 4 番号 再 事務事業 女性活躍推進事業<再掲22-3-1>2													
目的		ライフステージに応じたワーク・ライフ・バランスの普及、浸透や、女性の政策過程への参画などにより、男女がともに暮らしやすい環境づくりを進めます。					担当課		市民活動課				
目標		-											
事業実施状況	・各種審議会等への女性の登用促進 (35.6%) ・ワークライフバランスに関する講座の開催 (2回53人) ・ワークライフバランス啓発資料等の作成・配布 (2,018枚)				単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額		
					事業費		-		-		-		
					特定財源		-		-		-		
					一般財源		-		-		-		
					指標名		-					単位	
					基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値	
					-			-	-	-	-	-	
評価検証	-												

事務事業評価表

施策 10 取組 1 番号 1 事務事業 体験・滞在型観光推進事業														
目的 管内町村などと連携し、自然や農業、食を活かした体験・滞在型観光を進めます。				担当課		観光交流課								
目標 十勝のアウトドア観光消費額について8.1億円を目指します。														
事業 実施 状況	・ボロシロ自然体験観光推進事業の実施（ヤマメ放流1回） ・アウトドア観光情報の発信 ・サイクルツーリズムの推進（十勝サイクルウィーク開催支援） ・アドベンチャーツーリズムの推進（ATガイド育成セミナー、北海道アウトドア講習受講費用助成） ・十勝・日高山脈観光連携協議会への参画 ・アイヌ古式舞踏の観光コンテンツ化に向けた取り組み（舞踊披露、アイヌ文化の発信、アイヌガイド・体験指導者育成）			単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額				
				事業費		12,766		90,915		14,334				
				特定財源		0		86,445		10,000				
				一般財源		12,766		4,470		4,334				
				指標名		十勝のアウトドア観光消費額				単位		百万円		
	基準値		R5		目標値 実績値		R6		目標値 実績値		R7		目標値 実績値	
	601				810 639		810 761				810 733			
評価 検証	アドベンチャートラベルのガイド育成や北海道アウトドア講習受講にかかる助成、アイヌ古式舞踏の観光コンテンツ化、十勝・日高山脈観光連携協議会への参画など、受入体制の強化や観光コンテンツの充実に取り組み、十勝全体の入込客数や観光消費額は前年より増加しましたが、目標を達成しませんでした。今後は、関係機関と連携し、観光コンテンツの販路拡大や情報発信の強化などに取り組む必要があると考えます。													

施策 10 取組 1 番号 2 事務事業 三大まつり等開催事業													
目的 目標	各種イベントにおいて十勝の魅力を発信することにより、にぎわいの創出や交流人口の拡大を図ります。 帯広三大まつりの来場者数の増加を目指します。					担当課	観光交流課						
事業実施状況	・三大まつり（平原まつり139,000人、菊まつり13,510人、氷まつり140,000人）への支援 ・地域イベントへの協力、支援					単位：千円		R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額			
						事業費		56,164	54,122	54,264			
						特定財源		0	0	630			
						一般財源		56,164	54,122	53,634			
						指標名		-			単位		
						基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値
						-			-		-		-
評価検証	R7年度の三大まつり来場者数は、菊まつりで例年並みであった一方で、平原まつり及び氷まつりでは前年より減少し、目標を達成しませんでした。 減少した要因としては、一部イベントの縮小が考えられます。 今後も、域内外から多くの人が訪れ、楽しむことができる魅力あるまつりとなるよう、関係機関・団体等と連携して開催運営に取り組んでいく必要があると考えます。												

施策 10 取組 1 番号 3 事務事業 地域観光圏連携推進事業													
目的	地域観光圏と連携し、広域観光ルートの形成を図ります。					担当課		観光交流課					
目標	全道外国人観光客宿泊客延べ数道東シェアの向上を目指します。												
事業実施状況	・道内他地域との連携による広域観光の推進（タイアップ記事5回、旅行商品造成3社、WEBプロモーション4か月）			単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
				事業費		1,693		1,670		1,452			
				特定財源		0		0		0			
				一般財源		1,693		1,670		1,452			
				指標名		-					単位		
				基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
				-		-	-	-	-	-			
評価検証	全道外国人観光客宿泊客延べ数の道東シェア率は、6.02％（R5下期～R6上期）から5.86％（R6下期～R7上期）へ減少し、目標を達成しませんでした。 韓国国際定期便の就航等による効果により、訪日外国人宿泊者数は増加しましたが、それ以上に道央圏や道南圏の宿泊者数が増加したことが要因と考えます。 今後も引き続き、釧路市や網走市との連携を強化し、プロモーション活動等に取り組み、道東シェア率の向上を目指していきます。												

事務事業評価表

施策 10 取組 2 番号 1 事務事業 アンテナショップ運営事業															
目的		ととかち物産センターの運営を支援し、地域の特産品等の宣伝、販売を促進します。				担当課		経済企画課							
目標		ととかち物産センターの売上額について3,700万円を目指します。													
事業実施状況		・ ととかち物産センターへの運営支援		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額					
				事業費		16,700		16,700		16,700					
				特定財源		0		0		0					
				一般財源		16,700		16,700		16,700					
				指標名		ととかち物産センター売上額				単位		百万円			
		基準値		R5		目標値 実績値		R6		目標値 実績値		R7		目標値 実績値	
		25.3				31.2 27.5		34.1 28.9		37.0 30.4					
評価検証		R7年度のととかち物産センター売上額は3,038万円であり、目標を達成しませんでした。 ギフト商品の拡充によりインターネット受注高は増加傾向にあるものの、物価上昇に伴う生活必需品全般の値上げなどによる、消費マインドの低下が要因であると考えます。 今後も引き続き、帯広物産協会および会員企業による商品開発の促進をはかるとともに、ネット販売用の商品ラインナップをさらに拡充するなどし、地場産品の販路拡大につなげていく必要があると考えます。													

施策 10 取組 2 番号 2 事務事業 物産販路拡大推進事業											
目的	物産展への特産品出展などにより、特産品の販路拡大や地域のイメージアップを図ります。					担当課	経済企画課				
目標	物産展等の取扱額について3.0億円を目指します。										
事業実施状況	・道内外での物産展の開催			単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
				事業費		3,587		3,590		3,524	
				特定財源		0		0		0	
				一般財源		3,587		3,590		3,524	
				指標名		物産展等取扱額					単位
	基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値	
	2.5			3.0 2.8			3.0 3.0			3.0 3.2	
評価検証	R7年度の物産展等取扱額は3.2億円であり、目標を達成しました。 新規取引に向け、物産展担当バイヤーへの季節限定商品や新商品の提案等の実施や百貨店で新規で採用された特集企画を実施したことにより、物産展の来場者数やオンライン物産展の取り扱いが増加したことが要因であると考えます。										

施策 10 取組 2 番号 3 事務事業 観光プロモーション事業																
目的	国内外において、地域の魅力を活かした誘致宣伝活動を進め、観光客の誘致を図ります。					担当課	観光交流課									
目標	市内観光入込客数について293万人を目指します。															
事業実施状況	・観光ポスター、パンフレットなどによる観光情報の発信 ・地域おこし協力隊制度の活用による地域の魅力発信 ・観光客の誘致に向けたプロモーション活動の実施		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額							
			事業費		12,369		30,834		45,216							
			特定財源		0		3,080		0							
			一般財源		12,369		27,754		45,216							
			指標名		市内観光入込客数				単位	万人						
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値								
									138.2		216.0 245.0		254.0 231.0		293.0 234.0	
評価検証	R7年度の市内観光入込客数は234万人となり、前年比では増加しましたが、目標値を達成できませんでした。韓国国際定期便の就航により、前年と比較すると約3万人の増加となったものの、中東情勢の悪化による燃料費の高騰や、物価高の影響により、入込総数のうち道外客が大きく減少していることが要因と考えられます。今後も引き続き、観光ポスターやパンフレットによる観光情報の発信や、観光客確保に向けた各種プロモーション活動を実施し、市内観光入込客数の増加に取り組んでいきます。															

事務事業評価表

施策 10 取組 2 番号 4 事務事業 コンベンション誘致推進事業													
目的		関係機関と連携した情報発信や開催支援により、コンベンションの誘致を進めます。						担当課		観光交流課			
目標		コンベンション誘致件数の増加を目指します。											
事業実施状況		・コンベンションの誘致活動（商談2回） ・コンベンションの開催支援（ラリー北海道）				単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
						事業費		5,400		5,697		6,372	
						特定財源		0		0		0	
						一般財源		5,400		5,697		6,372	
						指標名		-				単位	
		基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値				
				-	-	-	-	-	-				
評価検証		R7年度は、関係機関と連携した誘致活動や開催支援を継続して実施したことで、国際大会の開催に繋がったものの、昨年度から2件の減少となり、目標を達成しませんでした。 今後も、商談会やマーケティングを通じて、情報発信や主催者のニーズの把握に取り組む必要があると考えます。											

施策 10 取組 2 番号 再 事務事業 空港利用促進事業<再掲11-2-1>													
目的		関係機関と連携した航空会社等への要請活動やプロモーション活動等に取り組む、とかち帯広空港の利用促進を図ります。						担当課		観光交流課			
目標		-											
事業実施状況		・ 航空路線の充実に向けた関係機関への要請活動の実施（定期便：国際線390便、チャーター便：国際線0便、国内線44便） ・ 利用促進に向けたプロモーション活動の実施 ・ 新たな路線就航のための調査・検討 ・ 通訳の配置など受入体制の充実 ・ 国際定期便の運行支援（仁川・清州）				単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
						事業費		-		-		-	
						特定財源		-		-		-	
						一般財源		-		-		-	
						指標名		-				単位	
		基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値				
		-			-	-	-	-	-				
評価検証		-											

施策 10 取組 2 番号 再 事務事業 スポーツ大会・合宿等誘致事業 <再掲15-3-1>															
目的		情報発信や関係団体と連携し、スポーツ大会・合宿等の誘致を進めるほか、プロスポーツの選手と触れ合う機会を創出します。							担当課		スポーツ課				
目標		-													
事業実施状況	・各種全国・全道大会等の誘致、開催支援（36大会への支援） ・合宿の誘致（宿泊団体数478団体、宿泊者数10,035人） ・スケート国際大会の誘致・開催 ・プロスポーツ等の誘致					単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
						事業費		-		-		-			
						特定財源		-		-		-			
						一般財源		-		-		-			
						指標名		-				単位			
						基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
						-			-	-	-	-	-		
評価検証	-														

事務事業評価表

施策	10	取組	3	番号	1	事務事業	観光インフォメーション推進事業						
目的	駅や空港等における観光や物産情報の提供などにより、観光客の利便性向上を図ります。						担当課	観光交流課					
目標	観光情報センター利用者数について60,561人を目指します。												
事業実施状況	・とかち観光情報センターの運営（利用者45,816人） ・馬の資料館を活用した情報発信（利用者44,596人）						単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額			
							事業費	28,634	30,175	30,964			
							特定財源	0	0	0			
							一般財源	28,634	30,175	30,964			
							指標名	観光情報センター利用者数					
	基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値						
	20,780	40,000	50,000	60,561									
評価検証	ホームページやSNSを活用した情報発信を行いました。R7年度のとかち観光情報センター利用者数は45,816人であり、前年より増加したものの目標を達成しませんでした。 観光客の観光情報の取得手段が、SNSや動画投稿サイトなど多様化していることが要因の一つと考えます。 こうした現状にはありますが、観光客が現地の人から直接、観光情報を取得することや外国人も含めた観光客の相談対応を行う施設があることは重要であることから、今後も、施設の認知度を高めるためSNS等を活用した情報発信を継続していく必要があると考えます。						41,872	41,330	45,816				

施策	10	取組	3	番号	2	事務事業	観光景観等整備事業						
目的	景観等の整備を通じ、観光客等に対する地域のイメージアップを図ります。						担当課	観光交流課					
目標	地域の観光景観等を維持します。												
事業実施状況	・シーニックバイウェイ北海道におけるトカプチ雄大空間ルートの運営支援 ・訪日外国人旅行者の受入環境整備 ・宿泊税制度の周知等						単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
							事業費	608		742		8,033	
							特定財源	0		0		4,278	
							一般財源	608		742		3,755	
							指標名	-					
		基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値					
		-		-		-		-					
				-		-		-					
評価検証	R7年度は、シーニックバイウェイ北海道におけるトカプチ雄大空間ルートの運営に対する支援を通じて観光景観の維持に努めたほか、空港利用促進事業において観光関連施設13箇所へ外国人向けの多言語案内板を設置し、訪日外国人旅行者の受入環境整備が進んできており、目標を達成しました。												

施策 10 取組 3 番号 3 事務事業 観光推進団体支援事業														
目的	観光推進団体の育成、支援や連携を進め、観光客の受入環境の充実を図ります。								担当課		観光交流課			
目標	観光スポットやモデルルートなどの情報を提供する帯広観光コンベンション協会HPのアクセス数の増加を目指します。													
事業実施状況	・帯広観光コンベンション協会への支援（ホームページアクセス230,468回） ・十勝観光連盟など各種団体との連携				単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
					事業費		59,461		62,110		62,354			
					特定財源		0		0		0			
					一般財源		59,461		62,110		62,354			
					指標名		-				単位			
					基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
					-			-		-		-		
評価検証	R7年度は、観光推進団体への支援や連携を通じ、魅力ある観光情報の提供を行いました。帯広観光コンベンション協会ホームページのアクセス数は前年から減少し、目標を達成できませんでした。 観光客の観光情報の取得手段が、SNSや動画投稿サイトなど多様化していることが要因の一つと考えます。 こうした現状にはありますが、地域が一体となった情報発信は重要であることから、今後もホームページに掲載する観光情報をより一層充実させるほか、SNS等を活用してホームページへ誘導していく必要があると考えます。													

事務事業評価表

施策 10 取組 3 番号 4 事務事業 観光施設管理運営事業												
目的		観光施設を適正に維持管理し、観光客受入環境の充実を図ります。						担当課		観光交流課		
目標		-										
事業実施状況	・ 観光施設の維持管理		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
			事業費		41,015		61,633		63,467			
			特定財源		4,863		25,772		18,337			
			一般財源		36,152		35,861		45,130			
			指標名		-						単位	
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値				
	-			-		-		-				
評価検証	-											

施策 10 取組 3 番号 5 事務事業 北愛国交流広場管理運営事業										
目的		北愛国交流広場の適切な管理運営により、各種イベントの開催を促進します。					担当課	観光交流課		
目標		-								
事業実施状況	・北愛国交流広場の管理運営		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
			事業費		13,316		5,560		5,286	
			特定財源		6,127		0		0	
			一般財源		7,189		5,560		5,286	
			指標名		-				単位	
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
	-			-		-		-		
評価検証	-									

事務事業評価表

施策 11 取組 1 番号 1 事務事業 十勝港利活用促進事業																
目的	管内自治体と連携し十勝港の整備などを進め、十勝港の利活用を促進します。						担当課	企画課								
目標	-															
事業実施状況	・十勝港の港湾機能の整備や利活用促進に関する国や北海道等への要望活動の実施				単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額					
					事業費		0		0		0					
					特定財源		0		0		0					
					一般財源		0		0		0					
					指標名						-		単位			
					基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値		
					-			-			-			-		
評価検証	-															

施策 11 取組 1 番号 2 事務事業 主要幹線・広域道路整備促進事業										
目的	主要な幹線道路や高規格道路の整備を促進し、広域的な交通ネットワークの形成を図ります。						担当課	都市政策課		
目標	-									
事業実施状況	・高規格道路の整備に関する要望活動の実施	単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額		
		事業費		960		955		1,025		
		特定財源		0		0		0		
		一般財源		960		955		1,025		
		指標名		-				単位		
		基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値	
		-		-		-		-		
評価検証	-									

施策 11 取組 1 番号 3 事務事業 鉄道高速化等促進事業												
目的	石勝線・根室線の高速化等の促進のほか、維持充実にに向けた要望活動などにより、鉄道輸送の利便性の向上を図ります。					担当課	都市政策課					
目標	-											
事業実施状況	・石勝線・根室線の高速化の促進や、維持充実にに向けた要望活動の実施 ・JR北海道の線区見直し等に係る情報収集 ・北海道新幹線の札幌延伸を見据えた圏域への波及効果などに係る情報収集					単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
						事業費	0		0		0	
						特定財源	0		0		0	
						一般財源	0		0		0	
	指標名					-		単位				
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値				
	-			-		-		-				
				-		-		-				
評価検証	-											

事務事業評価表

施策 11 取組 1 番号 再 事務事業 地域公共交通活性化事業<再掲21-6-2>												
目的		地域公共交通計画に基づき、事業者等との連携によるバス交通の利便性の向上や活性化を図ります。						担当課		都市政策課		
目標		-										
事業実施状況	・公共交通の利用促進				単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
					事業費		-		-		-	
					特定財源		-		-		-	
					一般財源		-		-		-	
	指標名				-				単位			
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値				
	-			-		-		-				
評価検証	-											

施策 11 取組 2 番号 1 事務事業 空港利用促進事業									
目的	関係機関と連携した航空会社等への要請活動やプロモーション活動等に取り組み、とちか帯広空港の利用促進を図ります。					担当課	観光交流課		
目標	とちか帯広空港におけるチャーター便の増加を目指す。								
事業実施状況	・ 航空路線の充実にに向けた関係機関への要請活動の実施（定期便：国際線390便、チャーター便：国際線0便、国内線44便） ・ 利用促進に向けたプロモーション活動の実施 ・ 新たな路線就航のための調査・検討 ・ 通訳の配置など受入体制の充実 ・ 国際定期便の運行支援（仁川・清州）				単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額	
					事業費	6,200	6,200	124,925	
					特定財源	0	0	2,000	
					一般財源	6,200	6,200	122,925	
	指標名				単位				
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値	
	-			-		-		-	
評価検証	R7年度は、十勝帯広の魅力は旅行会社等へ発信したほか、航空会社への要請活動を実施しましたが、目標を達成しませんでした。航空会社の運航スケジュールの変更により国内線のチャーター便数は減少したものの、運航月は増加しており、継続的な運航につながっています。また、国際線におけるチャーター便が減少したものの、これまで利用促進に取り組んできた結果、とちか帯広空港初の国際定期便の就航につながりました。今後も、関係機関と連携した航空需要の拡大に向けた取り組みを継続していく必要があると考えます。								

施策 11 取組 2 番号 2 事務事業 空港整備事業									
目的	滑走路の改良など空港施設の整備により、空港機能の維持向上を図り、航空機の安全で安定的な運航を確保します。					担当課	観光交流課		
目標	-								
事業実施状況	・滑走路端安全区域（RESA）整備事業 ・空港施設更新投資事業（車両基地・電源局舎更新工事）					単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額
						事業費	40,711	225,589	402,009
						特定財源	40,711	225,589	402,009
						一般財源	0	0	0
	指標名					-	単位		
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値	
	-			-		-		-	
評価検証	-					-			

事務事業評価表

施策 11 取組 2 番号 3 事務事業 空港施設維持補修事業											
目的 滑走路などの空港施設を維持補修し、航空機の安全で安定的な運航を確保します。				担当課		観光交流課					
目標 -											
事業実施状況	・ 着陸帯勾配修正工事実施設計			単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
				事業費		0		0		5,720	
				特定財源		0		0		5,720	
				一般財源		0		0		0	
				指標名		-				単位	
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値			
	-			-		-		-			
評価検証	-										

施策 11 取組 2 番号 4 事務事業 空港管理運営事業											
目的	とかち帯広空港を適切に管理運営し、航空機の安全で安定的な運航を確保します。					担当課	観光交流課				
目標	-										
事業実施状況	・車両購入費の償還 ・北海道内7空港の一括運営委託に係る業務（モニタリングの実施）				単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
					事業費	49,812		37,391		14,239	
					特定財源	6,473		673		4,240	
					一般財源	43,339		36,718		9,999	
	指標名				-				単位		
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値			
	-			-		-		-			
評価検証	-										

事務事業評価表

施策 12 取組 1 番号 1 事務事業 食育推進事業（小・中学校）（給食センター）										
目的	学校給食における地元産食材の活用や教科を通して食育を進め、食に関する正しい理解を促進します。					担当課	給食センター			
目標	学校給食が好きだと思う児童生徒の割合について74.4%を目指します。									
事業実施状況	・ふるさと給食の提供、新メニューの開発 ・食育・給食のPR ・学校給食における地元産食材導入の推進 ・食育アンケートの実施 ・食育指導	単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
		事業費	5,413		6,650		8,216			
		特定財源	0		22		24			
		一般財源	5,413		6,628		8,192			
		指標名	学校給食が好きだと思う児童生徒の割合				単位	%		
		基準値	R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値
		72.9		73.4 76.8			73.9 77.6			74.4 80.0
評価検証	R7年度の学校給食が好きだと思う児童生徒の割合は80.0%であり、目標を達成しました。 学校給食を通じた地域産業に対する正しい理解を促進するため、ふるさと給食の提供や栄養教諭等による食育指導等を実施したほか、新たなメニューの開発等による魅力向上、広報紙や市ホームページを活用した情報発信を実施したことが要因と考えます。 今後も、学校給食の魅力向上や情報発信を行い、安心安全な給食を継続して提供が必要と考えます。									

施策 12 取組 1 番号 2 事務事業 体験活動機会提供事業（学校地域連携課）									
目的	体験機会の提供などにより、青少年の社会性を育みます。						担当課 学校地域連携課		
目標	子どもたちの豊かな人間性や社会性を養う体験活動の参加者数を維持します。								
事業実施状況	・中学生からのメッセージ事業の実施（発表者15人、来場者108人） ・冬季活動機会提供事業の実施（15チーム、参加者83人） ・おびひろキッズタウンの開催（参加者253人）				単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額	
					事業費	620	619	743	
					特定財源	186	495	495	
					一般財源	434	124	248	
					指標名	-			単位
	基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
			-		-		-		
評価検証	R7年度は、昨年度中止となった冬季活動機会提供事業を予定通り開催できたことから、目標を達成しました。 おびひろキッズタウンは、駐車場の確保のしやすさなどの視点から開催場所をよつ葉アリーナ十勝に変更して開催したほか、中学生からのメッセージ事業も例年通り開催しました。 今後も、事業の適切な見直しを図り体験活動の提供を行っていく考えです。								

施策 12 取組 1 番号 3 事務事業 青少年活動支援事業									
目的	青少年育成団体などと連携し、体験活動や宿泊研修を通して、積極的に地域や学校での活動に取り組む青少年のリーダー養成を進めます。					担当課	学校地域連携課		
目標	地域活動等に積極的に取り組むジュニアリーダーの養成事業への参加者数を維持します。								
事業実施状況	・ジュニアリーダー“あるふあ”の会に対する育成支援・自主活動促進（会員数22人） ・ジュニアリーダー養成講座（「あすかの会」（参加者20人）、地域子ども会リーダー宿泊研修会（参加者160人））の実施				単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額	
					事業費	235	388	363	
					特定財源	0	0	0	
					一般財源	235	388	363	
					指標名	-			単位
	基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
			-		-		-		
評価検証	R7年度は、小学6年生対象の「あすかの会」の参加者数が前年より増加したことにより目標を達成しました。 小学4～6年生を対象とした地域子ども会リーダー宿泊研修会へ参加した児童が次のステップとして「あすかの会」へ参加する仕組みがあることが要因と考えます。								

事務事業評価表

施策 12 取組 1 番号 4 事務事業 おびひろ市民学推進事業									
目的	学校・家庭・地域が連携し、子どもの学びや育ちを支援することにより、地域への誇りや愛着を持つ子どもたちの育成を図ります。					担当課	学校教育指導課		
目標	おびひろ市民学を通じて地域のことが好きになったと回答した子どもの割合の増加を目指します。								
事業実施状況	・全小中学校の児童生徒を対象とした「おびひろ市民学」の実施 ・各学校が独自に取り組む特色ある教育活動への支援 ・総合的な学習の時間の取り組み等への支援					単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額
						事業費	7,886	10,746	10,878
						特定財源	0	2,786	3,089
						一般財源	7,886	7,960	7,789
						指標名	-		
	基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
	-		-	-	-	-			
評価検証	R7年度は、市内全校において、帯広市の豊かな自然環境や歴史、伝統、文化、地域住民との関わりをテーマとした「おびひろ市民学」を実施したことで、全児童生徒に行った「帯広に関するアンケート」において、「地域のことが好きだ」と回答した割合が、小学校で96%、中学校で91%と増加しており、目標を達成しました。								

施策 12 取組 1 番号 5 事務事業 外国語指導講師派遣事業											
目的	外国人講師を派遣し、諸外国の言語・文化等への理解やコミュニケーション能力の育成を図ります。					担当課	学校教育指導課				
目標	英語で自分自身の考えや気持ちを伝え合おうとする子どもの割合の増加を目指します。										
事業実施状況	・小中学校への外国語指導講師の派遣				単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
					事業費	29,892		29,839		29,769	
					特定財源	0		0		0	
					一般財源	29,892		29,839		29,769	
					指標名	-					単位
	基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値				
			-		-		-				
評価検証	R7年度は、市内全校に外国語指導講師の派遣や講師の指導力の向上に向けた研修を行い、児童生徒が主体となるような授業改善が進んだことで、学習状況調査における「英語で自分自身の考えや気持ちを伝え合おうとする子ども」の割合が増加し、目標を達成しました。										

施策 12 取組 1 番号 6 事務事業 動画教材作成事業									
目的	地域素材を生かした動画教材を作成し、授業で活用することにより、地域理解、学習意欲や学力の向上を図ります。					担当課	教育研究所		
目標	児童生徒の学習に対する意欲向上を促す動画教材の利用回数の増加を目指します。								
事業実施状況	・地域素材を生かした動画教材の作成 (昔の道具を紹介する動画教材1本)					単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額
						事業費	502	468	1,149
	特定財源	0	0	0					
	一般財源	502	468	1,149					
	指標名	-			単位				
	基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
	-		-	-	-				
評価検証	R7年度は、帯広百年記念館の昔の道具を紹介する動画を作成し、副読本や副読本アプリと連携させることで、授業内外で活用しやすい環境を整えました。児童が資料への関心を深め、自主的に学びを進める場面が増えるなど、副読本を効果的に活用した学習が促進され、目標を達成しました。								

事務事業評価表

施策 12 取組 2 番号 1 事務事業 地域連携推進事業									
目的	学校施設や人材の活用により、地域住民に学習機会を提供し、地域との結びつきを深めます。					担当課	南商業高校		
目標	地域と学校とのつながりを促進する学校開放事業の参加者数の増加を目指します。								
事業実施状況	・学校開放講座の開催（31名参加）		単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
			事業費	42		28		44	
			特定財源	15		0		15	
			一般財源	27		28		29	
			指標名	-					単位
			基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値
		-		-		-		-	
				-		-		-	
評価検証	R7年度は、学校開放事業として「うまいもん甲子園」で優勝したクッキング部を講師とした料理教室を行ったことにより、前回より参加者が増加し、目標を達成しました。								

施策 12 取組 2 番号 2 事務事業 国際理解教育推進事業									
目的	個々の生徒の実力に応じた英語教育や外国の実社会に触れる機会の提供などにより、英語能力の向上や外国の生活文化の理解促進を図ります。					担当課	南商業高校		
目標	-								
事業実施状況	・マディソン市への生徒派遣（4名） ・外国語指導講師の配置（1名）		単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
			事業費	4,555		7,218		6,379	
			特定財源	0		2,223		1,621	
			一般財源	4,555		4,995		4,758	
			指標名	-					単位
	基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
	-	-	-	-	-				
評価検証	-								

施策 12 取組 2 番号 3 事務事業 キャリア教育推進事業									
目的	外部講師を活用した専門教育などにより、社会人・職業人として必要とされる能力の育成を図ります。					担当課	南商業高校		
目標	-								
事業実施状況	・外部講師を活用した専門教育の推進 ・情報機器の整備 ・北海道高等学校商業教育フェアへの参加	単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額		
		事業費	18,185		14,820		19,209		
		特定財源	0		0		0		
		一般財源	18,185		14,820		19,209		
		指標名	-					単位	
		基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値	
		-	-	-	-	-	-		
-	-								
評価検証	-								

事務事業評価表

施策 12 取組 2 番号 4 事務事業 社会人教育推進事業												
目的	ボランティア活動の推進など、課外活動を充実し、生徒の社会性の育成を図ります。					担当課	南商業高校					
目標	-											
事業実施状況	・ボランティア活動の推進 ・宿泊研修、見学旅行の実施				単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
					事業費		1,376		1,363		1,401	
					特定財源		0		0		0	
					一般財源		1,376		1,363		1,401	
	指標名		-						単位			
	基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値		
	-			-			-			-		
評価検証	-											

施策 12 取組 2 番号 5 事務事業 学校運営事業									
目的	学校運営を適切に進め、良好な学習環境を提供します。						担当課	南商業高校	
目標	-								
事業実施状況	・学校保健の推進 ・学校運営に関する事務 ・スクールカウンセラーの配置（1名）				単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額	
					事業費	22,790	19,622	21,466	
					特定財源	75,065	73,760	74,496	
					一般財源	△52,275	△54,138	△53,030	
	指標名				-			単位	
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値	
	-			-		-		-	
評価検証	-								

施策 12 取組 2 番号 6 事務事業 学校施設維持管理事業（南商）									
目的	学校施設を適切に維持管理し、良好な学習環境を提供する。					担当課	南商業高校		
目標	-								
事業実施状況	・学校施設の維持管理 ・設備の改修等		単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額		R7年度決算額		
			事業費	56,233		126,039		107,743	
			特定財源	1,931		76,816		56,166	
			一般財源	54,302		49,223		51,577	
	指標名	-					単位		
	基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
	-		-		-		-		
評価検証	-								

事務事業評価表

施策 12 取組 2 番号 7 事務事業 学習環境整備事業（南商）									
目的	学校図書や備品の整備等により、良好な学習環境を提供する。					担当課	南商業高校		
目標	-								
事業実施状況	・学校図書の整備 ・備品等の整備	単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額		
		事業費	5,767		6,008		6,589		
		特定財源	0		0		0		
		一般財源	5,767		6,008		6,589		
		指標名	-					単位	
		基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値	
		-	-	-	-	-	-		
評価検証	-								

施策 12 取組 3 番号 1 事務事業 教員リーダー育成事業									
目的	人間性に裏打ちされたリーダーシップのある教師を育成し、教師全体の指導力向上を図ります。					担当課	教育研究所		
目標	教員リーダー研修の参加者数について202人を目指します。								
事業実施状況	・研修会の開催（3回・119人） ・参加者同士の交流、協議		単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
			事業費	237		375		587	
			特定財源	0		125		327	
			一般財源	237		250		260	
			指標名	教員リーダー研修参加人数					単位
	基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
	186	202 201	202 165	202 119					
評価検証	R7年度の研修参加者数は119人であり、目標を達成しませんでした。 落語家やフランス料理のシェフなど幅広い分野から講師を招聘したほか、案内ポスターの配付や校長会議、学校訪問の際に講座の周知を行いました。また、講師都合の講座中止や講座の魅力が多くの教職員に伝わらなかったことが要因であると考えます。 講座参加者の満足度が高いことから、今後は、講座の魅力発信に加え、オンライン参加など参加しやすい環境が整っていることをさらに周知する必要があると考えます。								

施策 12 取組 3 番号 2 事務事業 教育研究事業												
目的		教育に関する調査研究の成果を各学校に提供し、教師の指導力向上を図ります。				担当課		教育研究所				
目標		教師の指導力を向上する研修講座（教育研究所主催）の参加者数について801人を目指します。										
事業実施状況	・教育研究所の運営 ・調査研究紀要の発刊 ・研修講座の開催(824人参加) ・情報教育の推進	単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額				
		事業費		11,795		12,981		13,613				
		特定財源		0		0		0				
		一般財源		11,795		12,981		13,613				
		指標名		研修講座への参加人数				単位	人			
		基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値	
		779			801 909			801 926			801 824	
評価検証		R7年度の研修講座の参加者数は824人であり、目標を達成しました。多くの教職員が参加しやすいよう「全国教育研修プラットフォーム（Plant）」を活用した申込を継続したほか、帯広市教育研究会特別支援教育部会との共催による講座を開催するなど、研修講座申込みの利便性を確保したことや教職員のニーズを踏まえた講座を開催したことが要因であると考えます。										

事務事業評価表

施策 12 取組 3 番号 3 事務事業 学校図書館運営事業												
目的	図書資料の整備や学校図書館活性化事業の推進により、児童生徒の読書活動の充実を図ります。					担当課	学校教育課					
目標	子どもの読書機会の増加及び興味関心の向上を目指します。											
事業実施状況	・学校図書館の運営 ・学校図書館図書資料の整備 ・学校図書館活性化事業に対する支援				単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額				
					事業費	15,372	18,365	18,466				
					特定財源	0	0	0				
					一般財源	15,372	18,365	18,466				
					指標名	-					単位	
					基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値	
					-		-	-	-	-	-	
評価検証	R7年度は、北海道学校図書館研究大会の開催により、学校図書館の運営の工夫や授業における活用方法などの情報が共有され、各校における取り組みの参考としました。また、図書館と連携した電子図書の選書などにより、電子書籍の貸出件数が増加しており、児童生徒の読書機会の拡大や興味関心の向上につながり、目標を達成しました。											

施策 12 取組 3 番号 4 事務事業 学校保健事業									
目的	健康診断の実施や、関係団体と連携した学校保健推進体制を整備し、児童生徒の健康保持を促進します。					担当課	学校教育課		
目標	-								
事業実施状況	・健康診断の実施 ・学校内の衛生環境の確保 ・スポーツ振興センター災害共済給付 ・フッ化物洗口の推進（4校）				単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額	
					事業費	63,233	64,802	65,634	
					特定財源	4,585	4,743	4,803	
					一般財源	58,648	60,059	60,831	
					指標名	-			単位
	基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
	-		-		-		-		
評価検証	-								

施策 12 取組 3 番号 5 事務事業 データベース教材作成事業										
目的	データベース教材を活用し、一人ひとりの学習達成状況に応じた指導を行い、学習意欲や学力の向上を図ります。					担当課	教育研究所			
目標	児童生徒の学習に対する意欲向上を促すデータベース教材の利用回数の増加を目指します。									
事業実施状況	・データベース教材の作成 (ウェブサイト「帯広市教育研究所GIGAサポ」)		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
			事業費		700		700		95	
			特定財源		0		0		0	
			一般財源		700		700		95	
			指標名		-					
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
	-			-		-		-		
評価検証	R7年度は、端末と親和性の高いアプリへの簡単なアクセス方法の周知や活用事例を紹介するデータベース教材の提供を行うことにより、児童生徒とともに教職員のデジタル教材を活用する環境整備が進み、利用回数も増加したことから目標を達成しました。									

事務事業評価表

施策 12 取組 3 番号 6 事務事業 学校施設維持管理事業（職員室CM1）										
目的		学校施設を適切に維持管理し良好な学習環境を提供します。				担当課		企画総務課		
目標		-								
事業実施状況	・職員室用パソコンの維持管理 ・校務支援システムの運用		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
			事業費		85,586		87,685		87,749	
			特定財源		0		0		0	
			一般財源		85,586		87,685		87,749	
	指標名		-						単位	
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
	-		-	-	-	-	-			
評価検証	-									

施策 12 取組 3 番号 7 事務事業 文化系大会派遣支援事業										
目的		全国・全道大会への参加を支援し、文化系クラブの活動を促進します。				担当課		学校教育課		
目標		-								
事業実施状況	・文化系クラブの全道大会派遣への支援		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
			事業費		1,397		1,884		2,063	
			特定財源		0		0		888	
			一般財源		1,397		1,884		1,175	
	指標名		-						単位	
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
	-		-	-	-	-	-			
評価検証	-									

施策 12 取組 3 番号 8 事務事業 体育系大会派遣支援事業									
目的	全国・全道大会への参加を支援し、体育系クラブの活動を促進します。					担当課	学校教育課		
目標	-								
事業実施状況	・体育系クラブの全道・全国大会派遣への支援 ・全道大会の開催支援	単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額		
		事業費	13,477		13,794		13,562		
		特定財源	0		0		5,478		
		一般財源	13,477		13,794		8,084		
		指標名	-					単位	
		基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値	
		-	-	-	-	-	-		
-	-								
評価検証	-								

事務事業評価表

施策 12 取組 3 番号 9 事務事業 教職員管理事業									
目的	教職員的人事管理や福利厚生などを適切に行い、教職員が能力を十分に発揮することができる環境を整備します。					担当課	学校教育課		
目標	-								
事業実施状況	・教職員的人事、サービス管理、福利厚生等 ・教職員住宅の維持管理等 ・教職員の働き方改革の推進 ・部活動指導員の配置				単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額	
					事業費	40,402	34,792	14,780	
					特定財源	26,044	20,682	1,887	
					一般財源	14,358	14,110	12,893	
					指標名	-			単位
		基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値	
	-		-		-		-		
		-		-		-		-	
評価検証	-								

施策 12 取組 3 番号 10 事務事業 教育指導推進事業											
目的	教育理論等に関する調査・研究や普及を進め、教師の指導力向上を図ります。					担当課	学校教育指導課				
目標	-										
事業実施状況	・各教科、部門の研究 ・地域特性を活かした教材の研究 ・各種講座等への参加	単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
		事業費		2,855		2,997		2,818			
		特定財源		0		877		660			
		一般財源		2,855		2,120		2,158			
		指標名		-						単位	
		基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値
		-			-			-			-
評価検証	-			-		-		-			

施策 12 取組 3 番号 11 事務事業 学力検査事業										
目的	児童生徒の学力を調査・分析し、学習指導に活用することにより、学習意欲や学力の向上を図ります。					担当課	教育研究所			
目標	-									
事業実施状況	・標準学力調査の実施	単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額		
		事業費		6,645		6,420		6,639		
		特定財源		0		0		0		
		一般財源		6,645		6,420		6,639		
		指標名		-					単位	
		基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値	
		-			-		-		-	
評価検証	-									

事務事業評価表

施策 12 取組 3 番号 12 事務事業 教育研修センター事業												
目的		十勝教育研修センターの活用により、職員研修を効果的・効率的に実施し、教師の指導力向上を図ります。					担当課	教育研究所				
目標		-										
事業実施状況	・十勝教育研修センターの運営（実施主体：十勝圏複合事務組合）	単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額				
		事業費		8,518		9,370		10,088				
		特定財源		0		0		0				
		一般財源		8,518		9,370		10,088				
		指標名		-				単位				
		基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値	
		-			-			-			-	
評価検証	-											

施策 12 取組 3 番号 13 事務事業 学校給食事業											
目的		安全・安心な学校給食の提供により、健全な心と体の育成を図ります。				担当課		給食センター			
目標		-									
事業実施状況	・学校給食の提供 ・食物アレルギーへの対応	単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
		事業費		705,494		698,646		732,807			
		特定財源		614,928		681,544		667,618			
		一般財源		90,566		17,102		65,189			
		指標名		-				単位			
		基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値
		-			-			-			-
評価検証	-										

施策 12 取組 3 番号 14 事務事業 学校給食センター管理運営事業									
目的	学校給食センターを管理運営し、安全・安心な学校給食を提供します。					担当課	給食センター		
目標	-								
事業実施状況	・学校給食センターの管理運営 ・衛生管理・危機管理の徹底 ・施設・設備の更新		単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額			
			事業費	599,825	671,486	733,111			
			特定財源	6,394	6,740	2,511			
			一般財源	593,431	664,746	730,600			
	指標名	-					単位		
	基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
	-		-		-		-		
-									
評価検証									

事務事業評価表

施策 12 取組 3 番号 15 事務事業 食育推進事業（小・中学校）（学校教育指導課）										
目的	学校給食や教科を通して食育を進め、食に関する正しい理解を促進します。					担当課	学校教育指導課			
目標	朝食を毎日食べている子どもの割合の増加を目指します。									
事業実施状況	・栄養教諭、食育指導専門員等による食育指導 ・食育、給食のPR	単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額		
		事業費		5,864		4,051		7,044		
		特定財源		0		0		0		
		一般財源		5,864		4,051		7,044		
		指標名		-				単位		
		基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値	
		-	-	-	-	-	-			
評価検証	R7年度は、市内全校で栄養教諭及び食育指導専門員による食育指導を実施したものの、学習状況調査における「朝食を食べている子ども」の割合が増加せず、目標を達成しませんでした。今後は、「おびひろ市民学」における「つながる食育」の取り組みを通し、生活習慣を含めた食育指導の充実を図る必要があると考えます。									

施策 12 取組 4 番号 1 事務事業 学校・家庭・地域連携事業（学校支援地域本部）									
目的	地域全体で子どもを応援する仕組みにより、各学校単位の取り組みの充実やボランティア等の支援、各取り組みのつながり強化を図ります。					担当課	学校地域連携課		
目標	学校地域ボランティア参加者数の増加を目指します。								
事業実施状況	・学校支援地域本部の活動支援 ・こども学校応援地域事業の実施 ・子どもの見守り活動推進事業の実施 ・学校支援ボランティアの育成(研修会参加者64人) ・帯広市学校・家庭・地域協働会議の運営 ・登下校時の交通事故や不審者から児童を守る安全対策の実施				単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額	
					事業費	53,818	11,088	10,547	
					特定財源	51,337	7,432	9,355	
					一般財源	2,481	3,656	1,192	
					指標名	-			単位
		基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値	
		-		-		-		-	
			-		-		-		
評価検証	R7年度は、ボランティア団体同士が連携して行う活動に活用できるこども学校応援地域事業の交付金の周知啓発に取り組んだことでボランティア参加者数が増加しており目標を達成しました。								

施策 12 取組 4 番号 2 事務事業 学校・家庭・地域連携事業（放課後子ども広場）																		
目的		放課後等に児童が安心して安全に過ごせる場を設け、地域の人との交流を通して、豊かな人間性や社会性を養います。				担当課		学校地域連携課										
目標		放課後の居場所づくり活動に関わるボランティア登録者数を維持します。																
事業実施状況	・放課後子ども広場の開催（参加ボランティア数延べ4,146人、実施回数500回） ・放課後子ども広場に関わるボランティアの養成（7人） ・放課後子ども広場運営委員会の開催（3回） ・放課後子ども広場PR活動				単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額							
					事業費		5,462		5,805		5,510							
					特定財源		5,462		5,805		5,510							
					一般財源		0		0		0							
					指標名		-				単位							
					基準値		R5		目標値 実績値		R6		目標値 実績値		R7		目標値 実績値	
					-				-		-		-		-			
				-		-		-		-								
評価検証	R7年度は、新規ボランティアの登録により全体のボランティア登録者数が増加しており目標を達成しました。 登録者の高齢化などボランティア登録者数の維持に向けて課題があるため、引き続き、イベントを利用したPR活動を行う必要があると考えます。																	

事務事業評価表

施策 12 取組 4 番号 3 事務事業 コミュニティ・スクール等推進事業									
目的	学校運営協議会の活用により、学校と家庭・地域住民との協働による特色ある学校づくりを進めます。					担当課	学校地域連携課		
目標	学校・家庭・地域が目標を共有し、連携・協働しながら子どもたちを育む体制を確保します								
事業実施状況	・コミュニティ・スクールの運営 ・コミュニティ・スクールの普及・啓発		単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
			事業費	2,312		2,309		2,289	
			特定財源	2,312		2,287		2,289	
			一般財源	0		22		0	
			指標名	-					単位
	基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
	-		-		-		-		
評価検証	R7年度は、研修会の開催やコミュニティ・スクール通信の発行により、各学校の活動や協議内容の情報周知に取り組みました。この結果、各コミュニティ・スクール協議会における議論の活性化につながり、目標を達成しました。								

施策 12 取組 4 番号 4 事務事業 通学路安全確保事業										
目的		通学路の点検などを行い、児童生徒の登下校における安全の確保を図ります。				担当課		学校地域連携課		
目標		-								
事業実施状況	・通学路の安全点検 ・通学路安全対策連絡協議会の運営		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
			事業費		0		0		0	
			特定財源		0		0		0	
			一般財源		0		0		0	
	指標名		-						単位	
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
	-			-		-	-			
評価検証	-									

施策 12 取組 4 番号 5 事務事業 子ども安全ネットワーク運用事業										
目的	不審者情報や災害情報の保護者への迅速な提供により、適切な対応を促し、児童生徒の安全確保を図ります。					担当課	学校教育指導課			
目標	保護者への児童生徒の安全確保に関する情報提供体制を維持します。									
事業実施状況	・情報通信機器による連絡網「子ども安全ネットワーク」の運用	単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額		
		事業費		1,068		1,030		1,095		
		特定財源		0		0		0		
		一般財源		1,068		1,030		1,095		
		指標名		-					単位	
		基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値	
		-	-	-	-	-	-	-		
評価検証	R7年度は、必要事項を校長会と即座に共有し発信することで、児童生徒の安全・安心を確保すると共に、保護者への情報提供体制を構築することが出来ており、目標を達成しました。									

事務事業評価表

施策 12 取組 4 番号 6 事務事業 幼保小中連携推進事業											
目的	幼稚園・保育所と小学校、小学校と中学校の連携を推進し、教育活動の円滑な接続を図ります。					担当課	学校教育指導課				
目標	エリア・ファミリー構想をもとに、エリア内における幼保小及び小中の連携を推進し、小中学校9年間を見通した授業を行っている学校の割合を増加します。										
事業実施状況	・異校種連携の啓発 ・地区レベルにおける協議の場の開催 ・幼稚園・保育所と小学校、小学校と中学校のなめらかな接続をはかるスタートカリキュラムや、教育課程に位置付けた教育の推進 ・小中一貫教育の推進(全校)	単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
		事業費		750		750		750			
		特定財源		0		0		0			
		一般財源		750		750		750			
		指標名		-						単位	
		基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値
		-			-			-			-
評価検証	R7年度は、市内全校において近隣の小中学校と教育課程の接続や共通の目標を設定したことで、小中学校9年間を見通した授業を行っている学校の割合100%を維持しており目標を達成しました。学校では、幼稚園・保育園や学童と目指す子ども像を共有し、連携した教育活動を展開する取り組みや、エリア内の教職員が参加する公開授業研究会や交流会の開催などの積極的な交流が行われています。										

施策 12 取組 4 番号 7 事務事業 通学区域管理事業									
目的	地域の実情等を踏まえ通学区域を設定し、適切な就学環境を整備します。					担当課	学校地域連携課		
目標	-								
事業実施状況	・通学区域の設定、見直し		単位：千円		R5年度決算額	R6年度決算額		R7年度決算額	
			事業費		0	0		0	
			特定財源		0	0		0	
			一般財源		0	0		0	
			指標名		-				単位
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値	
	-			-		-		-	
評価検証	-								

施策 12 取組 5 番号 1 事務事業 就学資金貸付事業										
目的	経済的理由により、高等学校、専門学校、大学への就学が困難な人に修学資金を貸付し、進学機会の確保を図ります。					担当課	学校教育課			
目標	-									
事業実施状況	・奨学金貸付（大学生25人、専門学校生5人、高校生5人） ・入学支度金貸付（14人）	単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額		
		事業費		14,911		20,850		26,720		
		特定財源		13,094		17,800		23,673		
		一般財源		1,817		3,050		3,047		
		指標名		-					単位	
		基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値	
		-			-		-		-	
評価検証	-									

事務事業評価表

施策 12 取組 5 番号 2 事務事業 特別支援教育推進事業									
目的	インクルーシブ教育の考え方にに基づき、多様な学びの場を整備し、児童生徒一人ひとりの特性や状況にあった教育を受けられる環境を整備します。					担当課	学校教育課		
目標	-								
事業実施状況	・ 特別支援学級の開設 ・ 特別支援学級の環境整備 ・ 通級指導教室開設に向けた検討 ・ 特別な配慮を要する児童生徒に対応した環境整備	単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額		
		事業費	443		633		251,656		
		特定財源	0		0		0		
		一般財源	443		633		251,656		
		指標名	-					単位	
		基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値	
	-	-	-	-	-	-			
		-	-	-	-	-			
評価検証	-								

施策 12 取組 5 番号 3 事務事業 特別支援教育支援員配置事業									
目的	障害や学習において困り感を抱えた児童生徒が、一人ひとりの特性や状況にあった教育を受けられる環境を整備します。					担当課	学校教育課		
目標	-								
事業実施状況	・ 助手、特別支援教育補助員の配置(69人) ・ 生活介助員の配置(38人)	単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額		
		事業費	154,110		241,441		23,172		
		特定財源	4,406		1,980		3,443		
		一般財源	149,704		239,461		19,729		
		指標名	-					単位	
		基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値	
		-	-	-	-	-	-		
評価検証	-								

施策 12 取組 5 番号 4 事務事業 教育支援委員会運営事業										
目的		障害や学習において困り感を抱えた児童生徒が、一人ひとりの特性や状況にあった環境で教育を受けられるよう、適切な就学先を勧奨します。				担当課	学校教育課			
目標		-								
事業実施状況	・教育支援委員会による教育相談及び就学先の勧奨の実施(531人) ・発達検査員の配置		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
			事業費		2,148		2,331		2,579	
			特定財源		0		0		0	
			一般財源		2,148		2,331		2,579	
			指標名		-					
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
	-			-		-		-		
-										
評価検証										

事務事業評価表

施策 12 取組 5 番号 5 事務事業 小規模特認校推進事業									
目的	農村地域の小規模校の特色を活かした教育の機会を提供します。					担当課	学校教育課		
目標	-								
事業実施状況	・小規模特認校制度利用の推進		単位：千円		R5年度決算額	R6年度決算額		R7年度決算額	
			事業費		0	0		0	
			特定財源		0	0		0	
			一般財源		0	0		0	
			指標名		-				
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値	
	-			-		-		-	
評価検証	-								

施策 12 取組 5 番号 6 事務事業 児童生徒支援事業									
目的	相談員等を学校に配置し、児童生徒の心の問題への対応を図るほか、いじめや不登校、非行の相談・指導を行い、未然防止や早期解決を図ります。					担当課	学校教育指導課		
目標	不登校児童生徒の減少を目指します。								
事業実施状況	・こころの教室相談員の配置(6人) ・家庭訪問相談員の配置(6人) ・スクールソーシャルワーカーの配置(3人) ・教育相談員の配置(1人) ・教育支援センターひろびろの運営 ・いじめ、不登校、非行等に関する対策委員会の運営 ・不登校児童生徒に対するオンライン学習プラットフォーム「ひろびろチョイス」の運営				単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額	
					事業費	27,572	33,948	35,605	
					特定財源	0	4,745	4,703	
					一般財源	27,572	29,203	30,902	
					指標名	-			単位
		基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値	
		-		-		-		-	
評価検証	R7年度は、相談員やスクールソーシャルワーカーの配置、ひろびろやひろびろチョイスにおける居場所づくりを継続し心の問題への対応を行ったものの、全国的な傾向と同様に不登校児童生徒数は減少せず、目標を達成しませんでした。今後も、多様な学びの場や学習機会の確保等について、ニーズを踏まえつつ、登校できない児童生徒への環境づくりを進める必要があると考えます。								

施策 12 取組 5 番号 7 事務事業 高等学校間口対策事業												
目的	PTAや中学校などと連携した高等学校の間口確保に向けた要望活動などにより、希望する地元の高等学校などへ進学できる機会の確保を図ります。						担当課		企画総務課			
目標	-											
事業実施状況	・帯広市高等学校間口対策協議会の開催 ・北海道教育委員会への要請活動		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
			事業費		0		0		0			
			特定財源		0		0		0			
			一般財源		0		0		0			
	指標名		-						単位			
	基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値		
	-			-			-			-		
評価検証	-											

事務事業評価表

施策 12 取組 5 番号 8 事務事業 学校施設地域開放推進事業									
目的	体育館などの学校施設を地域に開放し、施設を有効に活用するとともに、学校と地域の結びつきを深めます。					担当課	企画総務課		
目標	-								
事業実施状況	・スポーツ、文化、地域活動等への施設開放 ・統合プールの維持管理	単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額		
		事業費	129,296		133,589		143,448		
		特定財源	0		0		0		
		一般財源	129,296		133,589		143,448		
		指標名	-					単位	
		基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値	
	-	-	-	-	-	-			
評価検証	-								

施策 12 取組 5 番号 9 事務事業 学校施設維持管理事業（小・中学校）									
目的	学校施設を適切に維持管理し良好な学習環境を提供します。					担当課	企画総務課、学校地域連携課		
目標	-								
事業実施状況	・学校管理運営に関する日常経費支出 ・農村地区の学校プールの維持管理 ・学習機会保障のための物品、資材等の整備 ・学校施設の保守点検 ・リンク、スキーコースの造成委託	単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額		
		事業費	794,401		771,702		813,645		
		特定財源	45,729		4,739		5,289		
		一般財源	748,672		766,963		808,356		
		指標名	-					単位	
		基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値	
		-	-	-	-	-	-		
評価検証	-								

施策 12 取組 5 番号 10 事務事業 学習環境整備事業（小・中学校）									
目的	学校の備品等の維持・整備を進め、良好な学習環境を提供します。					担当課	企画総務課		
目標	-								
事業実施状況	・小中学校児童生徒用机、椅子の賃貸借及び維持管理 ・消耗品及び備品等による学習環境の維持、整備	単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額		
		事業費	25,874		24,837		22,193		
		特定財源	0		0		0		
		一般財源	25,874		24,837		22,193		
		指標名	-					単位	
		基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値	
	-	-	-	-	-	-			
評価検証	-								

事務事業評価表

施策 12 取組 5 番号 11 事務事業 義務教育施設整備事業												
目的	校舎、体育館の改築や長寿命化等を進め、安全で安心して学ぶことができる環境を整備します。					担当課	学校地域連携課					
目標	-											
事業実施状況	・防災機能強化 ・学校施設の長寿命化計画に基づく施設の維持管理（東小、稲田小、花園小、開西小、大正小） ・屋外教育環境の整備（緑丘小） ・南町中学校の整備 ・中学校のエアコン設置 ・体育館照明のLED化（小学校14校、中学校6校） ・プール照明のLED化（光南小、啓西小、豊成小）				単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額				
					事業費	446,134	2,357,278	1,185,760				
					特定財源	360,819	1,894,137	1,155,593				
					一般財源	85,315	463,141	30,167				
					指標名			-	単位			
					基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値
					-			-	-	-	-	-
評価検証	-											

施策 12 取組 5 番号 12 事務事業 学校環境整備事業										
目的	学校施設の修繕、学校の備品等の整備・管理など、維持を進め、良好な学習環境を提供します。					担当課	企画総務課、学校地域連携課			
目標	-									
事業実施状況	・学校施設の修繕 ・設備・機器類の修繕 ・屋外教育環境の整備	単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額		
		事業費		80,509		66,832		98,600		
		特定財源		0		31,036		26,255		
		一般財源		80,509		35,796		72,345		
		指標名		-				単位		
		基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値	
		-		-		-		-		
評価検証	-									

施策 12 取組 5 番号 13 事務事業 小・中学校適正配置推進事業									
目的	小・中学校の適正配置を進め、適正な学校規模の維持を図り、良好な教育環境を確保します。					担当課	学校地域連携課		
目標	-								
事業実施状況	・市民への説明（「帯広市立小中学校適正規模の確保等に関する計画(後期計画)」地域説明会・意見交換会の開催 8回） ・帯広市立小中学校適正規模の確保等に関する計画の推進	単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額		
		事業費	200		224		164		
		特定財源	0		0		0		
		一般財源	200		224		164		
		指標名	-					単位	
		基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値	
		-	-	-	-	-			
評価検証	-								

事務事業評価表

施策 12 取組 5 番号 14 事務事業 就学援助費等支給事業									
目的	経済的な困難を抱える世帯や、特別支援学級に通う児童生徒の保護者への支援により、誰もが等しく教育を受けることができる機会を確保します。					担当課	学校教育課		
目標	-								
事業実施状況	・就学援助費の支給 ・特別支援教育就学奨励費の支給		単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
			事業費	181,618		187,484		180,209	
			特定財源	4,833		5,097		5,327	
			一般財源	176,785		182,387		174,882	
			指標名	-					単位
	基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
	-		-		-		-		
評価検証	-								

施策 12 取組 5 番号 15 事務事業 障害者高等学校等就学支援事業									
目的	特別支援学校高等部等に在学している生徒の保護者に対する経済的支援により、高等教育機関等への進学を促進します。					担当課	学校教育課		
目標	-								
事業実施状況	・障害者高等教育補助金の交付	単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額		
		事業費	2,670		2,610		3,030		
		特定財源	0		0		0		
		一般財源	2,670		2,610		3,030		
		指標名	-					単位	
		基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値	
		-	-	-	-	-	-		
評価検証	-								

施策 12 取組 5 番号 16 事務事業 私立高等学校支援事業									
目的	私立高等学校の教材教具の整備を支援し、教育環境の充実をはかります。					担当課	企画総務課		
目標	-								
事業実施状況	・私立学校教材教具整備費補助金の交付		単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額			
			事業費	23,996	3,948	3,705			
			特定財源	0	0	0			
			一般財源	23,996	3,948	3,705			
	指標名		-				単位		
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値	
	-		-	-	-	-	-		
-									
評価検証									

事務事業評価表

施策 12 取組 5 番号 17 事務事業 スクールバス運行事業												
目的	遠距離通学や校外活動における交通手段を確保し、安心して通学・活動できる環境を整備します。					担当課	学校教育課					
目標	-											
事業実施状況	・農村地区におけるスクールバスの運行 ・肢体不自由学級在籍児童生徒に係るタクシーの運行 ・プール学習、校外活動等におけるバス送迎	単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額				
		事業費		182,550		221,695		236,791				
		特定財源		7,250		0		0				
		一般財源		175,300		221,695		236,791				
		指標名		-				単位				
		基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値	
		-			-			-			-	
評価検証	-											

施策 12 取組 5 番号 18 事務事業 教材教具整備事業									
目的	教材教具の整備により、児童生徒が充実した教育を受けることができる教育環境の整備を進めます。					担当課	学校教育課		
目標	-								
事業実施状況	・教材用消耗品、備品の整備、維持管理 ・副読本の作成 ・ピアノ等の維持管理		単位：千円		R5年度決算額	R6年度決算額		R7年度決算額	
			事業費		125,993	187,936		179,062	
			特定財源		14,465	14,140		13,603	
			一般財源		111,528	173,796		165,459	
			指標名		-				単位
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値	
	-			-		-		-	
評価検証	-			-		-		-	

施策 12 取組 5 番号 19 事務事業 ICT教育環境整備事業									
目的	I C T機器の整備により、児童生徒が充実した教育を受けることができる教育環境の整備を進めます。					担当課	学校教育課		
目標	-								
事業実施状況	・ICT教育環境の整備、維持管理 ・生徒用プログラミングコンテンツの活用 ・一人一台端末の更新				単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額	
					事業費	117,773	141,951	328,570	
					特定財源	10,237	57,933	174,983	
					一般財源	107,536	84,018	153,587	
	指標名 -							単位	
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値	
	-			-		-		-	
評価検証	-								

事務事業評価表

施策 12 取組 0 番号 1 事務事業 教育委員会運営事業									
目的 教育委員会運営に関する事務を進め、地域の実情に応じた教育行政を推進します。					担当課		企画総務課、学校教育課、学校地域連携課		
目標 -									
事業実施状況	・教育委員会会議の開催、運営 ・小中学校記念式典等の実施 ・教育委員会事務局の運営 ・こども学校応援基金の管理				単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額	
					事業費	55,130	471,754	171,859	
					特定財源	283	418,222	120,709	
					一般財源	54,847	53,532	51,150	
	指標名		-				単位		
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値	
	-			-		-		-	
評価検証	-								

施策 12 取組 0 番号 2 事務事業 教育基本計画推進事業									
目的 教育基本計画に基づき、教育に関する施策を総合的に推進します。					担当課		企画総務課		
目標 -									
事業実施状況	・教育に関する点検、評価報告 ・教育行政執行方針の策定 ・教育懇談会の開催				単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額	
					事業費	9	8	5	
					特定財源	0	0	0	
					一般財源	9	8	5	
	指標名				-		単位		
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値	
	-			-	-	-	-	-	
評価検証	-								

事務事業評価表

施策 13 取組 1 番号 1 事務事業 学習機会提供事業（生涯学習文化課）									
目的	学習情報のほか、生涯にわたって学ぶ様々な機会を提供します。					担当課	生涯学習文化課		
目標	市民に学びの機会を提供する市民大学講座での学習の満足度について94.0%を目指します。								
事業実施状況	・市民大学講座の実施（49講座1,613人） ・生涯学習情報誌「まなびや」の発行（年4回） ・高齢者学級の実施（1年生58人、2年生42人） ・ブラザエンジョイスクールの実施（第Ⅰ期555人、第Ⅱ期548人、第Ⅲ期559人、第Ⅳ期552人） ・放送大学北海道センター帯広学習室における学習機会の提供（学習室14人利用）		単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額			
			事業費	867	936	1,078			
			特定財源	8	9	8			
			一般財源	859	927	1,070			
	指標名	市民大学講座での学習の満足度				単位	%		
	基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
	94.0		94.0 98.5		94.0 97.2		94.0 98.1		
評価検証	R7年度の市民大学講座での学習の満足度（「満足」「やや満足」と答えた人の割合）は98.1%であり、目標を達成しました。 大学連携講座など質の高い講座の維持に努めたほか、AIに関する講座や健康麻雀講座など幅広い層の興味関心を引く新しい分野の講座を開催したことが効果的であったと考えます。								

施策 13 取組 1 番号 2 事務事業 子ども向けプログラム推進事業（図書館）										
目的	おはなし会や、子ども向け図書の紹介などにより、子どもが幼児期から読書に親しむことができる環境づくりを進めます。					担当課	図書館			
目標	子ども向けおはなし会の参加者数について1,110人を目指します。									
事業実施状況	・図書館等での子どもを対象としたおはなし会の実施（74回、1,689人） ・家庭における読書活動推進事業の実施（家読にチャレンジ！2025 参加者 46人） ・子育て応援バッグ（絵本セット）の貸出（828件） ・ブックリストの作成・配布（4～5歳児向け5,000冊作成）	単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
		事業費	569		314		418			
		特定財源	0		0		0			
		一般財源	569		314		418			
		指標名	おはなし会（子ども向け）の参加者数					単位	人	
		基準値	R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値
		1,143		1,110			1,110			1,110
			1,978			1,799			1,689	
評価検証	R7年度の定例のおはなし会への参加者数は1,689人であり、目標を達成しました。 R6年度に引き続き、高校の図書館員を読み手とした会を開催したことで、興味を持った保護者の参加に繋がったことが要因と考えます。									

施策 13 取組 1 番号 3 事務事業 図書館・学校連携事業										
目的		学校及び児童保育センターへの貸出や、図書館司書による学校図書館への支援を進め、児童生徒の読書活動を推進します。				担当課		図書館		
目標		学校・児童保育センターへの図書のセット貸出件数について752件を目指します。								
事業実施状況	・学校及び児童保育センターへの図書のセット貸出（1,094件） ・リユース会（1回、12名）の実施 ※クリニックは学校都合により中止		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
			事業費		733		668		715	
			特定財源		0		0		0	
			一般財源		733		668		715	
	指標名		学校・児童保育センターへの図書のセット貸出件数						単位	件
	基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値
	752			752			752			752
			1,025			1,246			1,094	
評価検証	R7年度の学校・児童保育センターへの図書のセット貸出件数は1,094件であり、目標を達成しました。 年齢に適した図書を手軽に借りられる当事業に継続して取り組んできたことで、学校の先生等に浸透し活用が図られたことが要因と考えます。									

事務事業評価表

施策 13 取組 1 番号 4 事務事業 学習機会提供事業（図書館）									
目的	各種講座や講演会などを開催し、市民が図書や各種資料を学習活動等に利用することができる機会を提供します。					担当課	図書館		
目標	市民の読書活動の推進や図書資料等の学習活動への活用につなげる講座の参加者数について187人を目指します。								
事業実施状況	・畜大連携事業（1回、27人） ・語り手育成講習会ほか各種講座・教室の実施（7回、180人） ・社会教育施設連携講演会（1回、15人） 合計参加者数 222人 ・大人向けおはなし会の実施（12回、301人）			単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額		R7年度決算額	
				事業費	33	35		30	
				特定財源	0	0		0	
				一般財源	33	35		30	
				指標名	市民向け講座の参加者数			単位	人
		基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値	
	149		187		187		187		
			247		279		222		
評価検証	R7年度の市民向け講座の参加者数は222人であり、目標を達成しました。								
	高校生が学んだことを地域の方に発表する機会の提供や、新たな関係団体等の協力を得て、参加者ニーズの高い講座を開催したことが要因と考えます。								

施策 13 取組 1 番号 5 事務事業 図書館地域サービス運営事業												
目的	移動図書館バスの運行やコミュニティセンター図書室等への配本により、地域における図書館サービスの提供を図ります。					担当課	図書館					
目標	移動図書館やコミュニティセンター図書室への配本など地域における図書館サービス体制を維持します。											
事業実施状況	・移動図書館バスの運行 ・コミュニティセンター図書室等への配本					単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額			
						事業費	5,907	6,499	5,922			
						特定財源	0	0	0			
						一般財源	5,907	6,499	5,922			
						指標名	-			単位		
						基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値
						-		-		-		-
評価検証	R7年度は、移動図書館ステーションの停留箇所の見直しや、資料相談に対応する司書がバスに同乗し、地域への図書館サービスの提供を進めたことで、目標を達成しました。											

施策 13 取組 1 番号 6 事務事業 体験活動機会提供事業（児童会館）									
目的	児童会館において、科学教室など幼少期から科学や文化に親しむ機会を提供します。					担当課	児童会館		
目標	児童会館利用者の満足度について97.6%を目指します。								
事業実施状況	・科学関連事業の開催（科学展示室33,384人、プラネタリウム13,093人、遊び場133,744人など） ・文化関連事業の開催1,833人（人形劇、将棋、囲碁、児童劇団等） ・子育て支援の施設利活用（もっくん教室8回84人） ・わくわくこどもまつりの開催（5回7,786人） ・宿泊学習等の実施（77校17団体）		単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額			
			事業費	3,839	4,433	4,098			
			特定財源	329	411	445			
			一般財源	3,510	4,022	3,653			
	指標名		児童会館利用者の満足度				単位	%	
			基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値
			96.2		97.6 95.7		97.6 92.4		97.6 90.9
評価検証	R7年度の児童会館利用者の満足度は90.9%であり、目標を達成しませんでした。 高い満足度ではあるものの、設備の老朽化や遊び場の狭隘化といった意見もあるため、今後も利用しやすい環境づくりに努めていく必要があると考えます。								

事務事業評価表

施策 13 取組 1 番号 7 事務事業 学習機会提供事業（百年記念館）														
目的					担当課		百年記念館							
目標					百年記念館における事業参加者数（講座、企画展等の入室者数）について7,579人を目指します。									
事業実施状況	・博物館講座（14回、394人）、企画展等（2回、5,484人）の実施 ・美術分野（2回、1,712人）の展示の実施 ・創造活動講座の実施（28回、698人）、創造活動関連の展示（3回、747人） ・出前講座の開催				単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
					事業費		4,524		4,951		5,324			
					特定財源		712		1,008		882			
					一般財源		3,812		3,943		4,442			
	指標名		事業参加者数（講座、企画展等の入室者数）						単位		人			
	基準値		R5		目標値 実績値		R6		目標値 実績値		R7		目標値 実績値	
	6,038				7,579 6,787				7,579 8,804				7,579 9,035	
評価検証	R7年度の百年記念館における事業参加者数（講座、企画展等の入室者数）は9,035人であり、目標を達成しました。 講座・企画展の回数は例年通りでしたが、市民の関心に添った内容を企画したことや、報道等による十分な周知が要因であったと考えます。													

施策 13 取組 1 番号 8 事務事業 学習機会提供事業（動物園）															
目的 飼育体験など動物や自然環境について学ぶ機会を提供し、市民の学習活動を支援します。				担当課		動物園									
目標 動物園における教育講座、体験講座の参加者数について407人にします。															
事業 実施 状況	・体験事業（1日飼育係・裏側探検等15回、206人） ・教育事業（スポットガイド・おびZoo寺子屋等9回、117人） ・人材育成（実習受入等）（3回、6人） ・帯広畜産大学連携事業（サテライトブース設置・共同研究等） ・おびZoo探検隊ワークシート作成			単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額					
				事業費		3,367		5,123		5,561					
				特定財源		0		0		0					
				一般財源		3,367		5,123		5,561					
	指標名			教育講座、体験講座の参加者数					単位		人				
	基準値			R5		目標値 実績値		R6		目標値 実績値		R7		目標値 実績値	
	363					407 413				407 442				407 329	
評価 検証		R7年度の教育講座、体験講座の参加者数は329人であり、目標を達成しませんでした。 飼育体験などのイベント開催を通じ、動物や自然環境について学ぶ機会を提供したものの、臨時閉園や夏季の高温等により入園者数の減少したことが要因であると考えます。 今後も引き続き、来園者のニーズに応じたイベント開催に努めていく必要があるものと考えます。													

施策 13 取組 1 番号 9 事務事業 図書館間ネットワーク事業										
目的	図書館間の資料の相互貸借や、十勝管内在住者への広域貸出しにより、利用者サービスの向上を図ります。					担当課	図書館			
目標	蔵書にない図書の貸出を可能にする他図書館との相互貸借体制を維持します。									
事業実施状況	・相互貸借業務の実施（貸出：771冊、借受：810冊） ・十勝管内在住者への広域貸出しの実施（16,697人、73,004冊）					単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額	
						事業費	299	460	394	
						特定財源	0	0	0	
						一般財源	299	460	394	
	指標名					-			単位	
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
	-		-	-	-	-	-			
評価検証	R7年度も全国の図書館間での相互貸借や管内図書館と連携した広域貸出サービスを継続したため、目標を達成しました。									

事務事業評価表

施策 13 取組 1 番号 10 事務事業 とかちプラザ管理運営事業										
目的	とかちプラザの管理運営により、市民の生涯学習活動等の場を提供します。					担当課	生涯学習文化課			
目標	-									
事業実施状況	・とかちプラザの管理運営			単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額		R7年度決算額		
				事業費	202,570		215,005		238,320	
				特定財源	2,805		2,692		2,839	
				一般財源	199,765		212,313		235,481	
	指標名		-					単位		
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
	-			-		-		-		
				-		-		-		
評価検証	-									

施策 13 取組 1 番号 11 事務事業 とかちプラザ施設整備事業									
目的	とかちプラザの適切な改修や修繕などにより、利用者の安全性の確保や施設の機能維持を図ります。					担当課	生涯学習文化課		
目標	-								
事業実施状況	・とかちプラザの改修、修繕				単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額	
					事業費	65,931	105,283	137,921	
					特定財源	52,600	101,597	74,576	
					一般財源	13,331	3,686	63,345	
	指標名				-		単位		
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値	
	-			-		-		-	
評価検証	-								

施策 13 取組 1 番号 12 事務事業 郷土資料収集・保存整備事業										
目的		帯広・十勝等に関する各種資料の収集・整理・保存を進め、郷土の歴史や文化について市民の学習・調査研究に提供します。				担当課		図書館		
目標		-								
事業実施状況	・郷土資料の収集・整理・保存 ・郷土講演会の実施		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
			事業費		45		77		102	
			特定財源		43		40		27	
			一般財源		2		37		75	
	指標名		-				単位			
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
	-			-		-		-		
評価検証	-									

事務事業評価表

施策 13 取組 1 番号 13 事務事業 図書資料・刊行物等整備事業									
目的		蔵書等の整備や新聞・雑誌等の収集により、社会動向等の情報を市民へ提供します。				担当課		図書館	
目標		-							
事業実施状況	・ 図書資料等の収集・整備 ・ 図書館図書整備基金の管理 ・ 図書館雑誌スポンサー制度の実施	単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
		事業費		50,061		38,720		40,697	
		特定財源		47,556		22,976		21,809	
		一般財源		2,505		15,744		18,888	
		指標名		-				単位	
		基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値
		-			-		-		-
評価検証	-				-		-		-

施策 13 取組 1 番号 14 事務事業 図書館管理運営事業									
目的	図書館の管理運営により、市民が図書や各種資料を学習活動等に利用することができる環境を提供します。					担当課	図書館		
目標	-								
事業実施状況	・ 図書館の管理運営 ・ 図書館情報システムの運用管理	単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額		
		事業費	178,319		209,995		221,102		
		特定財源	890		831		763		
		一般財源	177,429		209,164		220,339		
		指標名	-					単位	
		基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値	
		-	-	-	-	-	-		
評価検証	-								

施策 13 取組 1 番号 15 事務事業 図書館施設整備事業										
目的	図書館の適切な改修や修繕などにより、利用者の安全性の確保や施設の機能維持を図ります。					担当課	図書館			
目標	-									
事業実施状況	・施設の改修、修繕				単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額		R7年度決算額	
					事業費	3,500	16,236		24,076	
					特定財源	0	12,397		20,350	
					一般財源	3,500	3,839		3,726	
	指標名				-				単位	
	基準値				R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値
	-					-		-		-
-										
評価検証										

事務事業評価表

施策 13 取組 1 番号 16 事務事業 児童会館施設整備事業									
目的	児童会館の適切な改修や修繕などにより、利用者の安全性の確保や施設の機能維持を図ります。					担当課	児童会館		
目標	-								
事業実施状況	・施設の改修、修繕				単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額		R7年度決算額
					事業費	13,028	29,373		21,242
					特定財源	4,600	20,039		13,269
					一般財源	8,428	9,334		7,973
	指標名					-		単位	
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値	
	-			-		-		-	
			-		-		-		
評価検証	-								

施策 13 取組 1 番号 17 事務事業 児童会館管理運営事業												
目的	児童会館の管理運営により、幼少期から科学に親しむことのできる環境など多様な体験活動の機会を提供します。					担当課	児童会館					
目標	-											
事業実施状況	・ 児童会館の管理運営 ・ 緑ヶ丘公園エリア検討の視察等					単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額			
						事業費	64,738	73,823	78,431			
						特定財源	3,123	3,496	3,224			
						一般財源	61,615	70,327	75,207			
						指標名	-		単位			
						基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値
						-		-		-		
								-		-		
評価検証	-											

施策 13 取組 1 番号 18 事務事業 野草園管理運営事業									
目的	野草園の管理運営により、自然観察や環境学習など体験活動の場を提供します。					担当課	児童会館		
目標	-								
事業実施状況	・野草園の管理運営		単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
			事業費	2,815		2,960		2,696	
			特定財源	0		0		0	
			一般財源	2,815		2,960		2,696	
			指標名	-					
	基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
	-		-		-		-		
評価検証	-								

事務事業評価表

施策 13 取組 1 番号 19 事務事業 農業体験実習館管理運営事業									
目的		岩内自然の村の管理運営により、自然体験活動の場を提供します。				担当課		児童会館	
目標		-							
事業実施状況	-	単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
		事業費		4,586		10,998		0	
		特定財源		0		9,600		0	
		一般財源		4,586		1,398		0	
		指標名		-				単位	
		基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値
		-		-	-	-	-	-	-
評価検証	岩内自然の村については令和4年度に条例廃止しており、現在、自然体験活動の場を提供していないため、目標の達成には至りませんでした。								

施策 13 取組 1 番号 20 事務事業 百年記念館管理運営事業									
目的	百年記念館の管理運営により、市民が郷土の自然・歴史等を学び、創造活動ができる環境を提供します。					担当課	百年記念館		
目標	-								
事業実施状況	・百年記念館の管理運営 ・帯広百年記念館運営審議会の開催		単位：千円		R5年度決算額	R6年度決算額		R7年度決算額	
			事業費		54,763	57,979		62,162	
			特定財源		5,306	5,508		5,848	
			一般財源		49,457	52,471		56,314	
			指標名		-				単位
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値	
	-			-		-		-	
評価検証	-								

施策 13 取組 1 番号 21 事務事業 百年記念館施設整備事業										
目的	百年記念館の適切な改修や修繕などにより、利用者の安全性の確保や施設の機能維持を図ります。					担当課	百年記念館			
目標	-									
事業実施状況	・施設の改修、修繕	単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額		
		事業費		13,980		3,876		3,474		
		特定財源		11,100		759		0		
		一般財源		2,880		3,117		3,474		
		指標名		-				単位		
		基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値	
		-			-		-		-	
-										
評価検証										

事務事業評価表

施策 13 取組 1 番号 22 事務事業 動物園管理運営事業											
目的	動物園の管理運営により、市民が動物や自然等について学ぶための環境を提供します。					担当課	動物園				
目標	-										
事業実施状況	・動物園の管理運営			単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
				事業費		162,487		177,292		201,582	
				特定財源		83,803		85,103		73,181	
				一般財源		78,684		92,189		128,401	
	指標名		-					単位			
	基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値	
	-			-			-			-	
			-			-			-		
評価検証	-										

施策 13 取組 1 番号 23 事務事業 動物園施設整備事業										
目的	動物園の適切な改修や修繕などにより、利用者の安全性の確保や施設の機能維持を図ります。					担当課	動物園			
目標	-									
事業実施状況	・動物園の魅力アップに向けた整備（園路、東エリア屋内休憩施設の整備） ・基盤的施設の修繕 ・おびひろ動物園ゆめ基金の管理	単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額		
		事業費		390,819		519,229		81,524		
		特定財源		386,528		519,229		81,524		
		一般財源		4,291		0		0		
		指標名		-				単位		
		基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値	
		-			-		-		-	
評価検証	-			-		-		-		

施策 13 取組 2 番号 1 事務事業 学習を通じたまちづくり支援事業										
目的	社会教育関係団体等による学習活動を支援し、学習を通じたまちづくりを促進します。					担当課	生涯学習文化課			
目標	生涯学習推進委員会が企画・運営するコミュニティ講座の回数について101回を目指します。									
事業実施状況	・生涯学習推進委員会への支援 ・社会教育関係団体等への支援 ・学生の社会参加（25名） ・指導者登録（登録者数147名） ・20歳の集いの開催	単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額		
		事業費		11,266		7,309		11,214		
		特定財源		530		740		709		
		一般財源		10,736		6,569		10,505		
		指標名		コミュニティ講座の回数				単位	回	
		基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値	
		101			101 211	101 235		101 216		
評価検証	R7年度のコミュニティ講座の回数は216回であり、目標を達成しました。 全ての生涯学習推進委員会でコミュニティ講座が複数回開催できており、各地区の総会に出席し講座の実施を呼びかけたことや講座開催の手順をわかりやすく説明したことが要因と考えます。									

事務事業評価表

施策 13 取組 2 番号 2 事務事業 図書館ボランティア活動推進事業										
目的	図書館におけるボランティア活動を推進し、施設の取り組みに活かします。					担当課	図書館			
目標	図書館に関わるボランティア団体数について5団体を目指します。									
事業実施状況	・ボランティア活動への支援（5団体）	単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額		
		事業費		92		93		93		
		特定財源		0		0		0		
		一般財源		92		93		93		
		指標名		ボランティア団体数				単位	団体	
		基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値	
		5			5		5		5	
評価検証	R7年度の図書館のボランティアの団体数は5団体であり、目標を達成しました。 ボランティア団体が意見の出しやすい環境づくりや活動状況の情報発信に努め、ボランティアのモチベーション向上につなげたことが効果的であったと考えます。									

施策 13 取組 2 番号 3 事務事業 百年記念館ボランティア活動推進事業										
目的	博物館の活性化及び地域住民と博物館とをつなぐ役割を担うボランティア活動を推進し、施設の取り組みに活かします。					担当課	百年記念館			
目標	百年記念館に関わるボランティア会員数について28人を目指します。									
事業実施状況	・ボランティア養成講座の開催や研修の実施 ・収蔵資料の整理と活用 ・独自事業の開催 ・常設展示室解説	単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
		事業費	10		11		9			
		特定財源	0		0		0			
		一般財源	10		11		9			
		指標名	ボランティア会員数					単位	人	
		基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
	28	28	28	28						
		26	25	32						
評価検証	R7年度のボランティア会員数は32人であり、目標を達成しました。 ボランティア養成講座を開催し、新規ボランティアの掘り起こしを行ったことが要因と考えます。 今後も、講座を開催し、新規ボランティアの掘り起こしを継続していくことや、既存のボランティアに対する学習機会の提供を行うことで、会員数の確保を進めていきます。									

施策 13 取組 2 番号 4 事務事業 博物館活動推進事業										
目的	自らが学び、その成果を活かすことができる環境づくりを進めます。					担当課	百年記念館			
目標	郷土の歴史・文化に関わる展示をしている百年記念館常設展示室の入場者数について16,346人にします。									
事業実施状況	・学芸関係職員の調査研究や研修参加 ・博物館資料、美術品の収集、保管 ・常設展示室の充実 ・帯広百年記念館紀要の発行	単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
		事業費	9,688		11,621		12,237			
		特定財源	34		7		10			
		一般財源	9,654		11,614		12,227			
		指標名	常設展示室入場者数					単位	人	
		基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
		13,489		16,346 15,438	16,346 16,110	16,346 16,883				
評価検証	R7年度における常設展示室入場者数は16,883人であり、目標を達成しました。 利用者統計では個人利用が増加しており観光目的による利用が増加していることが要因であると推察しており、今後も、周知の強化を進めていきます。									

事務事業評価表

施策 13 取組 2 番号 5 事務事業 動物園ボランティア活動推進事業										
目的	動物園におけるボランティア活動を推進し、施設の取り組みに活かします。					担当課	動物園			
目標	動物園に関わるボランティア団体数について9団体を目指します。									
事業実施状況	・施設整備ボランティア（各奉仕活動）7団体 ・事業協力ボランティア（ZooFul等）2団体 ・運営推進ボランティア（つくし会）1団体	単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
		事業費	0		0		0			
		特定財源	0		0		0			
		一般財源	0		0		0			
		指標名	ボランティア団体数					単位	団体	
		基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
		8		8		9		9		
		9		10		10				
評価検証	R7年度の動物園ボランティア団体数は10団体であり、目標を達成しました。 ボランティア活動等について、ホームページやSNS等で発信し、周知を図っていることで、ボランティア団体の意欲向上につながり、活動の継続・定着につながっているものと考えます。									

施策 13 取組 3 番号 1 事務事業 高等教育連携事業										
目的	帯広畜産大学や関係団体などと連携し、大学の研究・教育機能の活用等を通じて、高等教育の推進を図ります。					担当課	企画課			
目標	学生が地域との繋がりを築くことを目的に実施する事業の参加人数355人を目指します。									
事業実施状況	・帯広畜産大学の整備・拡充に向けた情報収集や要望活動の実施 ・帯広畜産大学との包括連携協定に基づく各種事業の推進（学生主体のまちづくり活動の推進など）	単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
		事業費	2,727		4,177		2,200			
		特定財源	798		1		0			
		一般財源	1,929		4,176		2,200			
		指標名	帯広畜産大学の学生による「学生と地域が つながるまちづくり支援事業」の参加人数					単位	人	
		基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
		227		355 358		355 388		355 433		
評価検証	R7年度の帯広畜産大学の学生と地域が繋がることを目的とした事業の参加人数は433人であり、目標を達成しました。 学生へのアンケート結果等を踏まえた事業のテーマや視察先の選定を行ったことが効果的であったと考えます。									

施策 13 取組 3 番号 再 事務事業 人材育成事業<再掲9-1-6>										
目的	関係機関の連携により多様な研修機会を提供し、総合的な人材育成を進めます。					担当課	経済企画課			
目標	-									
事業実施状況	・フードバレーとかち人材育成事業の実施 (修了者数20名)	単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額		
		事業費		-		-		-		
		特定財源		-		-		-		
		一般財源		-		-		-		
		指標名		-				単位		
		基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値	
		-			-		-		-	
評価検証	-			-		-		-		
				-		-		-		

事務事業評価表

施策 13 取組 3 番号 再 事務事業 学習機会提供事業（動物園）<再掲13-1-8>									
目的		飼育体験など動物や自然環境について学ぶ機会を提供し、市民の学習活動を支援します。					担当課	動物園	
目標		-							
事業実施状況	・人材育成（実習受入等）（3回、6人） ・帯広畜産大学連携事業（サテライトブース設置・共同研究等）	単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
		事業費		-		-		-	
		特定財源		-		-		-	
		一般財源		-		-		-	
		指標名		-				単位	
		基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値
-		-		-		-			
-		-		-		-			
評価検証	-	-							
		-							

施策 13 取組 0 番号 1 事務事業 社会教育委員会会議運営事業										
目的	社会教育施策のあり方や課題などについて議論するための会議や研究大会への出席などを通し、社会教育委員活動の充実を図ります。					担当課	生涯学習文化課			
目標	-									
事業実施状況	・社会教育委員会議の開催 ・研修大会等への参加	単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
		事業費	418		480		689			
		特定財源	0		0		0			
		一般財源	418		480		689			
		指標名	-					単位		
		基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
	-	-	-	-	-	-				
評価検証	-									

事務事業評価表

施策 14 取組 1 番号 1 事務事業 文化活動団体・指導者育成事業									
目的	市民の主体的な文化活動の促進や優秀な活動を表彰し、文化芸術活動を支える人材や団体を育成します。					担当課	生涯学習文化課		
目標	文化芸術活動を支える人材や団体に対する支援体制を維持します。								
事業実施状況	・文化団体等の情報提供(238団体) ・文化賞・文化奨励賞・文化活動功労賞の実施(受賞者2個人) ・文化団体への活動支援(事業補助3団体、大会派遣補助5件) ・十勝馬唄全国大会への支援(1件)					単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額
						事業費	3,288	3,972	3,502
						特定財源	200	200	619
						一般財源	3,088	3,772	2,883
						指標名	-		
	基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
	-	-	-	-	-	-			
評価検証	R7年度は、ホームページで各文化団体の活動内容を幅広く周知したほか、優秀な活動を表彰する機会を提供するなど、文化芸術活動を支える人材や団体に対する支援体制を維持し、目標を達成しました。								

施策 14 取組 1 番号 2 事務事業 市民文化活動促進事業									
目的	市民主体の文化芸術活動を推進します。					担当課	生涯学習文化課		
目標	市民芸術祭の出演者・出品者数について755人を目指します。								
事業実施状況	・市民主体の文化活動への支援(文化事業の後援件数173件) ・市民芸術祭の開催(ステージ出演者474人、展示出品者420人、茶会44人) ・文化芸術活動発表会の開催(1件)				単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額	
					事業費	1,460	2,460	1,460	
					特定財源	0	1,000	0	
					一般財源	1,460	1,460	1,460	
					指標名	市民芸術祭出演者・出品者数			単位
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値	
	755			755		755		755	
			739		769		938		
評価検証	R7年度の市民芸術祭の出演者・出品者数は938人であり、目標を達成しました。 募集案内の設置先を増やしたことや学校への案内を拡大したことが効果的であったと考えます。								

施策 14 取組 1 番号 3 事務事業 市民文芸誌発刊事業										
目的	文芸作品の表彰、文芸誌への掲載により、市民の主體的な文化活動を促進します。					担当課	図書館			
目標	市民文芸・とかちジュニア文芸の応募者数について404人を目指します。									
事業実施状況	・文芸作品の募集、表彰 ・各種関連教室、講座の開催（5講座、17人） ・『とかちジュニア文芸』の発刊（応募者185人） ・『市民文芸』の発刊（応募者97人）					単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額	
						事業費	2,164	2,300	2,436	
						特定財源	252	258	185	
						一般財源	1,912	2,042	2,251	
	指標名 市民文芸ととかちジュニア文芸の応募者数						単位	人		
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
	404			404 301	404 141		404 282			
評価検証	R7年度の市民文芸・とかちジュニア文芸の応募者数は282人であり、目標を達成しませんでした。 R6年度に比べ市民文芸は13人増、ジュニア文芸は128人増となったものの、事業の認知度不足により多くの応募に繋がらなかったことが要因であると考えます。 今後は、更なる新規応募者増につながる事業周知に向けて情報発信方法の工夫が必要と考えます。									

事務事業評価表

施策 14 取組 1 番号 4 事務事業 文化施設整備事業										
目的	文化施設の適切な改修や修繕などにより、利用者の安全性の確保や施設の機能維持を図ります。					担当課	生涯学習文化課			
目標	-									
事業実施状況	・ 市民文化ホールの改修、修繕				単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額		
					事業費	82,203	70,606	7,703		
					特定財源	57,100	55,000	4,015		
					一般財源	25,103	15,606	3,688		
	指標名				-			単位		
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
	-			-		-		-		
評価検証	-									

施策 14 取組 1 番号 5 事務事業 文化施設管理運営事業											
目的		文化施設の管理運営により、市民の文化芸術活動を支援するとともに、文化芸術にふれることができる機会を提供します。				担当課		生涯学習文化課、百年記念館			
目標		-									
事業実施状況	・グリーンステージの管理 ・市民文化ホールの管理運営 ・市民ギャラリーの管理		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額		
			事業費		190,916		196,653		194,989		
			特定財源		3,697		3,571		3,588		
			一般財源		187,219		193,082		191,401		
			指標名		-						単位
	基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値	
	-			-			-			-	
評価検証	-										

施策 14 取組 2 番号 1 事務事業 文化芸術鑑賞事業												
目的 市民に良質な文化芸術にふれる機会を提供し、文化芸術への関心を高めます。				担当課		生涯学習文化課、百年記念館						
目標		文化芸術の鑑賞機会を提供する鑑賞事業の満足度について83.0%を目指します。										
事業実施状況	・優れた文化芸術鑑賞機会の提供(8事業、28,507人)			単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額		
				事業費		1,700		1,700		1,700		
				特定財源		0		0		0		
				一般財源		1,700		1,700		1,700		
	指標名 鑑賞者の満足度								単位		%	
	基準値		R5	目標値		R6	目標値		R7	目標値		
				実績値			実績値					
83.0		83.0		83.0		83.0						
		89.1		98.5		99.3						
評価検証	R7年度の文化芸術鑑賞事業の鑑賞者の満足度は99.3%であり、目標を達成しました。											
	前年に実施した鑑賞者アンケートを踏まえ、参加者の関心のあるテーマを選定したことが効果的であったと考えます。											

事務事業評価表

施策 14 取組 2 番号 2 事務事業 子ども向け鑑賞機会提供事業											
目的	子どもたちに良質な文化芸術にふれる機会を提供し、子どもたちの感性や創造力の育成を図ります。					担当課	生涯学習文化課				
目標	親子で参加できるコンサートの満足度を維持します。										
事業実施状況	・子ども向けの文化芸術鑑賞機会の提供(4事業、2,905人)		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額		
			事業費		5,151		5,161		3,400		
			特定財源		0		0		500		
			一般財源		5,151		5,161		2,900		
	指標名		-						単位		
	基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値	
	-			-			-			-	
評価検証	R7年度の親子向けコンサートの鑑賞者満足度は99.1%であり、前年(99.3%)から減少し目標を達成しませんでした。 目標達成とはならなかったものの、高い満足度を得ていることから、引き続き、参加者からのアンケートを踏まえ、より親しみやすいコンサートとなるように取り組みます。										

施策 14 取組 3 番号 1 事務事業 文化財調査・保存事業									
目的	文化財等を保存・活用し、郷土の歴史や文化への理解を促進します。					担当課	百年記念館		
目標	一般公開を含めた文化財の活用件数の増加を目指します。								
事業実施状況	・文化財の保存、利活用				単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額	
					事業費	484	502	510	
					特定財源	0	0	0	
					一般財源	484	502	510	
	指標名				-			単位	
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値	
	-		-	-	-	-	-	-	
評価検証	R7年度の文化財を活用した公開事業における参加者数は前年から減少し116人となり、目標を達成しませんでした。 同時刻に市内でイベントがあったことなどが要因と考えます。 今後は、広報紙やホームページ、報道機関を通じて十勝鉄道蒸気機関車の公開時期に関する周知を早期から行う必要があると考えます。								

施策 14 取組 3 番号 2 事務事業 おびひろ・まちの歴史調査・収集普及事業									
目的	帯広の歴史に関する史料の収集・調査を実施し、体系にまとめることで今後のまちづくり、人づくりに活用します。					担当課	百年記念館		
目標	歴史に関する講座の受講者数について117人を目指します。								
事業実施状況	・史料収集調査と成果の公表（博物館講座2回、63人／連続講座4回、71名） ・帯広市史専門委員会の開催 ・普及事業を推進するネットワークづくり	単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
		事業費		3,470		4,417		4,581	
		特定財源		0		0		0	
		一般財源		3,470		4,417		4,581	
	指標名	歴史関係の博物館講座、連続講座の受講者数。					単位	人	
	基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
	117		117 160		117 146		117 134		
評価検証	R7年度の歴史に関する講座の人数は134人であり、目標を達成しました。 講座件数は例年通りですが、市民の関心に添った内容を企画したことや、リピーターが増加したことが要因と考えます。								

事務事業評価表

施策 14 取組 3 番号 3 事務事業 埋蔵文化財調査・保存・活用事業									
目的	埋蔵文化財の調査・保護・保存活用により、郷土の歴史への関心を深めます。					担当課	百年記念館		
目標	埋蔵文化財センター来館者数について184人を目指します。								
事業実施状況	・八千代A遺跡出土品の活用 ・埋蔵文化財の保護、保存 ・埋蔵文化財の調査研究、活用 ・埋蔵文化財センターの管理運営	単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額		
		事業費	3,746		7,009		10,340		
		特定財源	0		0		1,503		
		一般財源	3,746		7,009		8,837		
		指標名	埋蔵文化財センター来館者数				単位	人	
		基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値	
		184		184 287		184 323		184 215	
評価検証	R7年度の埋蔵文化財センター来館者数は215人であり、目標を達成しました。 市民がより郷土の歴史への関心を深める機会を提供するため、重要文化財をはじめ出土資料を活用した教育普及事業に継続して取り組んだことが要因だと考えます。								

施策 14 取組 3 番号 再 事務事業 アイヌ民族文化調査・普及事業<再掲22-4-4>											
目的		アイヌ民族文化情報センター「リウカ」において学ぶ機会を提供し、アイヌ民族の歴史・文化への理解を促進します。					担当課		百年記念館		
目標		-									
事業実施状況	・アイヌ民族文化に関する情報提供、普及活動 ・アイヌ民族文化に関する情報収集、調査	単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
		事業費		-		-		-		-	
		特定財源		-		-		-		-	
		一般財源		-		-		-		-	
		指標名		-						単位	
		基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
		-		-		-		-		-	
評価検証	-	-		-		-		-			

施策 14 取組 3 番号 再 事務事業 アイヌ伝統文化保存・伝承事業<再掲22-4-5>											
目的		アイヌ古式舞踊保護団体や、アイヌの伝統文化の保存・伝承活動を支援し、十勝に伝わるアイヌ文化の保存伝承、発展を図ります。					担当課	百年記念館			
目標		-									
事業実施状況	・帯広カムイトウボボ保存会への支援 ・アイヌ文化の保存伝承、普及啓発		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額		
			事業費		-		-		-		
			特定財源		-		-		-		
			一般財源		-		-		-		
			指標名		-					単位	
			基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
			-		-		-		-		
			-		-		-		-		
評価検証		-									

事務事業評価表

施策 14 取組 0 番号 1 事務事業 文化振興事業												
目的	情報収集などを通して、文化芸術振興に関する施策を総合的に推進します。					担当課	生涯学習文化課					
目標	-											
事業実施状況	・文化振興に関する事務 ・文化基金の管理				単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
					事業費		19,514		4,372		3,420	
					特定財源		19,378		4,190		3,258	
					一般財源		136		182		162	
	指標名				-				単位			
	基準値		R5	目標値		R6	目標値		R7	目標値		
				実績値			実績値			実績値		
	-		-		-		-		-			
評価検証	-											

事務事業評価表

施策 15 取組 1 番号 1 事務事業 学校開放事業														
目的		小・中学校の体育館等を開放し、市民にスポーツ活動の場を提供します。				担当課		スポーツ課						
目標		市民の主体的なスポーツ活動を促進する学校開放事業の利用者数について151,822人を目指します。												
事業実施状況	・小中学校の体育館等の地域への開放（287団体、延べ171,635人利用）		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額					
			事業費		2,020		2,699		2,543					
			特定財源		3,147		3,858		3,791					
			一般財源		△1,127		△1,159		△1,248					
	指標名		学校開放事業利用者数						単位		人			
	基準値		R5		目標値 実績値		R6		目標値 実績値		R7		目標値 実績値	
			87,860		105,432 168,326		126,518 178,863		151,822 171,635					
評価検証	R7年度の学校開放事業利用者数は171,635人であり、目標を達成しました。 SNS等での情報発信により、事業の認知度が向上したことが要因であると考えます。													

施策 15 取組 1 番号 2 事務事業 地域スポーツ振興事業									
目的	総合型地域スポーツクラブの支援やスポーツ教室、大会の開催などにより、市民が気軽にスポーツに親しむ機会を提供します。					担当課	スポーツ課		
目標	スポーツ教室開催数について37回を目指します。								
事業実施状況	・総合型地域スポーツクラブへの支援 ・地域ごとのスポーツ推進委員の配置（推進委員数49人） ・各種スポーツ教室の開催（60回、延べ1,669人参加） ・スポーツ大会の開催 ・パークゴルフ場の環境維持 ・フットバレーとかちマラソンの開催（参加人数5,563人）		単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額			
			事業費	31,797	32,204	36,841			
			特定財源	14,400	14,400	19,574			
			一般財源	17,397	17,804	17,267			
			指標名	スポーツ教室開催数				単位	回
	基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
	22		26 56	31 48	37 60				
評価検証	R7年度のスポーツ振興事業開催数は60回であり、目標を達成しました。 専門性の高い外部講師の派遣のほか、スポーツ推進委員と学校・地域との連携により、ニーズに即した多種多様なスポーツ教室の開催につながり効果的であったと考えます。								

施策 15 取組 1 番号 3 事務事業 社会体育施設管理運営事業											
目的		社会体育施設の管理運営により、市民のスポーツ活動やスポーツ交流の場を提供します。					担当課		スポーツ課		
目標		-									
事業実施状況	・社会体育施設の管理運営		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額		
			事業費		1,467,613		1,505,342		1,539,535		
			特定財源		35,389		35,738		36,667		
			一般財源		1,432,224		1,469,604		1,502,868		
	指標名		-						単位		
	基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値	
	-		-		-		-		-		
評価検証	-										

事務事業評価表

施策 15 取組 1 番号 4 事務事業 社会体育施設整備事業									
目的	社会体育施設の適切な改修や修繕などにより、利用者の安全性の確保や施設の機能維持を図ります。					担当課	スポーツ課		
目標	-								
事業実施状況	・施設の改修、修繕				単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額	
					事業費	287,283	79,992	181,639	
					特定財源	267,600	79,904	167,292	
					一般財源	19,683	88	14,347	
	指標名				-			単位	
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値	
	-			-		-		-	
評価検証	-								

施策 15 取組 1 番号 再 事務事業 健康づくり推進事業<再掲1-1-1>														
目的	健康意識の向上に関する取り組みや、生活習慣病予防に関する知識を普及する人材の育成などを通し、市民の健康づくりを推進します。							担当課	健康推進課					
目標	-													
事業実施状況	・健康マイレージの推進(参加者数延6,200人)				単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
					事業費		-		-		-			
					特定財源		-		-		-			
					一般財源		-		-		-			
					指標名		-				単位			
					基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
					-			-		-				
評価検証	-													

施策 15 取組 1 番号 再 事務事業 学校施設地域開放推進事業<再掲12-5-8>												
目的		体育館などの学校施設を地域に開放し、施設を有効に活用するとともに、学校と地域の結びつきを深めます。							担当課		企画総務課	
目標		-										
事業実施状況	・スポーツ、文化、地域活動等への施設開放 ・統合プールの維持管理		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
			事業費		-		-		-			
			特定財源		-		-		-			
			一般財源		-		-		-			
			指標名		-				単位			
			基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
			-			-		-		-		
評価検証	-											

事務事業評価表

施策 15 取組 2 番号 1 事務事業 スケート競技振興事業										
目的	子どもたちに年齢に応じたスケートの専門的指導を行い、競技力の向上を図ります。					担当課	スポーツ課			
目標	地域に根ざしたスポーツであるスケートの子どもたちの競技力向上を図るほっとドリームプロジェクト事業の参加者数について2,130人を目指します。									
事業実施状況	・スケート競技の裾野拡大や競技力向上を図る「ほっとドリームプロジェクト」の推進 ・競技者育成事業（延べ365人） ・地域応援体制確立事業（延べ1,959人） ・裾野拡大事業（延べ663人）	単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
		事業費	2,303		2,217		2,359			
		特定財源	505		505		436			
		一般財源	1,798		1,712		1,923			
		指標名	ほっとドリームプロジェクト事業参加者数					単位	人	
		基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
		1,840		1,932 2,654		2,029 2,283		2,130 2,987		
評価検証	R7年度のほっとドリームプロジェクト事業参加者数は2,987人であり、目標を達成しました。参加者アンケートの結果等を踏まえ、多くの人が参加しやすいように、各事業の日程やプログラム内容の設定を行ったことが効果的であったと考えます。									

施策 15 取組 2 番号 2 事務事業 団体・人材育成事業													
目的	専門性を備えたスポーツ指導者の育成やスポーツ少年団・スポーツ団体への支援を通し、人材の育成を図ります。					担当課	スポーツ課						
目標	スポーツ少年団加入割合の上昇を目指します。												
事業実施状況	・スポーツ少年団への支援（少年団数50団体、登録者数1,056人） ・スポーツ少年団指導者育成への支援（指導者数219人） ・各種交流大会等の開催 ・スポーツ推進委員の育成 ・帯広市スポーツ協会への支援 ・全国・全道大会等への派遣支援（184件、688人）					単位：千円		R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額			
						事業費		13,149	14,257	18,112			
						特定財源		0	0	5,450			
						一般財源		13,149	14,257	12,662			
						指標名		-		単位			
						基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値
						-			-		-		-
評価検証	R7年度のスポーツ少年団の加入割合は14.0%（前年比0.2ポイント減）であり、目標を達成しませんでした。 スポーツ、習い事の多様化などが要因と考えます。 今後も、スポーツ少年団の指導者育成に向けた支援を行うほか、児童生徒や保護者に関心を持ってもらうきっかけづくりとして気軽に参加できる体験会やイベントの開催などに取り組んでいくことが必要と考えます。												

施策 15 取組 2 番号 3 事務事業 スポーツ振興推進事業										
目的	健康スポーツ都市宣言の理念に基づき、スポーツ振興に関する施策を総合的に進めます。					担当課	スポーツ課			
目標	-									
事業実施状況	・スポーツ賞、スポーツ奨励賞の実施（スポーツ賞 成績部門：個人2人 団体3組、スポーツ奨励賞 個人5人 団体4組） ・スポーツ振興に関する事務 ・スポーツ推進審議会の開催 ・スポーツ振興基金の管理	単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
		事業費	192,729		31,429		26,708			
		特定財源	185,792		23,315		18,164			
		一般財源	6,937		8,114		8,544			
		指標名	-					単位		
		基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
		-	-		-		-			
評価検証	-									

事務事業評価表

施策 15 取組 3 番号 1	事務事業 スポーツ大会・合宿等誘致事業									
目的	情報発信や関係団体と連携し、スポーツ大会・合宿等の誘致を進めるほか、プロスポーツの選手と触れ合う機会を創出します。					担当課	スポーツ課			
目標	スポーツに関連した大会や合宿で本市を訪れる人数について8,561人を目指します。									
事業実施状況	・各種全国・全道大会等の誘致、開催支援 (36大会への支援) ・合宿の誘致(宿泊団体数478団体、宿泊者数10,035人) ・スケート国際大会の誘致・開催 ・プロスポーツ等の誘致	単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
		事業費	44,986		9,328		10,001			
		特定財源	0		0		0			
		一般財源	44,986		9,328		10,001			
		指標名	大会・合宿で訪れた人数					単位	人	
		基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
		4,954		5,945 7,657		7,134 9,002		8,561 10,035		
評価検証	R7年度の大会・合宿で訪れた人数は10,035人であり、目標を達成しました。スポーツ施設の受け入れ体制が整っていることや各種大会等への開催支援などにより、大会や合宿等の開催地として選定される環境づくりが進んでいることが要因であると考えます。									

事務事業評価表

施策 16 取組 1 番号 1 事務事業 再生可能エネルギー導入促進事業												
目的	太陽光やバイオマスなどの再生可能エネルギーの導入を促進し、エネルギーの有効活用を図ります。					担当課	環境課					
目標	新エネルギー機器の導入数の増加を目指します。											
事業実施状況	・新エネルギー機器の導入促進 (太陽光発電システム95件、蓄電池77件、V2H充放電設備1件、木質ペレットストーブ8件、潜熱回収型ガス給湯暖房機（ガスエンジンコージェネレーションシステム併設を含む）14件、C02冷媒ヒートポンプ給湯器152件)				単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
					事業費		88,114		68,806		53,514	
					特定財源		68,137		58,780		45,606	
					一般財源		19,977		10,026		7,908	
					指標名		-				単位	
	基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値		
	-			-			-			-		
評価検証	R7年度は、ゼロカーボンの取り組みや市の補助事業をホームページや広報紙で周知したことにより、新エネルギー機器の導入が進み、目標を達成しました。											

施策 16 取組 1 番号 2 事務事業 環境意識向上対策事業									
目的	学校などと連携した環境教育などを進め、市民の環境に対する意識の向上を図ります。					担当課	環境課		
目標	環境に対する市民の意識向上を図る出前環境教室の参加者数の増加を目指します。								
事業実施状況	・帯広市環境白書の作成、公表 ・ホームページ等による環境情報の提供 ・環境にやさしい活動実践校の取り組み支援 (活動実践校：市内25小学校、13中学校、1高校、1義務教育学校) ・出前環境教室の実施(22回 1,293人) ・環境パネル展の開催 ・環境学習会(1回 28名参加)、環境交流会の開催(1,395人来場) ・ゼロカーボン啓発チラシの全戸配布(71,000部配布) ・デコ活の推進		単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額			
			事業費	828	1,304	1,384			
			特定財源	516	978	799			
			一般財源	312	326	585			
			指標名	-			単位		
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値	
	-			-		-		-	
				-		-		-	
評価検証	R7年度は、出前環境教室の参加者数が前年より減少し、目標を達成しませんでした。 出前環境教室の周知方法をおびひろ市民学と合わせての周知から出前環境教室単独での周知へ変更したことにより、小学校からの申込が減少したことが要因であると考えます。 今後は、小学校からの参加が回復するよう、周知方法について検討、改善を行う必要があると考えます。								

施策 16 取組 1 番号 3 事務事業 省エネルギー活動推進事業										
目的	行政における省エネルギーへの率先した取り組みや市民、企業への普及啓発などにより、エネルギーの有効活用を図ります。					担当課	環境課			
目標	廃食用油の家庭からの回収量について78,917ℓを目指します。									
事業実施状況	・公共施設の省エネ化 ・廃食用油のリサイクル推進 (廃食用油の回収、バイオディーゼル燃料の公用車等での利用) ・電気自動車など次世代自動車の普及啓発 ・ノーカーデーの実施 (延参加人数10,090人、距離数50,682km、CO2削減量7,408kg) ・家庭における省エネの促進	単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額		
		事業費		77		78		350		
		特定財源		0		0		275		
		一般財源		77		78		75		
		指標名	家庭用廃食用油の回収量					単位	ℓ	
		基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
		72,424		78,917 63,164		78,917 64,693		78,917 60,657		
評価検証	R7年度の家庭用廃食用油の回収量は60,657ℓであり、目標を達成しませんでした。 食品価格の高騰により、家庭における食用油の使用量の減少などが主な要因であると考えます。 今後も、目標回収量の達成に向け、ホームページや広報を活用し、市民に廃食用油回収の意義について周知啓発を行っていく必要があると考えます。									

事務事業評価表

施策 16 取組 1 番号 4 事務事業 エコタウン構想推進事業									
目的	リサイクル関連施設等の集積など、エコタウン構想を推進し、環境負荷低減・温室効果ガス削減を図ります。					担当課	中島地区振興課		
目標	-								
事業実施状況	・土地利用に向けた地域、関係機関等との調整 ・環境関連企業の立地促進 ・中島緑地用地の管理	単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額		
		事業費	809		1,108		798		
		特定財源	0		0		0		
		一般財源	809		1,108		798		
		指標名	-					単位	
		基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値	
		-		-	-	-	-		
評価検証	-								

施策 16 取組 1 番号 再 事務事業 フードバレーとから推進事業<再掲9-2-3>2													
目的	十勝管内の自治体や関係機関と連携し、地域の農林水産物の付加価値向上や情報発信などに取り組み、「フードバレーとからち」を推進します。						担当課	経済企画課					
目標	-												
事業実施状況	・バイオマス産業都市構想の推進				単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
					事業費	-		-		-			
					特定財源	-		-		-			
					一般財源	-		-		-			
					指標名	-						単位	
					基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
					-		-		-		-		
評価検証	-												

施策 16 取組 2 番号 1 事務事業 排出指導事業										
目的	排出マナーの周知や指導などにより、ごみの適正排出を促進します。					担当課	清掃事業課			
目標	ごみの適正排出に関する問い合わせ・苦情件数について22,384件以下を目指します。									
事業実施状況	・清掃指導員の巡回パトロールの実施 ・排出マナーの周知・適正排出指導 ・ごみの減量化・資源化の周知・指導 ・ごみステーションのごみ飛散防止（カラス等への対策） ・身体障害などによりごみ排出が困難な世帯への戸別収集（サポート収集事業）の実施	単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
		事業費	10,230		10,593		11,199			
		特定財源	0		0		0			
		一般財源	10,230		10,593		11,199			
		指標名	問い合わせ・苦情件数				単位	件		
		基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
		24,941		24,058 23,040		23,206 22,999		22,384 23,580		
評価検証	R7年度の問い合わせ・苦情件数（指導件数）は23,580件であり、目標を達成しませんでした。火災事故の報道などにより、スプレー缶や小型充電式電池などの有害危険ごみの排出に関する市民意識が高まり、問い合わせや指導の件数が増加したことが要因であると考えます。分別パンフレット、指導チラシの配布やSNS等を活用した効果的な周知や指導により、適正排出ルールの理解を促進していく必要があると考えます。									

事務事業評価表

施策 16 取組 2 番号 2 事務事業 不法投棄対策事業										
目的		夜間パトロールなどの実施により、ごみの不法投棄を防止します。				担当課		清掃事業課		
目標		ごみの不法投棄件数について24件以下を目指します。								
事業実施状況	・ 不法投棄防止の意識啓発 ・ 夜間パトロールの実施	単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
		事業費	4,449		4,567		4,646			
		特定財源	0		0		0			
		一般財源	4,449		4,567		4,646			
		指標名	不法投棄件数					単位	件	
		基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
		47		24 27		24 23		24 26		
評価検証	R7年度の不法投棄件数は、26件で目標を達成しませんでした。 件数のうち22件が特定廃家電であり、法令順守など適正排出に關しての意識の低さが不法投棄につながる要因と考えます。 今後も、夜間パトロールの実施による防止対策やパンフレットやホームページ等による適正排出の啓発を引き続き行っていく必要があると考えます。									

施策 16 取組 2 番号 3 事務事業 資源回収推進事業									
目的	町内会等の資源集団回収・資源回収事業者への支援により、地域の自主的なリサイクル活動を進め、再資源化やごみの減量化を促進します。				担当課	清掃事業課			
目標	町内会等における資源集団回収量について5,669tを目指す。								
事業実施状況	・資源集団回収の奨励 ・資源回収事業者への支援		単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額			
			事業費	38,767	36,122	32,232			
			特定財源	0	0	0			
			一般財源	38,767	36,122	32,232			
	指標名		資源集団回収量			単位	t		
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値	
5,669			5,669	5,669		5,669			
			4,749	4,342	3,827				
評価検証	R7年度の資源集団回収量は3,827tであり、目標を達成しませんでした。 町内会などの新たな団体へ参加を呼びかけたものの、回収される資源の軽量化、町内会の解散などにより資源集団回収を実施する団体数が減少傾向であることや団体規模（参加人数）の縮小により、回収量が減少していることが要因と考えます。また、R7年度に制度を見直し、回収月数が一カ月少ないことも要因であると考えます。今後も、効果的な周知を図り、新たな団体の参加につなげ、地域の自主的なリサイクル活動を支援していく必要があると考えます。								

施策 16 取組 2 番号 4 事務事業 リサイクル推進事業									
目的	ごみの分別収集を進め、再資源化を促進します。					担当課	清掃事業課		
目標	資源ごみの排出量について8,462tを目指します。								
事業実施状況	・廃棄物減量等推進審議会の開催 ・資源ごみの収集・運搬 ・資源の収集車両の維持管理 ・小型家電リサイクル事業の実施	単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額				
		事業費	251,370	323,988	334,890				
		特定財源	0	0	6				
		一般財源	251,370	323,988	334,884				
		指標名	資源ごみ排出量				単位	t	
		基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値	
		7,980		8,138 7,781		8,298 7,630		8,462 7,463	
評価検証	R7年度の資源ごみ排出量は7,463tであり、目標を達成しませんでした。 パンフレットや指導巡回などで適正な分別への理解を市民へ促していますが、容器包装の軽量化や新聞・雑誌等の購読の減少、ペーパーレス化などが要因と考えます。 今後も、広報紙やごみ懇談会等を通じて、資源化の促進について効果的な周知に取り組む必要があると考えます。								

事務事業評価表

施策 16 取組 2 番号 5 事務事業 ごみ発生抑制・再使用促進事業										
目的	市民への意識啓発などにより、ごみの発生抑制及び再使用を促進します。				担当課	清掃事業課				
目標	ごみの発生抑制や資源の再使用に対する意識向上を図る出前講座の参加者数について1,679人を目指します。									
事業実施状況	・生ごみ減量の促進 （「デイスボーズ」の周知、生ごみ堆肥化容器（31件）・電動生ごみ処理機（35件）の購入支援、ダンボールコンポストのPR） ・ごみ発生抑制の周知 （「ごみコミュニティメール」の発行（1回）、環境学習支援事業の実施（23校）、ごみ懇談会の開催（5回）、エコエコ紙芝居の開催（2回）、簡易包装のPR、マイバッグ持参運動の推進） ・リサイクルイベント（リサイクル広場）の開催（2回） ・収集曜日区域図の作成	単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額					
		事業費	2,365	2,538	2,584					
		特定財源	327	349	325					
		一般財源	2,038	2,189	2,259					
		指標名	出前講座参加者人数				単位	人		
		基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
		1,307		1,679 1,336		1,679 1,178		1,679 1,299		
評価検証	R7年度の出前講座参加者人数は、1,299人で目標を達成しませんでした。 ごみ懇談会とエコエコ紙芝居の参加人数は昨年度を上回ったものの、環境学習支援事業の1回当たりの参加人数が町内会の規模縮小や児童数の減少により、減少したことが要因と考えます。 今後も、広報紙やホームページ等の様々な媒体で利用を呼びかけ、参加者数の拡大を図っていく必要があります。									

施策 16 取組 2 番号 6 事務事業 災害廃棄物処理事業									
目的	大規模災害発生時に、災害廃棄物を適切かつ迅速に処理を進めます。					担当課	清掃事業課		
目標	-								
事業実施状況	・ 災害廃棄物の処理方法に関する市民周知 ・ 災害廃棄物を迅速に処理するための準備 ・ 災害発生時の適正かつ迅速な災害廃棄物の処理	単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額		
		事業費	0		0		0		
		特定財源	0		0		0		
		一般財源	0		0		0		
		指標名	-					単位	
		基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値	
		-		-		-		-	
		-		-		-			
評価検証	-								

施策 16 取組 2 番号 7 事務事業 清掃施設管理運営事業									
目的	清掃施設を管理運営し、業務を円滑に進めます。					担当課	清掃事業課		
目標	-								
事業実施状況	・ 清掃センターの管理運営	単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額		
		事業費	11,591		13,860		18,438		
		特定財源	303		2,402		220		
		一般財源	11,288		11,458		18,218		
		指標名	-					単位	
		基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値	
		-		-		-		-	
評価検証	-		-		-		-		

事務事業評価表

施策 16 取組 2 番号 8 事務事業 旧ごみ埋立処分場管理事業											
目的		旧ごみ埋立処分場を適切に維持管理し、施設周辺の環境保全を図ります。					担当課		清掃事業課		
目標		-									
事業実施状況	・旧ごみ埋立処分場の管理		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額		
			事業費		1,882		2,007		2,100		
			特定財源		0		0		0		
			一般財源		1,882		2,007		2,100		
			指標名		-						単位
	基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値	
	-			-			-			-	
				-			-			-	
評価検証	-										

施策 16 取組 2 番号 9 事務事業 ごみ処理施設管理運営事業									
目的	一般廃棄物の処理を行う処理施設を管理運営し、廃棄物の効率的な処理を進めます。					担当課	清掃事業課		
目標	-								
事業実施状況	・ごみ処理施設の管理運営〈実施主体：十勝圏複合事務組合〉 （くりりんセンター、一般廃棄物最終処分場、リサイクルプラザ） ・新中間処理施設の整備〈実施主体：十勝圏複合事務組合〉 ・廃棄物処理施設整備基金の管理	単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額		
		事業費	791,764		3,281,062		1,167,383		
		特定財源	0		2,556,210		413,314		
		一般財源	791,764		724,852		754,069		
		指標名	-					単位	
		基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値	
		-		-		-		-	
		-		-		-			
評価検証	-								

施策 16 取組 2 番号 10 事務事業 し尿処理施設管理運営事業									
目的	し尿処理施設を管理運営し、し尿等の効率的な処理を進めます。					担当課	清掃事業課		
目標	-								
事業実施状況	・し尿処理施設の管理運営（実施主体：十勝圏複合事務組合）	単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額		
		事業費	28,156		28,647		28,472		
		特定財源	1,459		1,458		1,456		
		一般財源	26,697		27,189		27,016		
		指標名	-					単位	
		基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値	
		-	-	-	-	-	-		
-	-								
評価検証	-								

事務事業評価表

施策 16 取組 2 番号 11 事務事業 ごみ収集・運搬事業									
目的	ごみの収集・運搬を円滑に行い、ごみの適正処理を進めます。					担当課	清掃事業課		
目標	-								
事業実施状況	・ごみの収集、運搬業務 ・ごみの収集車両の維持管理		単位：千円		R5年度決算額	R6年度決算額		R7年度決算額	
			事業費		314,893	318,500		326,982	
			特定財源		260,850	264,521		267,842	
			一般財源		54,043	53,979		59,140	
			指標名		-				単位
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値	
	-			-		-		-	
			-		-		-		
評価検証	-								

施策 16 取組 2 番号 12 事務事業 ごみ処理手数料収納管理事業										
目的	指定ごみ袋・処理券の管理、ごみ処理手数料の収納業務を適切に進めます。				担当課		清掃事業課			
目標	-									
事業実施状況	・指定ごみ袋、ごみ処理券の作成、保管、配送、販売業務 ・ごみ処理手数料の収納管理事務	単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額		
		事業費		129,196		123,272		127,575		
		特定財源		104,917		92,959		85,702		
		一般財源		24,279		30,313		41,873		
		指標名		-				単位		
		基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値	
		-			-		-		-	
評価検証	-									

施策 16 取組 2 番号 13 事務事業 し尿収集・運搬事業										
目的	し尿等の収集・運搬を円滑に行い、し尿等の適正処理を進めます。					担当課	清掃事業課			
目標	-									
事業実施状況	・し尿、汚水の収集、運搬業務	単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額		
		事業費		68,383		68,398		68,365		
		特定財源		19,570		17,195		19,889		
		一般財源		48,813		51,203		48,476		
		指標名		-					単位	
		基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値	
		-			-		-		-	
評価検証	-									

事務事業評価表

施策 16 取組 2 番号 14 事務事業 し尿処理手数料収納管理事業												
目的		し尿処理券の管理、し尿処理手数料の収納業務を適切に進めます。					担当課		清掃事業課			
目標		-										
事業実施状況	・し尿処理券の作成、販売業務 ・し尿処理手数料の収納管理業務		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
			事業費		1,545		1,642		1,576			
			特定財源		0		0		0			
			一般財源		1,545		1,642		1,576			
			指標名		-						単位	
			基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
			-		-	-	-	-	-			
-		-										
評価検証		-										

施策 16 取組 2 番号 15 事務事業 一般廃棄物処理業関連事業										
目的	一般廃棄物処理業の許可等に関する事務を進めます。						担当課	清掃事業課		
目標	-									
事業実施状況	・ 一般廃棄物処理業許可事務 ・ 浄化槽清掃業許可事務		単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額		
			事業費	488		539		528		
			特定財源	1,376		1,062		1,305		
			一般財源	△888		△523		△777		
			指標名	-						単位
	基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値			
	-	-	-	-	-	-				
評価検証	-									

施策 16 取組 3 番号 1 事務事業 環境監視・測定事業										
目的	環境（大気、河川、騒音、振動、悪臭）の監視・測定や対策に取り組む、生活環境の保全を図ります。						担当課	環境課		
目標	河川水質等の環境基準の達成を維持します。									
事業実施状況	・大気の測定調査の実施（各項目市内1箇所、窒素酸化物、微小粒子状物質） ・河川の水質測定調査の実施（市内8河川11地点、生活環境項目・健康項目調査） ・地下水の水位観測の実施（市内4箇所） ・工場等の騒音、振動発生施設の立入調査、指導 ・自動車、航空機騒音の測定調査の実施（固定局2箇所、移動局4箇所） ・悪臭の測定調査、防止対策の実施（市内2事業所3地点） ・公害事故等調査の実施 ・公害苦情への対応（47件） ・公害パトロールの実施 ・低濃度PCB廃棄物処理に向けた準備				単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額		
					事業費	18,277	16,530	16,529		
					特定財源	45	45	45		
					一般財源	18,232	16,485	16,484		
					指標名	-			単位	
		基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
		-		-		-		-		
				-		-		-		
評価検証	R7年度は、環境基準類型指定河川の測定6地点すべてにおいて環境基準を満たし、目標を達成しました。									

事務事業評価表

施策 16 取組 3 番号 2 事務事業 自然環境保全対策事業										
目的	自然環境保全地区の監視などにより、自然林や生物生息環境など自然環境の保全を図ります。					担当課	環境課			
目標	自然環境保全地区をはじめとした市内森林面積の減少を抑制します。									
事業実施状況	・自然環境保全地区の監視（監視員3名、月2回） ・移入動物問題等に関する情報提供（ホームページ、広報おびひろ、ラジオ等による情報提供） ・公共工事環境配慮ガイドラインに基づく取り組みの推進 ・アライグマ防除対策の実施（捕獲頭数：148頭） ・日高山脈襟裳十勝国立公園の保全に関する取り組みの推進		単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額				
			事業費	2,762	3,310	3,296				
			特定財源	329	2,049	2,061				
			一般財源	2,433	1,261	1,235				
			指標名	-			単位			
		基準値	R5	目標値	R6	目標値	R7	目標値		
				実績値		実績値		実績値		
				-		-		-		
評価検証	R7年度は、前年に比べて森林面積が減少したものの、減少率は0.04%と極めて小さく、自然環境保全地区等の自然環境は保全されており、目標を達成しました。									

施策 16 取組 3 番号 3 事務事業 環境保全連携促進事業												
目的	市民・事業者・行政の連携により、環境負荷低減の取り組みを進めます。					担当課	環境課					
目標	個人で清掃活動を行うエコフレンズの登録者数の増加を目指します。											
事業実施状況	・帯広市町内会連合会と連携したまち美化の推進（花苗共同購入事業実施1回：25連合町内会の参加） ・清掃ボランティア「エコフレンズ」の推進（登録者数4,122人） ・清掃ボランティア「クリーン・キャンパス・21」への協力、支援 ・空き地の草刈り指導（苦情受付件数64件）				単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額				
					事業費	210	224	235				
					特定財源	0	0	0				
					一般財源	210	224	235				
					指標名 -				単位			
					基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値
					-			-		-		-
			-		-		-					
評価検証	R7年度は、ホームページ等で取り組みを周知したことにより、エコフレンズの登録者数が増加し、目標を達成しました。											

施策 16 取組 3 番号 4 事務事業 犬等管理事業										
目的	犬等の適正な管理や飼育指導により、狂犬病の発生防止と生活環境の保全を図ります。					担当課	環境課			
目標	-									
事業実施状況	・ 畜犬の登録及び狂犬病予防注射の接種促進（新規登録：619頭、注射接種：4,898頭） ・ 犬等の適正飼育の啓発、指導（飼い主へのチラシの送付、苦情等による指導件数：37件） ・ 野犬の掃と（浮浪犬捕獲頭数：19頭）	単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
		事業費	7,900		9,077		9,255			
		特定財源	4,915		4,584		4,566			
		一般財源	2,985		4,493		4,689			
		指標名	-					単位		
		基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
		-		-		-		-		
評価検証	-									

事務事業評価表

施策 16		取組 0		番号 1		事務事業		環境関連計画推進事業									
目的		環境基本計画などの環境関連計画に基づき、環境保全に関する施策を総合的に推進します。						担当課		環境課							
目標		-															
事業実施状況		・帯広市環境基本計画の推進 ・帯広市環境審議会の開催（2回） ・エネルギーの使用の合理化等に関する法律（省エネ法）に基づく事務 ・帯広市環境基金の管理 ・帯広市エコオフィスプランの推進 ・帯広市ゼロカーボン推進計画の推進				単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額					
						事業費		34,053		23,312		29,410					
						特定財源		27,142		15,095		21,452					
						一般財源		6,911		8,217		7,958					
						指標名		-						単位			
		基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値								
		-			-		-		-								
評価検証		-															

事務事業評価表

施策 17 取組 1 番号 1 事務事業 防災意識普及啓発事業									
目的	防災に関する情報提供や教育、実践的な防災訓練などを通して、防災意識の向上を図ります。				担当課		危機対策課		
目標	防災訓練・講座の参加者数について6,047人を目指します。								
事業実施状況	・地域防災訓練の実施（206人） ・冬季防災訓練の実施（217人） ・防災講座の実施（179件 9,072人） ・地域防災マネージャーの配置（1人） ・WEB版ハザードマップの維持管理				単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額	
					事業費	5,316	6,259	6,623	
					特定財源	0	0	0	
					一般財源	5,316	6,259	6,623	
					指標名	防災活動への参加者数			単位
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値	
	4,529			6,047 6,739		6,047 8,206		6,047 9,495	
評価検証	R7年度の防災活動への参加者数は9,495人であり、目標を達成しました。 イベントでの防災に関する啓発活動を積極的に実施したほか、R6年の元日に発生した能登半島地震など、日本各地で災害が発生し、市民の防災意識が高まったことで、防災出前講座の申し込みが大幅に増加したものと考えます。								

施策 17 取組 2 番号 1 事務事業 要支援者避難支援体制整備事業										
目的	要支援者の把握を進めるとともに、地域などと協力し、避難支援体制を整備します。					担当課		危機対策課		
目標	災害時に自力で避難することが困難な避難行動要支援者の避難支援等を定める個別計画の策定完了件数について374件を目指します。									
事業実施状況	・おびひろ避難支援プランの推進（R7年度末：要支援者数3,632人、計画作成完了件数216件）		単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額		
			事業費	505		684		7,539		
			特定財源	0		0		0		
			一般財源	505		684		7,539		
			指標名	避難行動要支援者の個別計画策定完了件数					単位	件
			基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値	
			334		374 281		374 247		374 216	
評価検証	R7年度の避難行動要支援者の個別計画作成完了件数は216件（新規作成2件、施設入所などでの除外33件）であり目標を達成しませんでした。 支援者（町内会等）が、制度の複雑さや要支援者の支援を負担に感じており、計画作成につながらないことが要因であると考えます。 R6年度に地域で広く計画作成に取り組むことができるよう、制度の見直しを行った上で、R7年度には福祉事業所と連携し、優先度の高い要支援者の同意確認が概ね取れたことから、今後も引き続き、福祉事業所と連携しながら、優先度の高い要支援者への個別計画の作成を進めていきます。									

施策 17 取組 2 番号 2 事務事業 自主防災組織育成事業									
目的	自主防災組織の育成や指導的役割を担う人材の育成を進め、地域防災力の向上を図ります。				担当課		危機対策課		
目標	自主防災組織への防災出前講座の実施率について65.0%を目指します。								
事業実施状況	・帯広市町内会連合会への支援 ・自主防災組織の育成 ・地域防災マネージャーの配置（1人）				単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額	
					事業費	5,364	6,362	6,634	
					特定財源	0	0	0	
					一般財源	5,364	6,362	6,634	
	指標名	自主防災組織への防災出前講座実施率				単位	%		
	基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
	35.1		65.0 38.4		65.0 46.2		65.0 52.2		
	評価検証	R7年度の自主防災組織への防災出前講座実施率は52.2%であり、昨年度より6.0ポイント上昇したものの、目標を達成しませんでした。 自主防災組織の主体である町内会が活動を縮小し、防災出前講座を実施する余力がないこと等が要因であると考えます。 今後も引き続き、町内会の他の行事との同時開催や短時間講座など、様々な形態での実施が可能であることを周知する機会を増やしていく必要があります。							

事務事業評価表

施策 17 取組 3 番号 1 事務事業 建築物耐震化推進事業											
目的 地震による建築物の倒壊の被害や、これに起因する市民の生命及び財産に対する被害を未然に防止するため、建築物の耐震化を促進します。				担当課		建築開発課					
目標 住宅の耐震化率について95.0%を目指します。											
事業実施状況	・耐震診断・改修・建替え・除却への支援及び相談体制の整備（診断：支援0件、相談0件、改修：支援0件、相談0件、建替え：支援0件、相談0件、除却：支援0件、相談5件） ・パンフレット等による情報提供及び市民向けセミナー等の開催 ・無料耐震簡易診断の実施 ・帯広市耐震改修促進計画の推進 ・要緊急安全確認大規模建築物への支援（ふじまるビル解体）			単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
				事業費		218		314		139,964	
				特定財源		100		225		121,998	
				一般財源		118		89		17,966	
				指標名		住宅耐震化率				単位	
	基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値	
				92.3			93.7 93.2			94.3 93.5	
評価検証	R7年度の耐震化率は93.8%であり、目標を達成しませんでした。住宅の無料耐震簡易診断を通し耐震化の理解の促進に努めましたが、耐震改修に要する経費の負担感などが要因で耐震化が進んでいないと考えます。今後も、補助金制度や耐震化に関する市民理解促進に努めていく必要があると考えます。また、除却支援において、建設当時の図面が無く補助金の要件に満たない事案が多く発生していましたが、R8年度から容易な耐震診断調査票により診断可能とし、建替え、除却補助の活用や耐震化率の向上に努めていきます。										

施策 17 取組 3 番号 2 事務事業 地域防災推進事業									
目的 災害・緊急時の通信体制の確保や避難経路の明示など、避難所や防災拠点施設の維持管理に取り組みます。				担当課		危機対策課			
目標 災害時における市民の適切な避難行動につなげる体制を確保します。									
事業 実施 状況	・災害時の情報発信、連絡体制の整備及び維持管理 ・避難所機能の整備及び維持管理（非常用発電機等） ・防災資機材等整備基準に基づく備蓄品の更新、整備 ・緊急情報一斉伝達システムの運用 ・備蓄倉庫の維持管理 ・地域防災無線の更新			単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額		
				事業費	160,860	183,231	614,454		
				特定財源	147,000	169,800	600,300		
				一般財源	13,860	13,431	14,154		
				指標名	-			単位	
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値	
	-			-		-		-	
評価 検証	R7年度は、備蓄基準に基づく備蓄品の整備を計画通りに進め、拠点備蓄倉庫及び各指定避難所の防災備蓄倉庫、自主防災倉庫を適正に維持・管理しました。 また、指定避難所の停電対策として、非常用発電機を13ヶ所に整備したほか、地域防災無線の更新や緊急情報一斉伝達システムなどの各種通信・周知手段のシステム維持管理を行い、いずれも適正に作動できる体制を維持しており、目標を達成しました。								

施策 17 取組 3 番号 3 事務事業 防災事業									
目的	防災関係機関との連携による防災体制の整備のための事務を行います。				担当課		危機対策課		
目標	民間企業等との防災協定の締結数の増加を目指します。								
事業実施状況	・防災会議の開催（書面開催）（1回） ・民間企業等との防災協定の締結（85件、うち新規：3件） ・自衛官募集事務の実施 ・十勝地方山岳遭難防止対策協議会に係る事務対応 ・帯広市強靱化計画の策定				単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額	
					事業費	798	907	898	
					特定財源	163	198	198	
					一般財源	635	709	700	
					指標名	-			単位
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値	
	-			-		-		-	
評価検証	防災体制の強化に向け、民間企業等と協議を進めたことにより、R7年度の民間企業等との防災協定締結数は3件となり、R7年度末の防災協定締結数は、計85件となるなど、目標を達成しました。 今後も引き続き、民間企業等と協定の締結に関する協議を進め、防災力の強化を図ります。								

事務事業評価表

施策 17 取組 3 番号 4 事務事業 国民保護計画推進事業												
目的	国及び道の計画を踏まえ、市の国民保護に関する計画に基づき、関係機関と連携協力し実施する国民保護措置を総合的に推進します。							担当課		危機対策課		
目標	-											
事業実施状況	・ 帯広市国民保護計画の推進 ・ 国民保護勉強会の開催				単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
					事業費		0		0		0	
					特定財源		0		0		0	
					一般財源		0		0		0	
	指標名				-				単位			
	基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値		
	-			-			-			-		
評価検証	-											

施策 17 取組 3 番号 5 事務事業 河川管理事業												
目的	河川を適切に管理し、洪水などの被害を防止します。						担当課	管理課、道路維持課				
目標	河川敷地の管理や支障木処理、河川パトロールなどを通じ河川を適切に管理します。											
事業実施状況	・ 樋門樋管の点検管理（36箇所） ・ 河川敷地の管理 ・ 河川敷地の支障木処理 ・ 河川のパトロール				単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
					事業費		13,816		16,454		26,927	
					特定財源		2,786		2,873		15,315	
					一般財源		11,030		13,581		11,612	
	指標名								単位			
	基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値		
	-			-			-			-		
評価検証	R7年度は、洪水時の被害防止のため、樋門樋管の点検管理や河川敷地の草刈りを行ったほか、河川敷地の支障木の伐採を実施するなど、河川の適切な管理に取り組んでおり、目標を達成しました。											

施策 17 取組 3 番号 6 事務事業 治水対策事業												
目的	国や道に対する十勝川流域水系の整備や適正な管理の要望などを通し、治水対策を促進します。							担当課		管理課		
目標	-											
事業実施状況	・十勝川治水促進期成会を通した要望活動の実施（要望活動2回、意見交換会2回）				単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
					事業費		140		140		140	
					特定財源		0		0		0	
					一般財源		140		140		140	
					指標名		-				単位	
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値				
	-		-		-		-					
評価検証	-											

事務事業評価表

施策 17 取組 3 番号 再 事務事業 配水管整備事業<再掲20-1-1>2														
目的		配水管の計画的な更新による耐震性の向上などを進め、水道水の安定供給を図ります。					担当課		水道課					
目標		-												
事業実施状況	・配水管の整備 L=520.5m ・老朽管の更新 L=6,541.3m ・配水管等の耐震化 L=2,020.7m					単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額		
						事業費		-		-		-		
						特定財源		-		-		-		
						一般財源		-		-		-		
	指標名					-					単位			
	基準値		R5		目標値 実績値		R6		目標値 実績値		R7		目標値 実績値	
	-				-				-				-	
評価検証	-													

施策	17	取組	3	番号	再	事務事業	浄水場等耐震化事業<再掲20-1-2>				
目的	浄水場等の計画的な耐震化により、水道水の安定供給を図ります。						担当課	水道課			
目標	-										
事業実施状況	・稲田浄水場等の地震対策						単位：千円		R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額
							事業費		-	-	-
							特定財源		-	-	-
							一般財源		-	-	-
	指標名						単位				
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値			
	-			-		-		-			
評価検証	-								-	-	-
									-	-	-

施策 17 取組 3 番号 再 事務事業 浸水対策下水道事業<再掲20-1-3>														
目的		雨水管の整備などにより、浸水地域の解消を図り、安全で快適な生活環境づくりを進めます。					担当課		下水道課					
目標		-												
事業実施状況	・公共下水道雨水管の整備					単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額		
						事業費		-		-		-		
						特定財源		-		-		-		
						一般財源		-		-		-		
	指標名					-					単位			
	基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値				
	-			-			-			-				
評価検証	-													

事務事業評価表

施策 17 取組 3 番号 再 事務事業 災害時体制強化事業<再掲20-1-4>												
目的 自然災害等による被害を最小限にとどめ、被害を受けた場合であっても迅速に復旧できる上下水道の体制強化を図ります。				担当課		水道総務課ほか						
目標 -												
事業実施状況	・災害対策備蓄資器材等の充実 ・応急給水体制などの維持			単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額		
				事業費		-		-		-		
				特定財源		-		-		-		
				一般財源		-		-		-		
	指標名			-					単位			
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値				
	-			-		-		-				
評価検証	-											

事務事業評価表

施策 18 取組 1 番号 1 事務事業 広域消防管理運営事業													
目的		管内自治体と連携し、消防に関する事務の共同処理を進め、効率的な消防体制の充実を図ります。				担当課		消防課					
目標		管内町村との連携により、市町村の枠を越えた消防・救急体制の確保を目指します。											
事業実施状況	・とかち広域消防事務組合を通じた消防に関する事務の共同処理の推進〈実施主体：とかち広域消防事務組合〉 ・原因調査車の更新 ・高規格救急自動車1台の更新 ・指令システム及びデジタル無線機器の部分更新				単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額		
					事業費		1,944,066		1,924,282		2,193,191		
					特定財源		1,552		11,724		129,462		
					一般財源		1,942,514		1,912,558		2,063,729		
					指標名		-				単位		
					基準値		R5		目標値 実績値		R6		目標値 実績値
				-				-				-	
評価検証	R7年度は、管内19市町村で構成するとかち広域消防事務組合が主体となり、車両整備や緊急消防援助隊の体制強化、指令システム及びデジタル無線機器の部分更新、消防職員の教育・育成強化など消防に関する事務の共同処理を進めており、目標を達成しました。												

施策 18 取組 1 番号 2 事務事業 消防水利整備事業											
目的		消火栓、防火水槽の新設、維持管理を行い、消防水利を充実します。				担当課		消防課			
目標		-									
事業実施状況	・消火栓の更新（23基）、移設（1基）、修繕（14基）等		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額		
			事業費		40,158		61,412		59,562		
			特定財源		31,300		54,000		50,500		
			一般財源		8,858		7,412		9,062		
			指標名		-						単位
	基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値	
	-		-		-		-		-		
評価検証	-		-		-		-		-		

施策 18 取組 1 番号 3 事務事業 消防行政事業													
目的	消防庁舎の適切な維持管理などにより、消防体制を維持します。							担当課		消防課			
目標	-												
事業実施状況	-	単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額					
		事業費		2,344		0		0					
		特定財源		2,344		0		0					
		一般財源		0		0		0					
		指標名		-						単位			
		基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値		
		-			-			-			-		
					-			-			-		
評価検証	-												

事務事業評価表

施策 18 取組 2 番号 1 事務事業 消防団活動促進事業																	
目的		消防団員の確保、教育訓練などにより、地域防災力の強化を図ります。			担当課		消防課										
目標		消防団協力事業所の累計数について18事業所を目指します。															
事業実施状況	・消防団員確保に向けた普及啓発の実施（消防団員325人、消防団協力事業所新規認定1事業所） ・教育訓練、研修会の充実（教育訓練8回、研修会5回 計13人） ・消防自動車運転資格取得への支援（1人）				単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額						
					事業費		54,333		50,870		51,408						
					特定財源		6,215		5,893		7,940						
					一般財源		48,118		44,977		43,468						
					指標名 消防団協力事業所累計数				単位		事業所						
					基準値		R5		目標値 実績値		R6		目標値 実績値		R7		目標値 実績値
				15				16				17				18	
評価検証	R7年度の消防団協力事業所累計数は18事業所であり、目標を達成しました。																
	消防団への理解促進を深めるため、ホームページや広報おびひろでのPRを実施したほか、興味を示す企業の情報収集を行い、説明の機会を設けるなど、協力事業所拡充の取り組みを進めたことで消防団協力事業所表示制度の理解や関心が得られました。 また、市公式YouTubeチャンネルによる消防団PR動画の配信や、イベント時に消防庁が作成したPR動画を放映するなど情報発信の強化を図ってきたことが効果的であったと考えます。																

施策 18 取組 2 番号 2 事務事業 消防団詰所管理事業															
目的	消防団詰所の適切な維持管理などにより、消防体制を維持します。						担当課	消防課							
目標	-														
事業実施状況	・消防団詰所の維持管理 ・旧川西第2分団詰所の解体 ・現大正第2分団詰所のアスベスト調査及び解体実施設計				単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額				
					事業費		1,583		6,277		18,313				
					特定財源		0		3,600		13,300				
					一般財源		1,583		2,677		5,013				
					指標名		-						単位		
					基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値	
					-			-			-			-	
評価検証	-														

施策 18 取組 2 番号 3 事務事業 消防団詰所整備事業												
目的		消防団詰所の整備を進め、災害に強い消防体制を整備します。						担当課		消防課		
目標		-										
事業実施状況		・消防団詰所の改築等（愛国農業センターと大正第2分団詰所の複合化）		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額		
				事業費		0		818		1,314		
				特定財源		0		0		0		
				一般財源		0		818		1,314		
				指標名		-						単位
		基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値	
		-		-		-		-		-		
評価検証		-										

事務事業評価表

施策 18 取組 2 番号 4 事務事業 消防団車両整備事業												
目的		消防団車両を更新し、消防力を充実します。						担当課		消防課		
目標		-										
事業実施状況	-		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
			事業費		45,451		49,320		0			
			特定財源		42,000		46,000		0			
			一般財源		3,451		3,320		0			
			指標名		-						単位	
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値				
	-			-		-		-				
				-		-		-				
評価検証	-											

施策 18 取組 2 番号 5 事務事業 消防機器更新事業														
目的		消防機器を更新し、消防力を充実します。						担当課		消防課				
目標		-												
事業実施状況	・消防団に係る消防機器の更新等				単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
					事業費		0		0		337			
					特定財源		0		0		0			
					一般財源		0		0		337			
					指標名		-						単位	
					基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
					-			-		-		-		
評価検証	-				-		-		-		-			

施策 18 取組 2 番号 6 事務事業 消防団車両・装備管理事業													
目的		消防団車両や装備を適切に管理し、消防体制を維持します。						担当課		消防課			
目標		-											
事業実施状況	・消防団に係る消防車両・装備の維持管理		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額				
			事業費		2,940		1,865		2,228				
			特定財源		0		0		0				
			一般財源		2,940		1,865		2,228				
			指標名		-						単位		
			基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値	
			-		-		-		-		-		
			-		-		-		-		-		
評価検証	-												

事務事業評価表

施策	19	取組	1	番号	1	事務事業	交通安全教育推進事業				
目的	児童や高齢者等への交通安全教育を進め、市民の交通安全意識の向上を図ります。						担当課	危機対策課			
目標	交通安全教室の参加者数について38,081人を目指します。										
事業実施状況	・交通安全教室の実施（274回、23,831人） ・交通安全誘導の実施（1,263回）						単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額	
							事業費	16,291	20,371	20,429	
							特定財源	0	0	0	
							一般財源	16,291	20,371	20,429	
	指標名		交通安全教室の参加者数				単位	人			
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値			
30,360			38,081 22,916		38,081 23,646		38,081 23,831				
評価検証	R7年度の交通安全教室の参加者数は23,831人であり、昨年度の23,646人から増加しましたが、目標を達成しませんでした。 実施回数は昨年度と比べて増加しましたが、児童数の減により、小中学校や保育所を中心に開催している交通安全教室の参加者数が減少したことが要因と考えます。 今後は、交通安全教室の周知方法や開催手法の工夫により参加者数の増加や開催機会の増加を図っていく必要があると考えます。										

施策	19	取組	1	番号	2	事務事業	交通安全運動推進事業							
目的	関係機関・団体と連携し、交通事故防止の啓発活動などを進め、市民の交通安全意識の向上を図ります。						担当課	危機対策課						
目標	高齢者向けドライビング体験会、交通安全研修会の参加者数について254人を目指します。													
事業実施状況	- 交通安全街頭啓発の実施 - 交通安全研修会の開催（1回） - 交通安全体験会の開催（3回） - 交通安全市民会議の開催（2回） - 交通安全に関する広報活動の実施 - 交通安全関係団体の活動への支援 - 北海道交通安全指導員連絡協議会総会の開催					単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額					
						事業費	7,914	5,236	6,141					
						特定財源	0	0	0					
						一般財源	7,914	5,236	6,141					
						指標名	高齢者向け体験会の参加者数					単位	人	
						基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
						152	254 76	254 114	254 98					
評価検証	R7年度の高齢者向けドライビング体験会、高齢者交通安全研修会の参加者数は98人であり、目標を達成しませんでした。 会場の収容人数や所要時間等を踏まえて協力機関と協議し、高齢者ドライビング体験会の定員制限を行っているほか、主催者による老人クラブ安全推進員研修会の開催終了が要因と考えます。 今後は、高齢ドライバーの交通事故の未然防止を図るため、関係機関と連携し、他の研修会等での研修の実施や、体験会などの周知・開催内容の工夫などにより、参加者数の増加を図る必要があります。													

施策 19 取組 1 番号 3 事務事業 防犯意識啓発事業																
目的		防犯に関する情報提供や街頭啓発、自主的な学習活動の促進により、市民の防犯意識の向上を図ります。					担当課		危機対策課							
目標		防犯・不審者情報にかかるLINE情報の登録者数について16,702件を目指します。														
事業実施状況	・ 防犯グッズ展の開催(1回) ・ 防犯パトロールの実施(1,848回) ・ 防犯関係団体の活動への支援					単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額				
						事業費		7,632		8,276		8,670				
						特定財源		0		0		0				
						一般財源		7,632		8,276		8,670				
						指標名		防犯・不審者にかかる市公式LINE登録者数					単位		件	
						基準値		R5		目標値 実績値		R6		目標値 実績値		R7
		11,480		14,862 14,492		15,782 15,938				16,702 18,582						
評価検証		R7年度は、広報紙でLINE登録を案内するなど周知を実施したことにより、登録者数は18,582件となり、目標を達成しました。 今後も引き続き、防犯に関わる講座や街頭啓発などを利用した周知を強化するとともに、LINEに不審者出没マップのリンクを掲載するなど、防犯意識の一層の向上に向けて広報活動を行っていきます。														

事務事業評価表

施策	19	取組	1	番号	4	事務事業	交通安全施設整備事業（危機対策課）							
目的	学校周辺や危険箇所における、交通安全に関する標識の設置や歩道の整備により、安全な交通環境の整備を進めます。						担当課		危機対策課					
目標	-													
事業実施状況	・信号機設置等の要望活動の実施 ・交通安全注意喚起看板の設置						単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
							事業費		951		987		935	
							特定財源		0		0		0	
							一般財源		951		987		935	
	指標名		-						単位					
	基準値		R5		目標値 実績値		R6		目標値 実績値		R7		目標値 実績値	
	-				-		-		-		-		-	
評価検証	-													

施策	19	取組	1	番号	5	事務事業	交通安全施設整備事業（土木課）													
目的	学校周辺や危険箇所における歩道の整備を進め、安全な交通環境を確保します。						担当課		土木課											
目標	-																			
事業実施状況	・幹線道路や生活道路における歩道の整備 ・通学路などの歩道の再整備（南21丁目西甲線）						単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額							
							事業費		11,374		16,720		27,357							
							特定財源		10,200		15,000		24,600							
							一般財源		1,174		1,720		2,757							
							指標名		-						単位					
							基準値		R5		目標値 実績値		R6		目標値 実績値		R7		目標値 実績値	
							-				-				-				-	
評価検証	-																			

施策	19	取組	1	番号	6	事務事業	交通安全対策特別交付金対象事業													
目的	視線誘導標や区画線など、交付金を活用した交通安全施設の設置により、安全な交通環境を確保します。						担当課		道路維持課											
目標	-																			
事業実施状況	・視線誘導標の設置（11基設置、10基撤去） ・区画線の設置（延長L=39.69km）						単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額							
							事業費		22,132		20,306		22,132							
							特定財源		0		0		0							
							一般財源		24,565		20,306		22,132							
							指標名		-						単位					
							基準値		R5		目標値 実績値		R6		目標値 実績値		R7		目標値 実績値	
							-				-				-					
評価検証	-																			

事務事業評価表

施策 19 取組 1 番号 7 事務事業 防犯灯整備支援事業										
目的		防犯灯の新設や更新、維持管理を支援し、安全な生活環境の整備を促進します。				担当課		市民活動課		
目標		-								
事業実施状況	・町内会の防犯灯維持費用の支援（16,296灯） ・防犯灯の実態把握調査 ・市への防犯灯移管手続き	単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額		
		事業費		69,643		35,681		31,753		
		特定財源		5,229		0		0		
		一般財源		64,414		35,681		31,753		
		指標名		-				単位		
		基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値	
		-			-		-		-	
評価検証	-									

施策 19 取組 2 番号 1 事務事業 消費者活動促進事業										
目的	消費生活に関する講座や講演会の開催などにより、消費者被害の未然防止や合理的な消費生活を促進します。					担当課		商業労働課		
目標	消費生活に関する講座等の参加者数について2,181人を目指します。									
事業実施状況	・消費生活に関する講座、講演会の開催 (1,739人) ・消費生活展の開催 (1,807人) ・消費生活審議会の開催 (1回) ・消費者団体の活動支援 (275人)		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
			事業費		1,431		1,476		202	
			特定財源		0		0		0	
			一般財源		1,431		1,476		202	
			指標名		消費生活に関する講座等の参加者数				単位	
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
	1,081		1,449	1,815	2,181	3,069		3,065		
評価検証	R7年度の消費生活に関する講座等の参加人数は3,821人であり、目標を達成しました。 消費生活展の開催内容や展示方法などを工夫したことが効果的であったと考えます。									

施策 19 取組 2 番号 2 事務事業 消費者情報提供活動事業														
目的		消費生活に関する情報の収集・提供などにより、市民の安全で合理的な消費生活を支援します。				担当課		商業労働課						
目標		食料品・雑貨・燃料の小売価格を掲載したホームページの閲覧数について3,360件を目指します。												
事業実施状況	・消費生活に関する情報提供 ・小売価格調査の実施 (毎月10日、生活関連商品等32品目、36点の価格を調査)				単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
					事業費		5,605		6,806		8,391			
					特定財源		0		0		0			
					一般財源		5,605		6,806		8,391			
	指標名		小売価格調査HP閲覧数						単位		件			
	基準値		R5		目標値 実績値		R6		目標値 実績値		R7		目標値 実績値	
	3,360				3,360 2,892		3,360 2,668				3,360 2,451			
評価検証		R7年度の小売価格調査ホームページ閲覧数は2,451件であり、目標を達成しませんでした。SNSを活用した周知に取り組みましたが、小売価格への関心度が低いことが要因と考えられます。今後は、各種イベントや講座などにおける積極的な周知に取り組む必要があると考えます。												

事務事業評価表

施策 19 取組 2 番号 3 事務事業 消費生活相談支援事業											
目的		消費生活相談や消費者講座の実施などにより、消費者被害の未然防止や消費生活の向上を図ります。					担当課		商業労働課		
目標		消費生活に関する相談機能を維持します。									
事業実施状況		・消費生活アドバイスセンターの運営 ・地域消費者講座の開催 ・消費生活相談員の資質向上 ・専門家による相談の実施 ・消費者被害防止啓発資料の作成・配布 (委託料25,436千円、相談実績：1,487件)		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
				事業費		24,001		23,904		28,971	
				特定財源		5,690		5,435		6,829	
				一般財源		18,311		18,469		22,142	
				指標名		-				単位	
		基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
		-			-		-		-		
評価検証		R7年度は、消費生活アドバイスセンターの運営や相談員の研修派遣等を通じて適切な相談体制を確保したことにより、地域における消費生活に関する相談機能が維持されており、目標を達成しました。									

施策 19 取組 2 番号 4 事務事業 計量適正化推進事業										
目的		計量器や商品表示などの検査・指導により、適正な取引を促進します。					担当課	商業労働課		
目標		-								
事業実施状況	・検査、指導の実施（計量器定期検査：265戸789台、量目立入検査：12戸2,624個）		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
			事業費		4,106		5,172		5,542	
			特定財源		1,323		700		1,426	
			一般財源		2,783		4,472		4,116	
			指標名		-					
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
	-			-		-		-		
評価検証	-									

事務事業評価表

施策 20 取組 1 番号 1 事務事業 配水管整備事業										
目的		配水管の計画的な更新による耐震性の向上などを進め、水道水の安定供給を図ります。				担当課		水道課		
目標		-								
事業実施状況	・配水管の整備 L=520.5m ・老朽管の更新 L=6,541.3m ・配水管等の耐震化 L=2,020.7m		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
			事業費		977,163		812,658		932,558	
			特定財源		977,163		812,658		904,710	
			一般財源		0		0		27,848	
			指標名		-					
	基準値		R5		目標値 実績値		R6		目標値 実績値	
	-				-		-		-	
評価検証	-									

施策 20 取組 1 番号 2 事務事業 浄水場等耐震化事業									
目的		浄水場等の計画的な耐震化により、水道水の安定供給を図ります。				担当課		水道課	
目標		-							
事業実施状況	・ 稲田浄水場等の地震対策		単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
			事業費	10,230		152,713		171,545	
			特定財源	10,230		95,446		121,843	
			一般財源	0		57,267		49,702	
	指標名	-					単位		
	基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
	-		-		-		-		
評価検証	-								

施策	20	取組	1	番号	3	事務事業 浸水対策下水道事業					
目的	雨水管の整備などにより、浸水地域の解消を図り、安全で快適な生活環境づくりを進めます。					担当課	下水道課				
目標	-										
事業実施状況	・公共下水道雨水管の整備					単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額		
						事業費	464,173	298,809	180,547		
						特定財源	464,058	298,718	180,506		
						一般財源	115	91	41		
	指標名					-			単位		
	基準値					R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値
	-						-		-		-
評価検証	-										

事務事業評価表

施策 20 取組 1 番号 4 事務事業 災害時体制強化事業												
目的	自然災害等による被害を最小限にとどめ、被害を受けた場合であっても迅速に復旧できる上下水道の体制強化を図ります。						担当課	水道総務課ほか				
目標	-											
事業実施状況	・災害対策備蓄資器材等の整備 ・応急給水体制などの整備				単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
					事業費		17,399		7,678		5,420	
					特定財源		17,399		7,678		5,420	
					一般財源		0		0		0	
					指標名		-					
	基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値		
	-			-			-			-		
			-			-			-			
評価検証	-											

施策 20 取組 1 番号 5 事務事業 浄水場等施設整備事業									
目的	浄水場等の計画的かつ効率的な更新などにより、水道機能を保全し、水道水の安定供給を図ります。					担当課	水道課		
目標	-								
事業実施状況	・稲田浄水場等の改修・設備更新 ・川西地区受水切替事業 L=225.1m				単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額	
					事業費	452,927	536,800	193,584	
					特定財源	452,927	536,800	193,584	
					一般財源	0	0	0	
	指標名					-	単位		
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値	
	-			-		-		-	
評価検証	-								

施策 20 取組 1 番号 6 事務事業 未普及解消下水道事業									
目的	污水管の整備により、未整備地区の解消を図り、快適な生活環境づくりを進めます。					担当課	下水道課		
目標	-								
事業実施状況	・ 公共下水道污水管の整備				単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額	
					事業費	15,420	39,111	171,745	
					特定財源	15,420	39,111	171,745	
					一般財源	0	0	0	
	指標名				-	単位			
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値	
	-			-		-		-	
				-		-		-	
評価検証	-								

事務事業評価表

施策 20 取組 1 番号 7 事務事業 管渠長寿命化更新事業									
目的	下水道管の長寿命化を進め、下水道機能を適切に維持します。					担当課	下水道課		
目標	-								
事業実施状況	・管渠の長寿命化・更新	単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額		
		事業費	170,775		82,951		61,667		
		特定財源	170,743		82,919		61,667		
		一般財源	32		32		0		
	指標名	-					単位		
	基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
	-	-	-	-	-				
評価検証	-								

施策 20 取組 1 番号 8 事務事業 流域下水道事業											
目的		北海道が所管する十勝川流域下水道浄化センターの改修や耐震化等により、施設の機能維持と災害に強い施設づくりを進めます。				担当課		下水道課			
目標		-									
事業実施状況	・十勝川流域下水道浄化センターの施設整備 （実施主体：北海道）	単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
		事業費		70,744		64,686		145,330			
		特定財源		67,327		57,562		140,275			
		一般財源		3,417		7,124		5,055			
		指標名		-				単位			
		基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値
		-			-			-			-
評価検証	-										

施策 20 取組 1 番号 9 事務事業 汚水処理施設統合事業										
目的		汚水の一括処理などを進め、適正な施設規模による下水道サービスの安定供給を図ります。				担当課		下水道課		
目標		-								
事業実施状況	・ 終末処理場などの改修、設備更新 ・ 圧送管の新設 L=1,049.11m ・ 中継ポンプ場の新設		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
			事業費		543,728		255,060		864,220	
			特定財源		543,651		254,963		864,138	
			一般財源		77		97		82	
			指標名		-					
	基準値		R5		目標値 実績値		R6		目標値 実績値	
	-		-		-		-		-	
評価検証	-		-							

事務事業評価表

施策 20 取組 1 番号 10 事務事業 農村下水道施設整備事業														
目的	農村下水道の整備により、農村部における快適な生活環境づくりを進めます。					担当課	下水道課							
目標	-													
事業実施状況	・個別排水処理施設の整備				単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
					事業費		65,208		35,530		67,793			
					特定財源		65,208		35,530		67,793			
					一般財源		0		0		0			
	指標名		-								単位			
	基準値		R5		目標値 実績値		R6		目標値 実績値		R7		目標値 実績値	
	-				-		-		-		-		-	
	-				-		-		-		-		-	
評価検証	-													

施策 20 取組 2 番号 1 事務事業 情報提供事業										
目的	イベントなどを通したPRや積極的な情報発信により、上下水道に関する理解を促進し、市民との協働により事業を進めます。					担当課	水道総務課、下水道課			
目標	各種事業の情報を掲載している上下水道部ホームページのアクセス数について、54,568件を目指します。									
事業実施状況	・イベントによるPRや学習機会の提供 ・広報紙やホームページなどによる情報提供 ・マンホールカードの制作	単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
		事業費	2,120		695		821			
		特定財源	2,120		695		821			
		一般財源	0		0		0			
		指標名	上下水道部ホームページアクセス数（セッション数）					単位	件	
		基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
		39,031		43,644		48,801		54,568		
評価検証	R7年度のホームページアクセス数は97,328件となり、目標を達成しました。 イベントや学習機会の提供（出前講座）時にQRコードの掲載されたチラシを配布したことが効果的だったものと考えます。									

施策 20 取組 2 番号 2 事務事業 量水器整備事業									
目的	水道メーターや止水栓の更新などにより、漏水の防止など、利用者サービスの向上を図ります。					担当課	水道課		
目標	-								
事業実施状況	・水道メーターの更新 ・止水栓の更新 ・作業時間の短縮が可能な「掘削しないメーターボックス」への更新				単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額	
					事業費	409,874	399,495	372,878	
					特定財源	409,874	399,495	372,878	
					一般財源	0	0	0	
	指標名		-			単位			
	基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
	-		-		-		-		
評価検証	-								

事務事業評価表

施策 20 取組 2 番号 3 事務事業 利用者サービス推進事業									
目的	上下水道に関する利用者の負担軽減や利便性向上などにより、利用者サービスの向上を図ります。					担当課	水道総務課、水道課		
目標	水道料金・下水道使用料の納付の利便性を高める手法の導入を目指します。								
事業実施状況	・水道凍結注意チラシの作成・配布 ・上下水道料金収納業務等の包括委託				単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額	
					事業費	606	642	694	
					特定財源	606	642	694	
					一般財源	0	0	0	
	指標名	-					単位		
	基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
	-		-	-	-	-			
評価検証	上下水道お客様センターの開設により、相談窓口の集約化や窓口開設時間の延長等が図られており、R7年度に実施したアンケートでも、職員の対応が良いと回答した人の割合が前年より増加するなど、市民サービスの向上につながっているものと考えます。								

施策	20	取組	2	番号	4	事務事業 組織力向上対策事業				
目的	上下水道の知識や技術の継承などを進め、質の高い上下水道サービスの提供を図ります。					担当課	水道総務課ほか			
目標	質の高い上下水道サービスの提供につながる先進地等研修の参加数について各年度10人を目指します。									
事業実施状況	・研修会、講習会などへの参加					単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額	
						事業費	2,059	2,033	2,362	
	特定財源	2,059	2,033	2,362						
	一般財源	0	0	0						
	指標名	先進地等研修参加数					単位	人		
	基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値			
	8		10		10		10			
		14		12		19				
評価検証	R7年度の先進地域等研修会及び講習会への参加者数は19人であり、目標を達成しました。 新たに先進地等派遣職員の部内公募を行ったことなどが効果的だったものと考えます。									

施策 20 取組 2 番号 5 事務事業 水道料金・下水道使用料収納事業														
目的 料金・使用料の適正な調定・収納や収入の確保に向けた取り組みを進め、上下水道事業を健全に経営します。					担当課		水道総務課							
目標 -														
事業実施状況	・水道メーターの検針 ・水道料金、下水道使用料の調定、収納事務 ・収納率向上対策の推進 ・上下水道料金収納業務等の包括委託 ・基本料金免除に係るシステムの設定変更及び市民周知				単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
					事業費		280,274		389,790		398,179			
					特定財源		273,846		389,790		398,179			
					一般財源		6,428		0		0			
					指標名		-				単位			
	基準値		R5		目標値 実績値		R6		目標値 実績値		R7		目標値 実績値	
	-				-		-		-		-		-	
				-		-		-		-		-		
評価検証	-													

事務事業評価表

施策 20 取組 2 番号 6 事務事業 財政基盤強化対策事業										
目的	業務の効率化などにより、持続可能な財政基盤を確保し、上下水道事業を健全に経営します。					担当課	水道総務課ほか			
目標	上下水道事業の健全で安定的な経営を維持します。									
事業実施状況	・GISや各種業務システムの活用	単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
		事業費	226,732		48,001		50,009			
		特定財源	226,732		48,001		50,009			
		一般財源	0		0		0			
		指標名	-					単位		
		基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
		-		-	-	-	-			
				-	-	-	-			
評価検証	R7年度は、施設の適切な維持管理や業務効率化の推進などにより、両会計の純利益・累積資金残高ともに上下水道ビジョンの収支見通しを上回っており、安定的な経営を維持できています。									

施策 20 取組 2 番号 7 事務事業 水道施設維持管理事業										
目的	適切な水道施設の維持管理などにより、水道事業を安定的に運営します。					担当課	水道課			
目標	-									
事業実施状況	・配水管、水道施設、量水器の維持管理 ・上下水道給排水業務等の包括委託	単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額		
		事業費		442,474		487,768		571,178		
		特定財源		442,474		487,768		571,178		
		一般財源		0		0		0		
		指標名		-				単位		
		基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値	
		-			-		-		-	
評価検証	-									

施策 20 取組 2 番号 8 事務事業 下水道施設維持管理事業										
目的		適切な下水道施設の維持管理などにより、下水道事業を安定的に運営します。				担当課		下水道課		
目標		-								
事業実施状況	・下水道管の維持管理 ・終末処理場の維持管理 ・個別排水処理施設、農業集落排水施設の維持管理		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
			事業費		735,326		938,432		988,016	
			特定財源		735,326		938,432		988,016	
			一般財源		0		0		0	
			指標名		-				単位	
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
	-			-		-		-		
評価検証	-									

事務事業評価表

施策 20 取組 2 番号 9 事務事業 水道事業経営管理事業										
目的		水道事業の適切な管理運営により、水道水の安定供給を図ります。				担当課		水道総務課		
目標		-								
事業実施状況	・ 上下水道ビジョンの推進 ・ 帯広市公営企業経営審議会の開催 ・ 企業債の償還及び資金運用 ・ 資産の管理		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
			事業費		3,892,581		3,925,087		3,915,565	
			特定財源		3,218,542		3,889,045		3,230,308	
			一般財源		674,039		36,042		685,257	
			指標名		-					
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
	-			-	-	-		-		
評価検証	-									

施策 20 取組 2 番号 10 事務事業 下水道事業経営管理事業									
目的		下水道事業の適切な管理運営により、生活環境の保全や公衆衛生の向上を図ります。				担当課		水道総務課	
目標		-							
事業実施状況	・上下水道ビジョンの推進 ・帯広市公営企業経営審議会の開催 ・企業債の償還及び資金運用 ・資産の管理	単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
		事業費		5,199,541		4,979,929		4,838,965	
		特定財源		3,838,607		3,606,569		3,447,683	
		一般財源		1,360,934		1,373,360		1,391,282	
		指標名		-				単位	
		基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値
		-		-		-		-	
		-		-		-			
評価検証	-								

施策 20 取組 2 番号 11 事務事業 上下水道資源有効利用事業									
目的		浄水・下水処理の過程で発生する資源の有効利用により、環境負荷の軽減を図ります。				担当課		下水道課	
目標		-							
事業実施状況	・十勝川流域下水道浄化センターとの共同乾燥処理 ・下水汚泥の耕地への還元	単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額		
		事業費	32,469		34,434		36,500		
		特定財源	32,469		34,434		36,500		
		一般財源	0		0		0		
		指標名	-					単位	
		基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値	
		-	-	-	-	-	-		
-	-								
評価検証		-							

事務事業評価表

施策 20 取組 2 番号 12 事務事業 下水道普及促進事業									
目的	下水道の利用を促進し、生活環境の保全、公衆衛生の向上を図ります。					担当課	下水道課		
目標	下水道未接続家屋の減少を目指します。								
事業実施状況	・下水道への接続の普及啓発 ・排水設備改造資金の貸付				単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額	
					事業費	7,158	13,111	12,987	
					特定財源	7,158	13,111	12,987	
					一般財源	0	0	0	
					指標名	-			単位
	基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
	-		-	-	-	-	-		
評価検証	R7年度は、文書指導や排水設備改造資金貸付制度の周知などにより、下水道未接続家屋は減少しており、目標を達成しました。								

施策 20 取組 2 番号 13 事務事業 水道水源水質保全事業									
目的	札内川の水質調査などにより、水源の水質を保全し、安全な水道水の供給を図ります。					担当課	水道課		
目標	-								
事業実施状況	・ 札内川上流域等の河川表流水調査 ・ 水道法に基づく水質基準検査 ・ 札内川上流域等の水源水質調査				単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額	
					事業費	46,405	45,870	53,945	
					特定財源	46,405	45,870	53,945	
					一般財源	0	0	0	
					指標名	-			単位
	基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
	-		-		-		-		
			-		-		-		
評価検証	-								

施策 20 取組 0 番号 1 事務事業 下水道管渠耐震化事業									
目的		避難所などの重要施設に接続する下水道管渠等の耐震化を進め、災害時にも安定した下水処理機能を確保することを目指します。					担当課	下水道課	
目標		-							
事業実施状況	・ 地質調査及び液状化診断		単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
			事業費	0		0		14,922	
			特定財源	0		0		14,922	
			一般財源	0		0		0	
			指標名	-					単位
	基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
	-		-	-	-	-			
評価検証	-			-	-				

事務事業評価表

施策 21 取組 1 番号 1 事務事業 にぎわいづくり支援事業									
目的	歩行者天国などの取り組みを支援し、中心市街地のにぎわいを創出します。					担当課	商業労働課		
目標	中心市街地におけるイベント実施時の歩行者通行量（6地点）について14,121人を目指します。								
事業実施状況	・歩行者天国、イルミネーションなどの取り組みへの支援 (歩行者通行量（6地点）5,292人)	単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額		
		事業費	2,550		2,550		2,550		
		特定財源	500		500		500		
		一般財源	2,050		2,050		2,050		
		指標名	イベント実施時の歩行者通行量 (6地点)					単位	人
		基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値	
		3,464		7,016 5,109		10,568 4,740		14,121 5,292	
評価検証	R7年度のイベント実施時の歩行者通行量（6地点）は5,292人であり、目標を達成しませんでした。R7年度から開始したイベント等の実施を支援する「まちなか催事支援事業」などにより、前年と比較して歩行者通行量は増加しましたが、大規模商業施設の閉店等を主な要因として大幅な増加には至っていません。 こうした現状にあります。今後も、歩行者天国等への支援のほか、民間事業者による様々なイベント開催を促進することで、中心市街地におけるにぎわいを創出していく必要があると考えます。								

施策 21	取組 1	番号 2	事務事業 市民活動交流センター管理運営事業									
目的			市民活動交流センターの管理運営により、市民の活動・交流などを通した中心市街地のにぎわいの創出を図ります。						担当課		商業労働課	
目標			-									
事業実施状況	・市民活動交流センターの管理運営			単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額		
				事業費		23,131		25,892		26,713		
				特定財源		71		59		35		
				一般財源		23,060		25,833		26,678		
	指標名		-						単位			
	基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値		
	-		-		-		-		-			
評価検証	-											

施策 21 取組 1 番号 3 事務事業 駅北多目的広場管理事業												
目 的 駅北多目的広場の管理により、イベントなどへの活用の促進を通した中心市街地のにぎわいの創出を図ります。					担当課		商業労働課					
目 標 -												
事業実施状況	・ 駅北多目的広場の管理、整備				単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額		R7年度決算額			
					事業費	1,508	1,667		1,670			
					特定財源	610	493		227			
					一般財源	898	1,174		1,443			
					指標名	-					単位	
					基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値	
					-	-	-	-	-	-		
評価検証	-											

事務事業評価表

施策 21 取組 1 番号 4 事務事業 市営駐車場管理運営事業												
目的	市営駐車場の管理運営により、中心市街地を訪れる人の利便性の確保を図ります。					担当課	商業労働課					
目標	-											
事業実施状況	・市営駐車場の管理運営	単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額				
		事業費		23,099		26,286		66,554				
		特定財源		23,099		26,286		66,554				
		一般財源		0		0		0				
		指標名		-					単位			
		基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値	
		-			-			-			-	
評価検証	-											

施策 21 取組 1 番号 5 事務事業 中心市街地整備事業												
目的	市街地再開発事業などにより、街なか居住の促進や交流人口の拡大を図ります。						担当課	商業労働課				
目標	-											
事業実施状況	-	単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額				
		事業費		0		0		0				
		特定財源		0		0		0				
		一般財源		0		0		0				
		指標名		-						単位		
		基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値	
		-			-			-			-	
評価検証	-											

施策 21 取組 1 番号 6 事務事業 中心市街地活性化基本計画推進事業														
目的		関係機関と連携しながら中心市街地活性化基本計画を推進し、にぎわいのある中心市街地の形成を図ります。				担当課		商業労働課						
目標		-												
事業実施状況	・中心市街地活性化基本計画の進捗管理 ・中心市街地活性化協議会への運営支援 ・中心市街地活性化事業の推進 ・中心市街地活性化に向けた人材の発掘、育成		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額					
			事業費		12,718		12,389		13,051					
			特定財源		0		0		0					
			一般財源		12,718		12,389		13,051					
			指標名		-				単位					
	基準値		R5		目標値 実績値		R6		目標値 実績値		R7		目標値 実績値	
	-				-		-		-		-			
評価検証		-												

事務事業評価表

施策 21 取組 2 番号 1 事務事業 帯広の森づくり活動促進事業									
目的		帯広の森における市民の自主的な森づくり活動を促進するとともに、その活動を支援します。				担当課		みどりの課	
目標		帯広の森の育成に関わる活動者数の増加を目指します。							
事業実施状況	・ 帯広の森づくり協議会の運営 ・ 帯広の森づくり活動団体の承認 ・ 帯広の森利活用事業（帯広の森ファーストイ事業等）の実施（活動者数3,067人） ・ 植生、小動物等調査の実施	単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
		事業費		941		9,319		3,513	
		特定財源		805		5,741		809	
		一般財源		136		3,578		2,704	
		指標名		-				単位	
		基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値
		-	-	-	-	-	-		
評価検証	R7年度は、帯広の森50周年記念事業において整理した「次の50年を見据えた帯広の森のあり方」の方向性に沿って、指定管理者とともに市民が森に関わる機会の増加に取り組んだことにより、活動者数が前年比で増加したことから、目標を達成しました。								

施策 21 取組 2 番号 2 事務事業 花いっぱい推進事業									
目的	市民協働による花とみどりの環境づくりなどにより、市民の緑化意識の向上を図ります。					担当課	みどりの課		
目標	市民協働による花とみどりの環境づくりの機会の提供等により、市民の緑化意識の醸成を図ります。								
事業実施状況	・花壇コンクール事業の実施（70団体） ・フラワー通り整備事業の実施（30団体） ・花による緑化活動団体への支援（花コミュニケーションとかち、とかちオープンガーデンなど） ・市民協働のモデルガーデン事業等による庭づくりなどの推進		単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額			
			事業費	6,478	6,458	6,094			
			特定財源	6,034	5,979	5,694			
			一般財源	444	479	400			
			指標名	-		単位			
	基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
	-		-		-		-		
評価検証	R7年度は、花壇コンクールやフラワー通り整備事業など市民協働による花とみどりの環境づくりに取り組んできており、目標を達成しました。								

施策 21 取組 2 番号 3 事務事業 緑化推進事業									
目的	緑の基本計画に基づく緑地の保全や緑化の推進に総合的に取り組みます。					担当課	みどりの課		
目標	市民の緑化に対する意識を高めながら、適切な緑地の保全や緑化の推進に取り組めます。								
事業実施状況	・緑化審議会の開催 ・みどりの基本計画の推進 ・緑の保全地区及び保存樹木の管理・周知 ・緑化協議 ・緑化の啓発（イベント開催など） ・緑化重点地区の支援 ・みどり資源利活用の推進 ・緑化活動団体との連携・支援 ・慶事記念樹の贈呈（引換数：285本） ・桜並木の整備・管理 ・帯広の森基金の管理					単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額
						事業費	30,936	21,255	25,232
						特定財源	29,427	19,382	23,333
						一般財源	1,509	1,873	1,899
	指標名		-		単位				
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値	
	-		-	-	-	-	-	-	
	-		-	-	-	-	-	-	
評価検証	R7年度は、緑化協議や慶事記念樹の贈呈、緑化活動団体との連携・支援等に取り組んできており、目標を達成しました。								

事務事業評価表

施策 21 取組 2 番号 4 事務事業 公園整備事業									
目的	公園緑地の整備により、市民のレクリエーションや憩いの場等を提供します。					担当課	みどりの課		
目標	-								
事業実施状況	・ 中島緑地の整備（測量調査、用地取得）		単位：千円		R5年度決算額	R6年度決算額		R7年度決算額	
			事業費		83,998	142,921		67,852	
			特定財源		72,681	124,212		57,470	
			一般財源		11,317	18,709		10,382	
	指標名		-					単位	
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値	
	-			-		-		-	
評価検証	-								

施策 21 取組 2 番号 5 事務事業 公園管理運営事業												
目的	草刈や樹木の剪定・遊具の安全点検など公園を適切に維持管理し、安全で快適な利用環境の確保や多様な利活用を促進します。					担当課	みどりの課					
目標	-											
事業実施状況	・公園・緑地の維持管理 ・みどりと花のセンターの管理運営 ・公園の多様な利活用の促進	単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額				
		事業費		273,822		278,315		299,389				
		特定財源		3,076		4,395		4,065				
		一般財源		270,746		273,920		295,324				
		指標名		-				単位				
		基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値	
		-			-			-			-	
			-			-			-			
評価検証	-											

施策 21 取組 2 番号 6 事務事業 帯広の森管理運営事業														
目的		帯広の森を適切に管理し、帯広の森の育成や利活用の促進を図ります。				担当課		みどりの課						
目標		-												
事業実施状況	・帯広の森維持管理、育成管理 ・帯広の森・はぐくむの管理運営		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額					
			事業費		57,887		57,486		62,666					
			特定財源		4,043		3,584		1,579					
			一般財源		53,844		53,902		61,087					
	指標名		-						単位					
	基準値		R5		目標値 実績値		R6		目標値 実績値		R7		目標値 実績値	
	-				-		-		-		-		-	
評価検証	-				-		-		-		-		-	

事務事業評価表

施策 21 取組 2 番号 7 事務事業 既存公園整備事業										
目的		公園施設の改修・更新などにより、安全で快適な利用環境を維持します。				担当課		みどりの課		
目標		-								
事業実施状況	・公園施設長寿命化計画に基づく公園施設（遊戯施設等）の更新 ・公園施設のバリアフリー化（園路の段差解消、多目的トイレの設置等） ・公園施設長寿命化計画の見直し ・公園灯のLED化	単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額		
		事業費		194,139		90,373		182,702		
		特定財源		186,151		85,387		171,384		
		一般財源		7,988		4,986		11,318		
		指標名		-				単位		
		基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値	
	-		-		-		-			
			-		-		-			
評価検証	-									

施策 21 取組 2 番号 8 事務事業 帯広の森整備事業																
目的		運動施設等と連絡する園路などの整備を進め、散歩や森林浴など市民の多様な利活用を促進します。				担当課		みどりの課								
目標		-														
事業実施状況	・ 西11～12号間園路整備 ・ 西11～12号間園路整備（実施設計）		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額							
			事業費		7,777		62,097		27,753							
			特定財源		7,388		59,036		26,276							
			一般財源		389		3,061		1,477							
			指標名		-						単位					
			基準値		R5		目標値 実績値		R6		目標値 実績値		R7		目標値 実績値	
			-				-				-				-	
評価検証	-															

施策 21 取組 3 番号 1 事務事業 住宅サポートシステム事業									
目的	住まいに関する情報の提供や相談業務、住宅建設費への支援などにより、良質な住宅取得を促進します。				担当課	建築開発課			
目標	相続や売却をはじめ住宅に関する様々な相談に応じる住まいのワンストップ相談窓口の利用件数の増加を目指します。								
事業実施状況	・市ホームページ、リーフレットなどによる住情報の提供 ・住まいの総合相談窓口対応 ・住まいのワンストップ相談窓口の実施（実施回数40回、相談者数47名、相談員数延57名） ・良質な住宅の新築への支援 ・帯広市住生活基本計画の推進	単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額				
		事業費	3,774	1,303	1,790				
		特定財源	3,560	501	837				
		一般財源	214	802	953				
		指標名	-			単位			
		基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値	
		-	-	-	-	-	-		
評価検証	R7年度は、住まいのワンストップ相談窓口の利用件数が増加し、目標を達成しました。不動産事業者と連携した空き家のマッチング事業により、住まいに関する情報の提供やニーズに合わせた相談対応を実施したことが効果的であったと考えます。								

事務事業評価表

施策 21 取組 3 番号 2 事務事業 住まいの改修助成事業									
目的	住宅改修を促進し、住宅環境の向上を図ります。					担当課	建築開発課		
目標	市の支援による住宅の長寿命化や省エネ化の実施件数の増加を目指します。								
事業実施状況	・住宅改修への助成の実施（申請件数380件、交付決定348件、助成件数344件（4件取り止め））	単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額		
		事業費	20,182		20,910		19,306		
		特定財源	10,132		7,140		7,727		
		一般財源	10,050		13,770		11,579		
		指標名	-					単位	
		基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値	
		-		-	-	-	-	-	
		-		-		-			
評価検証	R7年度は、申請件数が減少し、目標を達成しませんでした。 資材価格や人件費上昇に伴うコスト増によるリフォーム需要減少のほか、省エネルギー化の改修では、北海道の「住まいのゼロカーボン化推進事業」を活用していますが、予算の関係で申請受付を前倒しで終了したことが要因として考えられます。 今後も引き続き、ホームページや関連事業者への情報提供を通じて制度の周知啓発をしていく必要があります。								

施策 21 取組 3 番号 3 事務事業 ユニバーサルデザイン住宅普及促進事業											
目的	ユニバーサルデザイン住宅に関する相談や支援により、住宅環境の向上を図ります。					担当課 建築開発課					
目標	誰もが暮らしやすい住宅についてのアドバイスを行うユニバーサルアドバイザーへの相談件数の増加を目指します。										
事業実施状況	・ワンストップ相談窓口を活用した相談体制の構築 ・あんしん住宅改修への助成の実施（申請件数25件、交付決定24件、助成件数23件（1件取り止め））					単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額		
						事業費	6,258	5,784	5,698		
						特定財源	2,011	929	2,592		
						一般財源	4,247	4,855	3,106		
						指標名	-			単位	
							基準値	R5 目標値 実績値	R6 目標値 実績値	R7 目標値 実績値	
	-	-	-	-							
評価検証	R6年度より、申請手続きの簡略化のため、従前の補助制度に義務付けていた住宅相談会や現地調査等に関する条件を廃止したことから、目標に対する取り組みは実施しませんでした。ユニバーサルデザイン化に対する補助件数は予定件数を上回りました。今後も引き続き、住宅性能の向上を促す取り組みを通して、快適な住環境の充実を図っていく考えです。										

施策 21 取組 3 番号 4 事務事業 空家等対策事業										
目的		空家等の発生の抑制や、危険な空家等（特定空家等）の解消の促進を図ります。				担当課		建築開発課		
目標		放置すると倒壊等のおそれがある特定空家等の減少を目指します。								
事業実施状況	・水道データに基づく実態調査の実施 ・特定空家等の調査、認定及び措置 ・出前講座、リーフレットなどによる情報発信 ・ワンストップ相談窓口などによる相談対応 ・改修補助、特定空家解体補助金などの実施（相談件数49件、補助件数10件、うち改修5件、解体5件） ・帯広市空家等対策計画の推進	単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額		
		事業費		5,897		4,602		4,538		
		特定財源		2,500		2,000		250		
		一般財源		3,397		2,602		4,288		
		指標名		-				単位		
		基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値	
		-			-		-		-	
		-			-		-		-	
		-			-		-		-	
		-			-		-		-	
評価検証		R7年度は、空き家所有者へのリーフレットの送付や、空き家に関する相談対応などにより、空き家の除却、利活用が進み、目標を達成しました。								

事務事業評価表

施策 21 取組 4 番号 1 事務事業 地域優良賃貸住宅整備事業												
目的		民間事業者等による公的賃貸住宅の供給により、子育て世帯等への良好な居住環境の提供を図ります。				担当課		住宅営繕課				
目標		-										
事業実施状況	・地域優良賃貸住宅の供給	単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額				
		事業費		0		0		0				
		特定財源		0		0		0				
		一般財源		0		0		0				
		指標名		-					単位			
		基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値	
		-		-		-		-		-		
評価検証	-											

施策 21 取組 4 番号 2 事務事業 ストック総合改善事業											
目的	公営住宅の個別改善を進め、良好な居住環境を提供します。						担当課	住宅営繕課			
目標	-										
事業実施状況	・福祉対応や長寿命化等の個別改善（北郊団地、若葉団地）	単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額				
		事業費	43,975		105,475		44,824				
		特定財源	41,401		103,722		42,269				
		一般財源	2,574		1,753		2,555				
		指標名	-						単位		
		基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値			
		-	-	-	-	-	-				
		-	-	-	-	-	-				
評価検証	-										

施策 21 取組 4 番号 3 事務事業 公営住宅整備事業										
目的	老朽化した公営住宅を建替し、良好な居住環境を提供します。					担当課	住宅営繕課			
目標	-									
事業実施状況	・公営住宅の建替（大空団地4街区）		単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額		
			事業費	906,084		423,806		1,220,759		
			特定財源	902,487		421,973		1,217,622		
			一般財源	3,597		1,833		3,137		
	指標名	-						単位		
	基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値			
	-		-		-		-			
評価検証	-									

事務事業評価表

施策 21 取組 4 番号 4 事務事業 公営住宅維持修繕事業											
目的	公営住宅等の維持修繕を行い、住宅の機能維持を図ります。					担当課	住宅営繕課				
目標	-										
事業実施状況	・ 公営住宅の設備、駐車場等の維持修繕	単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
		事業費		176,083		182,176		178,371			
		特定財源		612,681		622,860		595,023			
		一般財源		△436,598		△440,684		△416,652			
		指標名		-						単位	
		基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値
		-			-			-			-
評価検証	-										

施策 21 取組 4 番号 5 事務事業 公営住宅管理運営事業											
目的	公営住宅を適切に管理し、良好な居住環境を提供します。					担当課	住宅営繕課				
目標	-										
事業実施状況	・公営住宅の管理 ・借上公営住宅の管理 ・入居事務 ・公営住宅審議会の開催 ・公営住宅使用料の賦課、徴収事務 ・公営住宅使用料の収納率向上対策の推進				単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額		R7年度決算額		
					事業費	173,120		172,450		183,648	
					特定財源	95,720		94,403		89,779	
					一般財源	77,400		78,047		93,869	
					指標名	-				単位	
		基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値			
		-		-		-		-			
			-		-		-				
評価検証	-										

施策 21 取組 4 番号 6 事務事業 高齢者向け等優良賃貸住宅供給促進事業											
目的	地域優良賃貸住宅等への家賃補助を行い、高齢者、子育て世帯への居住の安定確保を進めます。					担当課	住宅営繕課				
目標	-										
事業実施状況	・ 高齢者向け等優良賃貸住宅の家賃支援	単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
		事業費		60,311		56,791		57,621			
		特定財源		25,977		24,202		24,711			
		一般財源		34,334		32,589		32,910			
		指標名		-						単位	
		基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値
		-			-			-			-
評価検証	-										

事務事業評価表

施策 21 取組 5 番号 1 事務事業 市道除雪事業										
目的	除雪作業の実施による安全な道路通行の確保や除雪方法等の情報発信を進めます。					担当課	道路維持課			
目標	除雪に関する問い合わせ件数について1,210件以下を目指します。									
事業実施状況	・道路除雪業務 ・砂散布などの凍結路面対策の実施 ・雪捨場の管理 ・町内会が主体となり除排雪を行う「パートナーシップ除排雪」の促進 ・除雪方法等の情報発信 ・令和7年2月の大雪除雪に関する検証 ・第二次帯広市総合除雪基本計画の一部改訂	単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
		事業費	986,803		1,519,639		1,294,979			
		特定財源	85,537		120,506		118,270			
		一般財源	901,266		1,399,133		1,176,709			
		指標名	除雪に関する問い合わせ件数				単位	件		
		基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
		1,211		1,210		1,210		1,210		
				640		1,514		954		
評価検証	R7年度の除雪に関する問い合わせ件数は954件であり、目標を達成しました。迅速な除排雪や除雪の情報発信を行ったほか、生活道路や歩道などの柔軟な除雪対応をしたことが効果的であったと考えます。									

施策 21 取組 5 番号 2 事務事業 自転車駐車対策事業									
目的 目標	巡回・指導などにより、自転車の放置や迷惑駐車を防止します。					担当課	管理課		
	放置自転車および長期間駐車自転車等の減少を目指します。								
事業 実施 状況	・ 放置禁止区域、駐輪場の巡回、点検 ・ 放置自転車および長期間駐車自転車等に対する指導、警告、撤去					単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額
						事業費	2,030	2,538	2,687
						特定財源	11	33	22
						一般財源	2,019	2,505	2,665
						指標名	-		
	基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
	-		-	-	-	-			
評価 検証	R7年度は、対象区域の放置自転車等の確認に伴う指導・警告・撤去により、放置自転車や長期間駐車自転車等が0台となり、目標を達成しました。								

施策 21 取組 5 番号 3 事務事業 自転車通行空間整備事業									
目的	自転車道等の利用環境の整備を進め、自転車の利用を促進します。					担当課	都市政策課		
目標	-								
事業実施状況	・自転車通行空間の整備		単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
			事業費	70,792		73,145		0	
			特定財源	67,817		70,142		0	
			一般財源	2,975		3,003		0	
			指標名	-					単位
	基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
	-		-		-		-		
評価検証	-								

事務事業評価表

施策 21 取組 5 番号 4 事務事業 都市計画道路整備事業										
目的	都市計画道路の整備を進め、道路交通の円滑化を図ります。					担当課	土木課			
目標	-									
事業実施状況	・都市計画道路の整備（青柳通、18条通、大和通線、川西・稲田西2線線）	単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
		事業費	800,708		670,956		824,709			
		特定財源	762,237		644,830		797,553			
		一般財源	38,471		26,126		27,156			
		指標名	-					単位		
		基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
		-		-		-		-		
評価検証	-									

施策 21 取組 5 番号 5 事務事業 生活道路整備事業									
目的 目標	市民に身近な生活道路の整備を進め、生活基盤の充実を図ります。					担当課	土木課		
	-								
事業 実施 状況	・生活道路の整備（別府・空港南町西9号線外14路線）		単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
			事業費	626,478		383,399		437,598	
			特定財源	310,501		207,121		260,320	
			一般財源	315,977		176,278		177,278	
			指標名	-					単位
	基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
	-		-		-		-		
評価 検証	-								

施策 21 取組 5 番号 6 事務事業 橋梁長寿命化事業										
目的	橋梁の点検や修繕などにより、道路網の安全性向上を図ります。					担当課	土木課			
目標	-									
事業実施状況	・橋梁の修繕（中駒橋外6橋） ・橋梁の補修設計（蹄橋（上）外2橋） ・橋梁の定期点検（帯里橋外87橋） ・橋梁の耐震補強設計（蹄橋（上）外2橋）	単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
		事業費	243,285		195,999		346,153			
		特定財源	230,296		181,646		331,095			
		一般財源	12,989		14,353		15,058			
		指標名	-					単位		
		基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
		-		-		-		-		
評価検証	-									

事務事業評価表

施策 21 取組 5 番号 7 事務事業 道路ストック修繕事業										
目的	道路施設の点検や修繕により、道路網の安全性向上を図ります。					担当課	土木課、道路維持課			
目標	-									
事業実施状況	・道路舗装、道路施設の計画的な点検及び修繕（西5条南線、西6号南甲線） ・道路ストック点検（道路標識点検233基）	単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
		事業費	61,204		30,723		49,038			
		特定財源	53,522		29,468		41,780			
		一般財源	7,682		1,255		7,258			
		指標名	-					単位		
		基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
		-	-	-	-	-	-			
評価検証	-									

施策 21 取組 5 番号 8 事務事業 道路案内標識整備事業										
目的		道路案内標識の設置等により、運転者の円滑な通行と交通の安全の確保を図ります。				担当課		管理課		
目標		-								
事業実施状況	・道路案内標識の修正 ・信号機地点名標示板の設置		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
			事業費		231		251		257	
			特定財源		0		0		0	
			一般財源		231		251		257	
			指標名		-					
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
	-		-	-	-	-	-			
評価検証	-									

施策 21 取組 5 番号 9 事務事業 市道管理事業										
目的	市道を適切に管理し、安全で快適な道路環境を確保します。					担当課	管理課			
目標	-									
事業実施状況	・不法占用物件の撤去、道路美化 ・市道認定 ・法定外公共物等管理システムの運用 ・駅南北広場等の管理 ・長期放置自転車の処理	単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
		事業費	36,118		6,574		8,261			
		特定財源	56,226		62,679		62,789			
		一般財源	△20,108		△56,105		△54,528			
		指標名	-						単位	
		基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
		-	-		-		-			
-	-									
評価検証	-									

事務事業評価表

施策 21 取組 5 番号 10 事務事業 道路台帳整備事業										
目的	道路法に基づき道路台帳を整備し、適切に市道を管理します。					担当課	管理課			
目標	-									
事業実施状況	・道路台帳の補正 ・道路台帳図の作成		単位：千円		R5年度決算額	R6年度決算額		R7年度決算額		
			事業費		4,119		4,284		4,174	
			特定財源		0		0		0	
			一般財源		4,119		4,284		4,174	
			指標名		-					単位
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
			-		-		-			
			-		-		-			
評価検証	-									

施策 21 取組 5 番号 11 事務事業 特殊舗装整備事業											
目的	特殊舗装により整備された道路を改良し、道路機能の維持・向上を図ります。					担当課	道路維持課				
目標	-										
事業実施状況	・特殊舗装道路の改良（水光園東・12号線外12路線）	単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
		事業費		199,078		244,354		266,222			
		特定財源		179,100		219,900		247,900			
		一般財源		19,978		24,454		18,322			
		指標名		-						単位	
		基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値
		-			-			-			-
評価検証	-										

施策 21 取組 5 番号 12 事務事業 街路樹維持管理事業									
目的	街路樹の剪定や更新などにより、道路の安全な利用環境や良好なみどりの環境を維持します。					担当課	道路維持課		
目標	-								
事業実施状況	・街路樹の維持管理 ・植樹帯の草刈		単位：千円		R5年度決算額	R6年度決算額		R7年度決算額	
			事業費		131,852	143,871		147,505	
			特定財源		0	2,200		0	
			一般財源		131,852	141,671		147,505	
	指標名		-					単位	
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値	
	-			-		-		-	
評価検証	-								

事務事業評価表

施策 21 取組 5 番号 13 事務事業 道路照明管理事業												
目的		道路照明を適切に管理し、夜間における安全な通行の確保を図ります。				担当課		道路維持課				
目標		-										
事業実施状況	・道路照明灯の維持管理（照明灯交換78灯等） ・道路照明灯の省エネルギー化工事（637灯）	単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額				
		事業費		105,494		274,747		331,436				
		特定財源		0		161,100		224,600				
		一般財源		105,494		113,647		106,836				
		指標名		-					単位			
		基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値	
		-			-			-			-	
評価検証	-											

施策 21 取組 5 番号 14 事務事業 橋梁維持補修事業											
目的	橋梁の維持補修により、安全な通行の確保を図ります。						担当課	道路維持課			
目標	-										
事業実施状況	・ 橋梁の高欄などの簡易的修繕	単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額				
		事業費	395		414		422				
		特定財源	0		0		0				
		一般財源	395		414		422				
		指標名	-						単位		
		基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値			
		-	-	-	-	-					
評価検証	-										

施策 21 取組 5 番号 15 事務事業 道路車両センター管理運営事業											
目的		道路車両センターを適切に管理運営し、道路管理体制を保持します。					担当課		道路維持課		
目標		-									
事業実施状況	・道路車両センターの管理運営		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額		
			事業費		4,553		7,179		5,435		
			特定財源		270		2,082		318		
			一般財源		4,283		5,097		5,117		
			指標名		-						単位
	基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値	
	-		-		-		-		-		
	-		-		-		-		-		
評価検証	-										

事務事業評価表

施策 21 取組 5 番号 16 事務事業 オーバーレイ事業											
目的	高級舗装道路のひび割れやわだちの補修を行い、道路機能の改善を図ります。					担当課	道路維持課				
目標	-										
事業実施状況	・オーバーレイの実施（旧広尾道路甲線外1路線）	単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
		事業費		27,027		28,050		31,966			
		特定財源		24,300		25,200		31,900			
		一般財源		2,727		2,850		66			
		指標名		-						単位	
		基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値
		-			-			-			-
評価検証	-										

施策 21 取組 5 番号 17 事務事業 道路側溝整備事業											
目的	道路冠水を防止するため、雨水管や雨水桝を設置し、排水施設の整備を進めます。					担当課	道路維持課				
目標	-										
事業実施状況	・道路縦断管の整備等（緑ヶ丘・17号線外1路線）	単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額				
		事業費	24,035		62,293		31,713				
		特定財源	24,000		62,200		31,700				
		一般財源	35		93		13				
		指標名	-					単位			
		基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値			
		-		-		-		-			
		-		-		-		-			
評価検証	-										

施策 21 取組 5 番号 18 事務事業 道路維持車両整備事業											
目的	除雪機械などの道路維持車両を計画的に配備し、道路の維持補修や除雪の体制強化を図ります。					担当課	道路維持課				
目標	-										
事業実施状況	・道路維持車両の整備（除雪トラック1台、除雪グレーダー1台）	単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
		事業費		72,600		72,143		88,862			
		特定財源		56,400		70,800		87,700			
		一般財源		16,200		1,343		1,162			
		指標名		-						単位	
		基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値
		-			-			-			-
評価検証	-										

事務事業評価表

施策 21 取組 5 番号 19 事務事業 市道維持補修事業										
目的	パトロールによる道路の補修、路面清掃や草刈りを行い、安全で快適な道路環境を保ちます。					担当課	道路維持課			
目標	-									
事業実施状況	・道路パトロールの実施 ・道路の維持補修 ・道路維持車両の管理 ・ロードヒーティング等の管理	単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額		
		事業費		209,937		240,245		281,179		
		特定財源		31		13,162		71,930		
		一般財源		209,906		227,083		209,249		
		指標名		-				単位		
		基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値	
		-			-		-		-	
評価検証	-									

施策 21 取組 6 番号 1 事務事業 あいのりタクシー・バス運行事業									
目的		農村地区において乗合方式のタクシー・バスを運行し、地域住民の交通手段を確保します。				担当課		都市政策課	
目標		あいのりタクシー及びあいのりバスの利用者数の増加を目指します。							
事業実施状況	・大正地区乗合タクシーの運行 ・川西地区乗合バスの運行		単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
			事業費	29,993		31,464		33,687	
			特定財源	3,825		4,125		3,368	
			一般財源	26,168		27,339		30,319	
			指標名	-				単位	
			基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値
			-		-		-		-
評価検証	R7年度は、前年と比較し、あいのりタクシーの利用者数は微増となったものの、あいのりバスの利用者が減少し、全体利用者数は微減となり、目標を達成しませんでした。これまであいのりバスを利用してきた利用者が高齢化しており、利用を辞めた人数が増える一方で、新規利用者数が増えていないことが要因であると考えます。今後も、利用者の多くを占める高齢者を中心に意見聴取等を行うとともに、交通事業者等と連携しながら、地域の住民が利用しやすい運行形態を検討していくなど、利便性向上に向けた取り組みを進めていく必要があります。								

施策 21 取組 6 番号 2 事務事業 地域公共交通活性化事業										
目的	地域公共交通計画に基づき、事業者等との連携によるバス交通の利便性の向上や活性化を図ります。					担当課	都市政策課			
目標	市内運行路線における路線バス年間利用者数の増加を目指します。									
事業実施状況	- 公共交通の利用促進（小学生等への交通環境学習の実施、バス停留所除雪対策の実施など） - バス運行維持に対する支援 - 地域公共交通計画の推進 - 自動運転バス実証運行事業	単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
		事業費	182,304		167,381		175,363			
		特定財源	2,178		1,848		1,922			
		一般財源	180,126		165,533		173,441			
		指標名	-					単位		
		基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
		-		-		-		-		
評価検証	R7年度は、バス事業者と連携しながら、交通環境学習やバス利用啓発小冊子の配布などの利用促進に向けた取り組みを実施したものの、路線バス利用者が減少し、目標を達成しませんでした。R7年度から実施された路線バスの土日祝の減便等が要因であると考えます。今後も、事業者等と連携し、公共交通サービスの利便性向上や利用促進などの取り組みを進めていく必要があります。									

事務事業評価表

施策 21 取組 6 番号 再 事務事業 高齢者おでかけサポートバス事業<再掲4-2-1>												
目的	バスの無料乗車証の交付により、高齢者の外出・移動を支援し、社会参加の促進や健康の維持増進を図ります。					担当課	介護高齢福祉課					
目標	-											
事業実施状況	・高齢者バス無料乗車証の交付（交付率60.4%）	単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額				
		事業費		-		-		-				
		特定財源		-		-		-				
		一般財源		-		-		-				
		指標名			-			単位				
		基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値	
		-			-			-			-	
評価検証	-											

施策 21 取組 0 番号 1 事務事業 中島霊園管理運営事業										
目的	中島霊園を適切に管理運営し、快適な利用環境を提供します。					担当課	戸籍住民課			
目標	-									
事業実施状況	・中島霊園の維持管理 ・墓地区画貸出業務（合同納骨塚546件、墓地13件） ・合同納骨塚の新たな納骨堂の整備					単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額	
						事業費	45,112	49,245	63,134	
						特定財源	5,413	9,672	23,895	
						一般財源	39,699	39,573	39,239	
						指標名	-		単位	
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
	-			-		-		-		
評価検証	-									

施策 21 取組 0 番号 2 事務事業 既存墓地管理運営事業									
目的	既存墓地を適切に管理運営し、快適な利用環境を提供します。					担当課	戸籍住民課		
目標	-								
事業実施状況	・ 既存墓地の維持管理 ・ 墓地区画貸出業務（3件）		単位：千円		R5年度決算額	R6年度決算額		R7年度決算額	
			事業費		13,885	19,358		16,077	
			特定財源		443	2,753		288	
			一般財源		13,442	16,605		15,789	
	指標名		-					単位	
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値	
	-			-		-		-	
評価検証	-								

事務事業評価表

施策 21 取組 0 番号 3 事務事業 火葬場管理運営事業									
目的	火葬場を適切に管理運営します。						担当課	戸籍住民課	
目標	-								
事業実施状況	・火葬場の維持管理 ・火葬業務（2,297件） ・施設の長寿命化				単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額	
					事業費	83,170	101,233	104,248	
					特定財源	37,782	57,478	48,921	
					一般財源	45,388	43,755	55,327	
	指標名	-						単位	
	基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
	-		-	-	-	-			
評価検証	-								

施策 21 取組 0 番号 4 事務事業 鉄道高架レリーフ維持管理事業											
目的		鉄道により分断された市街地南北の一体的・効率的な土地利用を促進し、魅力ある都市空間を形成します。					担当課	商業労働課			
目標		-									
事業実施状況	・鉄道高架レリーフの維持管理		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額		
			事業費		3,212		0		0		
			特定財源		3,212		0		0		
			一般財源		0		0		0		
			指標名		-					単位	
			基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値	
			-		-	-	-	-	-		
評価検証	-										

施策 21 取組 0 番号 5 事務事業 都市景観形成促進事業									
目的	地区計画制度の推進や景観形成に資する情報発信などを通じ、良好な居住環境や景観の形成を促進します。					担当課	都市政策課		
目標	まちづくりに貢献している建築物を表彰する帯広市まちづくりデザイン賞の応募件数について6件を目指します。								
事業実施状況	・良好な景観の情報発信		単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
			事業費	325		389		0	
			特定財源	325		389		0	
			一般財源	0		0		0	
			指標名	帯広市まちづくりデザイン賞の応募申込数				単位	件
	基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
	4		6 3	6 3	-				
評価検証	R7年度は、表彰制度からSNSを活用した良好な景観形成の更なる啓発に取り組む内容を見直したため、目標に対する取り組みは行いませんでした。 R6年度までは年1回の表彰制度に取り組んでいましたが、第三者機関等の意見を踏まえ時代に即した啓発方法に見直し、R7年度からはSNSによる月1程度の情報発信を行っています。								

事務事業評価表

施策 21 取組 0 番号 6 事務事業 都市計画制度推進事業									
目的	都市計画に関する調査等に基づき、都市計画制度を適切に運用します。					担当課	都市政策課		
目標	-								
事業実施状況	・都市計画に関する調査、情報収集等 ・帯広圏広域都市計画協議会の運営 ・帯広市都市計画審議会の開催 ・第2次帯広市都市計画マスタープランの推進 ・都市開発基金の管理 ・帯広圏都市計画区域の整備、開発及び保全の方針の推進 ・立地適正化計画の作成（R7～R8）		単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額			
			事業費	32,707	14,887	47,623			
			特定財源	426	182	14,965			
			一般財源	32,281	14,705	32,658			
			指標名	-				単位	
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値	
	-			-		-		-	
評価検証	-								

施策 21 取組 0 番号 7 事務事業 開発行為等審査・指導事業										
目的		民間事業者による開発行為等を審査・指導し、秩序ある市街地の形成、良質な宅地の供給を促進します。					担当課	建築開発課		
目標		-								
事業実施状況	・開発行為等許可申請審査、指導		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
			事業費		140		159		165	
			特定財源		472		909		602	
			一般財源		△332		△750		△437	
			指標名		-					単位
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
	-		-		-		-			
評価検証	-									

施策 21 取組 0 番号 8 事務事業 民間土地区画整理指導事業												
目的	民間の土地区画整理事業に対する指導により、秩序ある市街地の形成、良質な宅地の供給を促進します。						担当課	建築開発課				
目標	-											
事業実施状況	・民間土地区画整理事業への指導				単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額		
					事業費	467		442		192		
					特定財源	0		0		0		
					一般財源	467		442		192		
					指標名	-					単位	
					基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値	
					-		-		-		-	
							-		-		-	
評価検証	-											

事務事業評価表

施策 21 取組 0 番号 9 事務事業 土地取引届出事業									
目的	国土利用計画法等に基づき、土地取引に関する事務を進めます。					担当課	建築開発課		
目標	-								
事業実施状況	・土地取引届出に対する審査等	単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額		
		事業費	66		62		53		
		特定財源	58		52		52		
		一般財源	8		10		1		
		指標名	-					単位	
		基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値	
		-		-		-		-	
		-		-		-		-	
評価検証	-								

施策 21 取組 0 番号 10 事務事業 建築物確認事業										
目的	建築基準法に基づき、建築物の確認事務などを進めます。					担当課	建築開発課			
目標	-									
事業実施状況	・建築物の確認、検査、許可等 ・既存建築物の適正な維持、保全に係る指導等 ・建築相談の実施 ・建築行政に関する事務	単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
		事業費	11,777		10,461		10,309			
		特定財源	14,832		13,424		24,686			
		一般財源	△3,055		△2,963		△14,377			
		指標名	-					単位		
		基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
		-		-		-		-		
		-		-		-				
評価検証	-									

施策 21 取組 0 番号 11 事務事業 住宅改修等貸付金事業										
目的		過去に貸し付けた住宅建設資金・UD住宅新築等貸付金を管理します。					担当課	建築開発課		
目標		-								
事業実施状況	・貸付金の管理		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
			事業費		154,816		127,314		102,455	
			特定財源		153,058		125,888		101,355	
			一般財源		1,758		1,426		1,100	
			指標名		-					単位
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
	-			-		-		-		
評価検証	-									

事務事業評価表

施策 22 取組 1 番号 1 事務事業 市民提案型協働のまちづくり支援事業									
目的		市民グループやNP0、ボランティア団体等が提案するまちづくり活動を支援し、市民の主体的なまちづくり活動を促進します。				担当課		市民活動課	
目標		市民提案型協働のまちづくり支援事業の応募団体数について14団体を目指します。							
事業実施状況	・市民からの提案事業への支援（応募13件、採択12件）	単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
		事業費		1,998		1,813		2,023	
		特定財源		0		0		0	
		一般財源		1,998		1,813		2,023	
		指標名		支援事業の応募団体数				単位	団体
		基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値
		12	14		14		14		
			14		13		13		
評価検証	R7年度の応募団体は13団体で、前年に続き若い世代を含めた幅広い世代から応募がありましたが、目標を達成しませんでした。 申請様式が複雑で申請に至らない団体があったほか、事業内容の周知が幅広い市民に行き届いていないことが要因と考えられます。 今後は、申請様式の改正を進めるほか、チラシやポスターの掲示やSNSの活用と併せて、各高校や市民団体への訪問など、積極的な事業内容の周知にも努め、市民協働のまちづくりに繋がる活動を進めていく必要があります。								

施策 22 取組 1 番号 2 事務事業 町内会活動等支援事業													
目的		町内会等の活動を支援し、地域コミュニティの形成を促進します。				担当課		市民活動課					
目標		身近な地域における絆づくりや課題解決などに向けた町内会の自主的な活動の継続を目指します。											
事業実施状況	・町内会活動の周知、加入促進 ・帯広市町内会連合会への支援 ・町内会自治活動への支援（単位町内会753件、地区連合町内会47件）		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額				
			事業費		34,808		35,335		34,625				
			特定財源		0		0		0				
			一般財源		34,808		35,335		34,625				
			指標名		-				単位				
	基準値		R5		目標値 実績値		R6		目標値 実績値		R7		目標値 実績値
		-		-		-		-		-		-	
評価検証	R7年度は、町内会の自主的な活動の継続に向け、「持続可能な町内会活動の推進に向けた取り組み方針」に基づき、市からの依頼業務の見直しや市職員の相談体制を強化するなどの町内会の負担軽減と活動支援につながる取り組みを進めてきており、目標を達成しました。												

施策 22 取組 1 番号 3 事務事業 市民協働推進事業										
目的	活動相談や情報提供などにより、NP0、ボランティア団体等の活動を支援し、市民参加の取り組みを促進します。					担当課	市民活動課			
目標	若者、女性、企業など、多様な主体がまちづくりに参加しやすい環境づくりを目指します。									
事業実施状況	・市民活動ポータルサイトの運用 ・市民活動交流センター市民活動情報室の運営（利用者数156人）		単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額		
			事業費	4,505		5,288		5,256		
			特定財源	0		0		0		
			一般財源	4,505		5,288		5,256		
	指標名		-					単位		
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
	-			-		-		-		
				-		-		-		
評価検証	R7年度は、NP0やボランティア団体等が主催するイベント等を周知したことにより、多くの人がまちづくりに参加しやすい環境づくりにつながっています。 また、市民活動交流センターで、利用者の主体的な活動に対する助言を継続的に実施しており、目標を達成しました。									

事務事業評価表

施策 22 取組 1 番号 4 事務事業 コミュニティ施設維持管理事業									
目的	市民相互が交流・連携する場を提供します。					担当課	市民活動課		
目標	-								
事業実施状況	・コミュニティ施設の整備、維持管理（利用者数428,934人） ・大空会館移転改築の実施設計	単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額		
		事業費	170,843		225,335		254,927		
		特定財源	1,009		2,358		26,154		
		一般財源	169,834		222,977		228,773		
		指標名	-					単位	
		基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値	
		-		-		-		-	
				-		-		-	
評価検証	-								

施策 22 取組 1 番号 再 事務事業 健康教育事業<再掲1-2-2>														
目的	健康教育の実施により、生活習慣病の予防やこころの健康づくりの普及・啓発を図ります。						担当課	健康推進課						
目標	-													
事業実施状況	・ 出前健康講座の実施 ・ 健康情報の発信				単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額						
					事業費	-	-	-						
					特定財源	-	-	-						
					一般財源	-	-	-						
					指標名	-						単位		
					基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値			
					-		-		-		-			
							-		-		-			
評価検証	-													

施策 22 取組 1 番号 再 事務事業 地域福祉推進事業<再掲3-1-2>										
目的	市民や関係団体等との連携により、高齢者や障害者等とともに支え合う地域福祉の環境づくりを進めます。						担当課	地域福祉課		
目標	-									
事業実施状況	・ 地域交流サロンの活動促進				単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額		
					事業費	-	-	-		
					特定財源	-	-	-		
					一般財源	-	-	-		
					指標名	-				
		基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
		-		-		-		-		
				-		-		-		
評価検証	-									

事務事業評価表

施策 22 取組 1 番号 再 事務事業 学校・家庭・地域連携事業（学校地域支援本部）<再掲12-4-1>													
目的 地域全体で子どもを応援する仕組みにより、各学校単位の取り組みの充実 やボランティア等の支援、各取り組みのつながり強化を図ります。				担当課		学校地域連携課							
目標 -													
事業 実施 状況	・学校支援地域本部の活動支援 ・子ども学校応援地域事業の実施 ・子どもの見守り活動推進事業の実施 ・学校支援ボランティアの育成(研修会参 加者64名) ・帯広市学校・家庭・地域協働会議の運営 ・登下校時の交通事故や不審者から児童を 守る安全対策の実施			単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
				事業費		-		-		-			
				特定財源		-		-		-			
				一般財源		-		-		-			
				指標名		-				単位			
				基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
				-			-	-	-		-		
							-	-	-		-		
評価 検証	-												

施策 22 取組 1 番号 再 事務事業 学校・家庭・地域連携事業（子どもの居場所づくり）<再掲12-4-2>												
目的 放課後等に児童が安心して安全に過ごせる場を設け、地域の人との交流を通して、豊かな人間性や社会性を養います。						担当課		学校地域連携課				
目標 -												
事業実施状況	・放課後子ども広場の開催（参加ボランティア数延べ4,146名、実施回数500回） ・放課後子ども広場に関わるボランティアの養成（7名） ・放課後子ども広場運営委員会の開催（3回） ・放課後子ども広場PR活動				単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
					事業費		-		-		-	
					特定財源		-		-		-	
					一般財源		-		-		-	
	指標名		-						単位			
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値				
	-			-	-	-	-					
				-		-		-				
評価検証	-											

施策 22 取組 1 番号 再 事務事業 学習機会提供事業（生涯学習文化課）<再掲13-1-1>2											
目的	学習情報のほか、生涯にわたって学ぶ様々な機会を提供します。					担当課	生涯学習文化課				
目標	-										
事業実施状況	・市民大学講座の実施（49講座1,613人） ・高齢者学級の実施（1年生58人、2年生42人） ・プラザエンジョイスクールの実施（第Ⅰ期555人、第Ⅱ期548人、第Ⅲ期559人、第Ⅳ期552人）			単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額		R7年度決算額			
				事業費	-	-		-			
				特定財源	-	-		-			
				一般財源	-	-		-			
				指標名	-				単位		
				基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値	
				-		-		-		-	
		-		-		-					
	-										
評価検証	-										

事務事業評価表

施策 22 取組 1 番号 再 事務事業 学習を通じたまちづくり支援事業<再掲13-2-1>													
目的				社会教育関係団体等による学習活動を支援し、学習を通じたまちづくりを促進します。				担当課		生涯学習文化課			
目標				-									
事業実施状況	・生涯学習推進委員会への支援 ・社会教育関係団体等への支援 ・学生の社会参加（25名） ・指導者登録（登録者数147名）			単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
				事業費		-		-		-			
				特定財源		-		-		-			
				一般財源		-		-		-			
				指標名			-			単位			
				基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
				-			-		-		-		
							-		-				
評価検証	-												

施策 22 取組 1 番号 再 事務事業 市民文化活動促進事業<再掲14-1-2>											
目的	市民主体の文化芸術活動を推進します。					担当課	生涯学習文化課				
目標	-										
事業実施状況	・市民主体の文化活動への支援(文化事業の後援件数173件) ・市民芸術祭の開催(ステージ出演者474人、展示出品者420人、茶会44人) ・文化芸術活動発表会の開催(1件)			単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額				
				事業費	-	-	-	-			
				特定財源	-	-	-	-			
				一般財源	-	-	-	-			
				指標名	-				単位		
				基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値	
				-		-	-	-	-		
				-		-	-	-	-		
評価検証	-										

施策 22 取組 1 番号 再 事務事業 文化芸術鑑賞事業<再掲14-2-1>													
目的		市民に良質な文化芸術にふれる機会を提供し、文化芸術への関心を高めます。						担当課		生涯学習文化課、百年記念館			
目標		-											
事業実施状況	・優れた文化芸術鑑賞機会の提供(7事業、8,281人)		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額				
			事業費		-		-		-				
			特定財源		-		-		-				
			一般財源		-		-		-				
			指標名		-						単位		
			基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値	
			-			-			-			-	
				-			-			-			
評価検証		-											

事務事業評価表

施策 22 取組 1 番号 再 事務事業 市民活動交流センター管理運営事業<再掲21-1-2>											
目的		市民活動交流センターの管理運営により、市民の活動・交流などを通した中心市街地のにぎわいの創出を図ります。					担当課		商業労働課		
目標		-									
事業実施状況	・市民活動交流センターの管理運営		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額		
			事業費		-		-		-		
			特定財源		-		-		-		
			一般財源		-		-		-		
			指標名		-					単位	
			基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値	
			-			-	-	-	-		
評価検証	-										

施策 22 取組 2 番号 1 事務事業 移住推進事業										
目的	移住に関する相談活動や情報提供などにより、移住等を促進します。					担当課		観光交流課		
目標	移住に関するホームページアクセス数について21,673件を目指します。									
事業実施状況	・移住に関する情報収集、提供 ・移住に関する相談の実施（延べ229人） ・ちょっと暮らしサポート事業の実施（4件26日間） ・移住支援金の支給 ・首都圏での移住相談フェア等への出席	単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
		事業費	554		5,125		12,851			
		特定財源	0		5,121		0			
		一般財源	554		4		12,851			
		指標名	移住に関するホームページアクセス数					単位	件	
		基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
		13,268		21,673 21,266	21,673 17,873	21,673 12,612				
評価検証	R7年度の移住に関するホームページアクセス数は12,612件であり、目標を達成しませんでした。昨年度同様、移住希望者の情報収集の手段が、移住イベントや窓口などで行われることが増加していることや、民間企業の「住みよさランキング」で4年連続の北海道1位から7位となったことなどが要因であると考えます。今後は、これまで当市に移住してきた住民にアンケートなどを通じて、当市の住みよさ等の魅力を効果的に発信していく必要があると考えます。									

施策 22 取組 2 番号 2 事務事業 国内地域間交流促進事業											
目的		東京帯広会や関西帯広会等との交流や支援を通して、多様な地域間交流を進めます。				担当課		観光交流課			
目標		東京帯広会・関西帯広会への支援を通じ、帯広を応援する人材を確保するための運営体制を維持します。									
事業実施状況	・東京帯広会の活動への支援（総会・秋の集い、会報の発行） ・関西帯広会の活動への支援（総会、会報の発行） ・ふるさと訪問ツアーの受入（関西帯広会より15名） ・県人会、ふるさと会等の活動への対応（香川県人会総会・帯広清水会定期総会・岐阜県人会総会に参加）	単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
		事業費		1,418		1,458		1,451			
		特定財源		0		0		0			
		一般財源		1,418		1,458		1,451			
		指標名		-					単位		
		基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
		-			-		-		-		
評価検証	R7年度は、東京帯広会や関西帯広会をはじめとする各地での総会への参加や、関西帯広会のふるさと訪問ツアーの受入などを通じて、帯広を応援するための地域間交流を進めてきており、目標を達成しました。										

事務事業評価表

施策 22 取組 2 番号 3 事務事業 国際姉妹・友好都市交流事業												
目的	国際姉妹・友好都市との交流に関する業務を進め、幅広い分野での市民主体による交流を促進します。					担当課		観光交流課				
目標	国際姉妹・友好都市間における市民主体の交流活動を維持します。											
事業実施状況	・国際姉妹・友好都市交流事業 ・高校生派遣（スワード市4名、朝陽市2名）、受入（スワード市4名、朝陽市2名） ・市民主体の交流活動への支援 ・姉妹都市展示コーナーなどによる情報提供 ・訪問団派遣交流（朝陽市友好都市締結25周年、マディソン市姉妹都市締結20周年）				単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
					事業費		13,107		4,705		20,308	
					特定財源		12,766		4,705		20,308	
					一般財源		341		0		0	
					指標名 -						単位	
	基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値		
				-			-			-		
					-			-			-	
評価検証	R7年度は、継続して行っている姉妹都市との高校生相互派遣事業のほか、朝陽市、マディソン市との姉妹・友好都市締結周年記念事業を通じた市民主体の交流を実施することができ、目標を達成しました。											

施策 22 取組 2 番号 4 事務事業 国内姉妹都市交流事業											
目的		国内姉妹都市への派遣等により、幅広い分野での市民主体による交流を促進します。				担当課		観光交流課			
目標		国内姉妹都市間における市民主体の交流活動を維持します。									
事業実施状況	事業実施状況	・市民主体の交流活動促進 ・子ども親善訪問団派遣・受入（松崎町10名、徳島市6名、大分市6名） ・姉妹都市展示コーナーなどによる情報提供		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
				事業費		5,912		3,410		2,739	
				特定財源		4,062		1,840		2,739	
				一般財源		1,850		1,570		0	
				指標名		-				単位	
		基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
		-		-		-		-			
				-		-		-			
評価検証	評価検証	R7年度は、子ども親善訪問団の相互派遣の実施や、姉妹都市とのオンライン交流を実施するなど、市民主体の継続した交流を実施してきており、目標を達成しました。									

施策 22 取組 2 番号 5 事務事業 国際交流活動促進事業																
目的		市民主体の国際交流活動を支援し、市民レベルの交流拡大を図ります。				担当課		観光交流課								
目標		国際交流ボランティアの増加を目指します。														
事業実施状況	・市民主体の国際交流活動への支援 ・国際親善交流基金の管理 ・留学生による地域活動への支援 ・国際交流ボランティアの育成（10名増加） ・国際交流団体のネットワークづくり ・国際交流団体への支援					単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額				
						事業費		5,897		2,075		4,085				
						特定財源		5,585		1,965		3,877				
						一般財源		312		110		208				
						指標名		-				単位				
			基準値		R5		目標値 実績値		R6		目標値 実績値		R7		目標値 実績値	
			-				-		-				-		-	
評価検証		R7年度は、国際交流イベント等で国際交流ボランティアに関する周知に取り組んだほか、関係機関と連携しボランティア向け講座を開催したことから、国際交流ボランティアの登録者数は増加し、目標を達成しました。														

事務事業評価表

施策 22 取組 2 番号 6 事務事業 国際理解推進事業											
目的		国際理解教育や在住外国人への日本文化紹介など、異なる文化・習慣等の相互理解を促進します。				担当課		観光交流課			
目標		外国人講師の派遣回数や日本文化紹介機会の増加を目指します。									
事業実施状況	・外国人講師派遣（紹介）事業の実施（派遣1回、紹介2回） ・国際交流員による小中学校訪問（74時間） ・諸外国の生活文化紹介 ・日本文化紹介事業の実施（5回） ・国際交流員による事業の企画、実施 ・通訳・翻訳業務 ・在住外国人への情報提供・相談の実施 ・多文化共生社会の推進	単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
		事業費		18,436		18,564		22,002			
		特定財源		721		842		797			
		一般財源		17,715		17,722		21,205			
		指標名 -						単位			
		基準値		R5		目標値 実績値		R6		目標値 実績値	
		-				-		-		-	
評価検証	R7年度は、JICA研修員や在住外国人に向けた日本文化紹介事業や国際交流員による小中学校訪問を継続して実施したことにより、小中学校訪問時間数は増加した一方で、外国人講師派遣事業は各イベント等での周知を行ったものの先方の都合により派遣に至らず派遣回数が減少し目標を達成しませんでした。今後は、過去に実施実績のある団体やイベントでの効果的な周知に努めていく必要があると考えます。										

施策 22 取組 2 番号 7 事務事業 国際協力事業										
目的	地域の技術や特性を活かした人材の育成など、JICA北海道センター（帯広）を核に関係機関と連携し、国際協力を進めます。					担当課	観光交流課			
目標	JICA北海道センター（帯広）等との連携による研修事業などを通じ、国際協力が可能な体制を維持します。									
事業実施状況	・国際研修指導員による青年研修事業等の実施 ・国際協力関係機関との連絡調整	単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
		事業費	5,294		3,593		3,832			
		特定財源	0		0		0			
		一般財源	5,294		3,593		3,832			
		指標名	-					単位		
		基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
		-	-	-	-	-				
評価検証	R7年度は、JICA北海道センター（帯広）との連携による研修事業に対して、関係機関や市内企業と連携し、国際協力の取り組みを進めてきており、目標を達成しました。									

施策 22 取組 2 番号 8 事務事業 森の交流館・十勝管理運営事業										
目的	国際交流の拠点施設である森の交流館・十勝の管理運営を通して、地域の国際化を総合的に進めます。					担当課	観光交流課			
目標	-									
事業実施状況	・森の交流館・十勝の管理運営		単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額		R7年度決算額			
			事業費	23,989	35,509		47,644			
			特定財源	1,053	10,150		21,193			
			一般財源	22,936	25,359		26,451			
	指標名		-					単位		
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
	-			-		-		-		
評価検証	-									

事務事業評価表

施策 22 取組 3 番号 1 事務事業 女性活躍推進事業										
目的	ライフステージに応じたワーク・ライフ・バランスの普及、浸透や、女性の政策過程への参画などにより、男女がともに暮らしやすい環境づくりを進めます。					担当課	市民活動課			
目標	審議会等への女性の参画率について40%を目指します。									
事業実施状況	・各種審議会等への女性の登用促進 (35.6%) ・女性活躍に関する講座の開催（1回35人） ・ワークライフバランスに関する講座の開催（2回53人） ・ワークライフバランス啓発資料等の作成・配布（2,018枚） ・男女共同参画専門員の配置	単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
		事業費	2,834		4,579		3,429			
		特定財源	0		0		0			
		一般財源	2,834		4,579		3,429			
		指標名	審議会等への女性の参画率					単位	%	
		基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
	32.9	40.0 33.9	40.0 33.7	40.0 35.6						
評価検証	R7年度の各種審議会等への女性の参画率は35.6%であり、目標を達成しませんでした。委員が選出される団体の女性割合が低いことや専門的知識を有する女性の人材確保の難しさが要因と考えます。今後も、目標値に達していない審議会等について、関係団体への働きかけや具体的な対応について協議を行っていくとともに、育児・介護休業制度や男女雇用均等法などの制度の周知啓発等を進め、審議会等への女性参画を推進します。									

施策 22 取組 3 番号 2 事務事業 女性に対する暴力根絶推進事業										
目的	女性への暴力に対する認識を促す啓発活動により、女性への暴力根絶意識の向上を図ります。					担当課	市民活動課			
目標	男女共同参画講座のうちDVに関する講座の参加人数について25人を目指します。									
事業実施状況	・デートDV防止啓発パンフレットの作成・配布 ・困難女性支援パンフレットの作成・配布 ・DV予防に関する講座の開催（1回26人） ・デートDV予防講座の開催（5回859人） ・女性のための人権なんでも相談所の開催（3回） ・民間シェルターへの支援 ・女性相談員支援員の配置	単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
		事業費	4,162		4,636		4,700			
		特定財源	491		2,982		2,791			
		一般財源	3,671		1,654		1,909			
		指標名	DVに関する講座の参加者数					単位	人	
		基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
		23		25 25		25 26		25 26		
評価検証	R7年度のDVに関する講座の参加者数は26人であり、目標を達成しました。 講座への参加しやすい環境づくりとして、対面とオンラインを併用した開催方法を継続してきたことが要因と考えます。									

施策 22 取組 3 番号 3 事務事業 男女共同参画推進事業										
目的		男女平等参画に関する講演会の開催などにより、男女平等意識の向上を図ります。				担当課		市民活動課		
目標		男女共同参画セミナー、男女共同参画講座の参加者数について249人を目指します。								
事業実施状況	・男女共同参画セミナーの開催（302人） ・男女共同参画講座の開催（6回170人） ・男女共同参画情報誌「カスターネット」の発行（2回各2,500部） ・とちちプラザ男女共同参画コーナーでの情報提供 ・男女共同参画関係団体の活動支援 ・パートナーシップ制度の実施 ・LGBT等の若者居場所づくり（VIVID!!）（5回）		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
			事業費		2,191		1,151		947	
			特定財源		1,000		200		229	
			一般財源		1,191		951		718	
			指標名 男女共同参画講座参加者数				単位		人	
			基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値
			209			249 390		249 316		249 472
評価検証		R7年度の男女共同参画セミナー及び男女共同参画講座の参加者数は472人であり、目標を達成しました。 対面とオンラインを併用した開催方法を継続してきたほか、セミナーでは話題性のある講座内容の選定を行ったことなどが、参加者数の増加の要因と考えます。								

事務事業評価表

施策 22 取組 3 番号 再 事務事業 子育て支援事業<再掲2-1-3>2										
目的	子育て世代包括支援センターにおいて、子育て相談など多様な子育て支援事業を実施します。					担当課	子育て支援課			
目標	-									
事業実施状況	・ファミリーサポートセンター事業の実施（会員数835人、活動件数2,356件）、ひとり親世帯への利用料助成（利用人数35人、利用回数173件） ・子育て応援事業所登録事業の実施（登録事業所数296事業所） ・妊婦のための支援給付、出産子育て応援交付金の給付（1,781件）	単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
		事業費	-		-		-			
		特定財源	-		-		-			
		一般財源	-		-		-			
		指標名	-					単位		
		基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
		-		-		-		-		
		-		-		-		-		
評価検証	-									

施策 22 取組 3 番号 再 事務事業 労働環境整備促進事業<再掲9-4-2>2													
目的	労働相談の実施や子どもを生み育てやすい職場環境づくりなど、 勤労者が安心して働くことができる環境整備を促進します。						担当課	商業労働課					
目標	-												
事業実施状況	・子育て応援事業所促進事業の実施（81件）				単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
					事業費	-		-		-			
					特定財源	-		-		-			
					一般財源	-		-		-			
					指標名	-						単位	
					基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
					-		-		-		-		
評価検証	-												

施策 22 取組 4 番号 1 事務事業 アイヌ民族理解促進事業									
目的	アイヌ民族の歴史・文化に関する理解促進など、アイヌの人たちの施策を総合的に推進します。					担当課	地域福祉課		
目標	アイヌ協会主催イベント等への参加のべ人数について1,259人を目指します。								
事業実施状況	・アイヌ文化交流会の開催(285人) ・アイヌ生活文化展の開催(135人) ・刺しゅう教室の開催(19人) ・帯広アイヌ協会主催イベント等（合同慰霊祭、チョマトー慰霊祭）の開催(288人) ・アイヌ施策連絡会議の開催 ・帯広アイヌ協会への支援		単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額			
			事業費	600	600	600			
			特定財源	0	0	0			
			一般財源	600	600	600			
			指標名	生活文化展や講習会等の参加者数			単位	人	
	基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
	1,082		1,259 1,231	1,259 1,223	1,259 727				
評価検証	R7年度の生活文化展や講習会等の参加者数は727人であり、目標を達成しませんでした。 アイヌ文化交流会において、出演者及び会場の都合がつかず、開催日程が短くなったことで、来場者数が減少したことが要因と考えます。 今後も、アイヌ民族の歴史・文化の理解促進を図るため、魅力あるイベントを企画するとともに、より多くの市民が参加できるよう開催時期の検討や出演者等との調整による取り組みの維持につなげていきます。								

事務事業評価表

施策 22 取組 4 番号 2 事務事業 アイヌの人たちの生活相談事業											
目的	生活館の管理運営や、生活相談・指導により、アイヌの人たちの生活の向上を図ります。					担当課	地域福祉課				
目標	アイヌ生活相談員による生活相談体制を維持します。										
事業実施状況	・生活相談員の配置（相談件数760件） ・住宅新築等資金貸付事業の運用 ・生活館の管理運営		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額		
			事業費		66,747		36,218		12,223		
			特定財源		58,657		27,794		3,740		
			一般財源		8,090		8,424		8,483		
			指標名		生活相談件数				単位		件
	基準値		R5	目標値		R6	目標値		R7	目標値	
				実績値			実績値				
				989			989				
960		677		991		760					
評価検証	R7年度の生活相談件数は760件となり、目標を達成しませんでした。 昨年度に、生活相談員による相談者のアフターフォローを積極的に行ったことで、生活や健康に関する困りごとを抱える人が減少したことが要因と考えています。 今後も、相談後の状態確認を積極的に行うなど、きめ細やかな相談対応を進めていきます。										

施策 22 取組 4 番号 3 事務事業 アイヌ子弟教育支援事業									
目的	遠隔地で就学するアイヌ子弟の教育費助成や教育相談・指導により、アイヌ子弟の教育環境の充実を図ります。					担当課	学校教育課、学校教育指導課		
目標	-								
事業実施状況	・アイヌ子弟高等教育に係る教育扶助の支給 ・教育相談員の配置	単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額		
		事業費	2,708		1,797		2,504		
		特定財源	0		0		0		
		一般財源	2,708		1,797		2,504		
		指標名	-					単位	
		基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値	
		-	-	-	-	-	-		
評価検証	-								

施策 22 取組 4 番号 4 事務事業 アイヌ民族文化調査・普及事業										
目的	アイヌ民族文化情報センター「リウカ」において学ぶ機会を提供し、アイヌ民族の歴史・文化への理解を促進します。					担当課	百年記念館			
目標	リウカ（アイヌ文化情報センター）の利用者数について18,198人を目指します。									
事業実施状況	・アイヌ民族文化に関する情報提供、普及活動 ・アイヌ民族文化に関する情報収集、調査	単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
		事業費	1,034		1,391		1,083			
		特定財源	0		264		0			
		一般財源	1,034		1,127		1,083			
		指標名	リウカの利用者数					単位	人	
		基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
		18,198		18,198 17,222		18,198 18,996		18,198 18,354		
評価検証	R7年度の「リウカ」利用者数は18,354人であり、目標を達成しました。観光・視察目的の見学者が増加したことが要因と考えられます。今後は、アイヌ文化とのふれあいゾーンの紹介などを目的として作成したリーフレットを駅周辺ホテルへ配布し、観光客に向けて周知するほか、アイヌ文化資料を解説しているモバイルガイドなどの活用により、更なる利用促進をはかっていくことが必要と考えます。									

事務事業評価表

施策 22 取組 4 番号 5 事務事業 アイヌ伝統文化保存・伝承事業									
目的	アイヌ古式舞踊保護団体や、アイヌの伝統文化の保存・伝承活動を支援し、十勝に伝わるアイヌ文化の保存伝承、発展を図ります。						担当課		
目標	生涯学習文化課、百年記念館								
事業実施状況	リウカ（アイヌ文化情報センター）の利用者数について18,198人を目指します。								
	・帯広カムイトウウボボ保存会への支援 ・アイヌ文化の保存伝承、普及啓発		単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
			事業費	2,964		5,724		3,865	
			特定財源	0		1,622		0	
			一般財源	2,964		4,102		3,865	
		指標名	リウカの利用者数					単位	人
		基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値	
		18,198		18,198 17,222		18,198 18,996		18,198 18,354	
評価検証	R7年度の「リウカ」利用者数は18,354人であり、目標を達成しました。観光・視察目的の見学者が増加したことが要因と考えられます。今後は、アイヌ文化とのふれあいゾーンの紹介などを目的として作成したリーフレットを駅周辺ホテルへ配布し、観光客に向けて周知するほか、アイヌ文化資料を解説しているモバイルガイドなどの活用により、更なる利用促進をはかっていくことが必要と考えます。								

施策 22 取組 5 番号 1 事務事業 核兵器廃絶平和都市推進事業									
目的	核兵器廃絶平和都市宣言の理念に基づき、核兵器廃絶などの平和に関する意識の向上を図ります。					担当課	市民活動課		
目標	各種平和事業の参加者数について4,392人を目指します。								
事業実施状況	・おびひろ平原まつりへの出展（608人） ・語り継ぐ核兵器廃絶、平和展の開催（2,091人） ・原爆パネル移動展の開催（3カ所100人） ・平和コンサートの開催（1,121人） ・平和の絵・詩の募集（275人、絵217点、詩58点） ・平和の作品展（8,730人） ・平和カレンダーの作成・配布（3,300部） ・語り部の会の開催（38人） ・平和首長会議、日本非核宣言自治体協議会への参画		単位：千円		R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額		
			事業費		524	560	585		
			特定財源		0	0	0		
			一般財源		524	560	585		
			指標名		平和啓発事業参加者数			単位	人
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値	
	3,020			4,392 2,189		4,392 1,976		4,392 12,963	
評価検証	R7年度の各種平和事業の参加者数は12,963人で目標を達成しました。 戦後80年の節目として、おびひろ平原まつりでの平和コンサートや企画展の開催、商業施設での平和の作品展などを行ったことが要因と考えます。								

施策 22 取組 5 番号 2 事務事業 人権擁護推進事業									
目的	一人ひとりの人権が尊重される社会や平和の実現を目指します。					担当課	市民活動課		
目標	-								
事業実施状況	・ 人権啓発活動への支援	単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額		
		事業費	120		133		220		
		特定財源	0		0		99		
		一般財源	120		133		121		
		指標名	-					単位	
		基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値	
		-		-		-		-	
評価検証	-								

事務事業評価表

施策 22 取組 5 番号 再 事務事業 児童虐待予防・防止対策推進事業<再掲2-1-10>												
目的	虐待や育児に関する相談活動を行うとともに、関係機関との連携を進め、児童虐待の未然防止、早期発見、早期対応を図ります。						担当課	子育て支援課				
目標	-											
事業実施状況	・家庭児童相談室の運営(相談件数235件) ・帯広市要保護児童対策地域協議会の開催		単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額				
			事業費	-		-		-				
			特定財源	-		-		-				
			一般財源	-		-		-				
			指標名	-						単位		
			基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値			
			-		-	-	-	-				
			-		-	-	-	-				
評価検証	-											

施策 22 取組 5 番号 再 事務事業 高齢者虐待防止事業<再掲4-1-5>									
目的	地域包括支援センターや関係機関との連携により、高齢者虐待の未然防止、早期発見、早期対応を図ります。					担当課	介護高齢福祉課		
目標	-								
事業実施状況	・高齢者虐待防止ネットワーク会議の開催（1回） ・高齢者虐待防止研修会の開催（1回、143人） ・被虐待高齢者の保護、支援（通報件数21件、認定件数7件）	単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額		
		事業費	-		-		-		
		特定財源	-		-		-		
		一般財源	-		-		-		
		指標名	-					単位	
		基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値	
		-		-		-		-	
評価検証	-								

施策 22 取組 5 番号 再 事務事業 障害者虐待防止事業<再掲5-1-2>										
目的	虐待に関する相談活動を行うとともに、関係機関との連携により、障害者虐待の未然防止、早期発見、早期対応を図ります。						担当課	障害福祉課		
目標	-									
事業実施状況	・障害者虐待防止センターの運営（通報件数30件） ・虐待防止に関する啓発活動の実施	単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
		事業費	-		-		-			
		特定財源	-		-		-			
		一般財源	-		-		-			
		指標名	-					単位		
		基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
		-	-	-	-	-	-			
評価検証	-									

事務事業評価表

施策	22	取組	5	番号	再	事務事業 女性に対する暴力根絶推進事業<再掲22-3-2>										
目的	女性への暴力に対する認識を促す啓発活動により、女性への暴力根絶意識の向上を図ります。					担当課		市民活動課								
目標	-															
事業実施状況	・デートDV防止啓発パンフレットの作成・配布 ・困難女性支援パンフレットの作成・配布 ・DV予防に関する講座の開催（1回26人） ・デートDV予防講座の開催（5回859人） ・女性のための人権なんでも相談所の開催（3回） ・民間シェルターへの支援 ・女性相談員支援員の配置					単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額				
						事業費		-		-		-				
						特定財源		-		-		-				
						一般財源		-		-		-				
						指標名		-				単位				
						基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値	
						-		-		-		-		-		
						-		-		-		-		-		
評価検証	-															

事務事業評価表

施策 23 取組 1 番号 1 事務事業 広報活動事業									
目的	広報紙等の発行や、ホームページ、テレビ、ラジオ等のメディアを活用し、市民に行政情報を分かりやすく提供します。					担当課	広報広聴課		
目標	情報発信の満足度について61.0%を目指します。								
事業実施状況	・広報紙の発行、配布（月1回発行・852,000部/年・148頁/年） ・点字・声の広報の発行、配布（対象25人） ・ホームページ、テレビ、ラジオ等による情報発信（ホームページアクセス数6,311,167回） ・報道機関との連絡調整 ・市長記者会見の実施（9回）		単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額			
			事業費	55,459	57,792	59,377			
			特定財源	3,479	2,099	2,311			
			一般財源	51,980	55,693	57,066			
			指標名	情報発信の満足度			単位	%	
	基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
	54.2		61.0 60.2		61.0 61.3		61.0 57.9		
評価検証	R7年度の情報発信の満足度（市民まちづくりアンケートにおいて「行政情報を分かりやすく知ることができる」と回答した割合）は57.9%となり、目標を達成できませんでした。 広報紙やホームページ、SNS、動画、記者会見など、多様な媒体を活用して情報発信に取り組んできましたが、同アンケートでは「行政情報の入手先」として「広報紙」を選択した割合が低下するとともに、「行政情報を分かりやすく知ることができない理由」として「行政情報が入手できないから」を選択した割合が上昇しています。町内会を通じた広報紙の配布率の低下により、市民に情報が行き届きにくくなったことが、一因であると考えられます。 今後は、各媒体の特性を活かしながら、表現やレイアウトの工夫を進めるとともに、市による直接配布とした広報紙やSNSを活用し、より分かりやすく効果的な情報発信に取り組んでいく必要があると考えています。								

施策 23 取組 1 番号 2 事務事業 広聴活動事業										
目的	様々な機会を通じた市民との対話や、市長への手紙やパブリックコメント制度の実施などにより、施策に関する市民意見を把握します。					担当課	広報広聴課			
目標	市民対話推進事業参加者の満足度について92.1%を目指します。									
事業実施状況	・市民との対話事業の実施（4回16人参加） ・市政講座の実施（16件366人参加） ・市長への手紙の実施（311件） ・要望書等の受理（764件） ・パブリックコメントの実施（5案件83件の意見）	単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
		事業費	4,841		4,824		4,385			
		特定財源	0		0		0			
		一般財源	4,841		4,824		4,385			
		指標名	市民対話推進事業参加者の満足度					単位	%	
		基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
		92.1		92.1 94.1		92.1 100.0		92.1 100.0		
評価検証	R7年度の市民対話推進事業の参加者満足度（実施後のアンケートにて「参加して良かった」と回答した割合）は100.0%であり、目標を達成しました。 過去の実績を参考に、参加者の満足度が高い少人数で開催したことが効果的であったと考えます。 今後も、市民の関心の高いテーマを取り上げ、対話しやすい形式や場所などの環境を整えながら、事業を進めていく必要があると考えます。									

施策 23 取組 1 番号 3 事務事業 まちづくり基本条例推進事業												
目的		まちづくり基本条例の普及・啓発や条例に基づく取り組みを進め、市民協働による自主・自立のまちづくりを進めます。							担当課		企画課	
目標		-										
事業実施状況	・市民への普及・啓発 ・条例に基づく取り組みの推進		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
			事業費		0		0		0			
			特定財源		0		0		0			
			一般財源		0		0		0			
			指標名		-							単位
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値				
	-			-		-						
				-		-						
評価検証		-										

事務事業評価表

施策 23 取組 1 番号 4 事務事業 情報公開・提供推進事業									
目的	帯広市情報公開条例に基づき、適切に情報公開を進めるとともに、情報室などにおいて、市民に行政情報を幅広く提供します。					担当課	総務部総務課		
目標	-								
事業実施状況	・情報室における情報提供 ・公文書開示請求への対応		単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
			事業費	78		78		78	
			特定財源	14		3		4	
			一般財源	64		75		74	
			指標名	-					単位
	基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
	-		-		-		-		
評価検証	-								

施策 23 取組 2 番号 1 事務事業 おびひろ応援寄附金推進事業									
目的	おびひろ応援寄附金に関し、返礼品の充実や地域の魅力発信を行うとともに、寄附金の受納に関する事務の適正な執行に努めます。					担当課	観光交流課、総務部総務課		
目標	おびひろ応援寄附金額について2,226,400千円を目指します。								
事業実施状況	・おびひろ応援寄附金に関する返礼品の充実、情報発信 ・おびひろ応援寄附金の受納に関する事務	単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額				
		事業費	774,527	526,022	619,156				
		特定財源	746,772	534,015	628,742				
		一般財源	27,755	△7,993	△9,586				
		指標名	寄附金額			単位	千円		
		基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値	
		1,373,726		1,800,060 1,351,457		2,013,230 1,138,556		2,226,400 1,323,161	
評価検証	R7年度のおびひろ応援寄附金は、1,323,161千円であり、前年比で184,604千円増加したものの、目標を達成できませんでした。 前年に比べ、検索連動型広告の継続やInstagramを活用した返礼品の魅力発信を行ったことにより、寄附額は伸びましたが、他の自治体との商品の差別化、魅力発信が十分に図れなかったことが要因として考えられます。 今後も、返礼品取扱事業者の増加や返礼品の充実等を図るほか、寄附者へ地域や返礼品の魅力が伝わるように効果的な情報発信を行う必要があると考えます。								

施策 23 取組 2 番号 2 事務事業 自主財源確保対策事業										
目的	新たな自主財源を検討するとともに、自主財源の確保・拡大を図ります。					担当課	財政課			
目標	自主財源の確保に向けた広告媒体の拡大などを目指します。									
事業実施状況	・新たな自主財源の検討及び実施 ・自主財源の確保、拡大	単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
		事業費	0		0		0		0	
		特定財源	0		0		0		0	
		一般財源	0		0		0		0	
		指標名	-						単位	
		基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
		-		-		-		-		
評価検証	R7年度は、「新たな自主財源確保対策検討会議」を開催し、各部と新たな取組の検討を進めてきており、目標を達成しました。									

事務事業評価表

施策 23 取組 2 番号 3 事務事業 公有財産管理・運用事業									
目的	公有財産の取得・処分や土地・建物の管理など、公有財産の適切な管理・運用を進めます。					担当課	契約管財課		
目標	未利用・低利用地の有効活用件数について4件を目指します。								
事業実施状況	・公有財産の取得、処分、貸付け ・普通財産の管理、運用（土地等売払い：3件 45,196千円、貸付け：36件 8,076千円）	単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額		
		事業費	99,348		12,600		39,319		
		特定財源	3,670		3,065		3,973		
		一般財源	95,678		9,535		35,346		
		指標名	未利用・低利用地の有効活用件数				単位	件	
		基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値	
	4	4	4	4	4	3			
評価検証	R7年度の未利用地・低利用地の有効活用件数は3件であり、目標を達成しませんでした。当初予定していた土地売払い又は長期貸付けの6件のうち、2件が入札中止、1件が入札不調となったことが要因です。今後も引き続き、有効活用推進要領に基づいた取り組みを進め、未利用地・低利用地の利活用を図っていきます。								

施策 23 取組 2 番号 4 事務事業 ICT利活用推進事業									
目的	ICT等の活用により事務の改善を図り、行政サービスの向上や事務の効率化を進めます。					担当課	ICT推進課		
目標	RPAなどのICTの業務活用範囲の拡大を目指します。								
事業実施状況	・情報システム関連業務のアウトソーシング ・業務システムの運用管理 ・業務システム標準化の推進 ・ICT等を活用した事務改善の推進（RPA・AI-OCR活用により削減された作業時間4,448時間） ・社会保障、税番号制度の運用・周知 ・電子申請システムの運用（55,756件） ・デジタル活用策等の検討 ・帯広圏デジタル化推進構想の推進	単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額				
		事業費	613,978	807,840	816,479				
		特定財源	171,699	314,700	284,278				
		一般財源	442,279	493,140	532,201				
		指標名	-			単位			
	基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
	-		-		-		-		
	-		-		-		-		
評価検証	R7年度は、国民健康保険や戸籍等、計4業務が標準準拠システムに移行したほか、窓口DX推進プロジェクトの設置・開催、庁内生成AIサービスの本格導入と機能拡充、DX推進員制度の運用開始、帯広圏の4自治体実務者DX研究会の開催、RPAの業務活用などを進め、目標を達成しました。								

施策 23 取組 2 番号 5 事務事業 総合計画推進事業										
目的		地域の意志と責任に基づく自主・自立のまちづくりを進めるため、総合計画を計画的に推進します。				担当課		企画課		
目標		-								
事業実施状況	・ 総合計画の推進 ・ 総合計画策定審議会の開催 ・ 第3次推進計画の策定 ・ 市民まちづくりアンケートの実施	単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額		
		事業費		1,239		1,290		1,378		
		特定財源		0		0		0		
		一般財源		1,239		1,290		1,378		
		指標名		-				単位		
		基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値	
		-			-		-		-	
評価検証	-									

事務事業評価表

施策 23 取組 2 番号 6 事務事業 総合戦略推進事業												
目的		PDCAサイクルの考え方にに基づき、総合戦略の施策立案、評価・検証、取り組みの見直しを行い、効果的に人口対策を推進します。						担当課		企画課		
目標		-										
事業実施状況	・帯広市まち・ひと・しごと創生総合戦略に基づく取り組みの進捗管理		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
			事業費		40		424		0			
			特定財源		0		0		0			
			一般財源		40		424		0			
			指標名		-						単位	
			基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
			-			-		-		-		
		-				-				-		
評価検証		-										

施策 23 取組 2 番号 7 事務事業 財政運営事業										
目的	事業の選択と集中を進め、持続可能で健全な財政運営を図ります。					担当課	財政課			
目標	-									
事業実施状況	・効果的な予算編成手法の検討 ・財政健全化判断比率の適正維持	単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額		
		事業費		0		0		0		
		特定財源		0		0		0		
		一般財源		0		0		0		
		指標名		-				単位		
		基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値	
		-			-		-		-	
評価検証	-			-		-		-		

施策 23 取組 2 番号 8 事務事業 財務管理事業									
目的	予算編成・決算調製などを通して、適正な事務執行の徹底を図ります。					担当課	財政課		
目標	-								
事業実施状況	・財務管理業務の実施 ・一部事務組合への負担金支出 ・財政調整基金の管理 ・公共施設等整備保全基金の管理				単位：千円		R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額
					事業費		2,075,458	5,005,798	1,587,009
					特定財源		34	326,093	417,654
					一般財源		2,075,424	4,679,705	1,169,355
					指標名		-		
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値	
	-			-		-		-	
評価検証	-						-		-
							-		-

事務事業評価表

施策 23 取組 2 番号 9 事務事業 市債等管理事業									
目的	市債の発行・償還や資金運用を適切に進め、計画的な財政運営を図ります。					担当課	財政課		
目標	-								
事業実施状況	・市債の発行、償還（普通会計） ・資金運用		単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
			事業費	8,062,599		7,827,913		7,425,128	
			特定財源	256,278		263,552		266,227	
			一般財源	7,806,321		7,564,361		7,158,901	
			指標名	-					単位
	基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
	-	-	-	-	-	-			
評価検証	-								

施策 23 取組 2 番号 10 事務事業 一般行政事業										
目的	総合案内や儀式、表彰など、一般行政事務を推進します。					担当課	総務部総務課、商業労働課			
目標	-									
事業実施状況	・ 総合案内、電話交換業務 ・ 新年交礼会、褒章・表彰業務		単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額				
			事業費	49,685	48,693	48,582				
			特定財源	3,436	3,967	4,219				
			一般財源	46,249	44,726	44,363				
	指標名	-					単位			
	基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値			
	-		-		-		-			
評価検証	-									

施策 23 取組 2 番号 11 事務事業 戸籍・住民基本台帳関連事業														
目的		戸籍・住民基本台帳関連事務を適切に管理するとともに、各種証明書等の発行や申請の受付を迅速かつ正確に行います。				担当課		戸籍住民課						
目標		-												
事業実施状況	・ 戸籍・住民基本台帳に関する事務 (191,332件) ・ パスポートの申請交付に関する事務 (2,842件) ・ 個人番号カードの交付に関する事務 (21,107件) ・ 諸証明のコンビニ交付サービスの実施 (37,621件) ・ 窓口サービスのスマート化 ・ 振り仮名対応に伴うシステム改修				単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
					事業費		214,460		99,101		227,421			
					特定財源		235,407		133,401		206,264			
					一般財源		△20,947		△34,300		21,157			
					指標名		-				単位			
	基準値		R5		目標値 実績値		R6		目標値 実績値		R7		目標値 実績値	
	-				-				-				-	
評価検証		-												

事務事業評価表

施策 23 取組 2 番号 12 事務事業 川西支所管理運営事業												
目的	川西支所を管理運営し、地域における利便性と質の高い行政サービスを提供します。							担当課	川西支所			
目標	-											
事業実施状況	・各種窓口業務 ・各種団体の運営に関する支援事務 ・川西支所の維持管理				単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
					事業費		1,773		1,875		2,025	
					特定財源		0		0		0	
					一般財源		1,773		1,875		2,025	
					指標名		-					
	基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値		
	-			-			-			-		
評価検証	-											

施策 23 取組 2 番号 13 事務事業 大正支所管理運営事業														
目的	大正支所を管理運営し、地域における利便性と質の高い行政サービスを提供します。					担当課	大正支所							
目標	-													
事業実施状況	・各種窓口業務 ・各種団体の運営に関する支援事務 ・大正支所の維持管理				単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
					事業費		590		943		926			
					特定財源		0		0		0			
					一般財源		590		943		926			
					指標名		-						単位	
	基準値		R5		目標値 実績値		R6		目標値 実績値		R7		目標値 実績値	
	-				-		-		-		-			
				-		-		-		-				
評価検証	-													

施策 23 取組 2 番号 14 事務事業 効率的行政運営推進事業											
目的	継続的な行財政改革への取り組みや行政サービス改善など、市民満足度の高い効率的な行政運営を進めます。						担当課	人事課、契約管財課			
目標	-										
事業実施状況	・行財政改革の推進（豊成保育所の民間移管に向けた準備・引継ぎの実施、DX推進員制度の試行実施、生成AIツールの庁内展開等） ・民間委託等幅広い手法の検討・推進（関連情報の収集等） ・事務権限の移譲への対応（関連情報の収集・庁内共有） ・指定管理者制度の運用（281施設）						単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額	
							事業費	85	187	26	
							特定財源	0	0	0	
							一般財源	85	187	26	
							指標名	-			
		基準値	R5	目標値	R6	目標値	R7	目標値			
				実績値		実績値		実績値			
			-	-	-	-	-				
評価検証	-										

事務事業評価表

施策 23 取組 2 番号 15 事務事業 行政情報基盤運営事業									
目的	行政情報ネットワークを管理運営し、効率的で安全性の高い行政サービスを提供します。					担当課	ICT推進課		
目標	-								
事業実施状況	・行政情報ネットワークの維持管理 ・情報セキュリティ対策の推進		単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額			
			事業費	83,146	84,271	89,833			
			特定財源	1,647	985	941			
			一般財源	81,499	83,286	88,892			
			指標名	-				単位	
	基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
	-		-	-	-	-			
評価検証	-								

施策 23 取組 3 番号 1 事務事業 物品購入・工事契約事業									
目的	地域の経済や雇用環境などに配慮しながら、品質の優れた調達を行います。					担当課	契約管財課		
目標	入札・契約事務の改善を進めます。								
事業実施状況	・物品の購入、工事（138件のうち入札137件）の契約事務	単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額		
		事業費	288		306		630		
		特定財源	0		0		0		
		一般財源	288		306		630		
		指標名	-					単位	
		基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値	
		-	-	-	-	-	-		
評価検証	R7年度は、建設業の働き方改革を考慮した制度上の整理や、公正性等の確保、雇用環境に配慮した契約事務を進めており、目標を達成しました。								

施策 23 取組 3 番号 2 事務事業 税収入払戻事業											
目的		市税の過誤納付金の還付を行い、公正かつ公平な収納事務を行います。				担当課		収納課			
目標		-									
事業実施状況	・市税過誤納付金の還付		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額		
			事業費		103,344		60,535		65,674		
			特定財源		0		0		0		
			一般財源		103,344		60,535		65,674		
	指標名		-						単位		
	基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値	
	-		-		-		-		-		
-											
評価検証											

事務事業評価表

施策 23 取組 3 番号 3 事務事業 収納率向上対策事業											
目的	市税等の収納率向上対策などを進め、自主財源の確保を図ります。					担当課	収納課				
目標	-										
事業実施状況	・ 収納率向上対策の推進 ・ 広域連携による市税等の滞納整理（実施主体：十勝圏複合事務組合） ・ 納税啓発の推進 ・ 納付環境の整備（地方税共通納税システムの運用） ・ 納税相談の実施（夜間窓口の開設、納税推進強調月間の実施） ・ 収納管理業務 ・ 滞納処分の実施		単位：千円		R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額				
			事業費		53,203	69,909	74,124				
			特定財源		301,094	293,785	306,328				
			一般財源		△247,891	△223,876	△232,204				
			指標名		-				単位		
	基準値		R5	目標値		R6	目標値		R7	目標値	
				実績値			実績値				
			-			-			-		
評価検証	-										

施策 23 取組 3 番号 4 事務事業 諸税賦課事業													
目的	市たばこ税など、諸税の課税事務を適正に執行し、自主財源の確保を図ります。						担当課		市民税課				
目標	-												
事業実施状況	・ 諸税の賦課	単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額					
		事業費		9,208		10,544		36,787					
		特定財源		12		15		8,366					
		一般財源		9,196		10,529		28,421					
		指標名		-						単位			
		基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値		
		-		-		-		-		-			
				-		-		-		-			
評価検証	-												

施策 23 取組 3 番号 5 事務事業 市民税賦課事業											
目的	市民税の課税事務を適正に執行し、自主財源の確保を図ります。						担当課	市民税課			
目標	-										
事業実施状況	・市民税の賦課 ・電子申告システムの運用			単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
				事業費		41,797		46,064		48,138	
				特定財源		11		15		0	
				一般財源		41,786		46,049		48,138	
				指標名		-					
	基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値	
	-			-			-			-	
評価検証	-										

事務事業評価表

施策 23 取組 3 番号 6 事務事業 固定資産税・都市計画税賦課事業										
目的		固定資産税・都市計画税の賦課事務を適正に執行し、自主財源の確保を図ります。				担当課	資産税課			
目標		-								
事業実施状況	・ 固定資産税の賦課 ・ 都市計画税の賦課	単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額		
		事業費		56,141		40,171		70,981		
		特定財源		1,011		1,154		500		
		一般財源		55,130		39,017		70,481		
		指標名		-				単位		
		基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値	
		-		-	-	-	-	-		
評価検証		-								

施策 23 取組 3 番号 7 事務事業 固定資産評価審査委員会運営事業												
目的 固定資産評価審査委員会を運営し、固定資産評価に対する不服について審査します。					担当課		総務部総務課					
目標 -												
事業実施状況	・ 固定資産評価審査委員会の運営				単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
					事業費		114		241		89	
					特定財源		0		0		0	
					一般財源		114		241		89	
	指標名		-								単位	
	基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値		
	-			-			-			-		
評価検証	-											

施策 23 取組 3 番号 8 事務事業 公平委員会運営事業												
目的		地方公務員法に基づき公平委員会を運営し、適正な人事管理を進めます。				担当課		総務部総務課				
目標		-										
事業実施状況	・ 公平委員会の運営	単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額				
		事業費		207		184		118				
		特定財源		0		0		0				
		一般財源		207		184		118				
		指標名		-				単位				
		基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値	
		-		-		-		-		-		
評価検証	-											

事務事業評価表

施策 23 取組 3 番号 9 事務事業 法制事業												
目的	法令遵守の徹底など法制事務を実施し、行政事務を適正に執行します。					担当課	総務部総務課					
目標	-											
事業実施状況	・ 法制事務 ・ 行政不服審査会の運営 ・ 個人情報保護制度の推進				単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
					事業費		5,832		5,863		6,017	
					特定財源		247		247		252	
					一般財源		5,585		5,616		5,765	
					指標名		-					
	基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値		
	-			-			-			-		
評価検証	-											

施策 23 取組 3 番号 10 事務事業 文書管理事業									
目的	公文書の適正管理や印刷業務を効率的に行うなど、文書管理事務を進めます。					担当課	総務部総務課		
目標	-								
事業実施状況	・ 公文書等の管理 ・ 印刷業務 ・ 郵便業務				単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額	
					事業費	9,478	10,347	11,123	
					特定財源	10	10	20	
					一般財源	9,468	10,337	11,103	
					指標名	-			
	基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
	-		-	-	-	-	-		
評価検証	-								

施策 23 取組 3 番号 11 事務事業 統計調査事業									
目的	統計調査の実施や統計データの提供などの統計調査業務を進めます。					担当課	総務部総務課		
目標	-								
事業実施状況	・ 各種統計調査の実施 ・ 統計冊子の発行		単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額			
			事業費	8,489	8,614	85,528			
			特定財源	8,062	7,972	92,939			
			一般財源	427	642	△7,411			
			指標名	-				単位	
		基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値	
	-		-		-		-		
評価検証	-								

事務事業評価表

施策 23 取組 3 番号 12 事務事業 会計事業									
目的	安全で有利な現金管理や正確な現金出納など、会計事務を適正に執行します。					担当課	会計課		
目標	-								
事業実施状況	・ 公金保護対策の基本方針に基づく現金管理 ・ 公金収納状況検査の実施	単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額		
		事業費	28,598		45,673		59,463		
		特定財源	92		228		339		
		一般財源	28,506		45,445		59,124		
		指標名	-					単位	
		基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値	
		-	-	-	-	-	-		
評価検証	-								

施策 23 取組 3 番号 13 事務事業 議会議員活動事業									
目的	調査研究など議員活動の円滑な推進を支えます。					担当課	議会事務局		
目標	-								
事業実施状況	・ 調査研究活動の推進に関する業務	単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額		
		事業費	21,094		20,783		20,898		
		特定財源	0		0		0		
		一般財源	21,094		20,783		20,898		
		指標名	-					単位	
		基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値	
		-	-	-	-	-	-		
評価検証	-								

施策 23 取組 3 番号 14 事務事業 本会議・委員会運営事業									
目的		議会活動に関する情報発信などを進め、市民にわかりやすい開かれた議会運営を支えます。				担当課	議会事務局		
目標		-							
事業実施状況	・議会活動等の情報提供に関する業務		単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
			事業費	16,953		18,451		18,800	
			特定財源	0		0		0	
			一般財源	16,953		18,451		18,800	
			指標名	-					単位
	基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
	-	-	-	-	-	-			
評価検証	-								

事務事業評価表

施策 23 取組 3 番号 15 事務事業 議会運営事業												
目的	議会がその役割を十分に発揮できるよう、円滑な議会運営を支えます。						担当課	議会事務局				
目標	-											
事業実施状況	・ 議会運営に関する業務				単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
					事業費		9,090		8,887		9,210	
					特定財源		0		0		0	
					一般財源		9,090		8,887		9,210	
	指標名		-						単位			
	基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値		
	-			-			-			-		
評価検証	-											

施策 23 取組 3 番号 16 事務事業 監査事業										
目的	公正で合理的かつ効果的な行政運営の確保に資するため、監査等を実施します。						担当課	監査委員事務局		
目標	-									
事業実施状況	・ 定期監査の実施 ・ 決算審査の実施				単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額		
					事業費	3,707	3,760	3,684		
					特定財源	0	0	0		
					一般財源	3,707	3,760	3,684		
	指標名 -					単位				
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
	-			-		-		-		
評価検証	-									

施策 23 取組 3 番号 17 事務事業 選挙管理委員会運営事業											
目的		有権者への情報提供など、選挙管理委員会に関する業務を進め、有権者の意識啓発を図ります。					担当課		選挙管理委員会事務局		
目標		-									
事業実施状況	・有権者への情報提供 ・選挙管理委員会の運営に関する業務		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額		
			事業費		4,929		3,199		3,227		
			特定財源		1,713		4		6		
			一般財源		3,216		3,195		3,221		
			指標名		-						単位
	基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値	
	-		-		-		-		-		
評価検証	-										

事務事業評価表

施策 23 取組 3 番号 18 事務事業 各選挙執行事業										
目的		各選挙を公正に執行し、まちづくりの参加意識の向上を図ります。				担当課		選挙管理委員会事務局		
目標		-								
事業実施状況	・各選挙の執行 ・有権者への選挙の周知及び啓発 ・投票所の利便性向上	単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額		
		事業費		115,492		51,787		141,417		
		特定財源		37,912		56,530		127,022		
		一般財源		77,580		△4,743		14,395		
		指標名		-				単位		
		基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値	
		-			-		-		-	
評価検証	-				-		-		-	

施策 23 取組 4 番号 1 事務事業 公共施設マネジメント推進事業										
目的	公共施設等の長寿命化や施設総量の適正化などを進めます。					担当課	企画課			
目標	施設等の長寿命化や施設総量の適正化などを図る個別施設計画の策定を進めます。									
事業実施状況	・公共施設マネジメントの推進 ・公共施設マネジメントに関する情報発信 ・個別施設計画の策定・検討	単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
		事業費	0		0		0		0	
		特定財源	0		0		0		0	
		一般財源	0		0		0		0	
		指標名	-					単位		
		基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
		-		-		-		-		
評価検証	大半の施設において個別施設計画の策定が完了しているほか、未策定の築年数が比較的新しい施設などについては、必要に応じて策定を検討していくこととしており、目標を達成しました。									

施策 23 取組 4 番号 2 事務事業 公共施設営繕事業									
目的	公共施設の整備に関する事務や既存施設の改築、長寿命化等の適正な工事監理を進めます。					担当課	住宅営繕課		
目標	-								
事業実施状況	・ 公共施設の整備に関する事務 ・ 既存施設の改修等に関する事務 ・ 市有施設建築保全システムの運用	単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額		
		事業費	2,820		5,132		3,321		
		特定財源	30		0		0		
		一般財源	2,790		5,132		3,321		
		指標名	-					単位	
		基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値	
		-	-	-	-	-	-		
-	-								
評価検証	-								

事務事業評価表

施策 23 取組 5 番号 1 事務事業 人材育成・評価事業												
目的	職員の働く意欲と能力を高める視点から人事評価等を進め、自ら成長し能力を発揮できる職員を育成します。					担当課	人事課					
目標	-											
事業実施状況	・職員研修の実施（40項目、参加者延1,800人） ・国等への職員の派遣・受入（派遣17人、受入3人）※交流派遣含む ・人材育成基本方針に基づく取り組みの推進（職員研修・職場環境整備・人事管理） ・人材そだち評価制度の実施（評価結果を処遇に反映）				単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
					事業費		14,952		16,671		14,925	
					特定財源		4,856		5,161		5,163	
					一般財源		10,096		11,510		9,762	
					指標名		-		単位			
	基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値		
	-			-			-			-		
評価検証	-											

施策 23 取組 5 番号 2 事務事業 職場環境整備事業									
目的	職員の健康管理や公務災害の未然防止など、職員が安心して働き、能力を発揮することができる職場環境づくりを進めます。					担当課	人事課		
目標	-								
事業実施状況	・ 職員の健康管理（定期健康診断等受診者数:1,554人、ストレスチェック1,191人） ・ 職員と職場の安全衛生管理（公務災害補償、施設職場における救急薬品の整備） ・ 福利厚生の実施	単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額		
		事業費	109,891		150,962		156,372		
		特定財源	28,670		34,388		34,472		
		一般財源	81,221		116,574		121,900		
		指標名	-					単位	
		基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値	
		-		-		-		-	
		-		-		-			
評価検証	-								

施策 23 取組 6 番号 1 事務事業 十勝圏連携推進事業									
目的	管内自治体や関係機関と連携し、十勝圏の発展に向けた取り組みを進めます。					担当課	企画課		
目標	-								
事業実施状況	・十勝圏複合事務組合の活動を通じた広域事業の推進 ・十勝圏活性化推進期成会を通じた要請活動の実施 ・帯広圏地方拠点都市地域協議会及びとかち航空宇宙産業基地誘致期成会の運営 ・国、道、管内自治体等との連携による十勝圏の振興	単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額		
		事業費	4,853		5,031		5,358		
		特定財源	0		0		0		
		一般財源	4,853		5,031		5,358		
		指標名	-					単位	
		基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値	
		-		-		-		-	
評価検証	-								

事務事業評価表

施策 23 取組 6 番号 2 事務事業 都市間連携推進事業										
目的	北海道内の広域的な行政課題の解決に向け、各都市と連携した取り組みを進めます。					担当課	企画課			
目標	-									
事業実施状況	・北海道市長会等を通じた情報収集や要請活動などの実施 ・北海道基地協議会等を通じた情報収集や要請活動などの実施 ・道東六都市等による情報交換などの実施	単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
		事業費	4,126		4,141		4,165			
		特定財源	0		0		0			
		一般財源	4,126		4,141		4,165			
		指標名	-					単位		
		基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
		-	-	-	-	-	-			
評価検証	-									

施策 23 取組 6 番号 3 事務事業 定住自立圏構想推進事業											
目的		帯広市と十勝管内18町村が連携・協力し、必要な生活機能を確保するとともに、圏域全体の魅力の向上や活性化を図ります。				担当課		企画課			
目標		-									
事業実施状況	・十勝定住自立圏共生ビジョン等に基づく各種取り組みの実施		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額		
			事業費		85		299		60		
			特定財源		0		0		0		
			一般財源		85		299		60		
	指標名		-						単位		
	基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値	
	-			-			-			-	
評価検証	-										

施策	23	取組	6	番号	4	事務事業	東京事務所運営事業			
目的	東京事務所を管理運営し、産業・経済、行政、観光・移住などの情報収集・提供などを進めます。						担当課	東京事務所		
目標	-									
事業実施状況	・東京事務所の運営						単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額
							事業費	10,140	10,681	10,788
							特定財源	0	0	0
							一般財源	10,140	10,681	10,788
	指標名	-						単位		
	基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値			
	-		-		-		-			
評価検証	-									

事務事業評価表

施策 23 取組 0 番号 1 事務事業 市民相談室運営事業											
目的	市民の日常生活に関する一般相談や法律相談を実施し、問題解決に向けた支援を行います。					担当課	地域福祉課				
目標	市民の日常生活における様々な問題に対応する市民相談員による相談体制を維持します。										
事業実施状況	・市民相談の実施（相談件数1,414件） ・弁護士無料法律相談の実施		単位：千円		R5年度決算額	R6年度決算額		R7年度決算額			
			事業費		6,173	7,721	7,866				
			特定財源		0	0	0				
			一般財源		6,173	7,721	7,866				
			指標名 相談件数				単位	件			
	基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値	
				1,275			1,371			1,371	
評価検証			1,263		1,450		1,414				
	R7年度の市民相談件数は1,414件となり、目標を達成しました。 法律相談を含む幅広い内容に関する相談体制を維持し、身近な相談窓口として認知されてきたことにより、市民が抱える問題の解決に向けた様々な相談に応じることができたものと考えます。										

施策 23 取組 0 番号 2 事務事業 政策推進事業									
目的	幅広く情報収集などを進めるとともに、重要施策の総合的な企画調整を行います。					担当課	企画課		
目標	-								
事業実施状況	・ 政策推進に関する情報収集等 ・ 重要施策の企画調整 ・ 国・道などへの要請活動の実施			単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額		
				事業費	5,696	5,636	5,496		
				特定財源	0	0	0		
				一般財源	5,696	5,636	5,496		
	指標名 -				単位				
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値	
	-			-		-		-	
評価検証	-								

施策 23 取組 0 番号 3 事務事業 秘書事業											
目的	市長・副市長の公務に関する秘書業務を行います。						担当課	秘書課			
目標	-										
事業実施状況	・ 秘書業務	単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
		事業費		11,910		12,505		12,426			
		特定財源		0		0		0			
		一般財源		11,910		12,505		12,426			
		指標名		-					単位		
		基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
		-		-		-		-			
評価検証	-										

事務事業評価表

施策 23 取組 0 番号 4 事務事業 市役所庁舎管理事業														
目的		計画的な管理や有効活用を進めるなど、市役所庁舎を適切に維持管理します。				担当課		総務部総務課						
目標		-												
事業実施状況	・市役所庁舎の設備等の維持管理 ・光熱水費削減の取り組み（経済的な電力確保の継続等） ・広告事業の推進 ・市役所庁舎の長寿命化に向けた取り組み（外壁及び屋上防水工事実施設計 設備更新・浸水対策基本調査）				単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
					事業費		195,573		225,633		264,882			
					特定財源		26,234		26,234		36,275			
					一般財源		169,339		199,399		228,607			
					指標名		-				単位			
	基準値		R5		目標値 実績値		R6		目標値 実績値		R7		目標値 実績値	
	-				-		-		-		-		-	
評価検証	-													

施策 23 取組 0 番号 5 事務事業 公用車管理事業										
目的	公用車を効率的に管理・運行します。						担当課	総務部総務課		
目標	-									
事業実施状況	・ 公用車の管理（共用車稼動率90.7%）	単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
		事業費	19,762		20,223		20,746			
		特定財源	0		36		53			
		一般財源	19,762		20,187		20,693			
		指標名	-						単位	
		基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
		-	-	-	-	-	-			
評価検証	-									

施策 23 取組 0 番号 6 事務事業 職員任用管理事業										
目的	人材の確保と職員の適正配置により、施策を効果的に推進する組織体制づくりを進めます。					担当課	人事課			
目標	-									
事業実施状況	・職員定数の管理（R7.4.1時点職員数1,318人） ・職員採用に関する事務（〔正職員〕試験回数6回（うち常時募集は4回）、受験者数318人（うち常時募集5名）、合格者数77人（うち常時募集合格者3名）（任期付）試験回数17回、受験者数33人、合格者数26人）	単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
		事業費	2,659		1,867		1,383			
		特定財源	0		0		0			
		一般財源	2,659		1,867		1,383			
		指標名	-					単位		
		基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
		-	-	-	-	-	-			
評価検証	-									

令和7年度
施策・事務事業評価表

編集 帯広市政策推進部企画室企画課

〒080-8670 帯広市西5条南7丁目1番地

TEL : 0155-65-4105 FAX : 0155-23-0151

E-mail : plan@city.obihiro.hokkaido.jp